

平成 30 年度
全国メディカルコントロール
協議会連絡会
(第2回)

全国メディカルコントロール協議会連絡会プログラム・講演資料

全国メディカルコントロール協議会連絡会関連資料

1 日 時

平成31年1月25日(金) 14時から17時

2 場 所

サンポートホール高松 大ホール
(香川県高松市サンポート2-1)

3 主催団体等

主催：消防庁、厚生労働省

共催：公益社団法人日本医師会

後援：一般財団法人救急振興財団、全国消防長会、
一般社団法人日本救急医学会、一般財団法人日本救急医療財団
公益社団法人日本麻酔科学会、一般社団法人日本臨床救急医学会
全国衛生部長会、全国保健所長会

目 次

平成 30 年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)プログラム ……P. 2

第1部 発表資料 ……P. 3

我らの地域のメディカルコントロール取組事例“ベストプラクティス 2018”

第2部 講演資料 ……P. 47

○救急救命処置検討委員会における救急救命処置の追加、除外等に関する提案状況について

救急救命処置検討委員会 田邊 晴山

○ILCOR CoSTR 2015 後の心肺蘇生に関する学術的知見について

救急救命九州研修所 教授 畑中 哲生

第3部 情報提供 ……P. 67

○消防庁からの情報提供

○厚生労働省からの情報提供

全国メディカルコントロール協議会連絡会関連資料 ……P. 87

○全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱・世話人会構成員名簿

○メディカルコントロール体制に関する実態調査結果

○救急救命士の各種認定数

○メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数

○都道府県メディカルコントロール協議会開催状況及び構成員状況

○全国救命救急センター設置状況一覧表

○都道府県別メディカルコントロール協議会名簿

平成 30 年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第 2 回）プログラム

I 開催概要

- 1 日 時 平成 31 年 1 月 25 日（金） 14 時 00 分～17 時 00 分
- 2 場 所 サンポートホール高松（第 27 回全国救急隊員シンポジウム 第 1 会場）
香川県高松市サンポート 2-1

II プログラム

- 1 開 会（14 時 00 分～14 時 05 分）
全国メディカルコントロール協議会連絡会世話人会 会長 行岡 哲男

- 2 第 1 部 「我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表
“ ベストプラクティス 2018 ”」（14 時 05 分～15 時 25 分）

— 休憩 —

- 3 第 2 部 講演（15 時 40 分～16 時 20 分）
 - 救急救命処置検討委員会における救急救命処置の追加、除外等に関する提案状況
について
救急救命処置検討委員会 田邊 晴山
 - ILCOR CoSTR 2015 後の心肺蘇生に関する学術的知見について
救急救命九州研修所 教授 畑中 哲生

- 4 第 3 部 情報提供（16 時 20 分～16 時 40 分）
 - 消防庁からの情報提供
消防庁 救急企画室 救急専門官 小谷 聡司
 - 厚生労働省からの情報提供
厚生労働省医政局 地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室 病院前医療対策専門官 飯塚 悠祐

- 5 表彰式（16 時 40 分～16 時 55 分）
 - ベストプラクティス 2018 ベストプラクティス賞 1 団体
 - ベストプレゼン賞 1 団体

- 6 事務連絡（16 時 55 分～17 時 00 分）
次年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第 1 回）の開催予定について

第1部 発表資料

我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表 “ベストプラクティス 2018”

【発表演題】

- 発表演題1 県北・県央地区MC協議会を構成する四市合同で取り組んでいる
多数傷病者対応訓練の実施について
(神奈川県:県北・県央地区 MC 協議会)・・・P. 7
- 発表演題2 音声システムを活用した口頭指導の実施について
(山形県:西置賜行政組合消防本部)・・・P. 11
- 発表演題3 仙台・黒川地域メディカルコントロールにおける病院実習及び症例検討会
の取り組み
(宮城県:仙台・黒川地域 MC 協議会)・・・P. 15
- 発表演題4 湘南地区MC協議会におけるMCと通信指令室との連携取組について
(神奈川県:湘南地区 MC 協議会)・・・P. 19
- 発表演題5 指導救命士による主体的な指導体制の確立に向けて
ー地域 MC 協議会公認、救急指導体制検討ワーキンググループの取組みー
(大阪府:大阪府泉州地域 MC 協議会)・・・P. 23
- 発表演題6 地域メディカルコントロール協議会主催「警察・消防連携シンポジウム」
について
(長野県:諏訪地域 MC 協議会)・・・P. 27
- 発表演題7 クラウド救急医療連携システムの運用 県境を超えた仮想2次医療圏
(石川県:石川県メディカルコントロール協議会)・・・P. 31

【応募演題】12 演題

- 資料掲載P. 35

我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表 “ベストプラクティス2018”

(発表演題)

	府県	応募団体	演題名
1	宮城県	仙台・黒川地域MC協議会	仙台・黒川地域メディカルコントロールにおける病院実習及び症例検討会の取り組み
2	山形県	西置賜行政組合消防本部	音声システムを活用した口頭指導の実施について
3	神奈川県	湘南地区MC協議会	湘南地区MC協議会におけるMCと通信指令室との連携取組について
4	神奈川県	県北・県央地区MC協議会	県北・県央地区MC協議会を構成する四市合同で取り組んでいる多数傷病者対応訓練の実施について
5	石川県	石川県メディカルコントロール協議会	クラウド救急医療連携システムの運用 県境を超えた仮想2次医療圏
6	長野県	諏訪地域MC協議会	地域メディカルコントロール協議会主催「警察・消防連携シンポジウム」について
7	大阪府	大阪府泉州地域MC協議会	指導救命士による主体的な指導体制の確立に向けて ー地域MC協議会公認、救急指導体制検討ワーキンググループの取組みー

(応募演題)

	府県	応募団体	演題名
1	岩手県	胆江地域MC協議会	救急隊員育成の各種取組について
2	山形県	東根市消防本部 (村山地域メディカルコントロール協議会)	地域メディカルコントロール医療機関を中心とした取組み ～小規模消防本部合同訓練による成果と課題～
3	埼玉県	埼玉西部消防局	指導救命士が主体となり実施している救命士生涯教育・再教育について
4	埼玉県	埼玉県央広域消防本部	指導救命士の取組と検証結果
5	神奈川県	横浜市消防局教育課	多施設、他職種で緊密な連絡を取りつつ 横浜市救命士養成所で開催した指導救命士養成教育
6	神奈川県	横浜市消防局司令課	横浜市消防局における指令管制員指導者養成コースについて
7	新潟県	魚沼地域MC協議会	雪おろし転落事故から地域住民を守る一助として ～我がMCが目指す予防救急の取り組みについて～
8	長野県	松本広域圏救急・災害医療協議会 MC委員会	遠隔地におけるアナフィラキシーショックが疑われる傷病者の初期対応について
9	岐阜県	高山市消防本部	飛騨地域メディカルコントロール協議会 PCEC部会による地域消防本部救急隊への意識障害教育について
10	和歌山県	紀南地域MC協議会	地域MCの充実・強化にも繋がる救急事後検証を目指す
11	岡山県	津山圏域消防組合	コンビネーショントレーニングから救命の向上へ
12	沖縄県	社会医療法人仁愛会浦添総合病院	早期医療介入のために ～順次指令システムを活用した位置情報共有～

※発表・応募演題ともに都道府県番号順に掲載しています。

「我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表 “ベストプラクティス 2018”」応募要領

1 目的

消防機関と救急医療機関等で構成するメディカルコントロール(以下「MC」という。)協議会は、救急救命士を含む救急隊員等が行う応急処置等の質を医学的観点から保障することを目的に設置されており、救急医療提供体制を構築する場としての活用も期待されています。

また、救急救命士制度が発足25年を超え、指導救命士をはじめとする救急業務担当者の人材の育成などにおけるMC協議会等の役割がさらに重要となっています。

この度、各地域のMC協議会や消防機関及び医療機関における取組事例を全国へと発信していただき、情報を共有することで、MC体制の更なる充実につながるきっかけとなるよう取組事例を募集することといたしました。

2 開催日 平成31年1月25日(金)

(平成30年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)にて)

3 開催場所 サンポートホール高松 大ホール(予定)

香川県高松市サンポート2-1

4 開催内容

- (1) 各地のMC体制において、救急業務の高度化に向けた取組や消防機関・医療機関等の関係構築等に向けた取組等、各地が自信を持って全国で紹介できる好取組事例について募集します。
- (2) プレゼンテーションを行う団体は、全国メディカルコントロール協議会連絡会世話人会による厳正な事前審査の後、7団体程度選出されます。当日の発表は、1団体につき、7分間とします。
- (3) 発表後、来場者による投票により、最優秀取組等に対して表彰します。

5 募集内容

○救急業務の高度化や消防・医療機関の関係構築等にあたってのMC協議会や消防機関及び医療機関の取組や工夫など、全国で紹介できるMC体制に係る好取組事例。

○なお、MC協議会に関わる多様な組織・団体が協力・連携した取組を優先する方針です。

例：○ 救急救命士の病院実習等教育に関する取組

○ MC協議会が主催する研修等、特徴的事業

○ 指導救命士を活用した取組

○ 救急車の適正利用についての取組

○ 地域包括ケアシステムの構築と一体となった取組

○ 通信指令員との連携に関する取組 など

6 募集対象

MC協議会、消防機関、医療機関等MC体制に携わる方々

7 募集期間

平成30年6月25日（月）～8月31日（金）必着

8 応募方法

応募用紙（別紙）に必要事項をご記入の上、問い合わせ先のメールアドレスまで送信してください。

9 賞

- ベストプラクティス賞 1事例
- ベストプレゼン賞 1事例 を予定

10 実施主体

全国MC協議会連絡会世話人会

11 その他

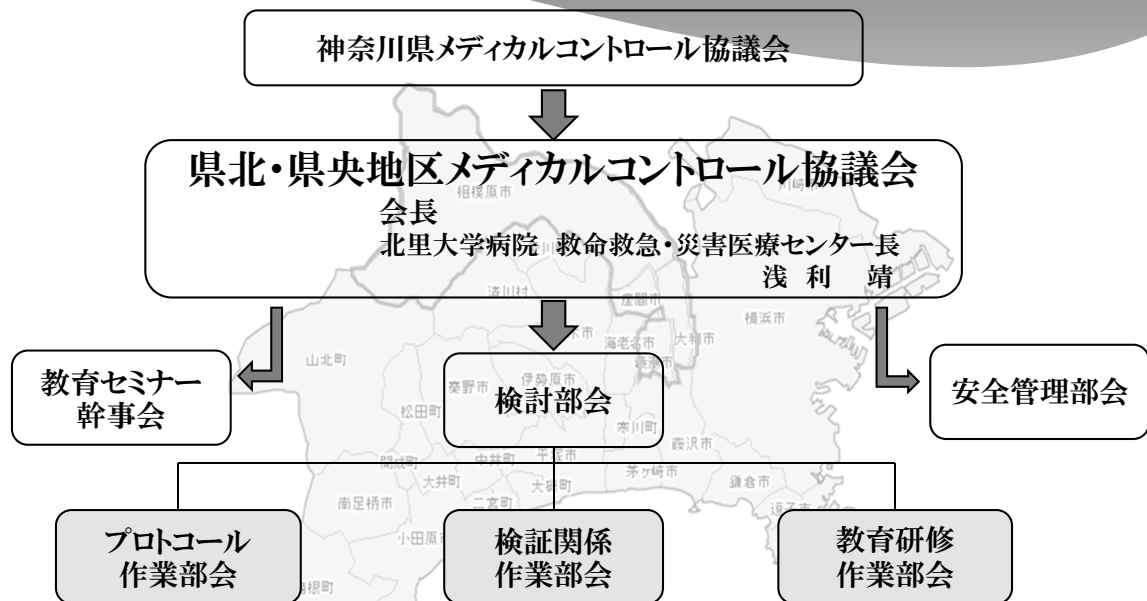
- (1) 発表決定者には別途通知します。
- (2) 発表者の往復交通費については事務局で負担します。
- (3) 発表されたプレゼンテーション資料は、消防庁ホームページにおいて公表することを予定しています。

県北・県央地区MC協議会を構成する 四市合同で取り組んでいる多数傷病者対応 訓練の実施について



神奈川県
県北・県央地区メディカルコントロール協議会
教育研修作業部会事務局
大和市消防本部
救急救命課 加藤 和也

県北・県央地区メディカルコントロール協議会の概要



訓練開始の経緯

- 1 平成23年の東日本大震災や、平成24年に関越自動車道で発生した高速バスの事故を契機とし、全国的にも多数傷病者対応事故が相次いだ。
- 2 これらの大事故が当地区で発生した場合、活動部隊の相互関係や指揮運用体制、各関係機関との連携強化の面で、現場活動時の混乱を生じることが懸念された。
- 3 当地区MC協議会では、平成24年度から多数傷病者対応に関する知識と技術の向上を目的として、訓練を行っている。

多数傷病者対応訓練の目的

- 1 県下消防相互応援協定に基づく訓練を想定し、実災害に即応できる体制作りの強化
- 2 災害現場における指揮命令系統の確立及び病院等各関係機関との連携強化の構築
- 3 多数傷病者に対する医療活動(ドクターカー等との連携)及び救命率の向上

訓練実施の創意工夫

- ☆年度ごとに指揮隊を4市が輪番で担当
- ☆平成29年度から、指導救命士をスタッフとして活用
- ☆開始当初から、雨天時でも対応可能な体育館を借用

訓練の有効性

- ☆指揮命令系統及びドクターカー医師との相互理解
- ☆平成28年7月に当地区MC管内で、過去に例を見ない悲惨な集団殺人事件が発生した際には、各消防機関とドクターカー医師とが双方で情報共有と連携を図り、傷病者の早期搬送及び適切な救命処置が行われた。

今年度の訓練風景



結 語

2019年はラグビーワールドカップが横浜市で開催され、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎えます。これらの大きなイベントでは、テロ等への万全な体制作りと、迅速な対応が求められます。

それに向けて、当地区MC協議会では、各消防機関が医療機関等との連携を深め、所属する消防職員の一人ひとりが、災害に対する高い認識を持ち、知識・技術の向上に努めてまいります。

「救える大切な命をより多く」
ということを目指して



ご清聴

ありがとうございました。

ベストプラクティス2018(平成31年1月25日:高松市)

▶音声システムを活用した
口頭指導の実施について

西置賜行政組合消防本部

大津 秀二

公立置賜総合病院

救命救急センター長 佐藤 光弥

▶ 現在当消防本部では、心肺停止通報に対し以下の音声システムを活用した口頭指導を実施している。

【音声システム】

胸骨圧迫リズム音

自動音声ガイダンス

平成29年8月1日から高機能消防指令センターに
「自動音声ガイダンス」導入。

- ▶ 心肺停止通報時の口頭指導の標準化を目的に「伝える内容の統一化」を図るため、口頭指導支援ツールとして自動音声ガイダンスを作成。

口頭指導の標準化

通信指令員の口頭指導の標準化

バイスタンダーの知識・
受講歴に委ねない口頭指導



安定した口頭指導の実現

自動音声ガイダンス使用判断の基準

- ① バイスタンダーが複数いる場合
- ② 胸骨圧迫リズム音に合わせてCPRを行っている様子が確認できた場合
- ③ 通信指令員の指示に従命できている場合

救急講習及び各種イベントでの普及活動



模擬指令台

救急隊との
合同想定訓練



口頭指導の事後検証について

- ▶ 山形県救急業務高度化推進協議会では「通信指令員に対する救急に係る教育・指導・検証のあり方」を検討している。

通信指令員が行う口頭指導の事後検証体制の構築



口頭指導レポートによる評価

指令業務指導者と救急技術指導者による通報内容の評価

通信指令員の教育システムWGと
MC医師による評価フィードバック

▶ 当消防本部では、通信指令員の《口頭指導の標準化》と《同一レベルの口頭指導》に取り組んできた。

通信指令員が行う口頭指導の事後検証体制の構築



口頭指導レポートによる評価

口頭指導事後事例検討会



指令業務指導者と救急技術指導者による通報内容の評価

MC医師による評価とフィードバック

行政サービスの均一化
(音声システムによる口頭指導の標準化)

指令業務のオープン化
(安心して通報できる環境の整備)



ハード面・ソフト面の充実

事後検証の確立



バイスタンダーCPRの実施率・
救命率の向上

仙台・黒川地域メディカルコントロールにおける 病院実習及び症例検討会の取り組み

仙台市立病院



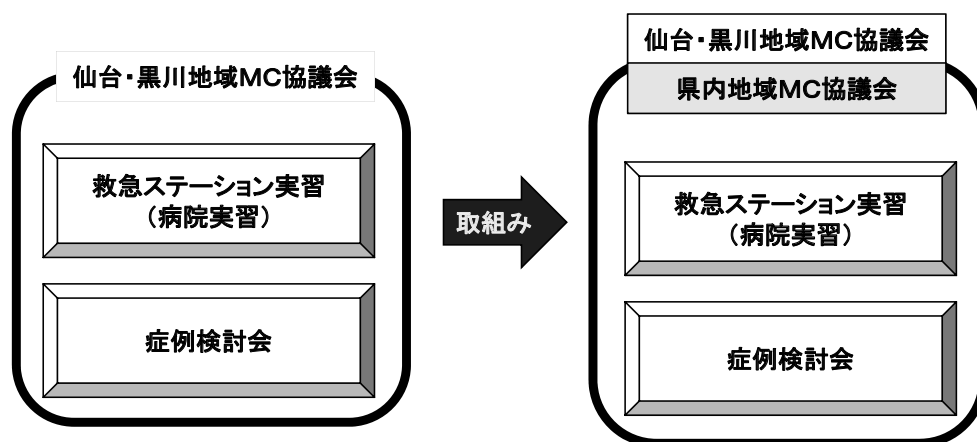
仙台市救急ステーション

仙台・黒川地域メディカルコントロール協議会

仙台市消防局 千田 真一

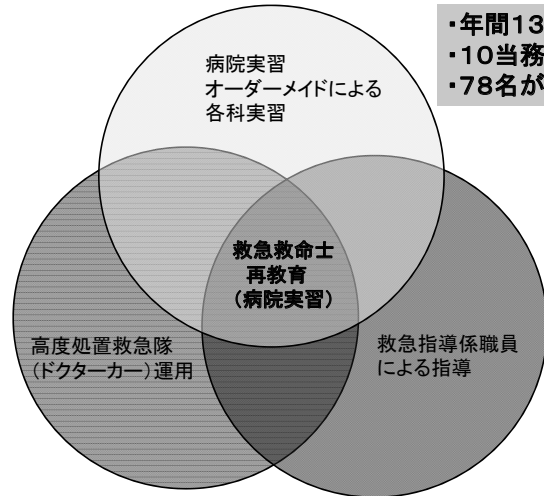
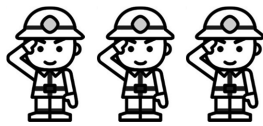
Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

当地域MC協議会病院実習・症例検討会へ 県内他地域MC協議会救急救命士が参画



Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

救急ステーション実習



- ・年間13クール
- ・10当務/1クール
- ・78名が実習実施

インホスピタル及びプレホスピタル教育の両立で、より効果的な実習となる。

Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

病院実習

実習前に実習希望調査票を提出
(12項目の実習科目から希望6科目を記入)



希望調査票に基づき実習カリキュラム作成



実習開始
(病院実習コーディネーターがコーディネート)

実習科目

1 心臓カテーテル	7 心電図
2 手術室	8 ICU
3 ME	9 医療福祉相談
4 リハビリテーション	10 放射線技術科
5 薬剤科	11 精神科病棟
6 感染対策	12 周産期病棟



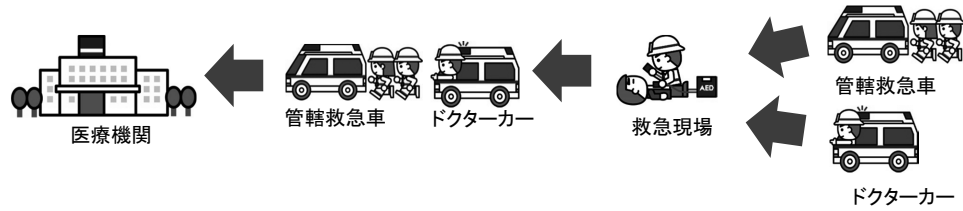
薬剤科実習



リハビリ科実習

Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

ドクターカー運用



市内に於いて発生した救急事案で、現場及び搬送途上に医師の救命治療が必要とされる事案に出場。

OJTの場で、観察・処置等について医師から直接指導を受け共に活動する。

医師と共に活動し、出場事案の振り返りを行うことで、手技のみならず高度な観察眼やフィジカルアセスメント能力を養うことができる。

Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

症例検討会

市内4MC医療機関持ち回りで、年度内に10回開催。

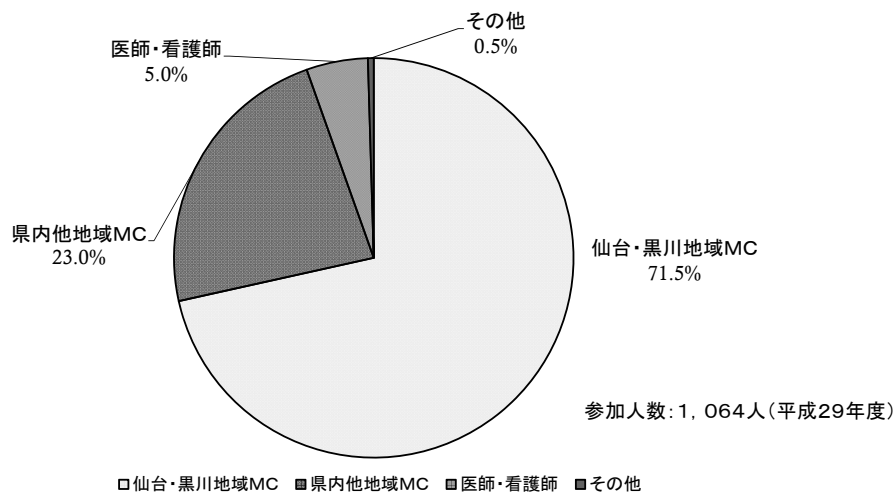
医師による約30分のミニレクチャー後、毎回4~5件の症例検討を実施。

当地域MC協議会関係者及び県内MC協議会関係者が参加。平成29年度参加人数は平均110名。



Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

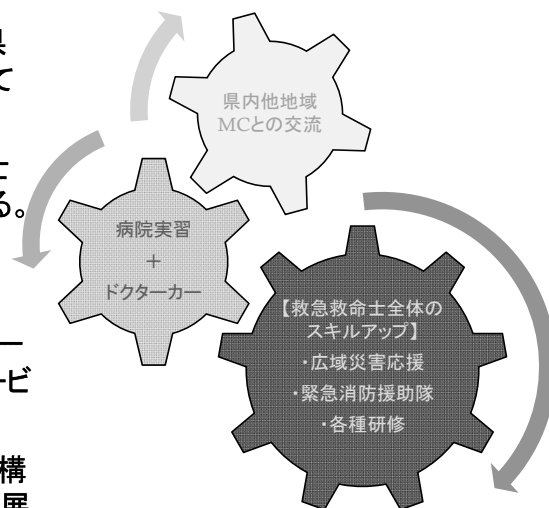
症例検討会参加状況



Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

まとめ

- ◆ 当地域開催の病院実習及び症例検討会等に県内他地域MC協議会に所属する職員が参画している。
- ◆ 地域MC協議会の枠組みを越えて、救急救命士等が病院実習、ドクターカーの運用を行っている。また、症例検討会の場で意見を交わしている。
- ◆ 県内の救急救命士等の知識・技術の底上げの一助に繋がり、県内住民へより質の高い救急サービスが提供できる。
- ◆ 県内の救急救命士等との「顔の見える関係」が構築され、広域災害応援等の際、より良い活動が展開できると考える。



Sendai Kurokawa-Area Medical Control Council

湘南地区MC協議会における MCと通信指令室との連携取組について

～指令員の 指令員による 指令員のためのガイドライン作成～



湘南地区MC協議会
事後検証作業部会 口頭指導WG
平塚市消防本部 中山 紘一

平成30年度第2回全国MC協議会連絡会 我らの地域のMC取組事例発表 “ベストプラクティス2018”
平成31年（2019年）1月25日（金）

背景

- ・過去にMCで作成した「口頭指導マニュアル」が指令員にあまり浸透しなかった
- ・事後検証での指摘事項が、なかなか改善されない課題

どうも指令業務って
イメージできないな…

口頭指導への検証って
難しいな…

検証
医師

指令
員

ご指摘は分かりますが、
実情も知ってほしいな…

他の所属ではどうやって
いるのだろう？

口頭指導と事後検証において
MC内で統一された基準となるものが必要！

取組①

口頭指導WGの立ち上げ

メンバー構成：事後検証医師1人 救急主管課職員4人
＋ 3消防指令センターから指令員6人

事後検証作業部会長名
での協力要請

【課題の研究】

- ・なぜ「口頭指導マニュアル」はあまり浸透しなかったのか？
- ・なぜ事後検証での指摘はスムーズに改善されないのか？

- ・「口頭指導マニュアル」は、MC救急担当者で作成したため、現場（指令室）とのズレが生じている？
- ・口頭指導は各所属で独自の取組がされており、同じ所属でも口頭指導の質（スキル）にバラつきがあるため？

取組②

理想の口頭指導ガイドラインとは？

- ・経験の浅い職員からベテラン職員まで参考になるもの
- ・指令員自らが作り上げ、指令員の意見の詰まったもの

ガイドライン作成には、すべての指令センターからの意見が必要！

事後検証作業部会長名
での協力要請

WG以外の指令センター（8指令センター）
からも「MC連絡員」としてWGに協力をし
ていただく

取組③

各所属のバックグラウンドの確認

通信指令業務体制及び使用しているマニュアルは、各所属で様々であった。

理想のガイドラインの構想・作成

聴取や口頭指導の際に足りない部分を補うようなガイドライン

※ どう聴取すればCPAを見逃さないか

※ どう伝えれば伝わりやすいか

ノウハウの
結集

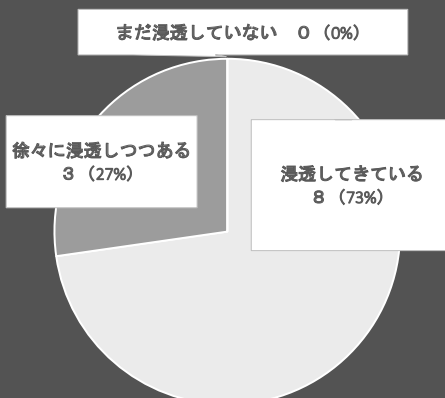
共通認識を図る

伝達講習会の実施

全体講習
+
教育用資料の配付

アンケート結果

【指令センターへの浸透状況】



【具体的な効果の意見】

- ・CPAの見逃しが減った
- ・口頭指導がうまく伝わった

【事後検証に対する意見】

- ・褒められることが増えた

【その他の意見】

- ・口頭指導への意識が変わった
- ・指令員同士の横の繋がりができた

ガイドラインの効果

【口頭指導における効果】

- ・聴取や口頭指導の際の「標準」となり、MC地区内全ての指令センターですぐに活用され、統一した口頭指導がされるようになった。

【事後検証における効果】

- ・事後検証医師にも通信指令業務が理解され、ガイドラインを「標準」として検証がされるようになった。



口頭指導と事後検証の両面で標準化されてきている

【その他の効果】

- ・ 指令員同士の横の繋がりの構築

考 察

湘南地区で規模も体制も様々な11消防指令センターが共有、活用できるガイドラインを作成できた要因

- ・ MCと通信指令室の双方向のコミュニケーション体制の構築
- ・ 指令員主導によるガイドライン作成
- ・ 伝達講習会の実施

【今後の方針】

- ・ ガイドラインの定期的な見直し
- ・ ガイドラインの効果（口頭指導の質の変化）の研究

口頭指導ガイドラインをご覧になりたい方は、

指導救命士による主体的な指導体制の確立に向けて

一地域MC協議会公認、救急指導体制検討ワーキンググループの取組み



大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会
指導的立場の救急救命士による
救急指導体制検討ワーキンググループ
岸和田市消防本部 警備課 岬 大嗣

泉州二次医療圏と地域MC

・大阪府泉州二次医療圏

➢ 市町村：12市町（8市4町）

➢ 人口：約90.5万人

➢ 圏内三次医療機関：2機関

➢ 圏内二次医療機関：31機関

・(精神科系7機関含む)

・大阪府泉州地域MC協議会

➢ 会長

- ・ りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター
- ・ 副病院長兼救急診療部長 松岡 哲也 先生

➢ 構成消防本部

- ・ 泉大津市消防本部 和泉市消防本部
- ・ 忠岡町消防本部 岸和田市消防本部
- ・ 貝塚市消防本部 泉州南広域消防本部
- ・ (※高石市(は界市消防局管轄)



指導救命士WG設置

病院前救護に関する教育



MC指導医師主導



連携



指導救命士主導

医学的 な教育指導

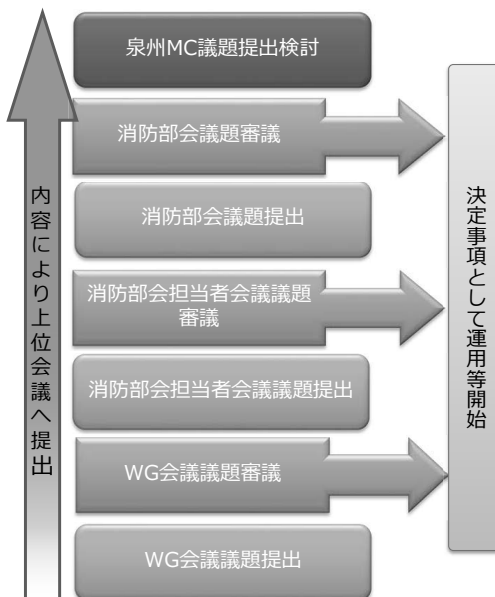
救急現場 の教育指導

※ 指導救命士本来の役割を確立

指導救命士WG体制

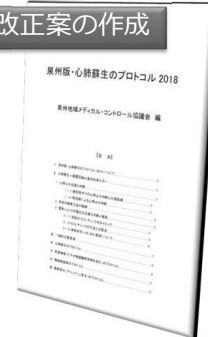
【ワーキンググループ概要】

- ・ 組織
消防部会の下部組織に位置づけ
- ・ 構成メンバー
各消防機関から1名の計6名
医師等の他業種なし
- ・ 議題の提出
メンバーから広く募る
- ・ 会議の開催
毎月1回、検証会議後や研修会后
- ・ オブザーバー
教育小委員会のMC医師に依頼
- ・ 議題の決定
内容によっては、上位会議へ提出



指導救命士WG実績

泉州版・心肺蘇生のプロトコル改正案の作成



救急基礎教育泉州MC圏域版の作成



各消防本部での教育指導研修実施



全員参加型 ディスカッション形式勉強会 SPICEミーティングの開催

救急基礎教育資料



教育目的

- 一. 泉州地域で救急業務を遂行するために必要な知識の習得
- 二. 地域の救急隊員の意思統一により病院前救護体制を底上げ
- 三. 救急隊員が医療従事者の一員であることの自覚を促す

教育項目

1. 救急業務とは
2. 地域メディカルコントロール体制
3. 泉州版・病院前救護プロトコル
4. 泉州医療圏における傷病者の搬送及び受入れの実施基準
5. 安全管理・感染防御・清潔操作
6. 接遇
7. 観察
8. 応急処置
9. 搬送

重視したコンセプト

- ・ 地域MCで統一したカリキュラム
- ・ 基礎から現場対応までの項目
- ・ 指導WGメンバーで項目を分担
- ・ MC指導医師による監修

SPICEミーティングと各消防の取組み

全員参加型ディスカッション形式勉強会
SPICEミーティング

Senshu Pre-hospital Immediate Care
Evolving meeting(泉州病院前緊急処置改
善ミーティング)

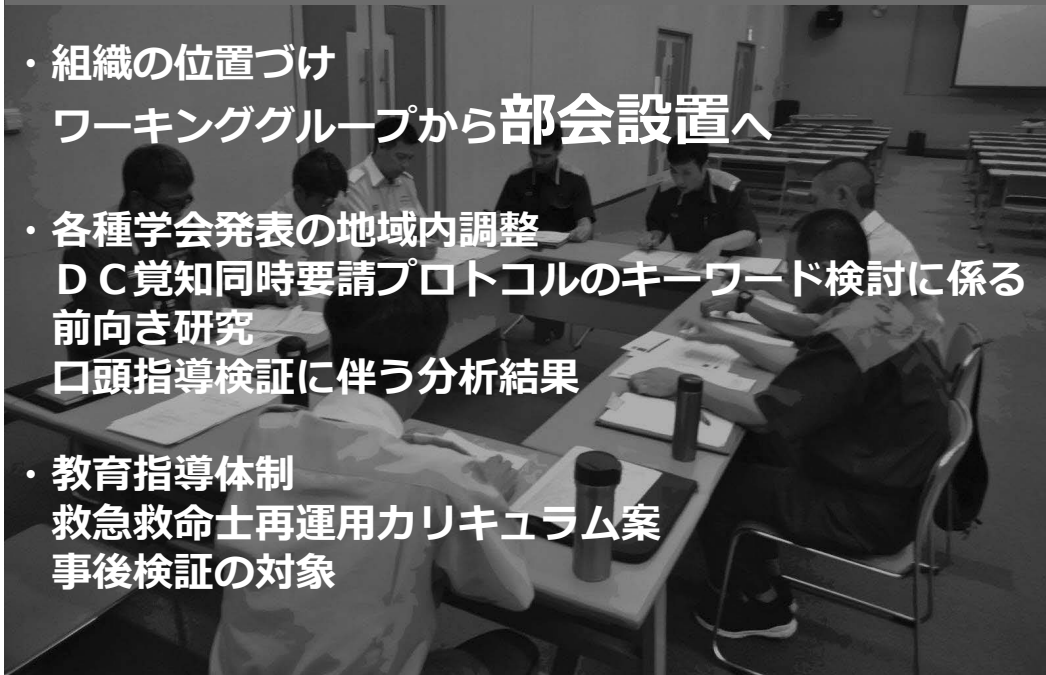
- ・ 各消防救急関係職員対象
- ・ 各消防の指導救命士持ち回り担当
- ・ 担当指導救命士が自ら企画調整
- ・ 指導救命士による単位付与対象
(泉州MC会長承認)



指導救命士がお互いに刺激することで、所属研修が増加
平成29年4月～平成30年6月で32回 のべ631名が参加

今後の展望

- ・ 組織の位置づけ
ワーキンググループから部会設置へ
- ・ 各種学会発表の地域内調整
DC覚知同時要請プロトコルのキーワード検討に係る
前向き研究
口頭指導検証に伴う分析結果
- ・ 教育指導体制
救急救命士再運用カリキュラム案
事後検証の対象



地域メディカルコントロール協議会主催 「警察・消防連携シンポジウム」について

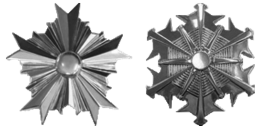
諏訪地域メディカルコントロール協議会事務局
諏訪広域消防本部 消防課 救急救助係 赤羽 慎二



諏訪地域メディカルコントロール協議会

- 圏域市町村 6市町村(3市2町1村)
- 圏域人口 約20万人
- 救急出場件数 9059件
- 救急隊数 12隊
- 救急救命士数 91名





警察・消防連携シンポジウムの背景

交通事故やCPA症例等、救急現場において消防と警察機関が連携する機会が多い。しかし、双方の業務内容の理解不足から、現場で様々な混乱が生じている。医療機関を交えた中で、相互の任務内容を理解し、病院前救護体制の連携強化を図る。

第1回

【講演】 警察業務について

- ◆ 当直業務 10人未満(交番勤務含む) 刑事課:2名 交通課:1~2名
- ◆ 交通事故発生時の対応 ①事故捜査 ②正常な交通の確保 ③広報

➢ 消防へ求めること

- ① ケガの状況 ② 車両移動の確認 ③ 救助の状況

人命救助最優先

第2回

【パネルディスカッション】 交通事故事案、刑事事案

- ◆ 警察は緊急性がなければ緊急走行できない
- ◆ 傷病者への応急処置(CPR)は消極的
- ◆ 警察は基本的に搬送を希望



第3回

【パネルディスカッション】 刑事事案、交通事故事案

- ◆ 刑事事案における確認事項
 - ・通報者の人定 ・負傷者の確認 ・臨床質問 ・目撃者の現場待機 ・警察官への引継ぎ
- ◆ 交通事故事案における確認事項
 - ・通報は110番 ・車両部署位置

第4回

【体験型事例検討会】 加害事案、交通事故事案

- ◆ 消防、警察共に人命救助最優先
- ◆ 具体的な活動を通して、問題点が浮上
- ◆ 連携には研修会を継続することが重要



第5回

【パネルディスカッション】 交通事故事案、縊頸事案の現場保存

- ◆ 現場保存の重要性（現場写真、遺留品、所持品等）
- ◆ 覚知時間、現場到着時間の重要性
- ◆ 情報共有の重要性（氏名、年齢、性別、連絡先、程度、状況等）
- ◆ 警察官の応急手当

第6回

【シンポジウム】 山岳滑落事故事案

- ◆ 消防、警察、Drヘリ、病院間の情報共有
- ◆ 消防の現地指揮本部に参集
- ◆ 継続した意見交換



結 語

- 消防・警察・医療機関は、「国民の生命、身体、および財産を保護する」という共通の任務を遂行しているが、救命活動と捜査活動が競合する対立関係にもある。MC主催の意見交換を重ねることで、各機関の任務内容を理解し、現場活動時間の短縮や効率化に繋がった。
- 警察機関は人事異動があり、現場における共通認識の希薄化は避けられない。少しでも多くの警察官に共通認識を持って頂く為にも、研修会を反復し、顔が見える関係の構築を継続していくことが重要と考える。



クラウド救急医療連携システムの運用 県境を超えた仮想2次医療圏

石川県MC協議会

稲葉英夫 金沢大学医薬保健研究域医学系
循環救急蘇生科学(救急医学)

笠松眞吾 福井大学医学部

木村哲也 福井大学医学部附属病院救急部

背景

- 県境地域の医療資源は県中心部に比べ豊かとは言えない
- 救急疾患の多くで、機能予後は決定的治療までの時間に依存する
- “断らない救急医療”を県境の中規模医療機関が実践した場合、急性冠症候群を含む重症救急患者の発症から決定的治療までの時間は県中心部への転院搬送などにより遅延する可能性がある



石川県南加賀医療圏: 加賀市、小松市
福井県奥越医療圏: 大野市、勝山市
福井県福井・坂井医療圏: 福井市、あわら市、坂井市、永平寺市

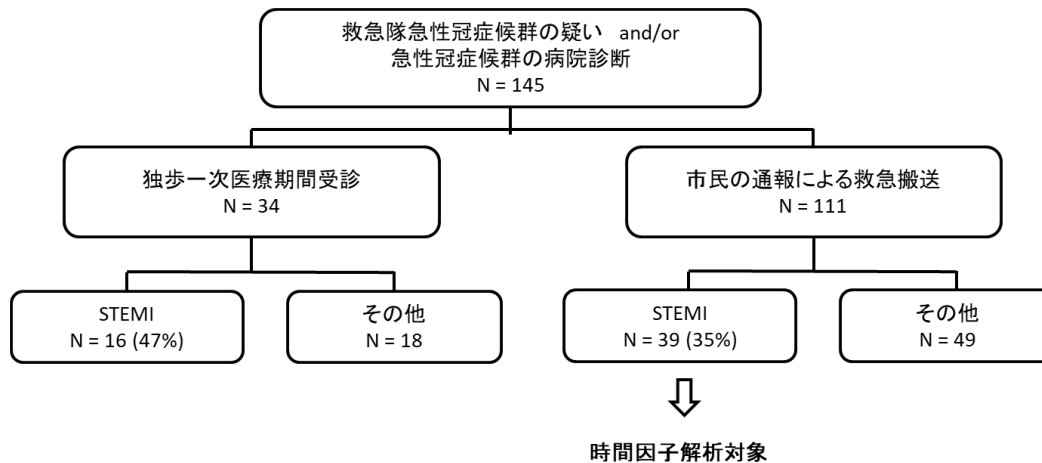
クラウド救急医療連携システムで 実現する仮想医療圏内広域組織間連携 とオンライン・メディカルコントロール



クラウドシステム導入

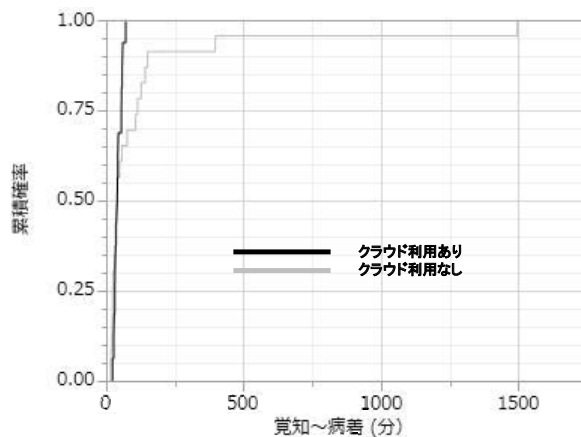
- 石川県加賀市消防本部のシステム運用前の2年間の救急搬送は6,828件、急性心筋梗塞と診断されたのは33件であり、転院例では入電から専門医機関到着(までの時間が2時間(最長25時間)を越えていた
- 平成29年11月17日(試験運用含む)より、クラウド救急医療連携システムを試験的に導入し、平成30年5月からは、医療県内の加賀市消防本部と小松市消防本部管内の8救急隊に配備した
- 参加医療機関：石川県南加賀医療圏内の3救急指定病院と福井県福井・坂井医療圏の3救急病院

急性冠症候群搬送の外観：システム導入前後1年（計2年間）



クラウド導入前後2年間に急性冠症候群の疑い・診断確定例は145件中34件は独歩で医療機関を受診後転院搬送になった例であった。残りの111例のうち、PCIの適応となるSTEMIは38例であった。

時間因子・転院搬送率の比較（中間解析）



- ・39例について覚知からPCI対応医療機関到着までの時間と転院搬送率を調べた
- ・覚知～病着時間の中央値に有意差はなかったが(39分 vs 41分)、クラウド利用がなかった症例では転院搬送例が30.4%を占め、上位4分位値は114分と大きく遅延していた

クラウド利用	N	転院搬送によるPCI対応医療機関への搬送
なし	23	7 (30.4%)
あり	16	0 (0%)

クラウド活用の拡大



- 今後導入が検討される救急救命士による超音波画像伝送(迅速簡易超音波検査法:FAST)の模擬実証研究も金沢大学で実施
- 2時間の研修で外傷に対する緊急度・重症度判定に役立つ超音波動画を伝送できることを確認
- 既に実装されている動画伝送とともに、5G(第5世代移動通信システム)時代を見据えた次世代型メディカル・コントロールモデルの開発

問題点

- 費用負担
 - 行政間の“キャッチボール”
- 市民への啓発
 - 隣接県への搬送に対する理解
 - 早期119番通報

結論

- 県境地域・へき地の住民のシームレスなセーフティーネットとして、また、オンライン・メディカルコントロールの質の向上にクラウド心電図・画像伝送システムは有用



応募演題 1

「救急隊員育成の各種取組について」 (ベストプラクティス2018)
胆江地域メディカルコントロール協議会 (岩手県)

訓練/現場において自ら判断し活動できる救急隊員の育成を目指し、各種取組を実施している。

救急隊長/救急隊員研修

1 救急隊長研修 (32時間)

救急隊長としての必要な知識及び実技を習得することを目的としている。

現場活動におけるプロトコル確認の他、人材育成を目的とした訓練企画/運営のノウハウを習得できるようカリキュラムを設定している。

その他、多数傷病者対応、幹部クラスの職員や外部講師の講義など実施している。

2 救急隊員研修 (8時間)

救急現場において、救急救命士と同様に医療従事者の素養が求められる救急隊員への病院実習(見学中心)。

救急技術指導会

毎年、一定のテーマに沿い、各所属から選抜された救急隊員によりシミュレーション訓練を実施し、医師及び指導救命士により訓練内容を評価/総括し救急技術及び知識の向上を目指すもの。

例 救命士処置拡大2項目に関する活動
 多数傷病者対応など



症例検討会

現在、年4回実施している。救急症例を題材に、救急隊の活動状況と院内経過を発表し、質疑応答にて救急活動の注意点、病態理解や特異な事例などを消防本部、医療機関及び地域MC協議会において共有している。

また、症例発表だけでなく、症例を元に、医師からの講義やグループ討議により、検討内容をさらに掘り下げるような内容としている。



救急研究発表会

全救急救命士を対象に、その個人又はグループにおいて、1年間に最低1テーマの研究を義務付け、研究発表会にてその結果を発表するもの。

発表内容は、医師、指導救命士等により審査され、高評価の演題については、東北救急医学へ応募することとし、救急救命士としてのモチベーションを上げられるようにしている。

結語

事業内容については、専門性を高めるなど、内容が適宜見直されていることから、救急隊員のレベルが全体的に底上げされており、事業実施には一定の効果があると考えられます。

胆江地域メディカルコントロール協議会 地域の概要 ©管轄消防本部 奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部

☆管轄地域 岩手県奥州市及び金ヶ崎町 ☆管内人口 約13万人
 ☆職員数 170名(救急救命士45名) ☆救急隊 8隊 ☆救急出動件数 5532件(H29)

応募演題2

地域メディカルコントロール医療機関を中心とした取り組み ～ 小規模消防本部合同訓練による成果と課題 ～

○現状

東根市消防本部(村山地域メディカルコントロール協議会)

- ・救急隊員(救急救命士含む)の質の向上が喫緊の課題である。
- ・小規模消防本部内において各種訓練及び集合研修等の質の高い教育を行うのは他の業務(各種兼務業務)に圧迫され効果的な教育・訓練体制の構築が厳しい。

○対策と効果

- ・救急救命士再教育病院実習(就業前、気管挿管、再教育)を実施している基幹病院のMC指導医が教育の中心となり、北村山地区救急医療対策協議会の事業として三市(村山市、尾花沢市、東根市)消防本部が協力し医学的根拠に基づいた合同集合教育・訓練を計画的に実施することとした。
- ・山形県各種プロトコル、多数傷病者対応訓練を基礎知識講習(座学)並びにシミュレーション訓練を実施して検討会を行い、ディスカッションすることで質の高い教育・訓練となり様々な訓練効果が得られた。

○これまでの取り組み状況

平成22年度 PSLS研修(講義・実技)

平成23年度 山形県各種プロトコル(CPA、脳卒中、外傷) シミュレーション訓練(検討会)

平成24年度 山形県各種プロトコル(CPA、脳卒中、外傷) シミュレーション訓練(検討会)

平成25年度 山形県各種プロトコル(CPA、脳卒中、外傷) シミュレーション訓練(検討会)

平成26年度 処置拡大(心停止前静脈路確保、血糖値測定及びブドウ糖投与)シミュレーション
訓練及びトリアージ訓練

平成27年度 MCLS講義・図上訓練

平成28年度 災害発生により訓練中止

平成29年度 MCLS実働訓練(多数傷病者対応訓練、検討会)

※この他症例検討会年3回、視察研修等を行っている。



○まとめ

各署様々な事情により実現困難であった教育・訓練体制を北村山地区救急医療対策協議会を中心として体制を構築することで質の高い教育・訓練が実現した。全面協力していただいているMC医療機関の北村山公立病院並びに北村山救急医療対策協議会に感謝を申し上げます。

応募演題3

指導救命士が主体となり実施している救命士生涯教育・再教育について

埼玉西部消防局

★ 創意工夫

「指導救命士による生涯教育・再教育実施報告書／計画書」を考案し、再教育の計画段階で医師から医学的裏づけを得ることによって再教育ポイントの付与を可能にしました。

★ 有効性

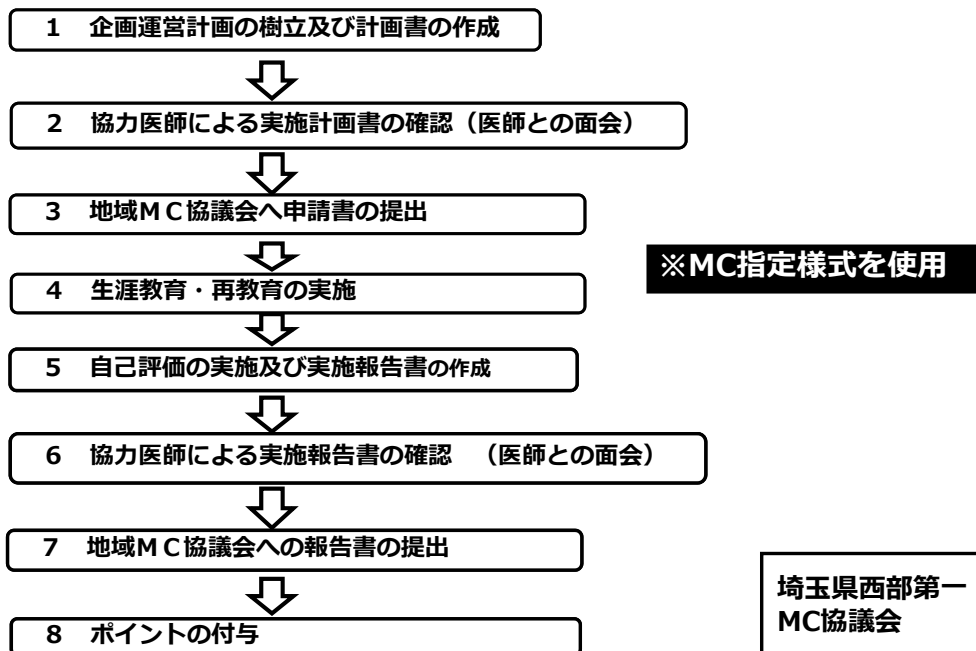
・医師の直接参加がなくても再教育ポイントが付与される研修会の開催が可能になったことから各消防本部の実情にあわせた再教育計画を実施することが可能になりました。

・現場活動に従事している身近な指導救命士が指導することにより、隊員のレベルに合わせた即効性のある再教育が可能になりました。

★ 実現性

計画者(指導救命士)は、協力医師と直接面会し医学的裏づけの指導を受け内容を調整します。計画書の提出は、原則開始前と終了報告時の2回で、事前に電子媒体で調整するため会議等を開催する必要がなく、そのための費用もかからないことから無理なく実現可能です。

生涯教育・再教育ポイント取得のための実施フロー



『指導救命士の取組と検証結果』

埼玉県央広域消防本部 岡田 正夫

「本部救急課、指導救命士による救急車同乗」

救急現場にて接遇、観察力及び救命処置等の実活動の指導をすることを目的とした。本部救急課指導救命士が管内全救急隊の救急車に同乗し、臨床現場及び年数が浅い救命士の指導、中堅救命士に対する指導力の向上を図るうえで有効であった。同乗した際、チェックリストを使用、または活動内容を評価して帰署後にフィードバックを実施した。実証後のアンケート結果は、「効率的な活動を意識するようになった」、「接遇要領について勉強となった」と多岐に渡り前向きな意見があった。

「救急総合想定訓練」

現場対応能力向上を目的として、全救急隊20隊に救急総合想定訓練を実施した。訓練に関する想定の実施、訓練後のフィードバックは指導救命士が行った。1日の訓練を通じて同一症例のシミュレーションを実施したことで各隊の活動内容が比較できたと同時に効率的な活動について話し合うことができた。この研修実証後は現場滞在時間の短縮と所属別の現場滞在平均時間の差が縮小したことにより、今後手応えを感じた。

「救急隊員特別研修」

救急隊員特別研修は救急隊長として乗務する職員を対象に実施する。研修内容は3名の救急隊員がチームワークと銘打ち、効率的な現場活動を意識したシミュレーション訓練及びワークシートを使用し、傷病者接触からファーストコール開始までを5分以内と目標に位置づけた。その結果、ファーストコール開始平均時間が10.1分から7.7分に短縮されたうえに現場滞在時間も短縮された。

「考察」

これらの研修はそれぞれの目標を定め、基本、応用、効率、チームワークの向上が目的である。研修の効果として昨年度の現場滞在平均時間21分から今年度は17.9分と処置拡大や出動件数増加のなかで短縮していることは評価できる。この研修を通じ、成果ができたことは今後の救急現場に多いに活かせるものだと感じた。同時に、指導救命士という立場において今後教育指導に携わることが指導救命士としての役割である。

応募演題5

多施設、多職種で緊密な連絡を取りつつ横浜市救命士養成所で開催した指導救命士養成教育 横浜市消防局教育課

◆ 神奈川県初の指導救命士養成科開講

平成30年6月に神奈川県で初の「指導救命士養成教育」を横浜市救急救命士養成所で実施（横浜市消防局9名、県下4消防本部6名、計15名）

*多施設・多職種の視点で実施

横浜市MC協議会医師・横浜市消防局指導救命士・日本体育大学救急救命士養成学科教員・横浜国立大学統計学教授・武蔵野大学ストレス対策講師・杏林大学法規専門教授・民間研修講師等を招聘

*メーリング設営

各講師が講義前、講義後に自身の講義内容と効果、受講生の到達レベルや弱点などをメーリングで報告し、養成期間中にも随時、講義内容の修正を加えながら教育を実施した。

◆ MC体制の現状

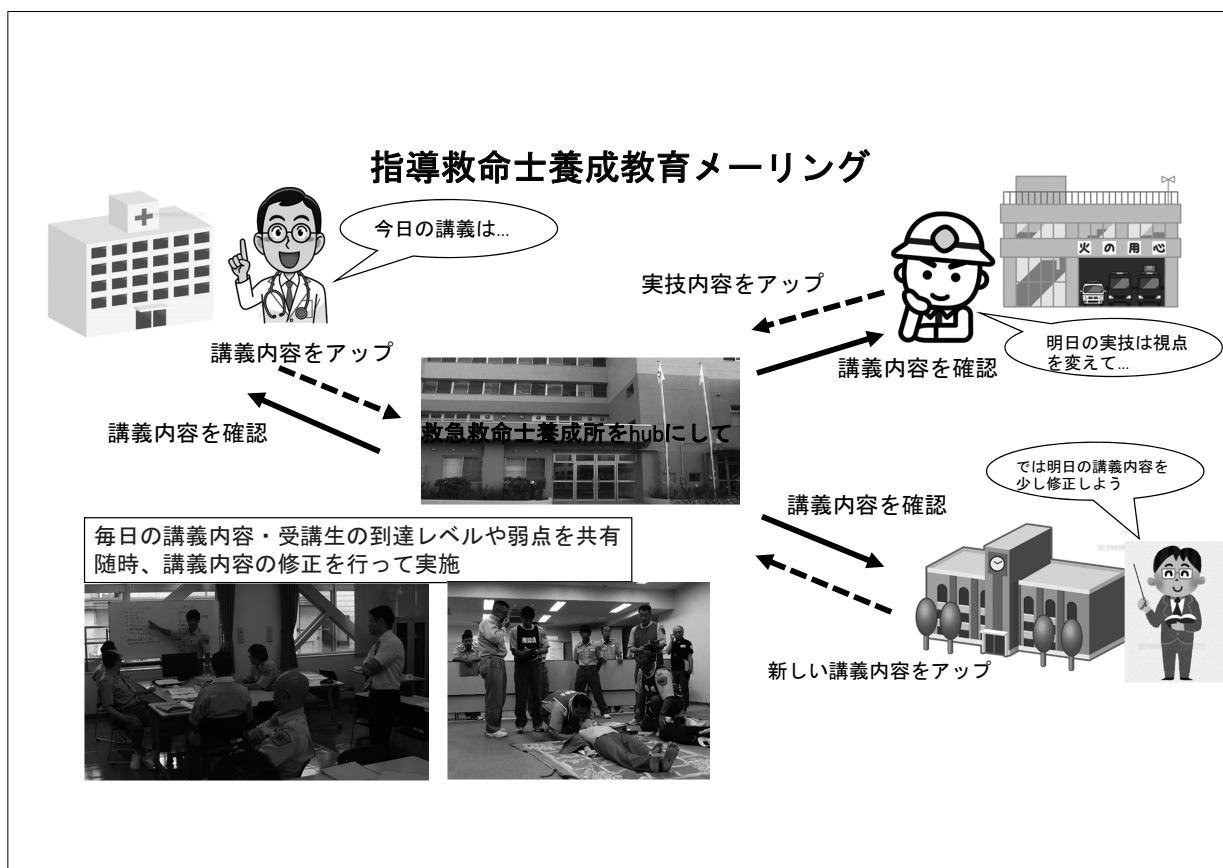
*神奈川県…神奈川県内を5つの区域に分けて地域特性に適したMC協議会・体制で運用されている。

*横浜市…横浜市MC協議会には4つの専門委員会があり、各委員会は救急活動に関する問題点を共有しつつ協働して運営されているが、この委員会に指導救命士が委員として参画し、病院前の具体的な問題点が一層明確となり、PDCAサイクルがさらに活性化されている。

◆ 考察

今回、多職種の講師が各講義内容を共有することにより、内容の重複を避け、到達レベルや弱点に合わせた講義内容への修正を行って実施した。これにより受講生一人ひとりに合った質の高い教育を提供することができた。また、県内の異なるMC体制下で活動する受講生が集まることによりお互いの理解、問題点や指導法の活発な共有に繋がっている。

今回の経験を踏まえて次回以降も講師間の連携を密にすること、他市消防本部を積極的に受け入れることなどにより、よりよい教育を実施することができると考える。



横浜市消防局における指令管制員指導者養成コースについて

<横浜市消防局 司令課>

<現在の課題>

- ① 増え続ける救急件数に対する、より迅速な指令と適切な部隊投入
- ② 救命の第1歩としての質の高い口頭指導

<当局の現状>

- ・指令管制員のうち、救急救命士は2割程度であり、より高い医学的知識・口頭指導技術を備えた指令管制員の養成(教育)が必要

<当局の教育プログラム>

- ① ベーシックコース(新配置職員を対象)
- ② ブラッシュアップコース(配置2年目以降の職員を対象とし、より高度な医学的知識(聴取技術)の修得を目的とする)

～ 指令管制員の質の向上を図るためには日頃から継続的な教育・指導する指導者が不可欠 ～

新たに③として「インストラクターコース」を創設

MC医師から、救急救命士である指令管制員に対し
成人教育の特徴の理解・指導技法・デブリーフィングの進め方を
シナリオシミュレーション後のディスカッションを主として教育



司令センター版『指令管制員に対する指導的救命士』
(インストラクター)の誕生

応募演題7

雪おろし転落事故から地域住民を守る一助として ～我がMCが目指す予防救急の取り組みについて～

魚沼地域MC協議会（新潟県）

➤ はじめに

全国でも有数の豪雪地帯である魚沼地域、積雪量は多いところで3mを優に超える。屋根に降り積もった雪をスコップ等で取り除く作業を「雪下ろし」といい、自宅の雪下ろしは生活の一部となっている。

※ 雪下ろし…防寒具を着て長靴を履いて行う雪上作業は、重労働であり、足元が滑りやすく不安定のため、大変な危険も伴っている。

➤ 現状

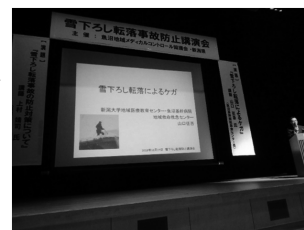
雪下ろしにより、高さ8mから10mくらいから転落する外傷事故が毎年のように発生している。負傷程度も様々であるが、死亡や重度後遺症につながる場合も少なくない。

事故防止の対策も行政機関、民間企業等が様々な手法で行っているが、救急を含む医療を取り入れたものなどは行われていない現状である。



➤ 創意工夫

そこで、事故の形態、負傷した場合の損傷や程度を医療の観点から提示して、具体的な危険性、社会的損失の多さを認識してもらい、安全対策を周知することで、誰もが安全に雪下ろしができるように訴えて行くものとして、昨年度から我がMCが主催となって、「雪下ろし転落事故防止講演会」と称して開催することとした。



➤ 有効性と実現性

雪下ろしによる転落事故を未然に防ぐことにより、救急出動件数の削減や社会的損失、特に社会保障費の抑制が見出すと考える。この効果がどのように表れてくるかは、具体的に見えてこない部分もあるが、会を重ねることで事故防止の啓発が行える。

➤ 我がMCの取り組み

当MC協議会は3つの消防本部で構成されている。平成27年に地域の医療再編が行われ、地域内に救命救急センターが設置されたことにより、重傷者の搬送が集中するようになった。傷病者の背景を把握し救急事故を未然に予防するための方策を検討し、地域に啓発する取り組みを進めている。

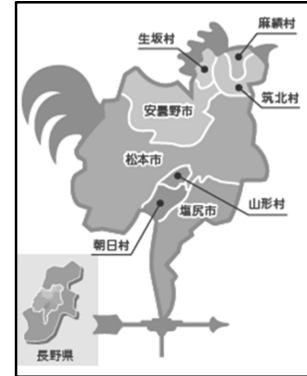
我々の取り組みが、救急出動件数の削減や社会的損失の抑制に、どれくらい寄与できるかは未知数であるが、継続することにより広く周知を行えば、きっと目的は達成できるものとする。

「遠隔地におけるアナフィラキシーショックが疑われる傷病者の初期対応について」

団体名：松本広域圏救急・災害医療協議会メディカルコントロール委員会

1 趣旨

ハチ刺され等によるアナフィラキシーショックに対し、二次医療機関に30分以上要して搬送した症例が事後検証会で取り上げられ、現場から最も近い初期医療機関で、より早期にアドレナリン投与等の初期対応実施後に搬送できる体制を、MC協議会と共に構築した。



2 有効性

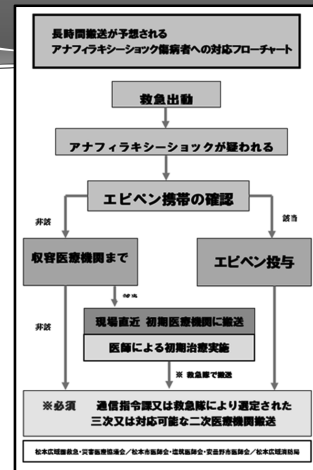
松本広域消防局は、東西に52km、南北に72kmに広がり、山間部を含んでいるため、三次医療機関まで1時間を要す事例もあることから、初期医療機関の協力対応により状態を安定化してからの搬送が可能となった。

3 体制構築までの経過

- (1) MC協議会を通じて地域医師会の協力のもと、初期医療機関へ対応可否のアンケートを実施した。
- (2) アンケート結果を基に、MC協議会と作成した「フローチャート」及び「初期対応手順」を協力可能初期医療機関に配布した。
- (3) MC協議会で承認後、運用を開始した。

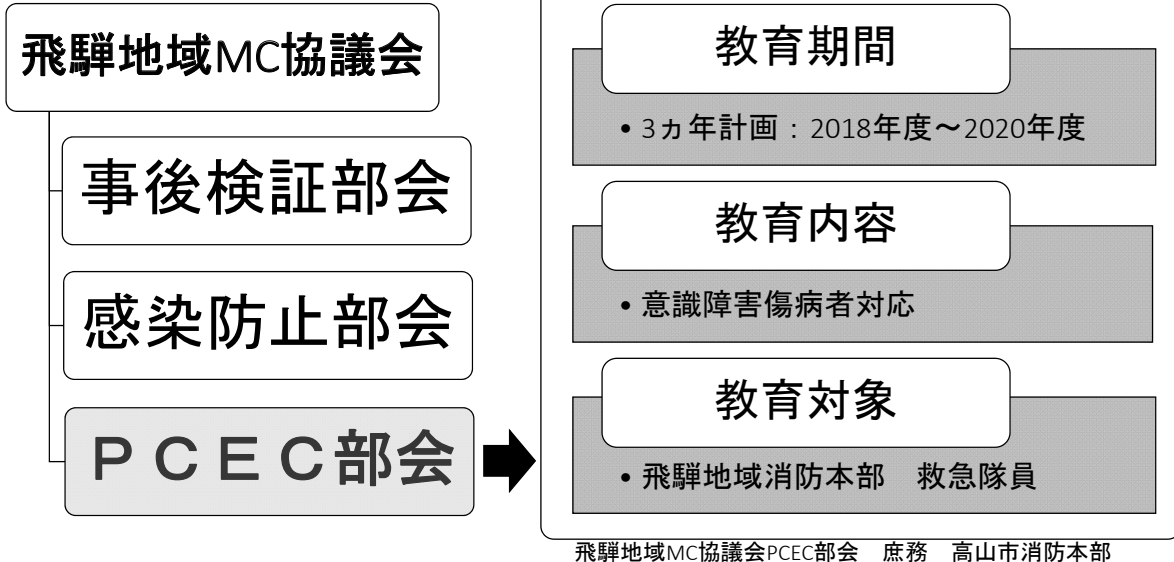
4 結語

管轄範囲が大きい(東京都とほぼ同じ面積である)が、山間地を抱える松本広域消防局管内において、ドクターヘリが天候不良等により対応が不可能な場合であっても初期対応ができる体制構築は、MC協議会、地域医師会の全面協力を得られたことが、大きなポイントとなった。



応募演題9

飛騨地域メディカルコントロール協議会 PCEC部会による
地域消防本部救急隊への意識障害教育について



教育目標と概要

1年目（2018年） PCEC概念理解と生理学的評価の充実		
【講義】 PCEC概念・手順	【DVD】 活動展示	【実技】 生理学評価／意識評価、内因性L&G
↓		
2年目（2019年） PCEC活動手順及び観察方法の習得		
効果的な情報収集	【実技】 想定訓練による観察手順・観察方法の習得	
↓		
3年目（2020年） 想定訓練（反復）、原因（病態）推測の理解		
【実技】 意識障害傷病者想定訓練	ワイドトリアージの概念、原因（病態）推測	

飛騨地域MC協議会PCEC部会 庶務 高山市消防本部

地域MCの充実・強化にも繋がる 救急事後検証を目指す

和歌山県紀南地域メディカルコントロール協議会

会 長	南和歌山医療センター	川崎 貞男
事務局	田辺市消防本部	横矢 悟
	田辺市消防本部	栗原 誉典

地域事後検証での問題点

- ・ 構成消防本部（7消防本部）の検証要領及び様式が異なり、検証に差異がある。
- ・ 検証要領及び基準が異なるため、改善点の共有が困難である。

検討（同じ目線での指導が行えるために）

- ・ 検証要領、様式及び検証基準の統一は有効なのか
- ・ 構成消防本部での統一は可能なのか
- ・ 統一することにより、訓練指導等の基準になるのではないか



結果

- ・ 各消防本部の検証要領、様式及び検証基準を統一した。
- ・ 各消防本部の改善点が共有し易くなった。
- ・ 検証の精度や効率が向上しつつある。
- ・ 医師から二次検証の時間的効率が向上したとの意見を頂いている。
- ・ 消防本部内に限らず、地域内で指導救命士の活躍する場が得られた。



今後の展望

構成消防本部が統一された検証要領、様式及び検証基準を使用しているため、他本部に出向き本部検証会議への参画が可能となり、地域MCの充実・強化に期待している。

昨年度は、田辺市消防本部メディカルラリーを開催し、訓練指導者として各消防本部の指導救命士が参加した。今後も、この様に本部の枠を超えた指導が可能である。

まとめ

- ・ 救急事後検証要領、様式及び検証基準の統一は、地域が一丸となるための方策であった。
- ・ 「指導救命士」制度が構築され、地域MCの充実を図るためにも指導救命士が中心となり、様々な取組みを掲げ、各消防本部の指導救命士が活躍する地域MCを目指したい。

応募演題 11

コンビネーショントレーニング から救命の向上へ

美作MC課題

- ①職員数が少ないため、救急救命士に限らず、一般隊員も救急業務を行っている
- ②山間部地域が広く、救急搬送に時間を要する
(平均搬送時間=約40分)
- ③救急救命士の充足率が低く、救命士が搭乗しない隊(0命士隊)で活動することがある



コンビネーショントレーニングによる救急技術の向上!

救急隊員の現場活動における観察・判断・処置、救急救命士の特定行為スキルアップを目的としたシミュレーション訓練。

津山圏域消防組合

消防士長 藤井 琢也

コンビネーショントレーニングの内容

- ・美作MC協議会に所属する3消防本部(津山、美作、真庭)から各2チーム選出し計6チームでシミュレーション訓練を実施。
- ・津山医師会の医師及び美作MC検証医を招き、救急活動を検証をしてもらう。
- ・指導救命士が企画や運営等を担い、指導救命士が考案した想定を実施。
- ・リアルタイムで患者のバイタル変化が確認出来るようモニターをスクリーンで映している。
- ・救急隊の活動が細部まで見えるようにカメラで撮影しスクリーンに映している
- ・約20分のシミュレーション、検証医等による約10分間のフィードバックを実施。

コンビネーショントレーニング

- ① チーム医療の増進、チームの構築に繋がる
- ② 3消防本部間で技術・知識を共有できる
..救急救命士及び救急隊員のスキルアップ
- ③ 医師と顔が見える関係の構築ができる
..検証医の意見を聞くことで現場に反映できる

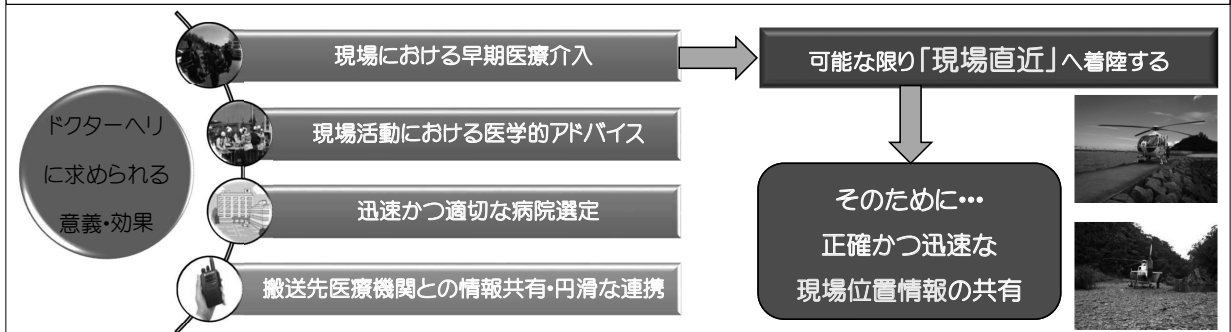


美作MC地域全体の救急の質の向上に繋がる!!



応募演題 12

平成 30 年度 第 2 回全国メディカルコントロール協議会連絡会 ベストプラクティス2018 早期医療介入のために ～ 順次指令システムを活用した位置情報共有 ～ 浦添総合病院救命救急センター 米盛 輝武



従来の位置情報共有方法・活動戦略の課題？

- 運航管理担当者が要請入電時に迅速に把握
- ランデブーポイントでの接触またはピックアップ方式
- 現場活動隊との念入りな無線交信

実際は…

- 運航管理担当者の負担が大きい
- 患者接触まで時間を要する
- 無線環境に左右される、現場隊の負担増大など課題

従来の戦略のほかにも有用な手段はあるのか？

- ☑ AVMなどの活用 → 実装困難・高価・データ更新の問題
- ☑ ドクターヘリと共有できるほかの通信 Device → 高価
- ☑ 順次指令システムからのメール配信を活用 → 実現可能



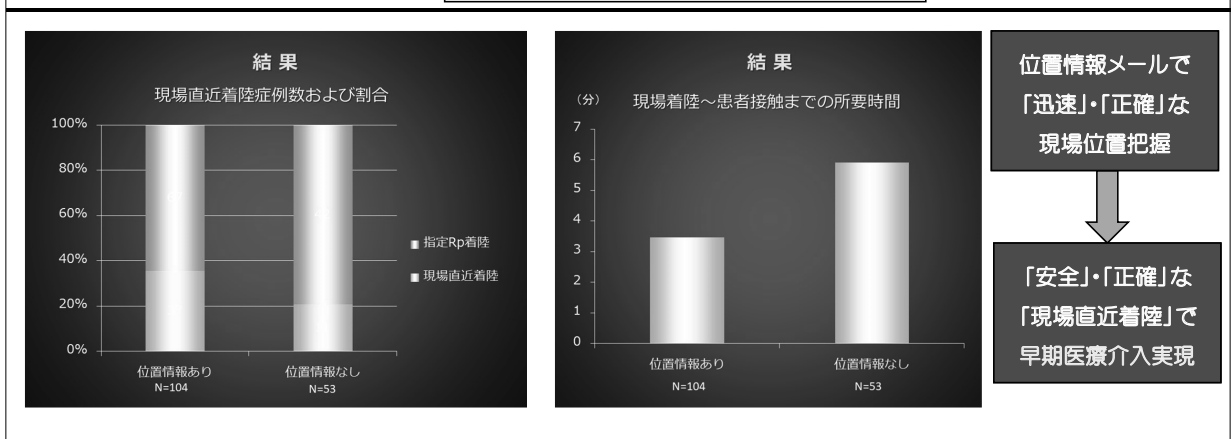
- 沖縄県ドクターヘリ
- 沖縄県消防指令センター
- 沖縄県MC協議会
- 沖縄県南部地区MC協議会
- 沖縄県中部地区MC協議会
- 沖縄県北部地区MC協議会

➔ 位置情報メール運用の調整

ドクターヘリ要請時に消防指令センターからメールを同意送信

➔

メールの位置情報に従って現場上空へアプローチし、地上と無線交信をおこない安全確保後に現場直近着陸



第2部 講演資料

○講演1

救急救命処置検討委員会における救急救命処置の追加、除外等に関する
提案状況について

救急救命処置検討委員会 田邊 晴山……………P. 49

○講演2

ILCOR CoSTR 2015 後の心肺蘇生に関する学術的知見について

救急救命九州研修所 教授 畑中 哲生……………P. 58

平成31年1月25日（金）
香川県高松市

平成30年度 全国デジタルコントロール協議会連絡会（第2回）

救急救命処置検討委員会における 救急救命処置の追加、除外等に関する 提案状況について

日本救急医療財団 救急救命処置検討委員会
田邊晴山、坂本哲也

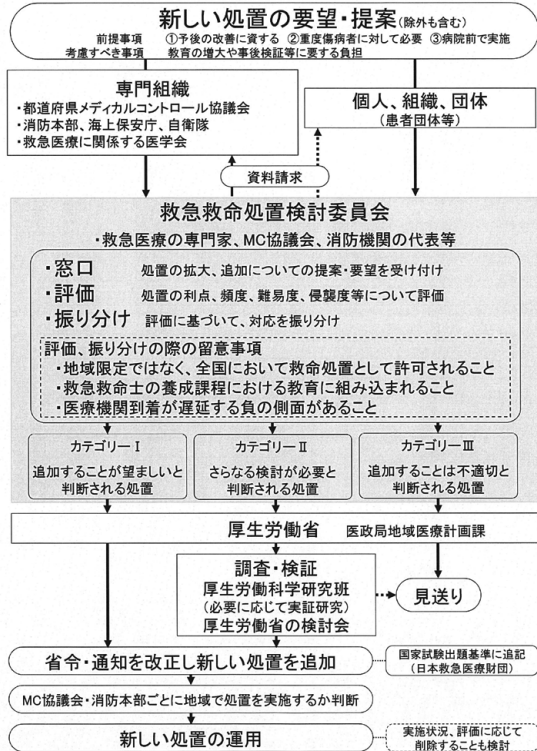
日本救急医療財団 行岡哲男

提案の募集

- 医学、医療は絶えず進歩・発展している。病院に到着する前までに行われる医療、すなわち病院前救急医療もその例外ではない。
- 救急救命処置についても、病院前救急医療の進歩、発展に応じて適切に見直す必要がある。
- 日本救急医療財団は、厚生労働省からの委託※を受け、「救急救命処置検討委員会」を設置し、救急救命処置の追加、除外等に関する提案について募集した。

※ 病院前医療体制充実強化事業
(救急救命士が行う救急救命処置に関する検討事業)

救急救命処置の追加、除外等の基本的な手順、流れ(概要)



※1. 平成26年度厚生労働科学研究「救急救命士の処置範囲に係る研究」 (研究代表者 野口豪) 別添を一部修正 ※2. この内容は今後変更があることもあります。

委員長	坂本 哲也	帝京大学医学部救急医学講座主任教授
委員	阿部 和彦	仙台市消防局救急担当部長 (全国消防長会救急委員会事務局)
委員	郡山 一明	救急救命九州研修所教授
委員	嶋津 岳士	大阪大学大学院医学系研究科救急医学教授
委員	田中 秀治	国土舘大学大学院救急システム研究科教授
委員	田邊 晴山	救急救命東京研修所教授
委員	長島 公之	公益社団法人 日本医師会常任理事
委員	松月 みどり	一般社団法人 日本救急看護学会代表理事
委員	溝端 康光	大阪市立大学大学院医学研究科救急医学教授
委員	森住 敏光	東京消防庁救急部長 (全国消防長会救急委員会常任委員・参与)
委員	横田 裕行	日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野大学院教授
オブザーバー	飯塚 悠祐	厚生労働省医政局地域医療計画課 病院前医療対策専門官
オブザーバー	小谷 聡司	総務省消防庁救急企画室救急専門官
オブザーバー	山下浩一郎	海上保安庁警備救難部救難課医療支援調整官
オブザーバー	行岡 哲男	一般財団法人 日本救急医療財団理事長

救急救命処置検討委員会の役割

- 救急救命処置の追加、除外についての提案の受付
- 提案の評価
- 評価に基づいた振り分けと厚労省への報告

提案の概要

- 期間：平成30年9月3日～10月31日
- 方法：財団ホームページからの電子登録
- 提案者の要件
 - ①都道府県・地域MC協議会、消防機関、海上保安庁
 - ②次の学会・団体 ※
 - ・公益社団法人日本医師会 ・一般財団法人救急振興財団 ・全国消防長会
 - ・公益財団法人日本麻酔科学会 ・一般社団法人日本救急医学会
 - ・全国保健所長会 ・一般社団法人日本臨床救急医学会 ・全国衛生部長会

募 集 結 果

登録概要

- 受付数 15件
 - ・ 既存の処置の見直し・・・3件
 - ・ 既存の処置の削除・・・0件
 - ・ 新規の提案・・・・・・・・12件

- 提案者の状況
 - ・ 消防本部・・・・・・・・10件
 - ・ MC協議会・・・・・・・・2件
 - ・ 関連学会・団体・・・・・・・・3件

※1つの提案者からの最大提案数 6件

提案内容

(1) 既存の処置の見直し

- ① 特定行為「乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液」、「エピネフリンの投与」の包括指示化（1提案）
- ② 特定行為「食道閉鎖式エアウェイ、ラリンゲアルマスクによる気道確保」（※気管内チューブを除く）の包括指示化（1提案）
- ③ 特定行為「乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液」、「エピネフリンの投与」、「食道閉鎖式エアウェイ、ラリンゲアルマスクによる気道確保」（※気管内チューブを除く）の包括指示化（1提案）

提案内容

(2) 新規

- ① けいれんに対するジアゼパム坐剤の使用（1提案）
- ② 電気ショック抵抗性の心室細動等に対するアミオダロン塩酸塩製剤の静脈内投与（1提案）
- ③ 急性冠症候群に対するニトログリセリン製剤の口腔内投与（1提案）
- ④ 静脈路確保困難事例に対する骨内医薬品注入キットによる骨髄輸液路の確保（1提案）

提案内容

(2) 新規

- ⑤ 外傷に対する超音波画像診断装置の使用による評価 (2提案)
- ⑥ アナフィラキシーに対する自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用 (1提案)
- ⑦ アナフィラキシーに対するアドレナリン注射液の筋肉内投与 (1提案)
- ⑧ 事故抜去事例に対する気管切開チューブの再挿入 (1提案)

提案内容

(2) 新規

- ⑨ 外傷による出血性ショックに対するトラネキサム酸の静脈内投与 (1提案)
- ⑩ 急性冠症候群等に対する心電計の使用による12誘導心電図の測定と伝送 (1提案)
- ⑪ 急性呼吸不全に対するマスクと人工呼吸器による非侵襲的人工呼吸 (1提案)

※類似提案の整理や対象の明確化、薬剤名の一般名化などのため、提案者からの提案名とは異なる。

評 価

提案された処置の評価（手順の概要）

1. 外形的な確認

- (1) 提案者名、連絡先などの記載漏れはないか？
- (2) 提案者としての要件を満たしているか？
- (3) 資料の明らかな添付漏れはないか？ など
→必要に応じて提案者に確認、修正を依頼する。

2. 新規性、類似性の確認と記載状況等の確認

- (1) 新規性、類似性の確認
- (2) 記載状況等の確認 など
→必要に応じて提案者に確認、修正を依頼する。
行政（厚生労働省、消防庁など）にも問い合わせる。

提案された処置の評価（手順の概要）

3. 提案内容の精査

効果、実施頻度、難易度、侵襲度、危険度、経費、
諸外国の実施状況など

- (1) 記載内容や資料内容の正確性の確認
- (2) 追加で必要な情報の有無の確認
- (3) ネガティブ情報の確認
- (4) 実効性の確認（医療器具、医薬品の入手の可否なども含む）
など

→必要に応じて提案者に確認、修正を依頼する。
行政や専門家などにも問い合わせる。

評価に基づいた振り分け

● カテゴリーⅠ

新たな研究や厚生労働省の検討会による審議を追加しなくても救急救命処置として追加、除外、見直すことが望ましいと判断する。

● カテゴリーⅡ

救急救命処置として追加、除外、見直すためには厚生労働科学研究班等による研究の追加もしくは厚生労働省の検討会等による審査によるさらなる検討が必要と判断する。

● カテゴリーⅢ

追加することは不適切であると判断される処置

評価に基づいた振り分け

- 未了

提案内容について精査中であり、委員会としての判断に至っていない。

※当事業が継続された場合、次年度、引き続き検討する。

- 差戻し

必要な情報やそれを裏付ける資料が十分に示されていないため、提案内容の評価を行うことができない。

など

→ 振り分け結果は年度内に公表の予定



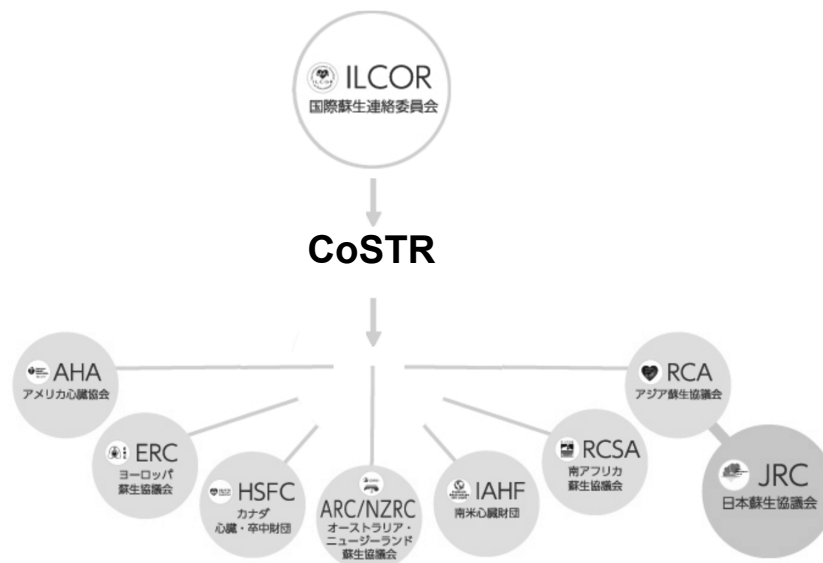
ILCOR CoSTR 2015後の 心肺蘇生に関する学術的知見について

救急救命九州研修所

畑中哲生



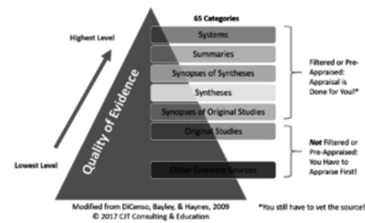
蘇生ガイドラインの枠組み



エビデンス評価

- トピックごとの関連論文
- Quality評価

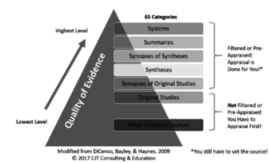
- 研究手法: RCT vs Cohort
- バイアス・交絡
- n
- 効果の大きさ・用量依存性



GRADE system

- 転帰ごとのquality評価
- 転帰の設定

- 社会復帰: 重大
- 1か月生存: 重大
- 自己心拍再開: 重要



GRADE system

	社会復帰	生存	心拍再開
	Christenson J, 2009;1241.	Christenson J, 2009;1241.	
	Sell RE, 2010;822.	Sell RE, 2010;822.	Sell RE, 2010;822.
		Vaillancourt C, 2011;1501.	Vaillancourt C, 2011;1501.
Certainty	Low	Low	Moderate

GRADE system

Study Design	Certainty of Evidence	Lower if	Higher if
RCT	High Moderate	Risk of bias Inconsistency	Large effect Dose response
Observational study	Low Very low	Indirectness Imprecision Publication bias	Confounders

CoSTR 2017 updates

■ C:V ratio

- bystander: CCのみ or 30:2
- 口頭指導: 胸骨圧迫のみ
- 院内CPA 30:2 → 非同期
- EMS: 30:2 or 非同期BVM

Minimally Interrupted Cardiac Resuscitation

- 患者接触
- 胸骨圧迫のみのCPR 2分x3サイクル
- 必要に応じ電気ショック
- その後速やかに気管挿管

CoSTR 2017 updates

■ 抗不整脈薬(VF/VT)

- アミオダロン or リドカイン
- No マグネシウム
- ブレチリウム? ニフェカレント? ソタロール?

(JRCホームページで公開予定)



CoSTR 2018 updates

- 通信指令員による心停止の認識
- CPR中のリズムチェックのタイミング
- 血管収縮薬(アドレナリン)



CoSTR 2018 updates

ORIGINAL ARTICLE

A Randomized Trial of Epinephrine in Out-of-Hospital Cardiac Arrest

G.D. Perkins, C. Ji, C.D. Deakin, T. Quinn, J.P. Nolan, C. Scomparin, S. Regan,
J. Long, A. Slowther, H. Pocock, J.J.M. Black, F. Moore, R.T. Fothergill, N. Rees,
L. O'Shea, M. Docherty, I. Gunson, K. Han, K. Charlton, J. Finn, S. Petrou,
N. Stallard, S. Gates, and R. Lall, for the PARAMEDIC2 Collaborators*

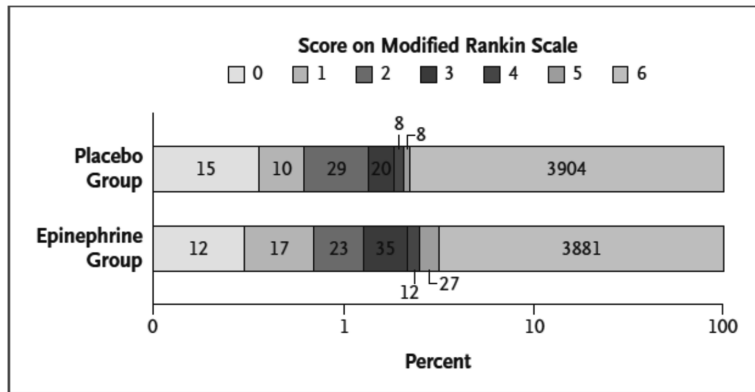
CoSTR 2018 updates

ORIGINAL ARTICLE

A Randomized Trial of Epinephrine in Out-of-Hospital Cardiac Arrest

G.D. Perkins, C. Ji, C.D. Deakin, T. Quinn, J.P. Nolan, C. Scomparin, S. Regan, J. Long, A. Slowther, H. Pocock, J.J.M. Black, F. Moore, R.T. Fothergill, N. Rees, L. O'Shea, M. Docherty, I. Gunson, K. Han, K. Charlton, J. Finn, S. Petrou, N. Stallard, S. Gates, and R. Lall, for the PARAMEDIC2 Collaborators*

Placebo controlled randomized trial



	AdrnIn (n=4045)	Saline (n=3999)
Survival	3.2%	2.4%
Neurologically intact	2.2%	1.9%

CoSTR 2018 updates

ORIGINAL ARTICLE

A Randomized Trial of Epinephrine in Out-of-Hospital Cardiac Arrest

G.D. Perkins, C. Ji, C.D. Deakin, T. Quinn, J.P. Nolan, C. Scomparin, S. Regan, J. Long, A. Slowther, H. Pocock, J.J.M. Black, F. Moore, R.T. Fothergill, N. Rees, L. O'Shea, M. Docherty, I. Gunson, K. Han, K. Charlton, J. Finn, S. Petrou, N. Stallard, S. Gates, and R. Lall, for the PARAMEDIC2 Collaborators*

Placebo controlled randomized trial

- Primary outcomeは "survival"
- 外傷性心停止 (1.6%) を含む
- 薬剤投与が遅い(接触後15分)
- 生存率が低い (2.4-3.2% vs 6.7%)

アドレナリン

ORIGINAL ARTICLE

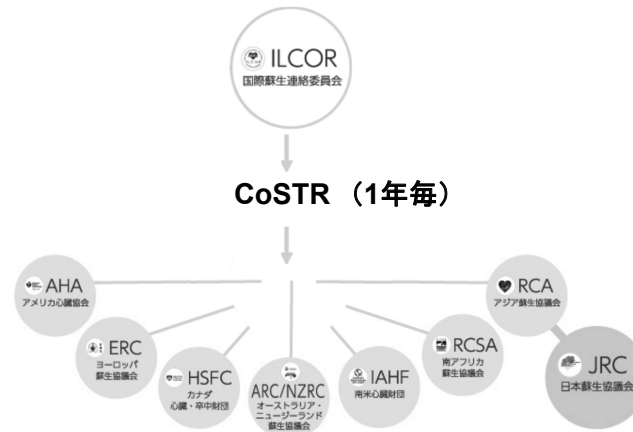
A Randomized Trial of Epinephrine in Out-of-Hospital Cardiac Arrest

G.D. Perkins, C. Ji, C.D. Deakin, T. Quinn, J.P. Nolan, C. Scomparin, S. Regan, J. Long, A. Slowther, H. Pocock, J.J.M. Black, F. Moore, R.T. Fothergill, N. Rees, L. O'Shea, M. Docherty, I. Gunson, K. Han, K. Charlton, J. Finn, S. Petrou, N. Stallard, S. Gates, and R. Lall, for the PARAMEDIC2 Collaborators*

- アドレナリンはおそらく有効
- 遅ければ効果は薄い
- 投与量は少なめがよい？

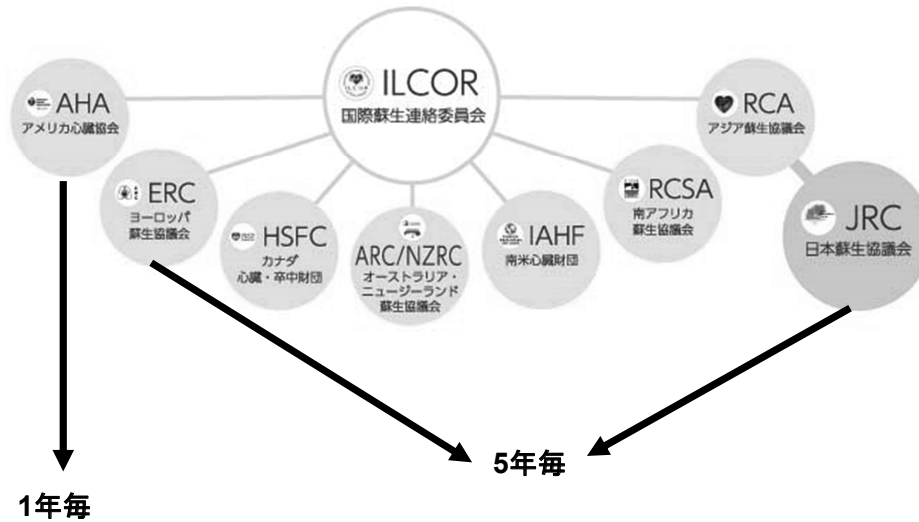
G2020のtime frame

- CoSTR: 1年毎 → 5年毎



G2020のtime frame

■ 各国のガイドラインは？



G2020のtime frame

- ### ■ JRCでは：
- ・ ガイドラインは5年毎
 - ・ CoSTR updateを吟味・翻訳
 - ・ ホームページに公開



第3部 情報提供

○消防庁からの情報提供

消防庁救急企画室

救急専門官 小谷 聡司……P. 69

○厚生労働省からの情報提供

厚生労働省医政局 地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室

病院前医療対策専門官 飯塚 悠祐……P. 79

平成30年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回) 消防庁からの情報提供

アウトライン

- I. 救急業務の現状
- II. メディカルコントロール体制に関する実態調査結果
- III. 平成30年度 救急業務のあり方に関する検討会



消防庁 救急企画室 救急専門官 小谷 聡司

I. 救急業務の現状

- 救急出動件数の増加と比較して、救急隊数は増加していない
- 10年前と比較して病院収容時間・現場到着時間ともに延伸傾向は続いている

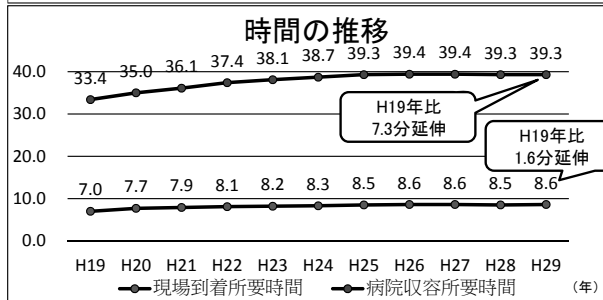
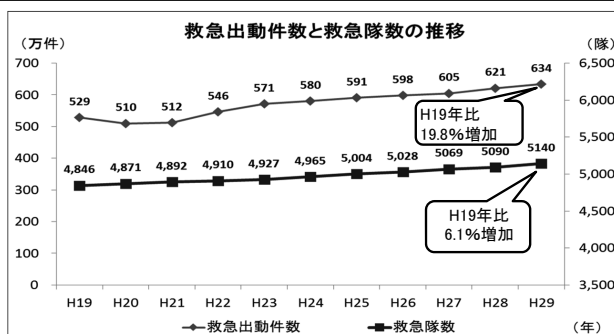
○ 平成28年中の救急出動件数は約634万件で10年前と比較して約19.8%増加。
(昨年度比較で約13万件の増加)

○ 救急隊数は、平成29年4月1日現在5,140隊で10年前と比較して約6.1%の増加。



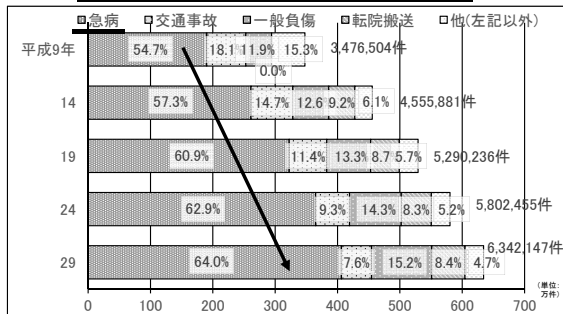
○ 平成28年中の病院収容所要時間は10年間で7.3分延伸している。
(昨年度比較では同程度)

○ 平成28年中の現場到着所要時間は10年間で1.9分延伸している。
(昨年度比較で約0.1分の延伸)

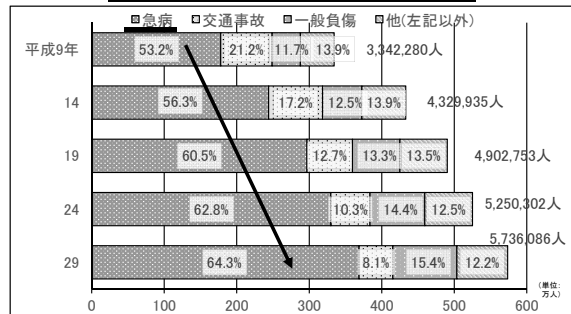


○ 救急自動車による出動件数及び搬送人員ともに急病・一般負傷は増加し、交通事故は減少傾向

事故種別の救急出動件数の推移

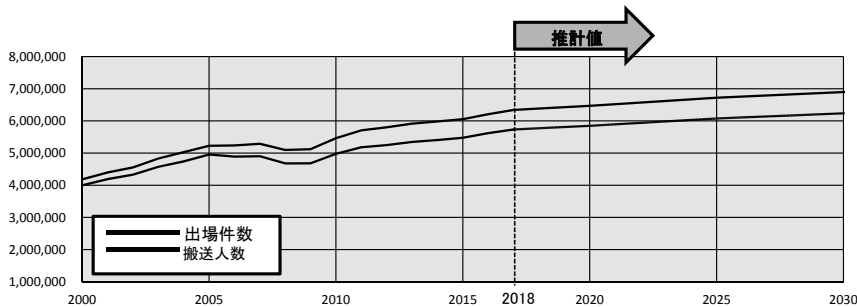


事故種別の搬送人員数の推移



※(件数)急病 9.3%増 一般負傷3.3%増 交通事故10.5%減
 ※(人員)急病11.1%増 一般負傷3.7%増 交通事故13.1%減

救急出動件数・救急搬送人員の推移と将来推計

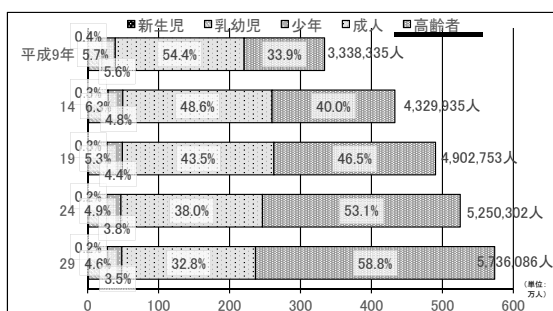


※今後も、高齢化の進展等を背景とし需要の増加が見込まれている (平成30年版消防白書より抜粋)

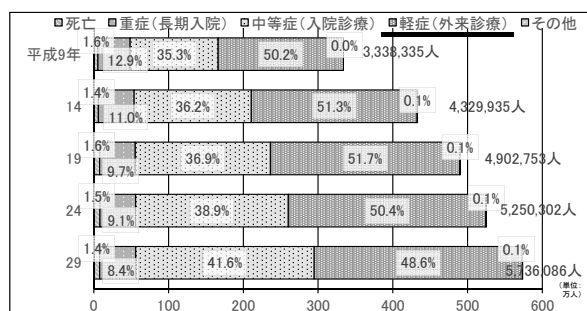
○ 軽症者の割合は20年間ほぼ一定で、高齢者の搬送割合が増加

傷病程度の推移

年齢区別の搬送人員数の推移



傷病程度の推移



・傷病程度の定義

- 死亡 : 初診時において死亡が確認されたもの
 - 重症(長期入院) : 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 - 中等症(入院診療) : 傷病程度が重症または軽症以外のもの
 - 軽症(外来診療) : 傷病程度が入院加療を必要としないもの
 - その他 : 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、もしくはその他の場所に搬送したもの
- ※傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれている。

- 照会回数4回以上の事案については、件数・割合いずれも全ての類型において減少
- 現場滞在時間30分以上の事案については、救命救急センター搬送事案が件数・割合ともに増加

医療機関への受入照会回数4回以上の事案の推移

	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
重症以上傷病者搬送事案	15,132	3.4%	14,114	3.2%	11,754	2.7%	10,039	2.3%	9,834	2.2%
産科・周産期傷病者搬送事案	678	4.3%	617	3.8%	549	3.7%	540	3.5%	475	3.3%
小児傷病者搬送事案	9,528	2.7%	8,708	2.4%	8,570	2.4%	7,527	2.0%	6,442	1.7%
救命救急センター搬送事案	27,528	3.9%	26,740	3.6%	25,411	3.3%	20,248	2.6%	20,262	2.5%

現場滞在時間30分以上の事案の推移

	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
重症以上傷病者搬送事案	23,950	5.4%	23,500	5.3%	22,379	5.2%	22,104	5.0%	22,620	5.0%
産科・周産期傷病者搬送事案	1,333	8.4%	1,267	7.8%	1,194	7.9%	1,161	7.5%	1,112	7.8%
小児傷病者搬送事案	11,986	3.5%	11,423	3.2%	12,039	3.4%	12,237	3.2%	11,515	3.1%
救命救急センター搬送事案	41,777	5.9%	45,208	6.1%	47,030	6.1%	40,213	5.1%	42,491	5.2%

(備考) 1 「平成29年中の救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査」より作成

2 重複あり

3 割合については、それぞれの類型の総搬送人員に対する割合

4 小数点第二位を四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある。

(平成30年版消防白書より抜粋)

Ⅱ. メディカルコントロール体制に関する実態調査結果

- i) 指導救命士に関して
- ii) 救急救命士の再教育に関して
- iii) テロ災害等への対応力向上について

Ⅲ. 平成30年度 救急業務のあり方に関する検討会

高齢化の進展等を背景とする救急需要の増大に対応し救命率を向上させるため、「救急業務の円滑な実施と質の向上」や「救急車の適正利用の推進」等について検討を行う。

救急業務の円滑な実施と質の向上	救急車の適正利用の推進	その他
<p>1. 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施 (検討部会設置) 高齢者の救急要請が増加する中、救急隊が傷病者の家族等から心肺蘇生の中止を求められる事案が生じていることから、消防本部等の取組状況の実態調査、課題の整理及び検討を行う。</p> <p>2. 救急活動時間延伸の要因分析 救急需要の増大を背景として、救急活動時間が延伸傾向にあり、救命率への影響が懸念されることから、救急活動時間延伸の要因分析及び短縮に向けた検討を行う。</p>	<p>3. #7119(救急安心センター事業)の充実 #7119(救急安心センター事業)について、共通の統計項目を定め、実施団体の事業効果を測定し、一層の普及につなげるとともに、事業の検証及び改善を促し、効率的・効果的な事業運営を推進する。</p> <p>4. 緊急度判定の実施 (WG設置) 119番通報時・救急現場における緊急度判定の教育体制及び対応マニュアル等の検討を行うとともに、平成31年度の検証に向けた効果的測定方法の検討を行う。</p>	<p>5. 救急隊の感染防止対策 (WG設置) 近年、感染症の国際的な感染拡大が懸念されていることから、救急隊の感染対策の強化を図るため、救急隊の感染対策マニュアルの作成等について検討を行う。</p> <p>6. 救急業務に関するフォローアップ 全国の消防本部における救急業務の取組状況について、都道府県及び消防本部を個別訪問し、必要な助言を行い、救急業務の円滑な推進に資するための支援を行う。</p>

1 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施

(1) 救急現場における心肺蘇生を望まない傷病者への対応の現状

傷病者の家族等から本人の心肺蘇生の中止の意思を示される事案

救急現場において、傷病者の家族等から本人の心肺蘇生の中止の意思を示される事案が生じており、一刻を争う差し迫った状況の中、救急隊が蘇生処置の中止及び救急搬送の判断に苦慮することが課題となっている。



○救急隊員の17%が傷病者本人がリビングウィル等の書面によって心肺蘇生を希望しない意思を示した心肺停止事例を経験。(全国の救急隊員295名に対してアンケート調査)

「救急医療体制の推進に関する研究(救急業務における心肺蘇生の開始、中止に関わる現状に関するアンケート調査結果)」
 (平成25年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業))

○各消防本部においてDNARを表明している傷病者への救急隊の対応が異なっている。

「救急医療体制の推進に関する研究(消防本部における傷病者等が救命処置を希望しない場合の心肺蘇生の実施についての状況調査報告書)」
 (平成27年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業))

1 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施

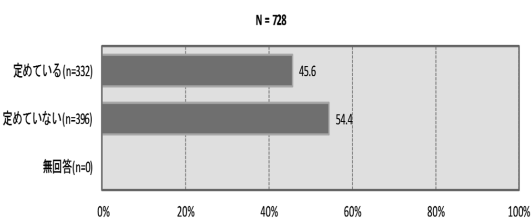
(2)心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査

① 心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査結果(速報版)

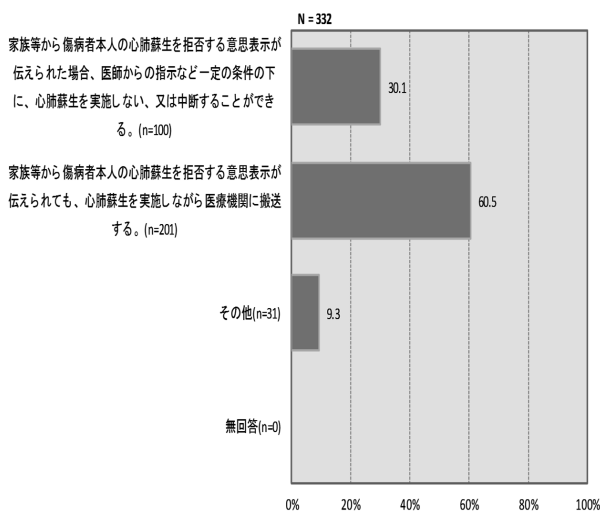
目的: 救急要請を受け現場に出動した際に、傷病者は心肺停止状態であるが、傷病者本人が心肺蘇生行為を拒否する意思表示をしていることを家族等から示され、心肺蘇生行為や搬送を拒否される事案が発生している。

そういった事案経験の有無や実際の救急現場における対応、メディカルコントロール協議会におけるプロトコルへの反映、また、事後検証の有無について実態調査を行う。

心肺機能停止状態である傷病者の家族等から、傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしたことを伝えられた場合の対応方針について



対応方針を定めていると回答した本部の対応方針の内容について

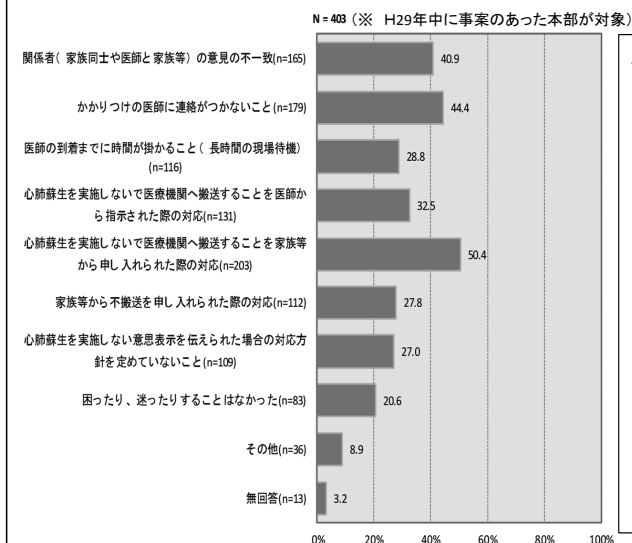


1 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施

(2)心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査

② 心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査結果(速報版)

家族等から傷病者本人が心肺蘇生を拒否する意思表示をしていたことを伝えられた事案で、困ったり、迷ったりしたこと(複数回答)



主な「その他」の具体的な内容

- ・ 意思表示の書面がなく、家族等の口頭のみで本人の意思として判断してよいか。
- ・ 家族間のDNARに対する認識不足または認識の相違により、DNAR意思確認が不明確となること。
- ・ 施設で家族と話し合いができていない。
- ・ 施設における意思決定者の存在が曖昧。また、本人の意思決定の時期(タイミング)の問題(例:数年前の意思決定)。
- ・ 車内収容後または病院到着後にDNARオーダーがあることを伝えられた。
- ・ 各関係者への確認による現場滞在時間の延長や家族等の意思と反する活動について理解への説明や説得方法に不安がある。
- ・ 遠方のかかりつけ病院に搬送することを要望された。

1 傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施

(3) 今年度の検討

検討部会の概要

第3回検討部会(9月5日(水)開催)

○検討内容

➤ 実態調査結果について

心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査結果(速報版)
消防本部票(728本部)/地域MC協議会票(251団体)/都道府県MC協議会票(47団体)

➤ 論点(案)について

第4回検討部会(10月24日(水)開催)

○検討内容

➤ とりまとめの方向性について

とりまとめの方向性(案)

➤ 意見交換

第5回検討部会(12月13日(木)開催)

○検討内容

➤ 医療政策における在宅医療の位置づけ

➤ とりまとめの方向性(案)

➤ 意見交換

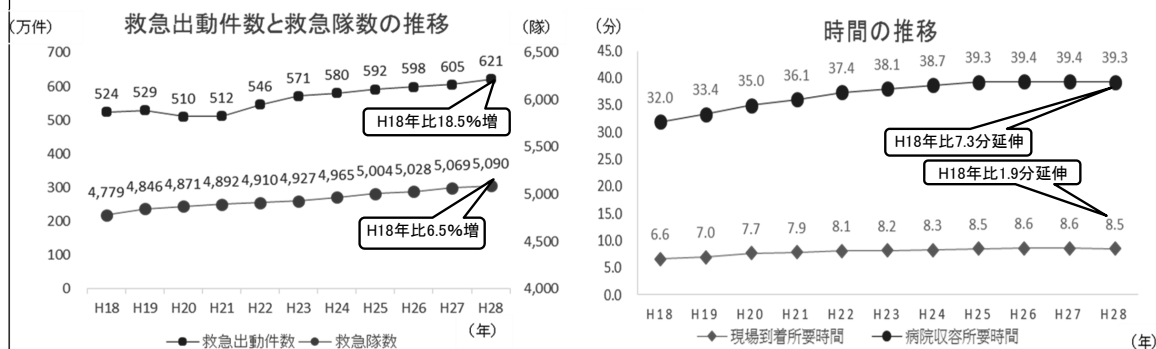
2 救急活動時間延伸の要因分析

(1) 背景・目的

○ 救急出動件数は、平成17年から一貫して増加を続けており、平成28年中の救急出動件数は約621万件と過去最多を更新し、10年前に比べ18.5%増加している。一方で、救急隊数は10年前に比べ6.5%の増加にとどまっている。

○ 救急自動車による現場到着所要時間は、全国平均で8.5分、病院収容所要時間は、全国平均で39.3分となり、救急出動件数の増加とともに救急活動時間は延伸傾向にある。

○ 高齢化の進展等により、今後も救急需要の増加が予想されることから、救急活動時間の延伸要因について調査・分析するとともに短縮方策について検討を行う。



2 救急活動時間延伸の要因分析

(2) 検討項目

救急現場実態調査から得られた要因の分析

<p>○救急隊の相互乗り合い調査 (H28、H29実施)</p> <p>➤ 概要 参加消防本部間で相互に職員を派遣し救急車への同乗を行い、救急活動時間の延伸要因と短縮要因の実態を調査</p> <p>➤ 調査実施団体 ・さいたま市消防局 ・千葉市消防局 ・東京消防庁 ・名古屋市消防局 ・京都市消防局 ・福岡市消防局</p>	<p>➤ 調査項目 救急活動を覚知から病院収容までのフェーズで3つに分け、時間短縮のための要因を調査するとともに、救急需要に応じた救急車の柔軟な配置など、時間短縮のための取組を調査</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 119入電から現場到着 2 現場到着から現場出発 3 現場出発から病院収容
--	---

活動時間が延伸傾向になると思われる要因

<p>○入電～現場到着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車庫までの導線が長い(事務所や仮眠室など) ・指令書がある場合、プリントアウトを待つ必要がある ・予告指令システムがない ・現場までの経路を通信室で確認、車載AVM表示なし 	<p>○現場到着～現場出発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全症例、全ての観察資器材を携行 ・全てのバイタル測定や詳細観察を現場で実施 ・現場で傷病者や関係者情報を全て聴取 ・車内収容後に病院選定、応需確認を実施 ・病院受入確認時の伝達基準の非遵守(医療機関側) 	<p>○現場出発～病院収容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病着後の救急隊員による診療申込み ・病院ごとの引継様式の記入 ・医師の診療後の署名 ・医師が処置中のため引継に時間を要する
---	---	--

活動時間の短縮につながると思われる取組

<p>○入電～現場到着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚知から出動指令まで目標時間を設定(早期出場指令) ・予告指令システム導入 ・現場での経路をAVMのみで実施 ・現場到着までの間に情報聴取を実施 ・傷病者の状態に合わせた携行資器材の選定 ・一時的に救急出動件数が増加し救急需要が見込まれる地域に救急車の配置転換を実施 ・通報内容から、緊急度・重症度が高い場合に指令課員による病院選定を実施 	<p>○現場到着～現場出発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車内収容前の観察はABCのみ確認 ・車内収容後に詳細観察を実施 ・車内収容前に病院選定、応需確認を実施 ・指令課員による病院選定(緊急度・重症度以外の事案) ・病院受入確認時の伝達基準の遵守 	<p>○現場出発～病院収容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急入口に医師、看護師が待機 ・病院職員が受付を実施 ・病院独自の引継様式がない ・処置、介助等を行うことなく引揚げ ・重症外傷を応需する病院に、バックボードなどの予備の資器材を予備の資器材を配置
---	---	--

3 #7119(救急安心センター事業)の充実

(1) 背景

① 背景

- 近年、救急出動件数がほぼ一貫して増加し現場到着時間等が延伸している中、限りある搬送資源を緊急性の高い事案に適切に投入するためには、救急車の適正利用を推進していくことが重要である。
- 現在、13地域において事業が開始され、日本の総人口の40.6%が利用可能な状況となっている(平成30年10月1日現在)。
- 一方で、#7119実施団体が参加する連絡会において、実施団体間で統計項目が異なっており、実施団体間の事業実施状況の相対的比較ができないなどの課題が確認された。



(2) 検討項目(ねらい)

① 検討内容(ねらい)

- #7119救急安心センター事業普及促進アドバイザー及び事務担当者連絡会において、統計項目の検討及び整理を行う。(今年度の#7119担当者及び普及促進アドバイザー連絡会にて意見交換)
- 実施団体の基本情報(例:PRペーパーの更新、未実施団体への事業説明等)
 - 実施団体間の相対的評価を行うための項目(例:他団体との比較による事業評価のため)
 - 事業効果の定量的な算定を行うための項目(例:これまで示してきた効果を全団体に示すため)
 - 救急相談後の判定結果の評価を行うための項目(例:電話相談プロトコルの精度向上のため)
 - 効率的な運用の評価を行うための項目(例:各団体が適切な人員配置等を検討する材料)

3 #7119(救急安心センター事業)の充実

(3) 今年度の検討状況

① 実施団体の基本情報

事務局提案項目	分類	統計項目
	基礎情報	実施主体、開始日時、対象エリア、運営形態、認知度、利用比 等
	ハード	相談ブース数、電話回線 等
	ソフト	医師(総数・身分・オンコールの状況・助言内容等) 看護師・オペレータ(総数・身分) 配置体制 等
	運用	受付方法、医療機関案内方法、相談記録、使用プロトコル・プロトコルの変更点 等
	検証・研修	検証体制(主体、実施者、形式)、研修体制(主体、実施者、形式)、会議体 等

事業実施に係る体制(医師・看護師等の確保状況、受付時間、相談件数等)を、相対比較可能な形で把握できる。

② 相談毎統計項目について

事務局提案項目	①	対応開始日時	⑥	対象者(年代・性別)	⑪	最終判定を受けた対応内容
	②	対応時間	⑦	病院前救急要請	⑫	救急車搬送初診時程度
	③	対応曜日	⑧	使用プロトコル	⑬	医療機関案内科目
	④	分類(救急相談・医療機関案内等)	⑨	プロトコル判定結果	⑭	他機関・他サービス
	⑤	相談者(家族・本人)	⑩	最終判定	⑮	医師への助言要請

相談者の属性(年齢、性別等)と相談日時、相談に用いたプロトコルとその判定結果などを、統一的に把握できる。

4 緊急度判定の実施

(1) 緊急度判定の実施に関する検討の目的

119番通報時と救急現場において緊急度判定を運用することは、緊急性の高い傷病者に対して、地域の消防・救急・医療資源を適切に活用できるという観点で有用と考えられる。その有用性と運用方法について、平成31年度のモデル地域における実施・検証の結果を含めて全国の消防本部へ示すことで、導入を促す。

(2) 平成30年度の検討事項

- ・ 緊急度判定を行うための教育体制の検討
- ・ 緊急度判定を運用する上での対応マニュアルの作成
- ・ 平成31年度の検証に向けた効果の測定方法等の検討

平成29年度からの3年間のスケジュール

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度
消防本部に対する実態調査	実態調査・課題抽出	課題解決策の検討	モデル地域において実施・検証
実運用可能な緊急度判定支援ツールの開発 ※消防防災科学技術研究にて実施	119番通報時・救急現場における緊急度判定支援ツールの開発及び実施・検証準備		
対応マニュアル (接遇・説明、不搬送時のアフターケア、記録の残し方等)の策定	実態調査	対応マニュアル策定	
消防職員への教育	実態調査	教育体制の構築	
救急車以外の医療機関への受診手段のあり方 ※消防防災科学技術研究にて実施	緊急度に応じた搬送先選定と搬送手段のあり方の検討	ガイドライン策定	

4 緊急度判定の実施

(3) 導入・運用マニュアル(手引き)の検討

○緊急度判定の導入・運用マニュアル(手引き)(案)

- ・「119番通報時」と「救急現場」のそれぞれの導入・運用マニュアル(手引き)(案)を作成
- ・緊急度判定の意義・定義等について記載
- ・各消防本部で取り組まれている事例を収集し運用例として掲載
- ・過去に消防庁で作成した緊急度判定に関する資料を抜粋し、リファレンスも示した

○構成

第1章 緊急度判定を行う意義

第2章 緊急度に関する定義

第3章 緊急度判定の実施

- ・通信指令員、救急隊員の活動の基本や運用例
- ・緊急度判定の実施手順
- ・記録
- ・接遇

参照資料



- ・緊急度判定プロトコルVer.2.0 119番通報時
- ・緊急度判定プロトコルVer.1.1 救急現場
- ・通信指令員の救急に係る教育テキスト(追補版)
- ・通信指令員の救急に係る教育コンテンツ
- ・救急隊員用教育動画eカレッジ
- ・指導救命士の養成に係るテキスト

5 救急隊の感染防止対策

(1) 今年度の検討

① 今年度の検討事項

- 感染防止対策マニュアルのひな形の策定(感染暴露時の対応含む)
- 消防機関における感染防止管理体制

② 第1回WG(平成30年8月31日(金)開催)

○検討内容

- 感染防止対策マニュアルについて
 - ・感染防止対策マニュアル骨子案を提示
 - ・各消防本部の感染防止対策に関する取組の紹介
 - ・HIVを中心とした感染性体液曝露時の対応について検討
- 感染管理体制について
 - ・日本救急医学会救急外来部門における感染対策検討委員会(ERIC)の活動について紹介
 - ・医療機関や消防組織における感染管理体制について紹介
- 感染防止対策に関する現況調査について
 - ・全国の消防本部に対する感染防止対策に関する現況調査(案)について説明

(2) 感染防止対策マニュアルのひな形の策定(感染暴露時の対応含む)

○策定の方法

- ・複数箇所の消防本部の感染防止対策マニュアルの内容を基に、共通する内容や構成を抜粋し、骨子を作成。
- ・WG構成員との文書会議等を経て、加筆・修正を繰り返す行うとともに、関連する内容について文献的根拠を示す。

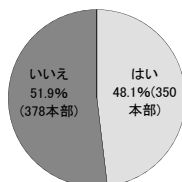
5 救急隊の感染防止対策

(3) 感染防止対策に関する現況調査結果(抜粋)

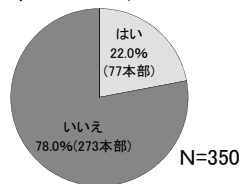
<調査概要>

- ・調査名:平成30年度感染症対策に関する現況調査
- ・調査対象:728消防本部
- ・調査方法:電子ファイル送付によるアンケート
- ・調査期間:平成30年10月11日～10月31日(基準日:平成30年10月1日)

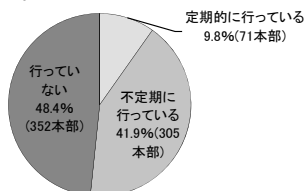
感染防止対策マニュアルが整備されているのは350消防本部(48.1%)



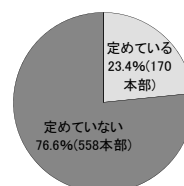
整備されている感染防止対策マニュアルの中で、医療関係者の監修を受けているのは77消防本部(22%)
(全消防本部の中で10.5%)



感染防止に関する研修を職員に行っているのは376消防本部(50.8%)



職員の感染防止に関する責任者を定めているのは170消防本部(23.4%)



平成30年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)
平成31年1月25日(高松)

厚生労働省からの情報提供

1. 「救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会」について
2. 人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)に関する取組状況について
3. 大型連休における医療提供体制の確保について



厚生労働省 医政局 地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室 病院前医療対策専門官
飯塚 悠祐



厚生労働省からの情報提供

1. 「救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会」について

「救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会」における議論の整理概要

方針が明確化された論点

1. DMAT事務所の体制強化について

- | | |
|-------|--|
| 現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> DMAT事務所の人員体制(併任や非常勤職員が大部分)及びDMAT事務所への応援体制が脆弱である。 |
| 方針 | <ul style="list-style-type: none"> DMAT事務所の人員増強及び事務所の在り方の見直し(病院内の一部門となっている現状を改める。) DMAT事務所を支援する団体等による応援体制の確立 DMAT事務所の業務を担う人材育成のための研修事業の創設 |

2. 災害時を想定した平時における燃料等の供給手段の確保について

- | | |
|-------|---|
| 現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時に、基幹病院から、平時から取引を行っていない石油販売業者へ燃料供給の緊急要請があったが、円滑な燃料供給が困難であった事例が発生した。(平成30年2月の福井県等における豪雪における事例) |
| 方針 | <ul style="list-style-type: none"> 災害拠点病院の指定要件に、食料、飲料水、医薬品と同様に燃料についても災害時に優先的に供給される体制の整備を追加 災害拠点病院以外の医療機関に対しても、災害時に優先的に燃料等が供給される体制の整備が必要である旨を周知 都道府県に対し、燃料等の災害時優先的供給に係る協定を平時に締結するための支援とともに、災害時における医療機関間の調整及び地域の関係団体(組合等)・業者に必要な情報を提供する役割を担うことが期待されている旨を周知 |

3. 病院前医療の提供手段について

- | | |
|-------|--|
| 現状と課題 | <p>(1)病院前医療の効率的な提供に係る地域の協議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ドクターヘリ、ドクターカーやメディカルジェット等、病院前医療の提供手段が多様化している中、医師派遣及び患者搬送手段の選択や、効率的な運用方法等について地域の救急医療関係者間の協議が十分でない。 |
| 方針 | <ul style="list-style-type: none"> ドクターヘリやドクターカー等の効率的な運用のため、事後検証を経て適切に要請基準を改定する等、メディカルコントロール協議会又は下に設置された部会を活用し、地域で一体的な協議を実施 |
| 現状と課題 | <p>(2)ドクターヘリの安全運航について</p> <ul style="list-style-type: none"> ドクターヘリの配備が進む中ドクターヘリの安全な運用・運航に関する検討が必要。(平成28年には神奈川県ドクターヘリの落着事故発生) |
| 方針 | <ul style="list-style-type: none"> ドクターヘリの安全な運用・運航のため医療クルーの安全教育や多職種連携及び包括的な安全情報の共有等を含む安全管理体制の確立 |

方向性を検討すべき論点

- 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の在り方について
- 災害派遣精神医療チーム(DPAT)について
- 災害拠点精神科病院について
- 救急医療体制について
- その他の個別の事項
 - ✓ 救急医療情報センターについて
 - ✓ ICTの推進について
 - ✓ 救急救命士の業務を行う場について
 - ✓ ドクターヘリの効率的な運用について
 - ✓ 都道府県災害医療コーディネーターについて

ドクターヘリの安全運航のための取組について
(平成30年7月25日付け医政地発0725第3号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

1. ドクターヘリの安全管理体制について

「ドクターヘリ導入促進事業」の事業者(以下「事業者」という。)は、補助要綱で設置することとされている「運航調整委員会」に加え、必要に応じて「安全管理部会」を設置する。
なお、安全管理部会を設置しない場合には、運航調整委員会が直接当該業務を行うものとする。

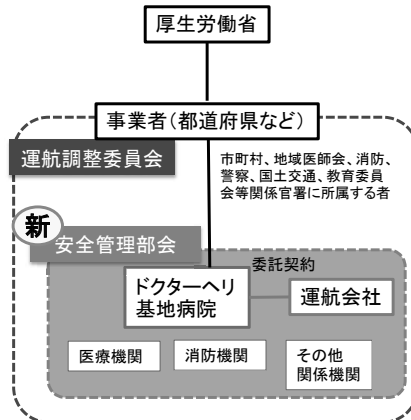
運航調整委員会

- (構成員) 都道府県、市町村、地域医師会、消防、警察、国土交通、教育委員会等関係官署に所属する者、ドクターヘリ運航会社、ドクターヘリ基地病院及び有識者
- (役割) 事業の実施、運営に関する必要事項に係る諸調整等を行い、ドクターヘリの運航に万全を期すとともに地域住民の理解と協力が得られるよう努める。

新

安全管理部会

- (構成員) 基地病院、ドクターヘリ運航会社、消防機関及びその他必要な機関において実際にドクターヘリに関連する業務に従事する者。
- (役割) 運用手順書案の作成、安全管理方針に関する協議、インシデント・アクシデント情報の収集・分析等、ドクターヘリの安全管理に関する調査・検討を行い、その結果を運航調整委員会に報告する。



ドクターヘリの安全運航のための取組について
 (平成30年7月25日付け医政地発0725第3号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

2. 運航要領及び運用手順書の作成について

ドクターヘリの運用・運航は、以下に示す運航要領及び運用手順書に実施するものとする。

ドクターヘリ運航要領

安全運航に関する事項を含め、ドクターヘリの運用・運航に関する**基本事項**(ドクターヘリの要請基準、要請方法等)を定める。
 運航調整委員会が作成する。

新 **運用手順書**

ドクターヘリの安全運航のため、ドクターヘリに関連する業務に従事する者が取り組むべき内容について定める。**日常業務手順及び運航手順**により構成される。
 安全管理部会が作成し、運航調整委員会の承認を得る。

3. 医療クルーの安全教育について **新**

事業者は、基地病院やドクターヘリ運航会社等と協力して、ドクターヘリに搭乗する医師、看護師等の医療クルーに対し、ドクターヘリの運用・運航に必要な知識や技術を習得させるための教育体制を整備する。
 具体的な講習内容は、安全管理部会で決定するものとする。



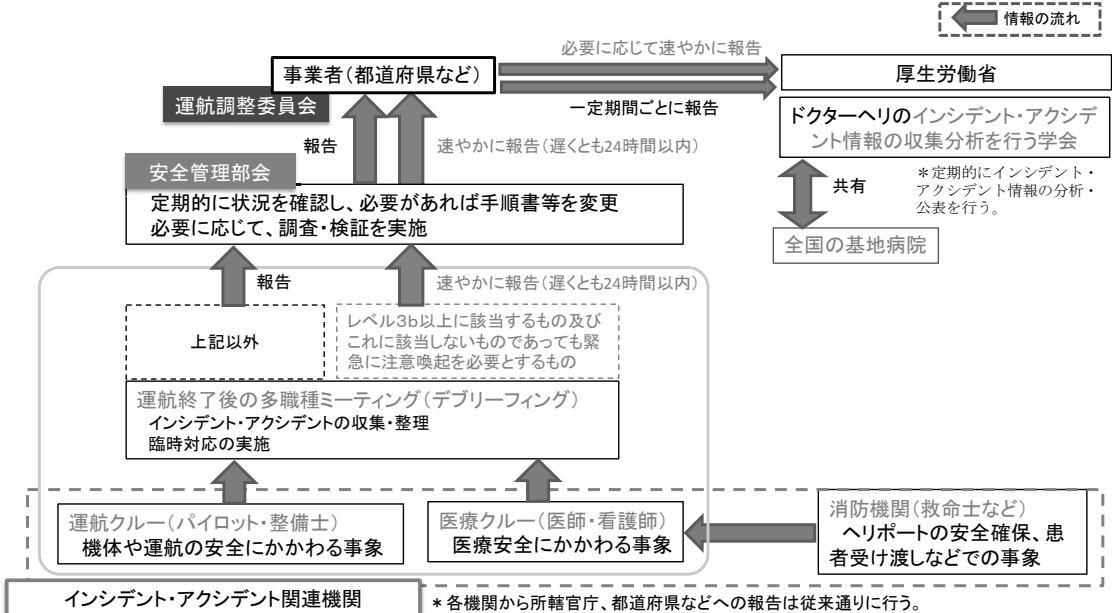
4. 多職種ミーティングについて **新**

基地病院では、日々の運航にあたり、多職種間のミーティングを待機開始時(ブリーフィング)及び待機終了時(デブリーフィング)に実施する。

ドクターヘリの安全運航のための取組について
 (平成30年7月25日付け医政地発0725第3号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)

5. インシデント・アクシデント情報の報告について **新**

安全管理部会では、基地病院における全インシデント・アクシデント情報の収集分析及び管理を行う。



7月以降の
検討事項

第7次医療計画における救急医療の指標について

課題 救急医療の地域性を見るための全国共通の必須項目は設定されていない。



救急医療体制の構築に必要な事項 「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」平成29年3月31日医政局地域医療計画課長通知(平成29年7月31日一部改正)より引用(抜粋)

【救護】	【救命医療】	【入院救急医療】	【初期救急医療】	【救命後の医療】
【住民等】 ●救急蘇生法の実施、救急搬送要請 ●電話による相談システムの利用 【救急救命士等】 ●救急蘇生法等に関する講習会の実施 ●MC協議会のプロコールに則した判断・処置 ●精神科救急医療体制との連携 【メディカルコントロール(MC)協議会】 ●救急救命士の行う活動プロコールの策定・検証・改訂	●重篤な救急患者の常時受入 ●高度な治療に必要な施設・設備 ●救急医療に関する知識・経験を有する医師 ●急性期のリハビリテーション実施 ●実施基準の円滑な運用・改善及びMC体制の充実 ●地域の救命救急医療の充実強化	●救急医療に関する知識・経験を有する医師 ●必要な施設・設備 ●早期のリハビリテーション実施 ●医療従事者に対する研修の実施	●救急患者に対する外来診療 ●近隣医療機関との連携 ●対応可能時間等の周知 ●休日・夜間緊急センターの設置や、在宅当番医制などと合わせて、地域で診療の空白時間が生じないように努めること	●再発管切開等のある患者の受入体制 ●抑延延性意識障害等を有する患者の受入体制 ●生精神疾患を合併する患者の受入体制 ●居宅介護サービスの調整

●医療搬送先医療機関の選定、搬送手段の選定、傷病者の速やかな搬送
 ●診療機能の事前周知
 ●退院の困難な患者を受け入れることができる医療機関との連携

指標例 「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」別表6「救急医療体制構築に係る現状把握のための指標例」平成29年3月31日医政局地域医療計画課長通知(平成29年7月31日一部改正)より引用

黒字:(国で示す)指標例、緑字(都道府県独自の)指標。

ストラクチャー 救急搬送人員数、救急車の運用数、運用救急救命士数 AEDの設置台数、住民の救急蘇生法の受講率 ドクターカーを配備している医療機関数(千葉県)	救急車の受入件数 救命救急センター数 二次救急医療機関数 初期救急医療機関数	ER型医療機関数(沖縄県) 一般診療所の初期救急医療への参画率 特定集中治療室のある医療機関数 救急担当専任医師数・看護師数	転院・退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの数
プロセス 心肺機能停止傷病者(心停止患者)全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した平均時間 受入困難事例の件数 ドクターヘリ出動件数(群馬県、岡山県等)ドクターカー出動件数(高知県) 二次救急医療機関様の救急医療機関やかかりつけ医、介護施設等の関係機関が参加したメディカルコントロール協議会の開催回数 ドクターヘリ連航調整委員会症例検討部会の開催数(佐賀県)	受入困難事例の件数 二次救急医療機関の応答率(東京都) 二次・三次救急医療機関を受診する軽症患者数の割合(山形県、新潟県等) 三次救急医療機関における救急搬送要請に対する受入割合(広島県)	病院群輪審判病院における救急患者の入院率(栃木県)	緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数
アウトカム	心肺機能停止傷病者(心停止患者)の一月後の予後		救急入院患者の21日後生存率(大阪府)

7月以降の
検討事項

救急医療における情報の所在や連携、及びその活用について(案)

課題 救急医療に係る指標については、患者個人、消防機関、医療機関に関する各種データベースが存在しており、これらは消防機関、医療機関、行政(都道府県、国)において情報収集されているが、多くは連結されていない。
 これらのデータが連結されていないことから、健康アウトカム評価に活用されていない。



	消防本部が持つ情報	医療機関が持つ情報	都道府県が持つ情報
患者個人	救急記録 ・住所、氏名、性別及び年齢 ・事故種別 ・収容医療機関 ・初診時傷病名(医師署名) ・初診時程度 ・主訴 ・救急隊到着時の所見 ・緊急度 ・病院経過・経過等 ・時間経過 ・観望・処置の経過	・初診時診断 ・入院時診断(外来診断)	・退院時診断 ・転床 ・心肺機能停止傷病者(心停止患者)の一月後の予後 ・退院時ADL
消防機関もしくは医療機関	救急搬送人員数、救急車の運用数、運用救急救命士数 救急搬送患者の緊急度・重症度 受入困難事例の件数 救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	救急車の受入件数 受入患者の緊急度・重症度 二次・三次救急医療機関の応答率 二次・三次救急医療機関を受診する軽症患者数の割合	転院・退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの数 緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数 退院時ADL
アウトカム	心肺機能停止傷病者(心停止患者)の一月後の予後		転院(外来帰宅、入院等) 退院時ADL
地域	AEDの設置台数、住民の救急蘇生法の受講率 ドクターヘリ出動件数、ドクターカー出動件数	救命救急センター数 二次救急医療機関数 初期救急医療機関数	救急担当専任医師数・看護師数 一般診療所の初期救急医療への参画率
プロセス	心肺機能停止傷病者(心停止患者)全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 ドクターヘリ連航調整委員会症例検討部会の開催数 二次救急医療機関様の救急医療機関やかかりつけ医、介護施設等の関係機関が参加したメディカルコントロール協議会の開催回数	受入困難事例の件数 地域における受入割合(全数、重症患者、搬送困難事例等)	救急入院患者の21日後生存率(大阪府)
アウトカム	心肺機能停止傷病者(心停止患者)の一月後の予後		救急入院患者の21日後生存率(大阪府)

7月以降の
検討事項

救急医療における評価指標の方向性について

今後議論すべき方向性について

<評価を行うためのデータの収集について>

- 救急医療に係る指標については、消防機関、医療機関に患者個人毎の情報に関する各種データベースが存在する。各種データベースの活用や連携に関する方策を検討してはどうか。

<全国共通の必須指標について>

- 救急医療機関の機能と役割を明確にし、地域で連携したきめ細かな取組を行うことができる体制を評価する指標が必要ではないか。(「第13回医療計画の見直し等に関する検討会」より)
- 地域性を踏まえた救急医療の質の向上のために、相対的な現状把握が可能な全国共通の必須指標が必要ではないか。

<救急医療におけるアウトカム評価について>

- これまで救急医療においては介入実験等が困難であるため、アウトカム評価が難しく、代理指標としてストラクチャー、プロセス評価を使ってきたが、今後は近年の技術革新を踏まえデータ収集と分析を駆使し、さらなるアウトカム評価の検討を進めてはどうか。
- 救急医療の評価指標に資するデータについて、既存のデータの活用や新たに必要データ収集を検討すべきではないか。

7月以降の
検討事項

消防機関以外に属する救急救命士の業務の質の向上に係る論点

課題

質の確保

消防機関以外に属する救急救命士が地域で活躍するにあたり、実施する救急救命処置の質の確保のあり方(特定行為に係るメディカルコントロール体制を含む)については明示されていない。

適切な連携

消防機関以外に属する救急救命士が地域で活躍するにあたり、地域の消防機関との連携のあり方については明示されていない。

議論いただきたい内容

質の確保(メディカルコントロール体制)

- 消防機関以外に属する救急救命士による救急救命処置(特定行為を含む)の質の確保(メディカルコントロール体制(プロトコルの作成、指示医師との連絡体制、事後検証体制及び再教育体制の構築))はどう在るべきか。以下の類型によりその在り方は異なるか。

メディカルコントロール体制が所属機関内で構築可能

医師の臨場有

例)医療機関に属する救急救命士が、医師の臨場があるドクターカー等で活躍する場合

医師の臨場無

例)医療機関に属する救急救命士が、医師の臨場がない病院救急車等で活躍する場合

メディカルコントロール体制が所属機関内で構築困難

例)医療機関以外に属する救急救命士が、大規模集客施設等で活躍する場合

質の確保(特定行為実施に係る講習)

- 消防機関以外に属する救急救命士が特定行為を実施する場合、特定行為の実施に係る所要の知識修得に必要な追加講習(実習)(例:気管挿管実施に係る病院実習)について、消防機関と同程度のプログラムを所属機関で策定の上、救急救命士が受講することと整理してはどうか。

適切な連携

- 消防機関以外に属する救急救命士と、消防機関との適切な連携はどうあるべきか(プロトコルの調整等)。

厚生労働省からの情報提供

2. 人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)に関する取組状況について

ACPの普及啓発のためのリーフレットについて

- ACPの普及啓発を図ることを目的としてリーフレットを右図のとおり作成し、厚生労働省HPにおいて、公表。
- 都道府県や医療・介護関係団体に対して、リーフレットを広報に当たって御活用いただくよう周知。

※ リーフレット掲載HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/saisyu_iryuu/index.html

※ 「人生の最終段階における医療・ケアに関するリーフレットについて」(平成30年7月19日付け厚生労働省医政局地域医療計画課事務連絡)等を通じて周知を実施。

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために

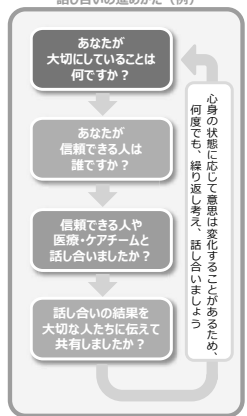
～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、**約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。**

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを**自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。**

話し合いの進めかた(例)




心身の状態に応じて意思は変化することがあるため、何度でも、繰り返し考え、話し合ってください。

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」と呼びます。あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/saisyu_iryuu/index.html



ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の愛称が「人生会議」に決まりました！



11月30日（いい看取り・看取られ）は「人生会議の日」

人生の最終段階における医療・ケアについて考える日

人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」と呼びます。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/saisyuu_iryuu/index.html

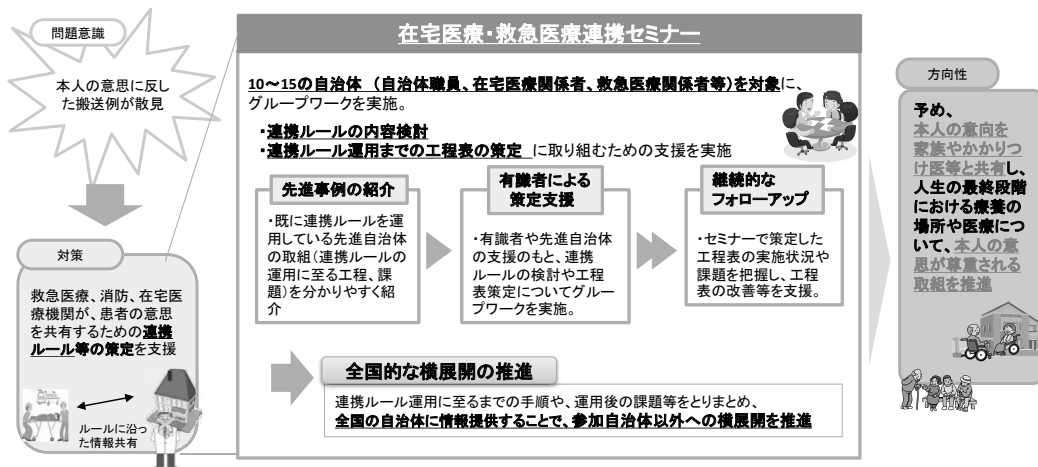


在宅医療・救急医療連携セミナー

平成30年度予算 17百万円
平成31年度概算要求額 17百万円

<背景・課題> 本人の意思に反した(延命を望まない患者の)救急搬送が散見
国民の多くが人生の最期を自宅で迎えることを希望している。一方、高齢者の救急搬送件数も年々増加し、また大半は、人生の最終段階における医療等について、家族と話し合いを行っていない。このような背景を踏まえると、今後、本人の意思に反した救急搬送が増加する懸念がある。

<対策> 患者の意思を関係機関間で共有するための連携ルールの策定支援
先進自治体では、在宅医療関係者と救急医療関係者の協議の場を設け、救急搬送時の情報共有ルールの設定や、住民向け普及啓発に取り組んでいる。こうした先進事例をもとに、複数の自治体を対象としたセミナーを実施し、連携ルール策定のための重点的な支援を行う。また、本取組について全国的な横展開を推進していくことで、人生の最終段階において本人の意思が尊重される環境を整備する。

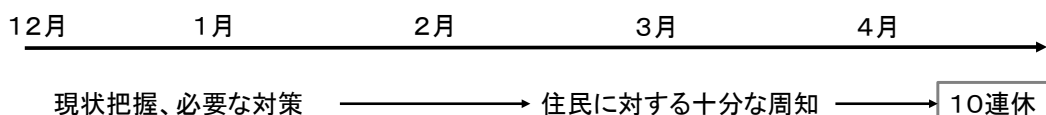


厚生労働省からの情報提供

3. 大型連休における医療提供体制の確保について

2019年ゴールデンウィーク

- 2019年のゴールデンウィークは、土曜日を入れれば10連休となる。これまで、年末年始などの連休では、地域ごとに必要な救急医療体制を組まれるなど、対応がなされてきたが、今回の連休は過去最長であり、必要な医療機能が提供されるよう万全を期す必要がある。
- 都道府県等の協力を得て、地域ごとに組まれた連休中の医療提供体制の確認を行う。
- また、各自治体が住民に対する十分な周知期間を確保する観点から、確認作業は2019年3月上旬までとし、自治体が住民に対して周知する情報を整理しておく。



全国メディカルコントロール協議会連絡会関連資料

- 全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱・世話人会構成員名簿……P. 89
- メディカルコントロール体制に関する実態調査結果……P. 92
- 救急救命士の各種認定数……P. 113
- メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数……P. 115
- 都道府県メディカルコントロール協議会開催状況及び構成員状況……P. 116
- 全国救命救急センター設置状況一覧表……P. 118
- 都道府県別メディカルコントロール協議会名簿……P. 124

全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱

(目的)

第1条 救急需要の増大や救急業務の高度化に伴い、救急救命士を含む救急隊員等が行う応急処置等の質を医学的観点から保障することを目的に全国的に設置されている、消防機関と救急医療機関等で構成するメディカルコントロール(以下「MC」という。)協議会の機能について、更なる充実・強化が求められており、さらに今後、救急医療提供体制を構築する場としての活用も期待されているが、各地域におけるMC体制やMC協議会の取組は様々である。そのため、消防庁及び厚生労働省は、MC協議会に関する機関がMC体制に関する課題を整理するとともに、自己評価及び他のMC協議会から学ぶことができるよう情報共有及び提言の場として、救急医療に関する学会、団体、消防機関、医療機関等により構成される全国メディカルコントロール協議会連絡会(以下「連絡会」という。)を、開催する。

(検討・実施事項)

第2条 連絡会は、次の各号に掲げる事項に関する事務を行う。

- 一 MC体制の充実・強化に関する現況把握及び情報交換
- 二 各地域のMC体制の充実・強化に資する提言
- 三 その他連絡会が必要と認める事項

(組織)

第3条 連絡会は、全国のMC協議会関係者、MC体制の整備に関わる医師、救急救命士、救急隊員等病院前救護に従事する者、その他関係機関からの出席者をもって構成する。

- 2 連絡会に会長を置く。
- 3 連絡会の会長は、次条第6項に定める会長が務めるものとする。

(世話人会)

第4条 各関係機関が抱えるMC体制に関わる課題を整理し検討するため、連絡会に世話人会を置く。

- 2 世話人は、次の各号に掲げる関係機関の推薦する者で構成する。
 - 一 関係学会(日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本麻酔科学会)
 - 二 関係団体(日本医師会、日本救急医療財団、救急振興財団)
 - 三 消防関係機関(消防庁、都道府県消防防災・危機管理部局長会、全国消防長会、消防本部)
 - 四 医療関係機関(厚生労働省、全国衛生部長会、全国保健所長会)
 - 五 その他関係機関
- 3 世話人の任期は2年以内とし、再任を妨げない。
- 4 世話人が異動等により関係機関の推薦が得られなくなったときは、関係機関から新たに推薦される後任が任期を引き継ぐものとする。
- 5 世話人は、世話人会に出席することができない場合には、代理人を世話人会に出席させることができる。
- 6 世話人会に会長及び会長代行を置き、世話人の互選により定める。
- 7 世話人の推薦により、会長が指名する3名以内の相談役を置くことができる。
- 8 会長は世話人会の会務を統括する。
- 9 会長は、世話人会に必要と認める者を参考人として加えることができる。
- 10 会長代行は、会長に事故があるときにその職務を代理する。
- 11 相談役は、会長及び会長代行を補佐する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、連絡会の運営及び第1条に掲げる目的を達成するために必要となるその他の事項については、会長がこれを定める。

2 連絡会の庶務は、関係機関の協力を得て、消防庁救急企画室及び厚生労働省医政局地域医療計画課が行う。

附 則

この要綱は、平成19年5月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年5月2日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

全国メディカルコントロール協議会連絡会世話人会構成員名簿

(五十音順、◎は会長、○は会長代行、☆は相談役)

(平成30年12月現在)

- ☆ 有 賀 徹 (労働者健康安全機構理事長)
- 加 藤 正 哉 (和歌山県立医科大学救急・集中治療医学講座教授)
- 坂 本 哲 也 (帝京大学医学部救急医学講座主任教授)
- 坂 元 昇 (川崎市健康福祉局医務監)
- ☆ 島 崎 修 次 (国土舘大学防災・救急救助総合研究所長)
- 高 崎 洋 介 (厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室長)
- 高 島 慶 太 (東京都総務局総合防災部防災管理課長)
- 多 田 恵 一 (医療法人和同会広島シーサイド病院)
- 長 島 公 之 (日本医師会常任理事)
- 中 塚 正 志 (仙台市消防局長)
- 野 本 祐 二 (消防庁救急企画室長)
- 森 住 敏 光 (東京消防庁救急部長)
- 山 中 朋 子 (全国保健所長会長)
- ☆ 山 本 保 博 (一般財団法人救急振興財団会長)
- ◎ 行 岡 哲 男 (一般財団法人日本救急医療財団理事長)
- 横 田 順一朗 (堺市立病院機構副理事長)
- 横 田 裕 行 (日本医科大学大学院救急医学分野教授)

(オブザーバー)

山 下 浩一郎 (海上保安庁警備救難部救難課医療支援調整官)

メディカルコントロール 体制に関する実態調査結果

平成 31 年 1 月

消防庁

■□目 次□■

第1章 調査概要	P. 95
1. 調査の目的	
2. 調査方法	
(1) 対象	
(2) 調査票の配布・回収方法	
3. 調査内容	
(1) 「救急救命体制の整備・充実に係る調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」	
(2) 心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査	
第2章 メディカルコントロール協議会票の結果	P. 96
第1節 メディカルコントロール協議会	P. 96
1. メディカルコントロール協議会の構成員	
2. メディカルコントロール協議会での実施基準策定における精神科医の参画	
3. メディカルコントロール協議会の予算負担者	
4. 協議会で取り上げられた課題	
5. 救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整に関する役割	
6. 法定協議会としての位置付け	
第2節 救急活動	P. 100
1. 救急活動プロトコルの改訂	
2. 事後検証	
(1) 医師による事後検証の実施状況	
(2) 医師による事後検証の基準	
(3) 医師によるフィードバックの方法	
第3節 救急に携わる職員の教育	P. 102
1. 指導救命士の認定	
(1) 指導救命士の認定状況	
(2) 指導救命士の消防教育機関での活用	
(3) 指導救命士を活用した取組	
2. 救急救命士の再教育	
(1) 再教育において実施すべき項目の策定	
(2) 指導救命士が行う日常的な教育を再教育時間として要綱等で定めている団体	
(3) 再教育を履修している救急救命士数の把握	
(4) 医療機関での指導担当者の配置状況	
3. 通信指令員の救急に係る教育	
(1) 教育の実施状況	
(2) 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用	
(3) 口頭指導要領の策定	
(4) 口頭指導に係る事後検証の実施	

- 4. テロ災害等への対応力向上
 - (1) 救命止血帯（ターニケット）の教育状況
 - (2) 消防本部からの指導協力要請

第3章 消防本部票の結果	P. 109
第1節 指導救命士	P. 109
1. 指導救命士の配置	
2. 指導救命士の制度としての位置付け	
第2節 救急救命士の再教育	P. 109
1. 救急ワークステーションの運用	
2. 救急救命士の再教育の履修状況	
第3節 通信指令員の救急に係る教育及び口頭指導について	P. 110
1. 教育の実施状況	
2. 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用	
3. 口頭指導要領の策定及び地域MCの承認	
4. 口頭指導に係る事後検証の実施	
第4節 心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応について	P. 112
1. 対応方針の策定の有無	
2. 対応方針の内容	

第1章 調査概要

1. 調査の目的

救急業務の質の維持・向上等を目的として、救急業務において重要な役割を担うメディカルコントロールに関し、メディカルコントロール協議会の体制、開催状況等をはじめとする全国の実態を調査・把握するために実施した。

2. 調査方法

(1) 対象

全国の都道府県メディカルコントロール協議会、地域メディカルコントロール協議会、消防本部を対象として、それぞれに調査票を作成した。(以下、都道府県メディカルコントロール協議会を都道府県MC、地域メディカルコントロール協議会を地域MCとする。)

なお、都道府県内に地域MCを設置していない都道府県については、地域MCの役割を都道府県MCが担っていることから、都道府県MCに地域MCの調査票の回答も依頼した。対象数は、以下のとおり。

- 都道府県MC 47 協議会 (団体)
- 地域MC 251 協議会 (団体)
- 消防本部 728 消防本部

(2) 調査票の配布・回収方法

いずれの調査対象についても、各都道府県消防防災主管部(局)を通じて調査票(電子ファイル)をメールで配布し、回答結果を都道府県が取りまとめた上で、消防庁が電子メールで回収した。

3. 調査内容

(1) 「救急救命体制の整備・充実に係る調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」

① 期間

平成30年8月8日～平成30年9月25日

② 基準日

平成30年8月1日(昨年比較:平成29年8月1日)

③ 回収率

100%

(2) 心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応に関する実態調査(消防本部のみ)

① 期間

平成30年7月17日～平成30年9月3日

② 基準日

平成30年7月1日

③ 回収率

100%

第2章 メディカルコントロール協議会票の結果

第1節 メディカルコントロール協議会

1. メディカルコントロール協議会の構成員

構成員については、以下のとおり。

図表1 メディカルコントロール協議会の構成員と人数（都道府県MC票・地域MC票）

構成員種別	都道府県MC		地域MC	
	MC数※	平均値	MC数※	平均値
①救命救急センターの医師	46	5.3人	163	2.5人
②救命救急センター以外の救急科専門医	29	2.5人	110	2.5人
③救急科以外の医師	40	5.2人	226	6.7人
④医師会の医師	46	2.6人	233	3.5人
④のうち救急専門医	8	3.1人	19	1.7人
⑤保健所の医師	11	2.1人	174	1.5人
⑤のうち救急専門医	0	0.0人	1	5人
⑥都道府県衛生主管部局の課長等	42	1.4人	103	1.3人
⑦都道府県消防防災主管部局の課長等	41	1.2人	137	1.2人
⑧消防本部の消防長、救急担当部課長等（管理監督者）	46	6.4人	231	3.4人
⑨都道府県の要綱等で定めた指導救命士	6	3.2人	71	5.1人
⑩消防本部の通信指令担当課長	0	0.0人	25	1.3人
⑪その他	28	3.2人	104	5.1人

※表中の「MC数」とは、各構成員について「1人以上配置している」と回答したメディカルコントロール協議会数を計上

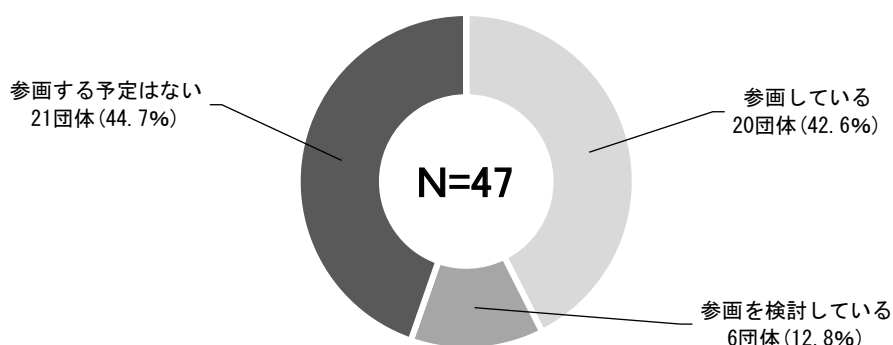
「その他」に挙げられた回答

○地域MC会長 ○看護協会 ○歯科医師会 ○県警職員 ○災害医療コーディネーター
○学識経験者 ○消防学校長 ○弁護士 ○教育委員会 ○老人福祉施設職員 ○保健所長
○市衛生部局 ○市町村長 ○医療機関事務職員 ○防災航空隊 など

2. メディカルコントロール協議会での実施基準策定における精神科医の参画

メディカルコントロール協議会での実施基準策定の協議の際に、地域の精神科医が参画している団体は20団体（42.6%）となっている。

図表2 メディカルコントロール協議会での実施基準策定における精神科医の参画状況（都道府県MC票）

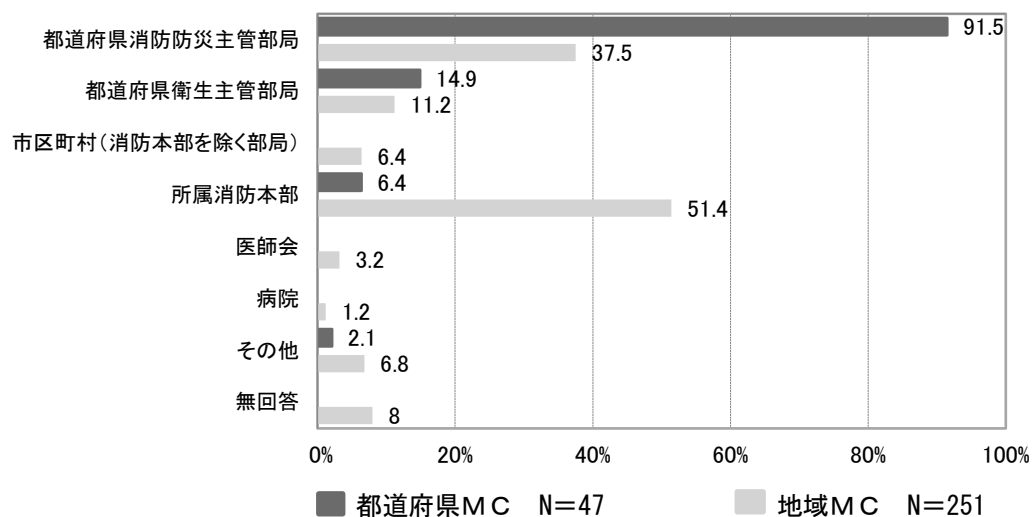


3. メディカルコントロール協議会の予算負担者

○都道府県MCの予算については、都道府県消防防災主管部局が負担している団体が91.5%と最多。

○地域MCの予算については、所属消防本部（51.4%）、都道府県消防防災主管部（37.5%）の順に負担している団体が多い。

図表3 平成30年度予算の負担者（複数回答）（都道府県MC票・地域MC票）



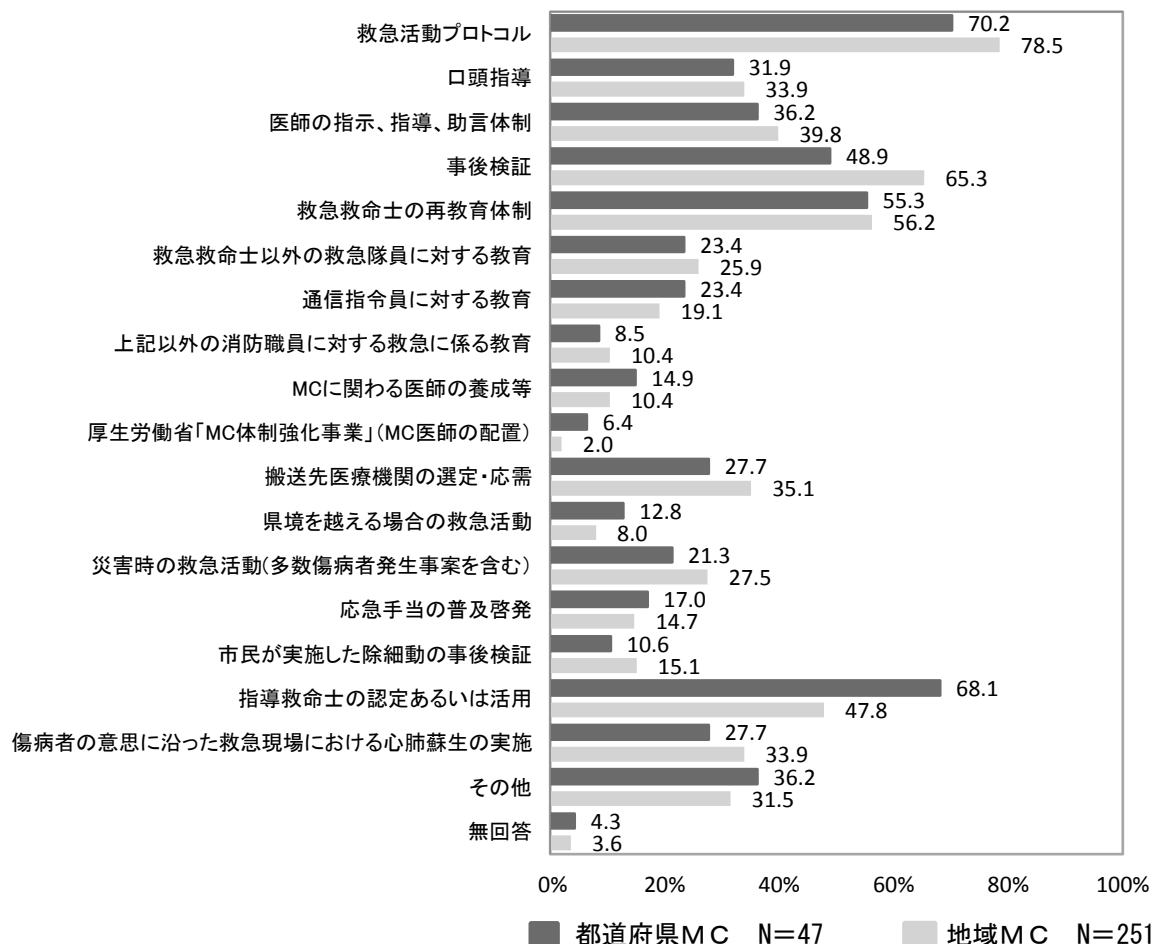
「その他」に挙げられた回答

- 救急・医療に関する協議会（救急業務高度化、救急医療対策等）
- 保健所 ○消防長会 など

4. 協議会で取り上げられた課題

- 都道府県MC：「救急活動プロトコル」、「指導救命士の認定あるいは活用」、「救急救命士の再教育体制」の順が多い。
- 地域MC：「救急活動プロトコル」、「事後検証」、「救急救命士の再教育体制」の順が多い。

図表4 取り上げられた課題（複数回答）（都道府県MC票・地域MC票）



「その他」に挙げられた回答

(都道府県MC票)

- 指導救命士の認定 ○救急安心センター事業（#7119） ○バイスタンダーサポート
- 防災航空隊の活動・ドクターヘリの適正利用 ○転院搬送について
- 処置範囲拡大運用（ビデオ硬性喉頭鏡の活用等） など

(地域MC票)

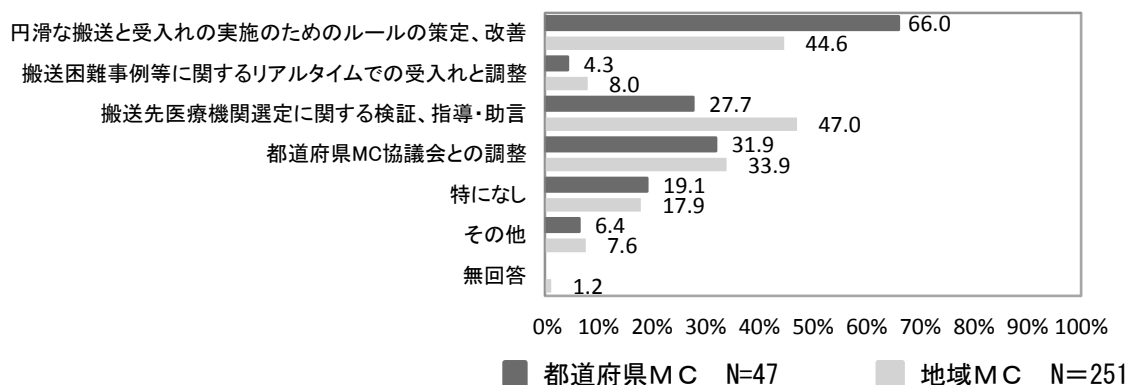
- 防災航空隊の活動・ドクターヘリの適正利用 ○安全管理
- 転院搬送について ○医師との連携（現場への医師要請マニュアル等）
- バイスタンダーサポート ○12誘導伝送システム
- 救急安心センター事業（#7119） など

5. 救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整に関する役割

○都道府県MC：「円滑な搬送と受入れの実施のためのルールの策定、改善」の回答が最多。

○地域MC：「搬送先医療機関選定に関する検証、指導・助言」と「円滑な搬送と受入れの実施のためのルールの策定、改善」の回答が多い。

図表5 救急搬送体制に係る調整に関するメディカルコントロールの役割（複数回答）（都道府県MC票・地域MC票）



「その他」に挙げられた回答

（都道府県MC票）

○転院搬送における適正利用・ガイドライン ○搬送困難事例等の検証
○プロトコルの策定 ○搬送実績データの提供 など

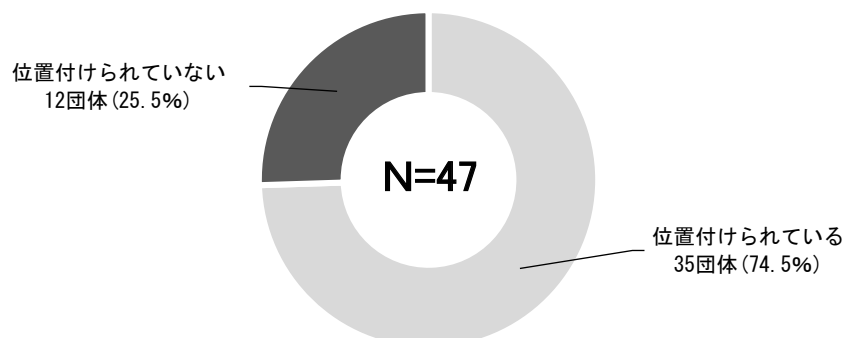
（地域MC票）

○プロトコルの策定 ○転院搬送ガイドライン ○病院輪番制 ○DNAR 傷病者への対応
○頻回利用者・精神疾患の対応 ○検証結果を受けた対応 ○CCU ネットワーク
○受入について医療機関との意見交換 ○ドクターカー運用要領 など

6. 法定協議会としての位置付け

都道府県MCのうち 33 団体（70.2%）が、法定協議会として位置付けられている。

図表6 法定協議会としての位置付け（都道府県MC票）



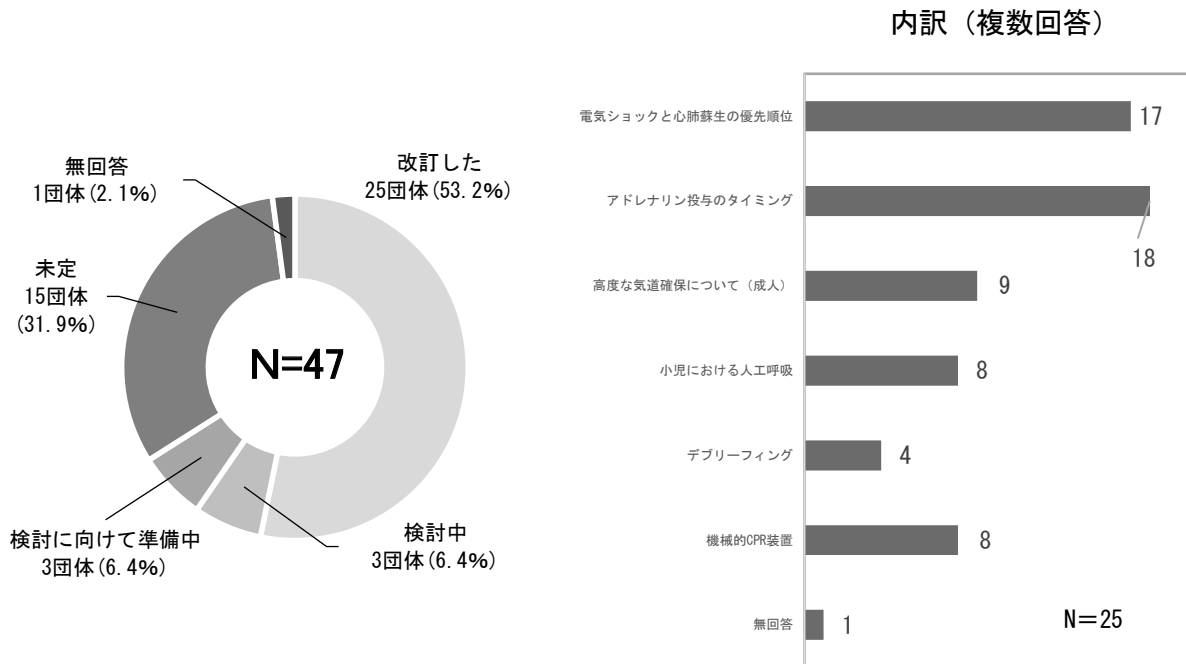
第2節 救急活動

1. 救急活動プロトコールの改訂

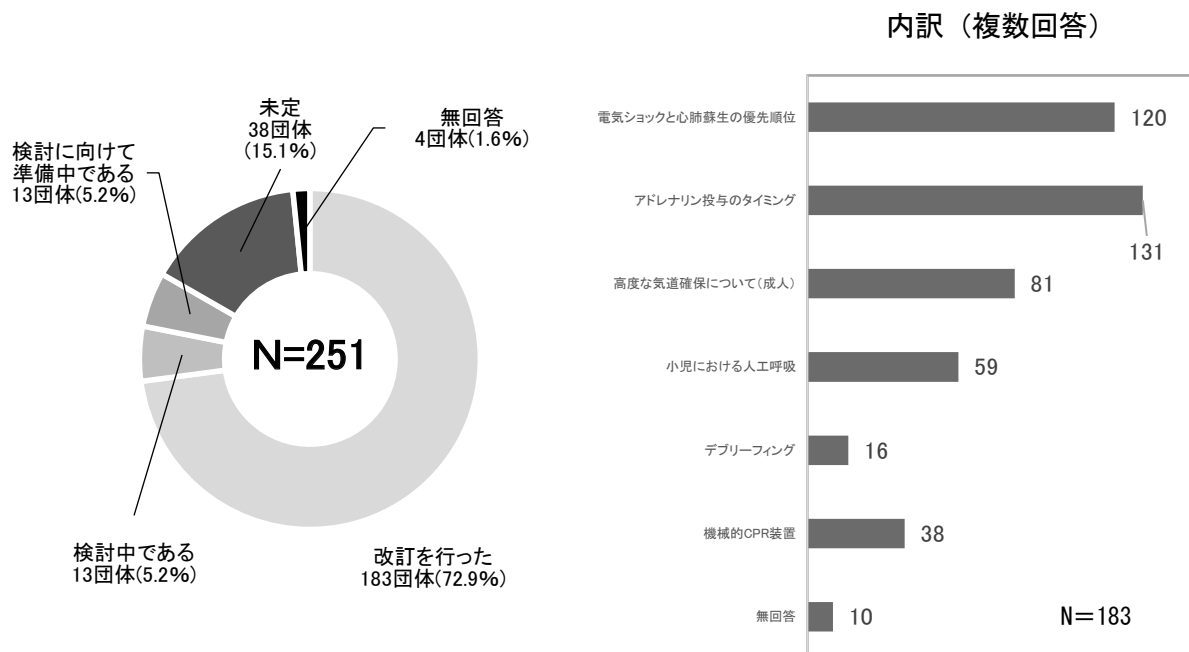
都道府県MC、地域MCとも、改訂された内容としては、「アドレナリン投与のタイミング」、「電気ショックと心肺蘇生の優先順位」の順で多い。

図表7 救急活動プロトコールの改訂状況

(都道府県MC票)



(地域MC票)



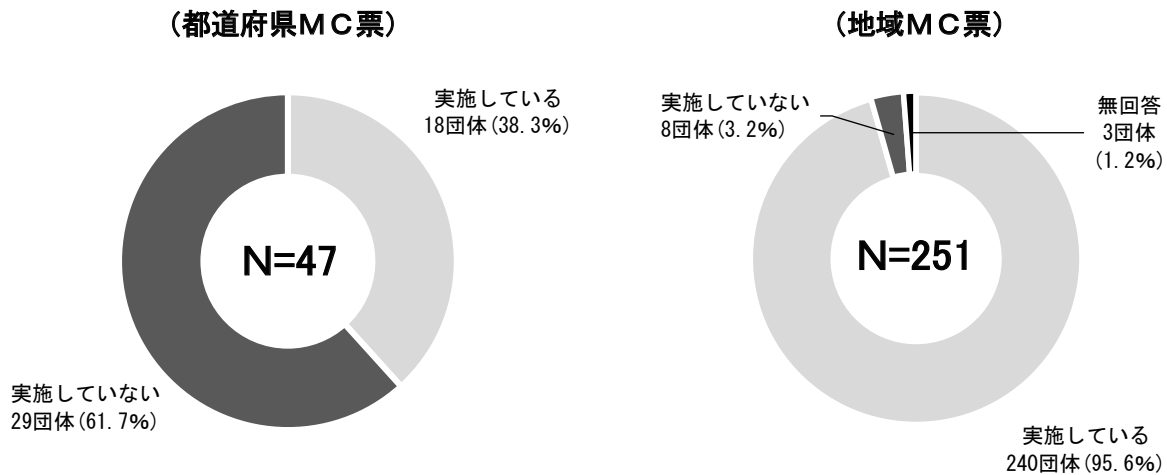
2. 事後検証

(1) 医師による事後検証の実施状況

○都道府県MC：18団体（38.3%）で実施している。

○地域MC：240団体（95.6%）で実施している。

図表8 医師による事後検証

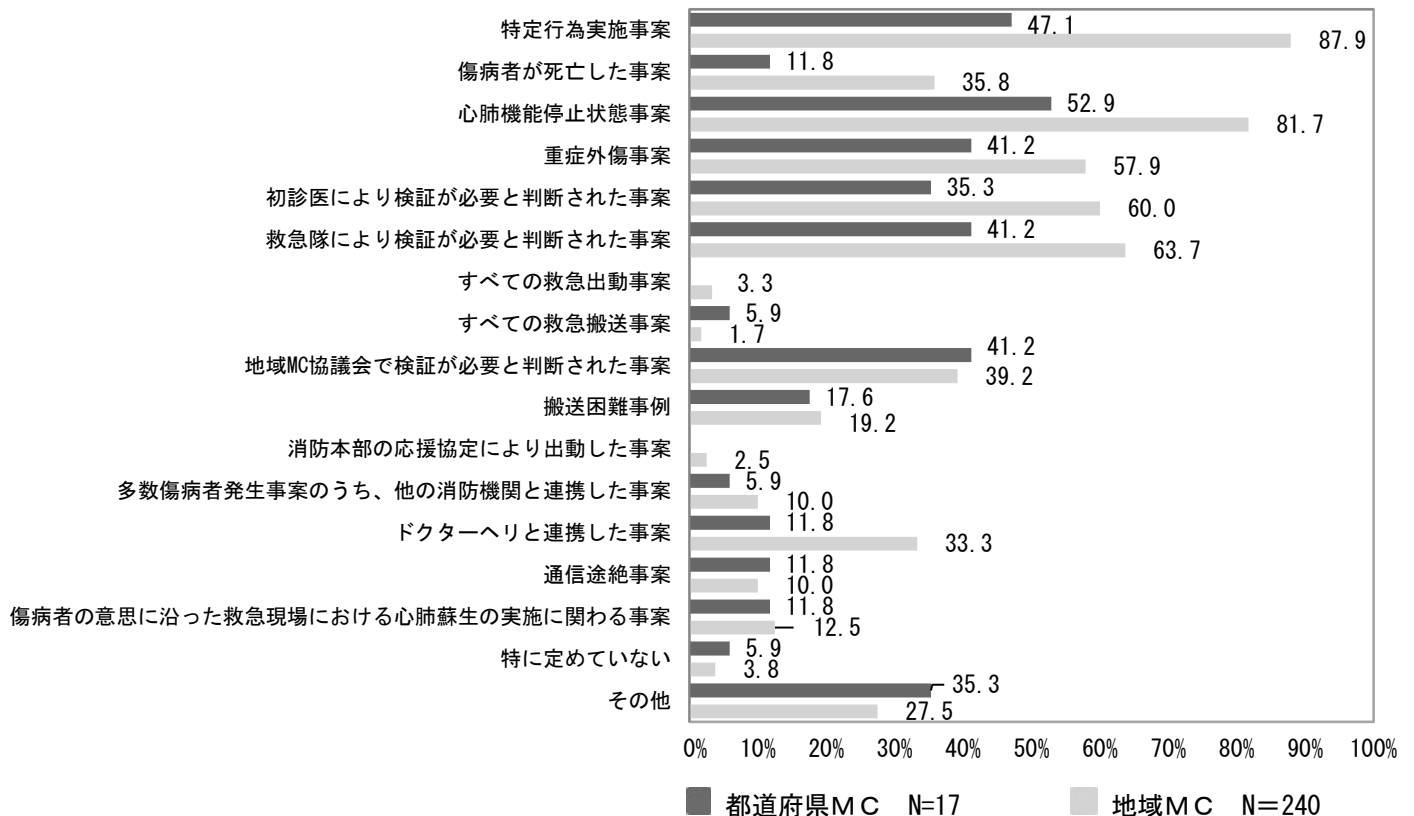


(2) 医師による事後検証の基準

○都道府県MC：「心肺機能停止状態事案」、「特定行為実施事案」の順が多い。

○地域MC：「特定行為実施事案」、「心肺機能停止状態事案」の順が多い。

図表9 医師による事後検証の基準（複数回答）（都道府県MC票・地域MC票）

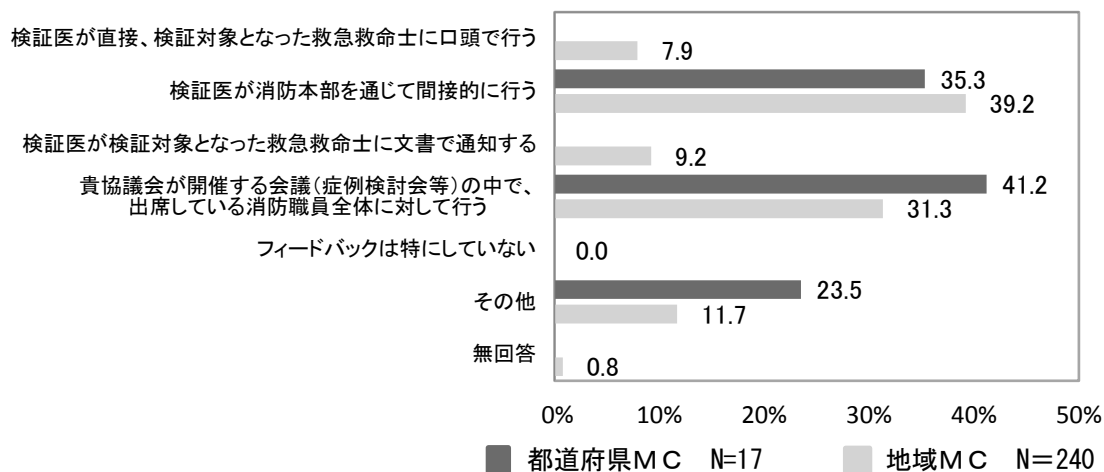


(3) 医師によるフィードバックの方法

○都道府県MC：「貴協議会が開催する会議（症例検討会等）の中で出席している消防職員全体に対して行う」の回答が最多。

○地域MC：「検証医が消防本部を通じて間接的に行う」の回答が最多。

図表 10 フィードバックの方法（複数回答）（都道府県MC票・地域MC票）



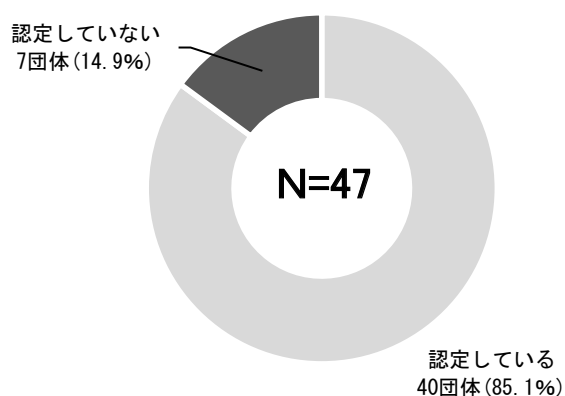
第3節 救急に携わる職員の教育

1. 指導救命士の認定

(1) 指導救命士の認定状況

40 団体（85.1%）が認定していると回答し、昨年よりも増加している。認定を行っていない都道府県MCにおいても3 団体で運用を検討中である。（平成 29 年：36 団体・841 人）

図表 11 指導救命士の認定状況（都道府県MC票）



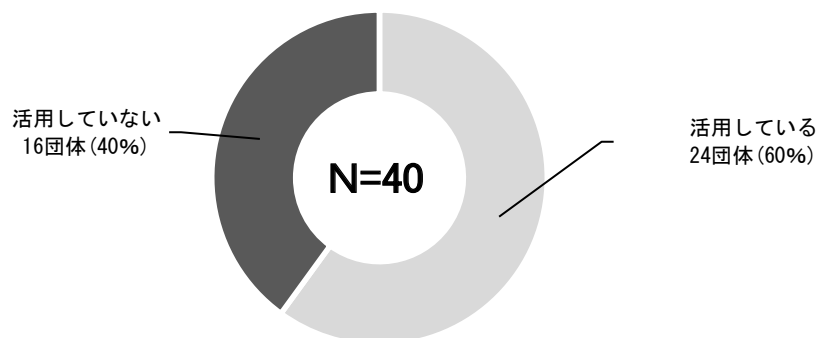
	MC協議会数	認定者数
指導救命士の認定	40	1,369人 (※)

※これまで認定された指導救命士数（累計）

(2) 指導救命士の消防教育機関での活用

指導救命士を認定している40団体のうち、24団体が消防教育機関で指導救命士を活用している。

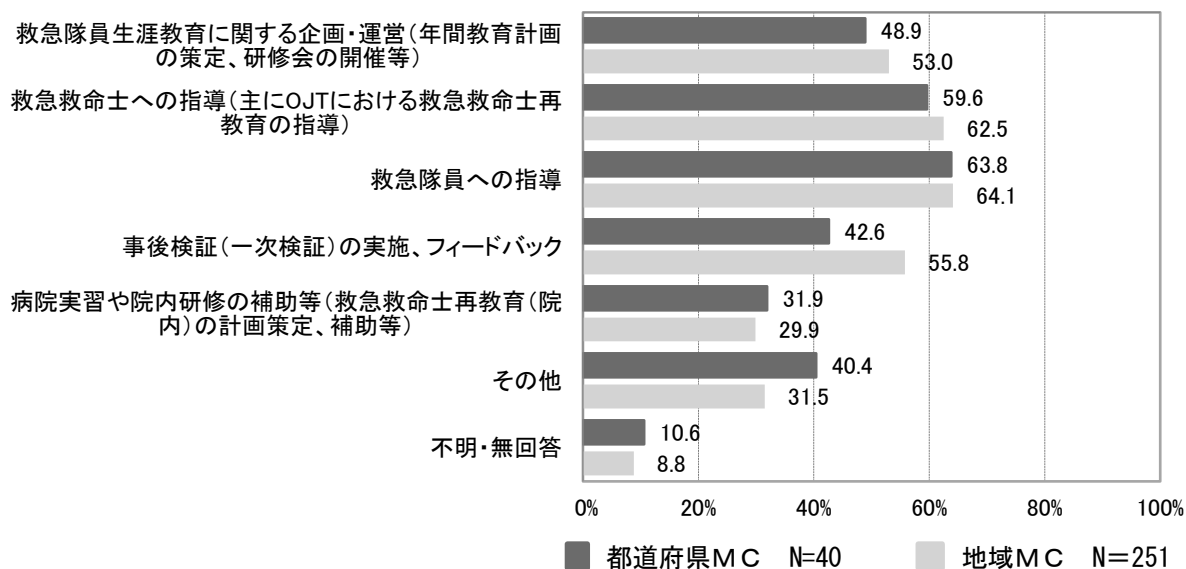
図表 12 指導救命士の消防教育機関での活用（都道府県MC票）



(3) 指導救命士を活用した取組

都道府県MC、地域MCともに、「救急隊員への指導」、「救急救命士への指導」の順が多い。

図表 13 指導救命士を活用した取組（複数回答）（都道府県MC票・地域MC票）



「その他」として挙げられた内容

(都道府県MC票)

- プロトコル改訂等 ○MC 主催講習における指導 ○追加講習等の指導
- 医療機関との連絡調整 ○県 MC 専門部会への参画 ○救急WSでの指導
- 消防学校等の講師、指導 ○学会等での発表 など

(地域MC票)

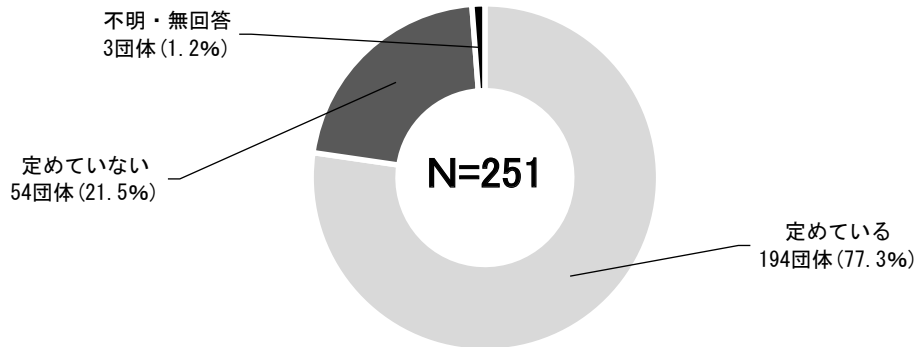
- プロトコル改定等 ○検討会等における座長等の役割 ○各 MC との連絡調整
- 医療機関との連絡調整 ○新任指導救命士の指導 ○各研修会における講師
- 通信指令員への教育 など

2. 救急救命士の再教育

(1) 再教育において実施すべき項目の策定

地域MCの194団体(77.3%)が定めていると回答し、昨年よりも増加している。(平成29年：186団体、約74%)

図表14 再教育において実施すべき項目の策定(地域MC票)



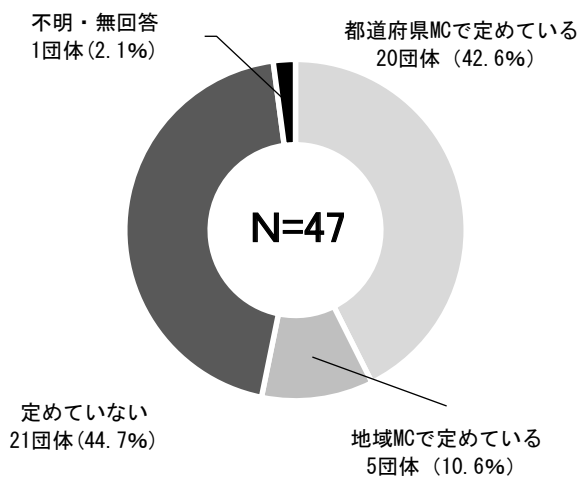
(2) 指導救命士が行う日常的な教育を再教育時間として要綱等で定めている団体

○都道府県MC：20団体(42.6%)が定めていると回答し、昨年よりも増加している。
(平成29年：15団体・約32%)

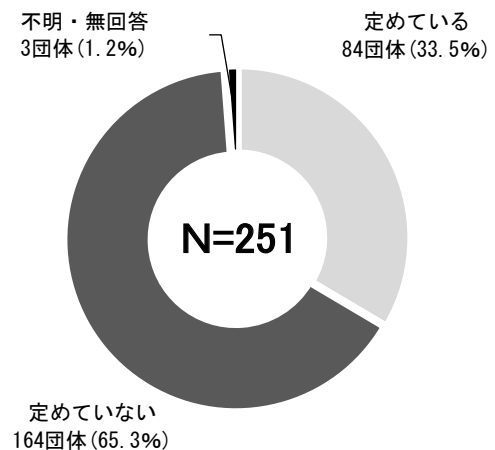
○地域MC：84団体(33.5%)が定めていると回答し、昨年よりも増加している。
(平成29年：66団体・約26%)

図表15 指導救命士が行う日常的な教育を再教育時間として要綱等で定めている団体

(都道府県MC票)



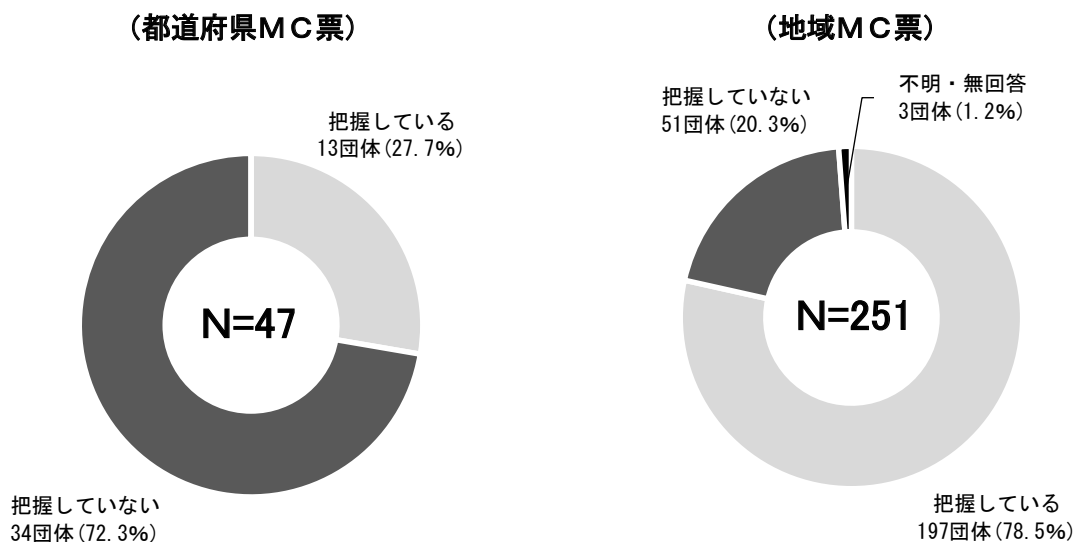
(地域MC票)



(3) 再教育を履修している救急救命士数の把握

- 都道府県MC : 13 団体 (27.7%) が把握している。
- 地 域 M C : 197 団体 (78.5%) が把握している。

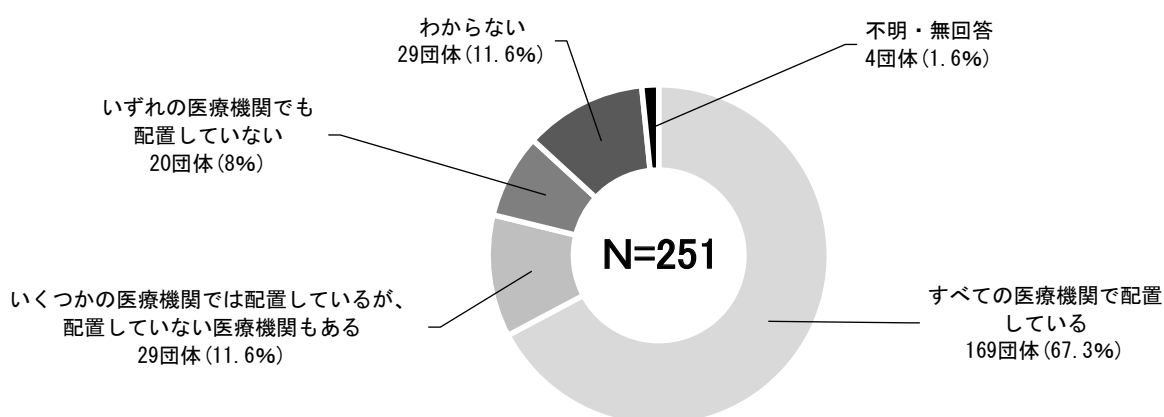
図表 16 再教育を履修している救急救命士数の把握



(4) 医療機関での指導担当者（医療機関側で実習中に指導を担当する医師等のスタッフ）の配置状況

地域MCのうち、169 団体 (67.3%) が、すべての医療機関で配置していると回答している。

図表 17 医療機関での指導担当者の配置状況（地域MC票）

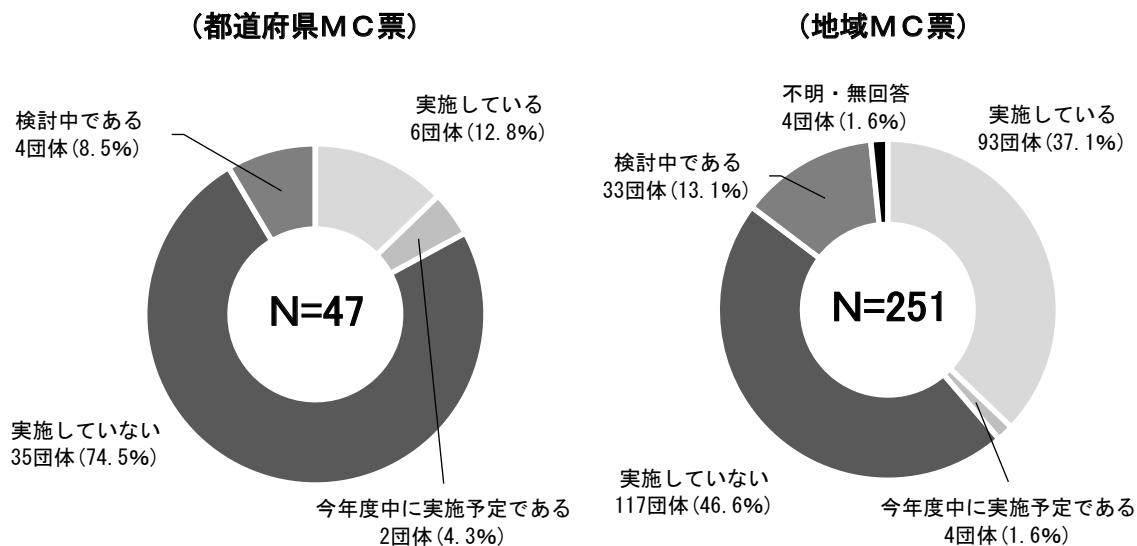


3. 通信指令員の救急に係る教育

(1) 教育の実施状況

- 都道府県MC：6団体（12.8%）が実施していると回答している。
- 地域MC：93団体（37.1%）が実施していると回答している。

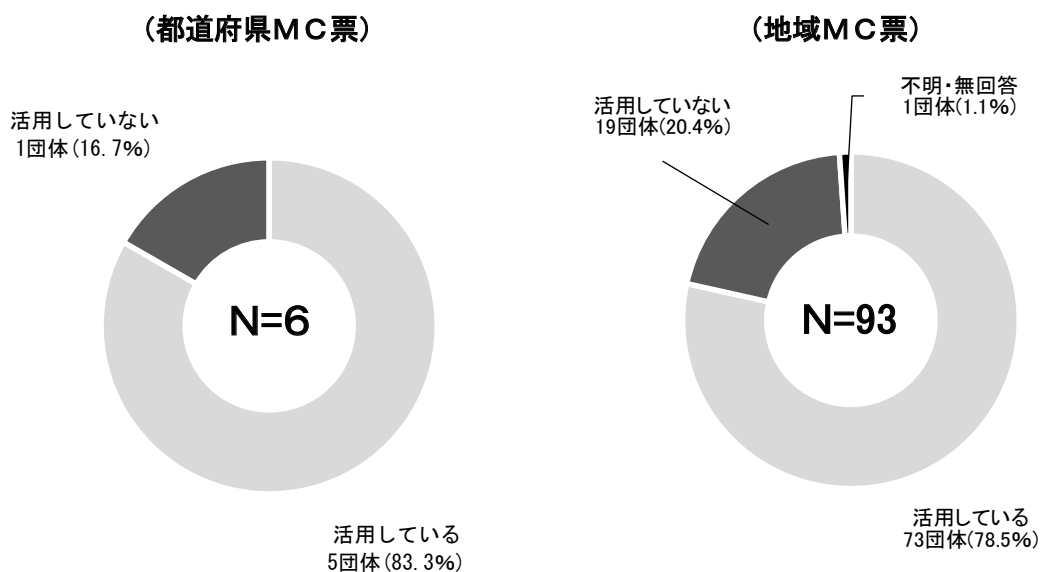
図表 18 通信指令員の救急に係る教育



(2) 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用

- 都道府県MC：5団体（83.3%）が活用している。
- 地域MC：73団体（78.5%）が活用している。

図表 19 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用

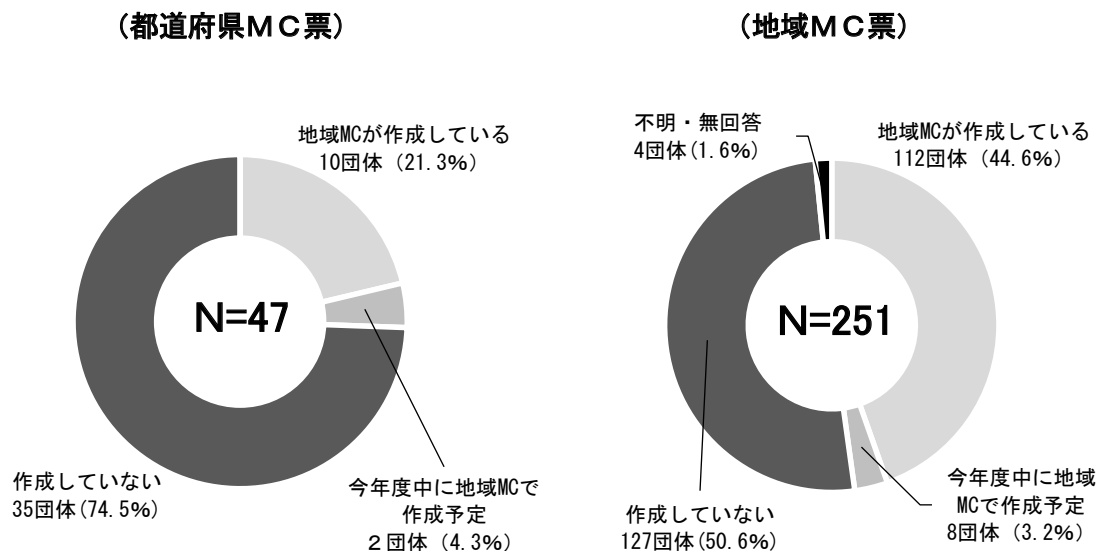


(3) 口頭指導要領の策定

○都道府県MC：10団体（21.3%）が策定している。

○地域MC：112団体（44.6%）が策定している。今年度中に地域MCで作成予定が8団体（3.2%）

図表 20 口頭指導要領の策定

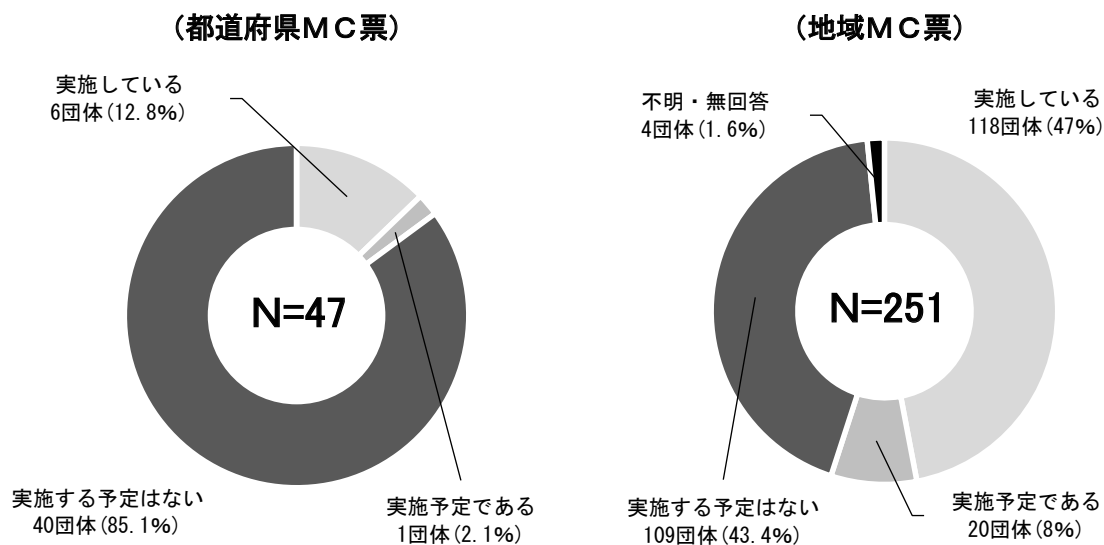


(4) 口頭指導に係る事後検証の実施

○都道府県MC：6団体（12.8%）が実施している。

○地域MC：118団体（47%）が実施していると回答し、昨年よりも増加している。
（平成29年：102団体・約41%）

図表 21 口頭指導に係る事後検証の実施

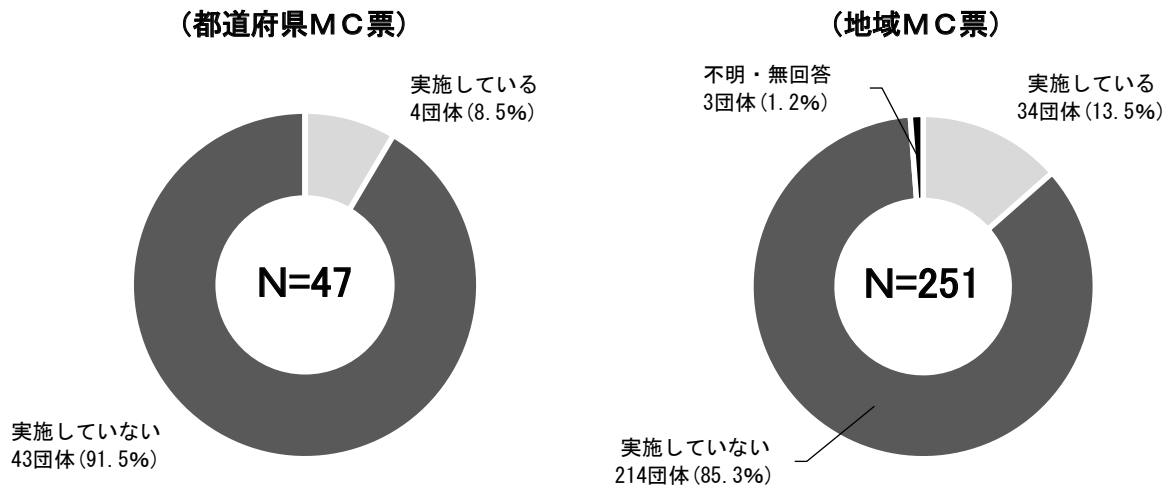


4. テロ災害等への対応力向上

(1) 救命止血帯（ターニケット）の教育状況

- 都道府県MC：4団体（8.5%）が教育を実施している。
- 地域MC：34団体（13.5%）が教育を実施している。

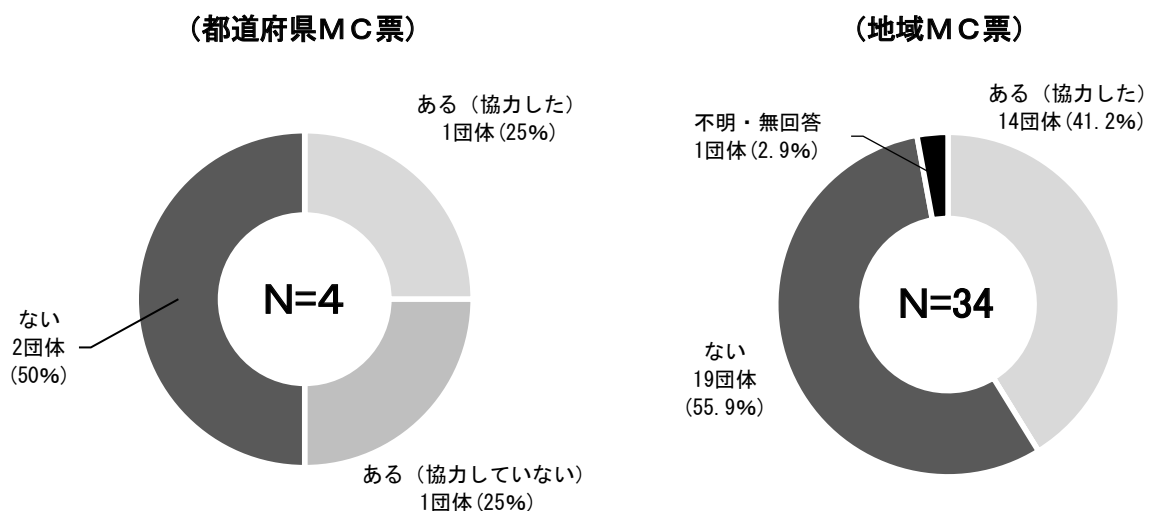
図表 22 救命止血帯（ターニケット）の教育状況



(2) 消防本部からの指導協力要請

- 都道府県MC：教育を実施している4団体のうち1団体（25%）が協力要請を受けて、教育を実施している。
- 地域MC：教育を実施している34団体のうち14団体（41.2%）が協力要請を受けて教育を実施している。

図表 23 消防本部からの指導協力要請



※上記の消防本部からの指導協力要請を受けて教育を実施していると回答した15団体（1都道府県MC・14地域MC）においては、「テロ災害等の対応力向上としての止血に関する教育テキスト」を活用している。

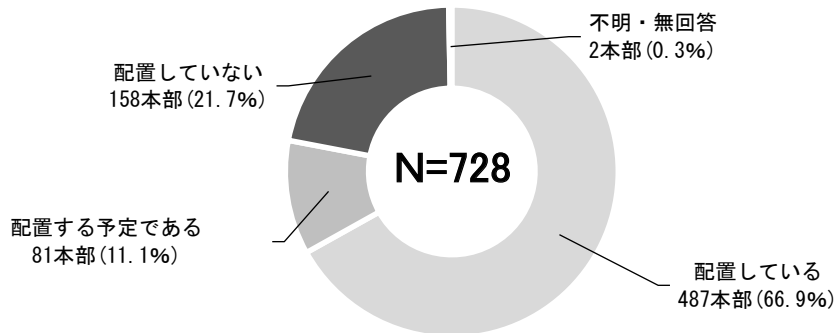
第3章 消防本部票の結果

第1節 指導救命士

1. 指導救命士の配置

487 消防本部（66.9%）が配置していると回答し、昨年より増加している。（平成29年：388 消防本部・約53%）

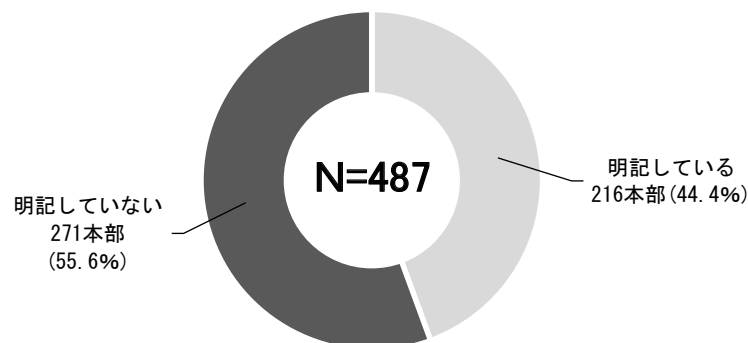
図表24 消防本部における指導救命士の配置状況



2. 指導救命士の制度としての位置付け

216 消防本部（44.4%）が位置づけていると回答し、昨年より増加している。（平成29年：124 消防本部・約32%）

図表25 要綱への指導救命士の役割の明記

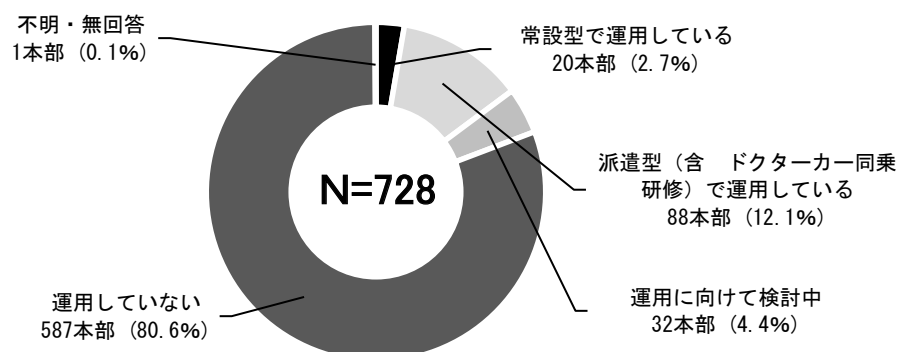


第2節 救急救命士の再教育

1. 救急ワークステーションの運用

常設型 20 消防本部（2.7%）、派遣型 88 消防本部（12.1%）の運用となっている。（平成29年：常設型 18 消防本部・2.0%、派遣型 85 消防本部・12.0%）

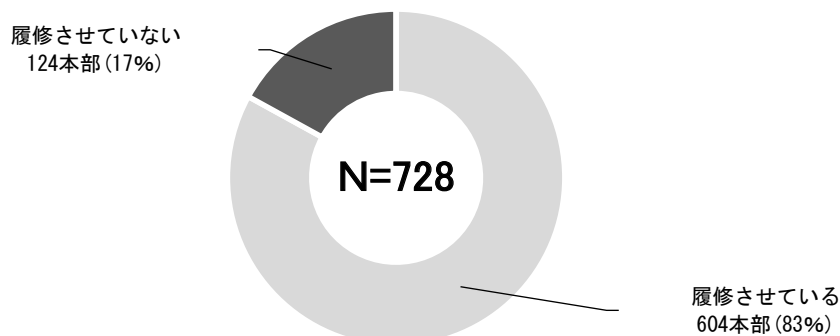
図表26 救急ワークステーションの運用状況



2. 救急救命士の再教育の履修状況

2年間で128時間以上の再教育を履修しているのは604消防本部（83%）であり、昨年よりも増加している。（平成29年：602消防本部・82.0%）

図表 27 再教育の履修状況



履修させていない理由

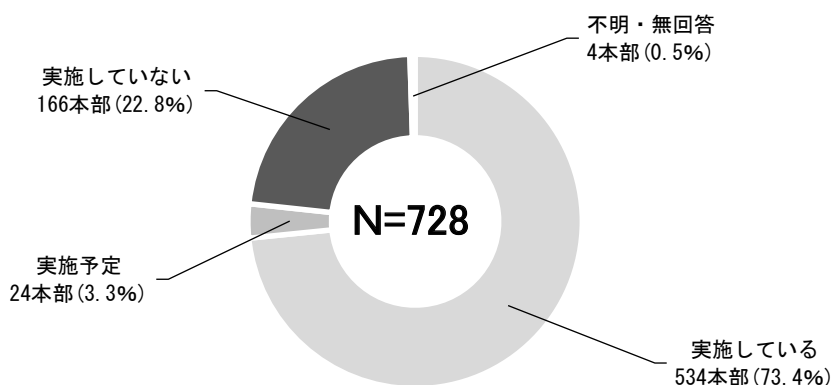
- 受入先の医療機関確保に限界がある
- 人員（兼務・勤務体制の維持）確保の問題
- 病院実習以外は個人による自発的な研修等の受講に任せているため
- 予算の状況により困難
- 指導救命士による日常的な教育の運用が定まっていない など

第3節 通信指令員の救急に係る教育及び口頭指導について

1. 教育の実施状況

通信指令員の救急に係る教育については、534消防本部（73.4%）で実施している。

図表 28 通信指令員教育の実施状況



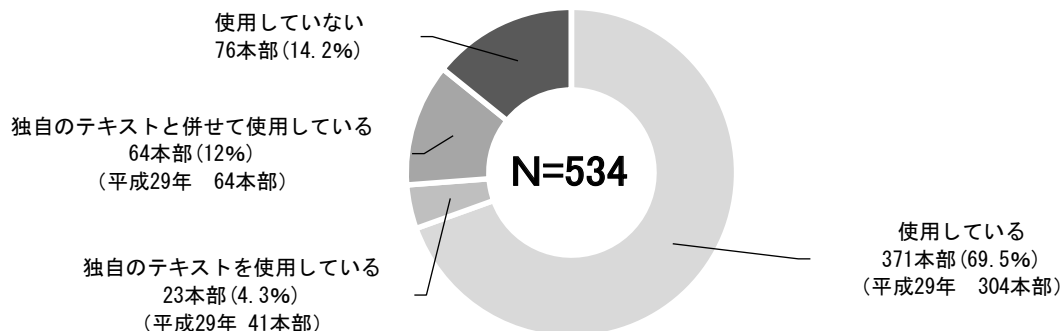
実施していない理由

- 教育時間が確保できないため
- 指導者がいないため
- 担当部署の理解がえられない
- 自己研鑽で講習会等を活用している
- 指令員と救急隊員が兼務のため特化した教育は行っていない など

2. 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用

教育を実施している534消防本部のうち、371消防本部（69.5%）が「通信指令員の救急に係る教育テキスト」を活用している。

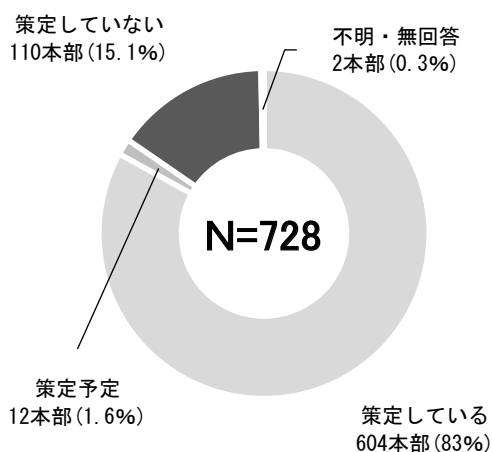
図表29 テキストの活用状況



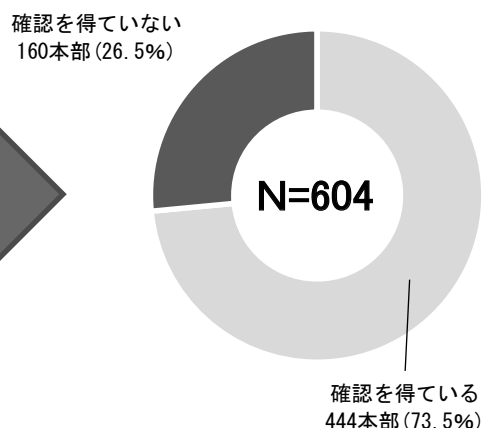
3. 口頭指導要領の策定及び地域MCの承認

全国消防本部の中で604消防本部（83%）が口頭指導要領を策定している。また、要領を策定している消防本部のうち444本部（73.5%）が地域による承認を受け運用している。

図表30 口頭指導要領策定状況



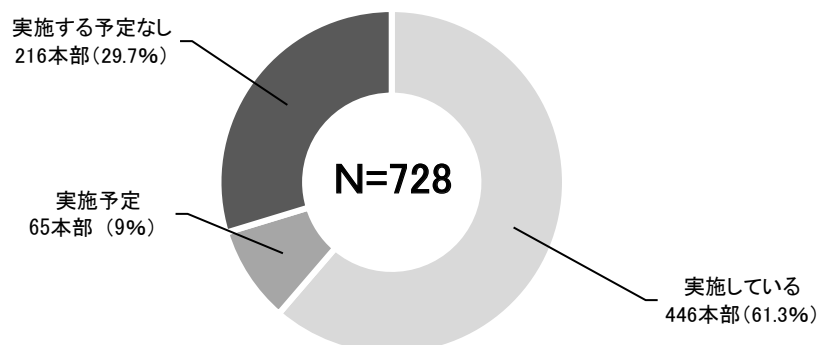
図表31 地域MCの承認状況



4. 口頭指導に係る事後検証の実施

全国消防本部の中で446消防本部（61.3%）が事後検証を実施している。また、65本部（9%）が実施予定であり、いずれも昨年よりも増加している。（平成29年実施している:374本部51%、実施予定:38本部5%）

図表32 口頭指導の事後検証の実施

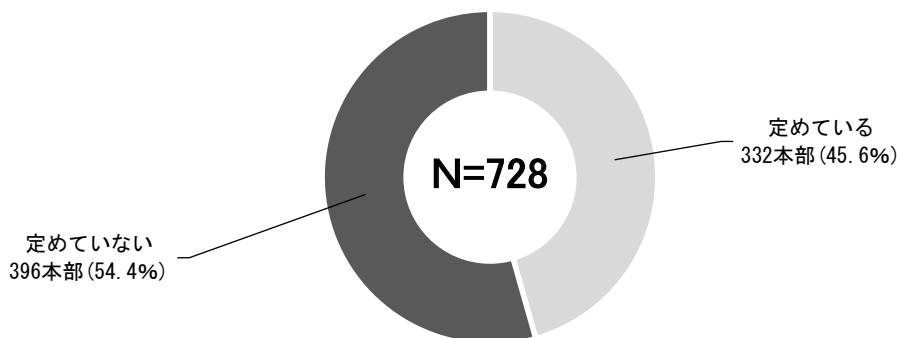


第4節 心肺蘇生を望まない傷病者への救急隊の対応について

1. 対応方針の策定の有無

心肺機能停止状態である傷病者の家族等から、傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示を伝えられた場合の対応方針について、332 消防本部（45.6%）が策定している。

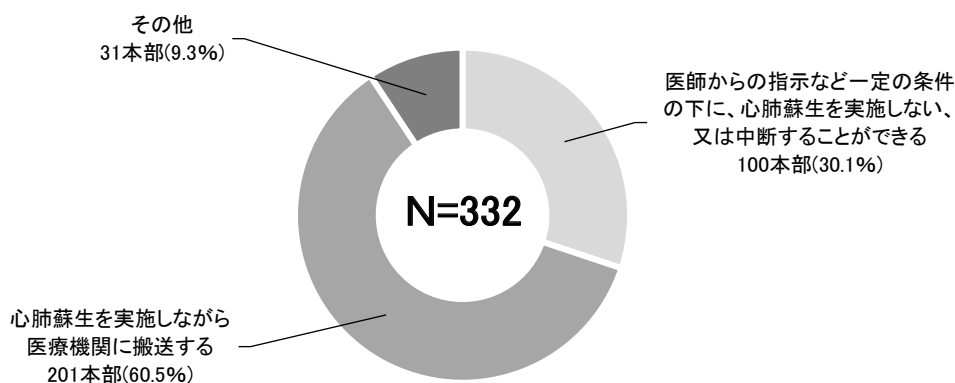
図表 33 対応方針の策定の有無



2. 対応方針の内容

対応方針の内容は、「家族等から傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられても、心肺蘇生を実施しながら医療機関に搬送する。」が最多で 201 消防本部（60.5%）、次いで、「家族等から傷病者本人の心肺蘇生を拒否する意思表示が伝えられた場合、医師からの指示など一定の条件の下に、心肺蘇生を実施しない、又は中断することができる」が 100 消防本部（30.1%）、その他が 31 消防本部（9.3%）となっている。

図表 34 対応方針の内容



その他の主な内容

- （かかりつけ・MC）医師の指示・指導・助言に従う、医師と協議する
- 医療機関から消防へ DNAR の書面提出があり、出動時に確認ができれば心肺蘇生しない
- 主治医の事前指示書がある場合のみ指示に従う など

救急救命士の各種認定数

	1人以上いる 消防本部数	合計人数
救急救命士資格者の総数	728	37,143
うち救急隊として運用している 救急救命士数	727	28,482
うち気管挿管認定救急救命士	714	14,609
うちビデオ硬性挿管用喉頭鏡に よる気管挿管認定救急救命士	358	4,583
うち薬剤投与認定救急救命士	727	25,222
うち心停止前の静脈路確保認定 救急救命士	723	19,799
うち低血糖発作に対するブドウ糖 溶液の投与認定救急救命士	723	19,794

「救急年報報告」より作成（平成30年4月1日現在）

メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数

平成30年8月1日現在

平成30年8月1日現在

No.	都道府県名	都道府県MC協議会	地域MC協議会
1	北海道	1	6
2	青森県	1	3
3	岩手県	1	11
4	宮城県	1	9
5	秋田県	1	8
6	山形県	1	5
7	福島県	1	4
8	茨城県	1	8
9	栃木県	1	5
10	群馬県	1	11
11	埼玉県	1	6
12	千葉県	1	10
13	東京都	1	1
14	神奈川県	1	5
15	新潟県	1	5
16	富山県	1	4
17	石川県	1	1
18	福井県	1	4
19	山梨県	1	1
20	長野県	1	10
21	岐阜県	1	5
22	静岡県	1	8
23	愛知県	1	7
24	三重県	1	9
25	滋賀県	1	7
26	京都府	1	6
27	大阪府	1	8
28	兵庫県	1	5
29	奈良県	1	1
30	和歌山県	1	3
31	鳥取県	1	3
32	島根県	1	4
33	岡山県	1	3
34	広島県	1	7
35	山口県	1	5
36	徳島県	1	1
37	香川県	1	1
38	愛媛県	1	3
39	高知県	1	1
40	福岡県	1	4
41	佐賀県	1	5
42	長崎県	1	7
43	熊本県	1	12
44	大分県	1	1
45	宮崎県	1	7
46	鹿児島県	1	6
47	沖縄県	1	5
合計		47	251

指導救命士認定者数(人)
15
28
23
0
26
21
0
72
41
40
74
39
1
41
33
0
34
21
0
32
0
37
0
61
24
17
92
47
28
38
25
20
17
6
46
8
10
47
22
71
24
24
83
0
5
34
42
40道府県 1,369人

※都道府県内に地域MC協議会を設置していない都道府県は、地域MC協議会の役割を都道府県MC協議会が担っているため、地域MC協議会に「1」と計上し、重複計上している。

※指導救命士認定者数については、平成30年度「救急救命体制の整備・充実に関する調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」に基づく都道府県MC協議会回答票に基づく平成30年8月1日現在の報告数である。

都道府県メディカルコントロール

No.	都道府県メディカルコントロール協議会名称	平成29年度中の総会等の開催状況(回数)							
		総会	専門部会等(ワーキンググループ、作業部会など)	①救命救急センターの医師	②救命救急センター以外の救急科専門医	③救急科以外の医師	④医師会の医師※	※④のうち救急専門医	⑤保健所の医師※
1	北海道救急業務高度化推進協議会	1	1	5	1	0	5	0	0
2	青森県メディカルコントロール協議会	1	0	3	0	3	1	0	0
3	岩手県救急業務高度化推進協議会	1	1	2	4	8	2	0	0
4	宮城県メディカルコントロール協議会	1	0	6	0	0	1	0	0
5	秋田県メディカルコントロール協議会	2	0	1	0	9	1	0	0
6	山形県救急業務高度化推進協議会	1	10	3	2	5	2	0	4
7	福島県メディカルコントロール協議会	1	0	3	2	5	2	0	1
8	茨城県救急高度化推進協議会	1	4	1	0	11	2	0	0
9	栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会	2	1	5	0	1	4	4	0
10	群馬県救急医療体制検討協議会		0	3	0	10	3	0	1
11	埼玉県メディカルコントロール協議会	2	2	10	1	2	6	0	0
12	千葉県救急業務高度化推進協議会	1	0	13	0	1	1	1	0
13	東京都メディカルコントロール協議会	2	5	19	3	8	3	1	0
14	神奈川県メディカルコントロール協議会	1	3	7	0	3	3	0	0
15	新潟県メディカルコントロール協議会	2	0	7	0	0	0	0	0
16	富山県救急業務高度化推進協議会		0	2	6	9	2	0	0
17	石川県メディカルコントロール協議会	3	35	9	3	1	1	0	0
18	福井県メディカルコントロール協議会	1	0	1	0	4	1	0	0
19	山梨県メディカルコントロール協議会	2	14	1	2	7	1	0	1
20	長野県メディカルコントロール協議会	1	5	7	0	2	2	0	0
21	岐阜県メディカルコントロール協議会	3	7	7	1	3	2	0	0
22	静岡県メディカルコントロール協議会	1	3	10	2	0	2	0	0
23	愛知県救急業務高度化推進協議会	2	11	24	0	0	1	0	0
24	三重県救急搬送・医療連携協議会	1	4	4	4	2	1	0	0
25	滋賀県メディカルコントロール協議会	1	2	4	1	4	1	0	0
26	京都府高度救急業務推進協議会	1	0	6	3	3	2	0	0
27	大阪府救急業務高度化推進連絡協議会	4	7	16	1	4	1	0	0
28	兵庫県メディカルコントロール協議会	1	0	4	5	2	1	0	0
29	奈良県メディカルコントロール協議会	2	29	5	1	6	1	0	0
30	和歌山県救急救命協議会	1	3	3	7	3	4	1	1
31	鳥取県救急搬送高度化推進協議会	1	2	2	0	4	4	0	0
32	島根県救急業務高度化推進協議会	1	3	0	0	7	1	0	0
33	岡山県救急搬送体制連絡協議会	1	5	1	0	5	4	0	1
34	広島県メディカルコントロール協議会	1	10	1	1	2	2	1	0
35	山口県救急業務高度化推進協議会	1	0	6	1	10	4	2	2
36	徳島県メディカルコントロール協議会	1	9	2	2	14	2	0	4
37	香川県メディカルコントロール協議会	1	3	2	1	8	2	0	0
38	愛媛県メディカルコントロール協議会	1	0	3	2	3	4	0	0
39	高知県救急医療協議会	1	3	2	1	6	3	0	0
40	福岡県救急業務メディカルコントロール協議会	2	4	10	0	3	7	0	0
41	佐賀県メディカルコントロール協議会	1	1	4	3	1	8	0	0
42	長崎県メディカルコントロール協議会	2	1	2	1	4	1	0	0
43	熊本県メディカルコントロール協議会	1	1	4	3	11	2	2	0
44	大分県救急搬送協議会	2	6	6	1	5	4	0	0
45	宮崎県メディカルコントロール協議会	1	2	4	0	0	10	13	1
46	鹿児島県救急業務高度化協議会	1	3	2	0	7	2	0	1
47	沖縄県メディカルコントロール協議会	1	2	3	7	0	1	0	6
合計				245	72	206	120	25	23

協議会開催状況及び構成員状況

構成員							平成30年8月1日現在
⑤のうち救急専門医	⑥都道府県衛生主管部局の課長等	⑦都道府県消防防災主管部局の課長等	⑧消防本部の消防長、救急担当課長等(管理監督者)⑧消防本部の通信指令担当課長	⑨都道府県要綱等で定めた指導救命士	⑩消防本部の通信指令担当課長	⑪その他	その他の構成員(自由記載内容)
0	2	2	8	0	0	2	市職員1人、北海道消防学校1人
0	1	1	4	1	0	0	
0	2	1	3	0	0	0	
0	1	1	3	0	0	8	各地域MC協議会会長
0	1	1	3	3	0	1	秋田県看護協会
0	1	1	5	0	0	0	
0	1	1	1	0	0	5	歯科医師会、市長会、町村長会、県警本部
0	2	1	8	0	0	0	
0	1	1	6	0	0	2	市町行政代表
0	3	1	3	0	0	2	看護協会、災害コーディネーター
0	1	1	9	0	0	0	
0	1	1	5	0	0	2	千葉大学 名誉教授、千葉大学院 救急集中治療医学 教授
0	2	2	8	1	0	5	学識経験者
0	1	1	5	0	0	0	
0	0	0	5	0	0	3	県医師会理事、消防長会長、保健所長会委員
0	2	4	9	0	0	0	
0	1	1	11	0	0	0	
0	1	1	4	0	0	0	
0	1	1	10	0	0	1	消防学校長
0	2	2	3	1	0	0	
0	1	0	7	0	0	1	看護師
0	0	0	3	0	0	8	地域MCごとに消防本部から1人
0	1	1	17	0	0	1	県病院協会長
0	1	1	8	0	0	3	三重県看護協会長、三重県市長会代表、三重県町村会代表
0	2	1	7	0	0	1	県健康医療福祉部障害福祉課長
0	1	1	4	0	0	7	京都私立病院協会副会長、府病院協会副会長、地域MC協議会代表(5人)
0	1	1	4	0	0	0	
0	0	0	5	0	0	2	看護師、弁護士
0	1	1	2	0	0	0	
0	1	1	9	0	0	0	
0	0	0	3	0	0	6	看護師協会、連合婦人会、日本てんかん協会鳥取県支部、介護支援専門員連絡協議会
0	1	2	9	0	0	2	市長会常務理事、町村会常務理事
0	1	1	14	0	0	4	県病院協会の医師、市長会長、町村会長
0	1	1	2	0	0	1	看護師
0	5	4	9	0	0	4	救急救命士
0	2	1	13	8	0	0	
0	1	1	5	0	0	3	学識経験者(県教育委員、弁護士、大学名誉教授)
0	2	1	6	0	0	0	
0	1	1	5	0	0	1	高知県救急医療情報センター理事長
0	2	1	8	0	0	3	救急救命九州研修所 専任教授、福岡救急医学会 会長 国立病院機構九州医療センター
0	1	1	5	0	0	3	県老人福祉施設協議会、県看護協会、女性防火クラブ
0	1	1	3	0	0	0	
0	2	1	12	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	7	県内ブロック消防職員
0	1	1	10	0	0	0	
0	1	1	6	0	0	0	
0	2	1	5	5	0	1	県消防学校の救急担当教官
0	60	51	294	19	0	89	

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

平成30年8月1日現在

都道府県	救命救急センター	施設名
北海道	①	旭川赤十字病院
	②	市立函館病院
	③	市立釧路総合病院
	④	北見赤十字病院
	⑤	市立札幌病院
	⑥	帯広厚生病院
	⑦	札幌医科大学附属病院
	⑧	手稲溪仁会病院
	⑨	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
	⑩	旭川医科大学病院
	⑪	砂川市立病院
	⑫	名寄市立総合病院
青森県	①	青森県立中央病院
	②	八戸市立市民病院
	③	弘前大学医学部附属病院
岩手県	①	岩手医科大学附属病院
	②	岩手県立久慈病院
	③	岩手県立大船渡病院
宮城県	①※	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
	②	仙台市立病院
	③	大崎市民病院
	④※	東北大学病院
	⑤	石巻赤十字病院
	⑥	みやぎ県南中核病院
秋田県	①	秋田赤十字病院
山形県	①	山形県立中央病院
	②	公立置賜総合病院
	③	日本海総合病院
福島県	①	いわき市立総合磐城共立病院
	②	財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
	③	会津中央病院
	④	福島県立医科大学附属病院
茨城県	①※	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
	②	筑波メディカルセンター病院
	③	総合病院土浦協同病院
	④	茨城西南医療センター病院
	⑤※	水戸済生会総合病院
	⑥	株式会社日立製作所日立総合病院
栃木県	①	済生会宇都宮病院
	②	足利赤十字病院
	③	那須赤十字病院
	④	獨協医科大学病院
	⑤	自治医科大学附属病院
群馬県	①	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
	②	前橋赤十字病院
	③	SUBARU 健康保険組合太田記念病院
	④	群馬大学病院医学部附属病院
埼玉県	①	さいたま赤十字病院
	②	埼玉医科大学総合医療センター

都道府県	救命救急センター	施設名
埼玉県	③	深谷赤十字病院
	④	防衛医科大学校病院
	⑤	川口市立医療センター
	⑥	獨協医科大学埼玉医療センター
	⑦	埼玉医科大学国際医療センター
	⑧	自治医科大学附属さいたま医療センター
千葉県	①	千葉県救急医療センター
	②	総合病院国保旭中央病院
	③	国保直営総合病院君津中央病院
	④	亀田総合病院
	⑤	松戸市立総合医療センター
	⑥	成田赤十字病院
	⑦	船橋市立医療センター
	⑧	日本医科大学千葉北総病院
	⑨	順天堂大学医学部附属浦安病院
	⑩	東京慈恵会医科大学附属柏病院
	⑪	東千葉メディカルセンター
	⑫	東京女子医科大学附属八千代医療センター
	⑬	帝京大学ちば総合医療センター
東京都 (23区)	①	日本医科大学付属病院
	②	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
	③	東邦大学医療センター大森病院
	④	都立広尾病院
	⑤	帝京大学医学部附属病院
	⑥	都立墨東病院
	⑦	東京女子医科大学病院
	⑧	日本大学病院
	⑨	日本大学医学部附属板橋病院
	⑩	東京医科大学病院
	⑪	昭和大学病院
	⑫	東京女子医科大学東医療センター
	⑬	聖路加国際病院
	⑭	東京医科歯科大学医学部附属病院
	⑮	日本赤十字社医療センター
	⑯	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
	⑰	東京大学医学部附属病院
	⑱	東京都済生会中央病院
東京都 (多摩地区)	①	杏林大学医学部付属病院
	②	東京医科大学八王子医療センター
	③	武蔵野赤十字病院
	④	日本医科大学多摩永山病院
	⑤	都立多摩総合医療センター
	⑥	公立昭和病院
	⑦	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
	⑧	青梅市立総合病院
神奈川県	①	聖マリアンナ医科大学病院
	②	横浜医療センター
	③	北里大学病院
	④	東海大学医学部付属病院
	⑤	昭和大学藤が丘病院
	⑥	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
	⑦	横浜市立大学附属市民総合医療センター

都道府県	救命救急センター	施設名
神奈川県	⑧	横須賀共済病院
	⑨	川崎市立川崎病院
	⑩	日本医科大学武蔵小杉病院
	⑪	藤沢市民病院
	⑫	済生会横浜市東部病院
	⑬	横浜市立みなと赤十字病院
	⑭	小田原市立病院
	⑮	横浜市立市民病院
	⑯	横浜労災病院
	⑰	横須賀市立うわまち病院
	⑱	湘南鎌倉総合病院
	⑲	横浜南共済病院
	⑳	平塚市民病院
新潟県	㉑	海老名総合病院
	❶	長岡赤十字病院
	❷	新潟市民病院
	❸	新潟県立中央病院
	❹	新潟県立新発田病院
	❺	新潟大学医歯学総合病院
富山県	❻	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院
	❶	富山県立中央病院
石川県	❷	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院
	①	石川県立中央病院(平成30年9月ドクターヘリ導入予定)
福井県	②	公立能登総合病院
	①	福井県立病院
山梨県	②	杉田玄白記念公立小浜病院
	❶	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院救急救命センター
長野県	①	長野赤十字病院
	❷	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター
	③	慈泉会相澤病院
	❹	信州大学医学部附属病院
	⑤	諏訪赤十字病院
	⑥	飯田市立病院
	⑦	伊那中央病院
岐阜県	①	岐阜県総合医療センター
	②	地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
	③	日本赤十字社 高山赤十字病院
	④	大垣市民病院
	⑤	JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院
	❻	岐阜大学医学部附属病院
静岡県	①	静岡済生会総合病院
	❷	順天堂大学医学部附属静岡病院
	③	浜松医療センター
	④	静岡赤十字病院
	❺	聖隷三方原病院
	⑥	沼津市立病院
	⑦	磐田市立総合病院
	⑧	聖隷浜松病院
	⑨	地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院
	⑩	中東遠総合医療センター
	⑪	藤枝市立総合病院
愛知県	①	名古屋掖済会病院

都道府県	救命救急センター	施設名
愛知県	②	藤田保健衛生大学病院
	③	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
	④	愛知医科大学病院
	⑤	岡崎市民病院
	⑥	豊橋市民病院
	⑦	名古屋第二赤十字病院
	⑧	小牧市民病院
	⑨	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
	⑩	中京病院
	⑪	名古屋第一赤十字病院
	⑫	半田市立半田病院
	⑬	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
	⑭	総合大雄会病院
	⑮	一宮市立市民病院
	⑯	名古屋市立大学病院
	⑰	刈谷豊田総合病院
	⑱	トヨタ記念病院
	⑲	愛知厚生連海南病院
	⑳	公立陶生病院
	㉑	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院
	㉒	春日井市民病院
	㉓	名古屋市立東部医療センター
	三重県	①※
②		三重県立総合医療センター
③		市立四日市病院
④※		三重大学医学部附属病院
滋賀県	①	大津赤十字病院
	②	長浜赤十字病院
	③	済生会滋賀県病院
	④	近江八幡市立総合医療センター
京都府	①	京都第二赤十字病院
	②	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
	③	京都第一赤十字病院
	④	市立福知山市民病院
	⑤	医療法人社団洛和会音羽病院
	⑥	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
大阪府	①	大阪急性期・総合医療センター
	②	関西医科大学総合医療センター
	③	大阪府済生会千里病院
	④	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
	⑤	近畿大学医学部附属病院
	⑥	大阪府三島救命救急センター
	⑦	大阪市立総合医療センター
	⑧	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
	⑨	大阪府立中河内救命救急センター
	⑩	大阪大学医学部附属病院
	⑪	大阪赤十字病院
	⑫	大阪警察病院
	⑬	関西医科大学附属病院
	⑭	大阪市立大学医学部附属病院
	⑮	岸和田徳洲会病院
	⑯	堺市立総合医療センター

都道府県	救命救急センター	施設名
兵庫県	①	神戸市立医療センター中央市民病院
	②	兵庫医科大学病院
	③	兵庫県立姫路循環器病センター
	④	公立豊岡病院
	⑤	兵庫県災害医療センター
	⑥※	兵庫県立加古川医療センター
	⑦	兵庫県立西宮病院
	⑧※	製鉄記念広畑病院
	⑨	兵庫県立淡路医療センター
	⑩	兵庫県立尼崎総合医療センター
奈良県	①	奈良県総合医療センター
	②	奈良県立医科大学附属病院
	③	近畿大学医学部奈良病院
和歌山県	①	日本赤十字社和歌山医療センター
	②	和歌山県立医科大学附属病院
	③	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター
鳥取県	①	鳥取県立中央病院
	②	鳥取大学医学部附属病院
島根県	①	島根県立中央病院
	②	松江赤十字病院
	③	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
	④	島根大学医学部附属病院
岡山県	①	川崎医科大学附属病院
	②	岡山赤十字病院
	③	津山中央病院
	④	岡山大学病院
	⑤	倉敷中央病院
広島県	①	広島市立広島市民病院
	②	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
	③	県立広島病院
	④	広島大学病院
	⑤	福山市民病院
	⑥	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院
	⑦	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
山口県	①	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター
	②	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
	③	山口大学医学部附属病院
	④	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター
	⑤	徳山中央病院
徳島県	①	徳島県立中央病院
	②	徳島赤十字病院
	③	徳島県立三好病院
香川県	①	香川県立中央病院
	②	香川大学医学部附属病院
	③	三豊総合病院
愛媛県	①	愛媛県立中央病院
	②	愛媛県立新居浜病院
	③	市立宇和島病院
高知県	①	高知赤十字病院
	②	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
	③	近森病院
福岡県	①	北九州市立八幡病院

都道府県	救命救急センター	施設名
福岡県	②	済生会福岡総合病院
	③	久留米大学病院
	④	飯塚病院
	⑤	福岡大学病院
	⑥	北九州総合病院
	⑦	九州大学病院
	⑧	聖マリア病院
	⑨	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
	⑩	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
	佐賀県	①※
②※		佐賀大学医学部附属病院
③		唐津赤十字病院
④		独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎県	①	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
	②	長崎大学病院
	③	佐世保市総合医療センター
熊本県	①	熊本赤十字病院
	②	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
	③	済生会熊本病院
大分県	①	大分市医師会立アルメイダ病院
	②	大分大学医学部附属病院
	③	大分県立病院
	④	国家公務員共済組合連合会新別府病院
宮崎県	①	県立宮崎病院
	②	県立延岡病院
	③	宮崎大学医学部附属病院
鹿児島県	①	鹿児島市立病院
	②	鹿児島大学病院
	③	県立大島病院
沖縄県	①	沖縄県立中部病院
	②	浦添総合病院
	③	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

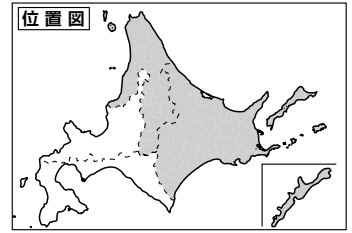
※救命救急センター(高度救命救急センター及び地域救命救急センター含む) 合計 289カ所

※「●」はドクターヘリ導入病院 運用施設数 合計 52カ所 なお、「※」は複数基地病院を示す。

北海道【北海道救急業務高度化推進協議会】

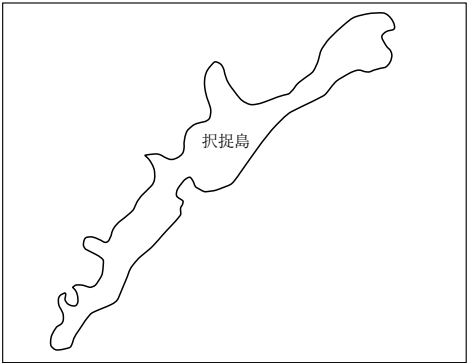
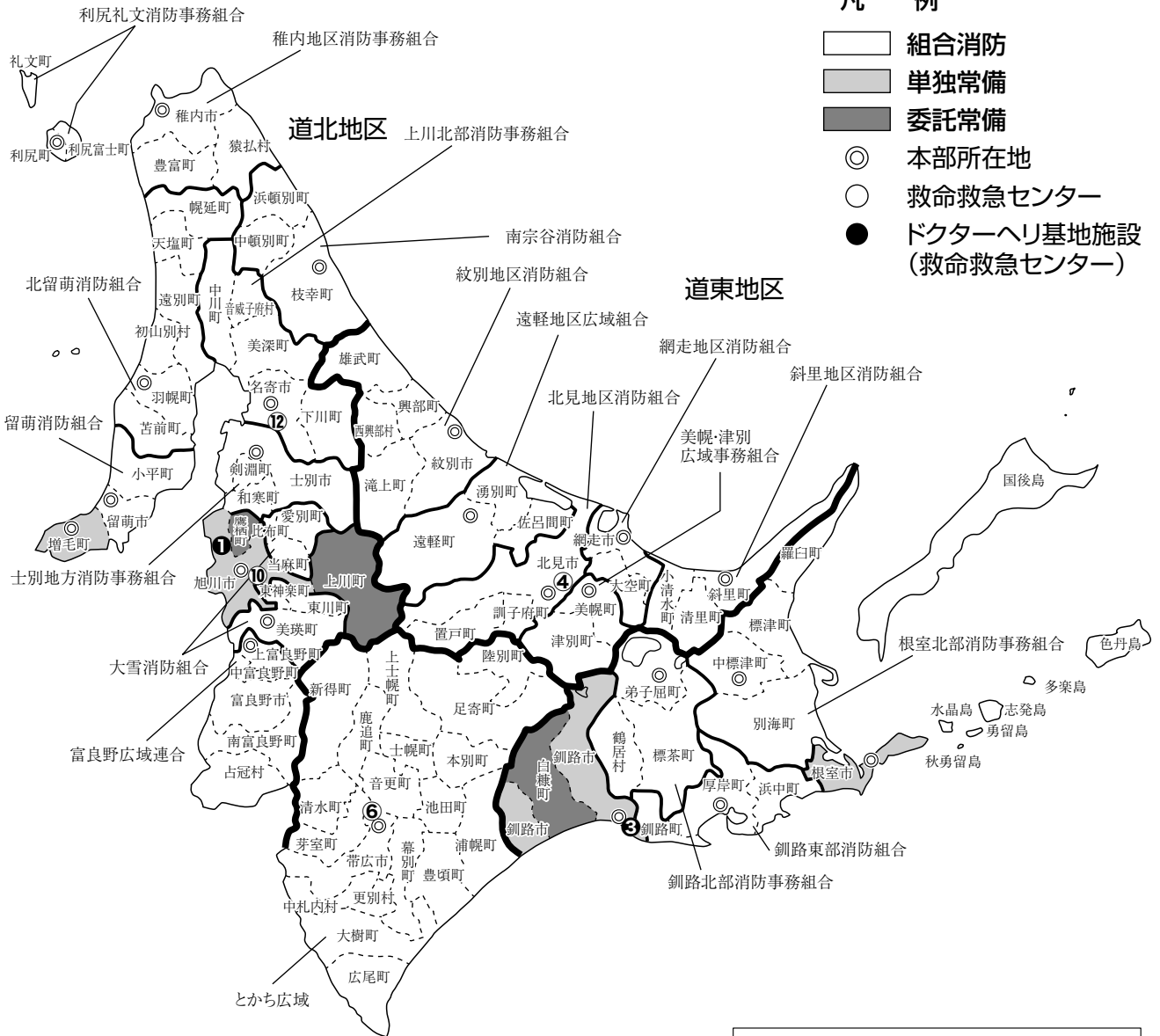
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
北海道救急業務高度化推進協議会	辻井 宏文 北海道総務部危機対策局 局長	北海道総務部危機対策局危機対策課 保健福祉部地域医療推進局地域医療課 北海道札幌市中央区北3条西6丁目 011-204-5009 011-231-4314		
道南圏メディカルコントロール協議会	近嵐 伸幸 函館市消防本部 消防長	北海道渡島総合振興局地域政策部地域政策課 北海道函館市美原4丁目6-16 渡島合同庁舎内 0138-47-9430 0138-47-9203	函館市消防本部 長万部町消防本部 森町消防本部 八雲町消防本部 南渡島消防事務組合消防本部 渡島西部広域事務組合消防本部 檜山広域行政組合消防本部	市立函館病院
道央圏メディカルコントロール協議会	山陰 治仁 札幌市消防局 救急担当部長	北海道石狩振興局地域政策部地域政策課 北海道札幌市中央区3条西7丁目 道庁別館 011-204-5818 011-232-1070	札幌市消防局 江別市消防本部 千歳市消防本部 恵庭市消防本部 北広島市消防本部 石狩北部地区消防事務組合消防本部 夕張市消防本部 美唄市消防本部 歌志内市消防本部 三笠市消防本部 岩見沢地区消防事務組合消防本部 砂川地区広域消防組合消防本部 滝川地区広域消防事務組合消防本部 深川地区消防組合消防本部 南空知消防組合消防本部 小樽市消防本部 岩内・寿都地方消防組合消防本部 羊蹄山ろく消防組合消防本部 北後志消防組合消防本部 苫小牧市消防本部 室蘭市消防本部 登別市消防本部 白老町消防本部 西胆振行政事務組合消防本部 胆振東部消防組合消防本部 日高西部消防組合消防本部 日高中部消防組合消防本部 日高東部消防組合消防本部	市立札幌病院 札幌医科大学附属病院 北海道大学病院
道北圏メディカルコントロール協議会	吉野 良一 旭川市消防本部 消防長	北海道上川総合振興局地域政策部地域政策課 北海道旭川市永山6条19丁目 上川合同庁舎内 0166-46-5918 0166-46-5204	旭川市消防本部 上川北部消防事務組合消防本部 富良野広域連合消防本部 大雪消防組合消防本部 士別地方消防事務組合消防本部 増毛町消防本部 留萌消防組合消防本部 北留萌消防組合消防本部 稚内地区消防事務組合消防本部 南宗谷消防組合消防本部 利尻礼文消防事務組合消防本部	旭川赤十字病院
オホーツク圏メディカルコントロール協議会	板東 克浩 北見地区消防組合消防本部 消防長	北海道オホーツク総合振興局地域政策部地域政策課 北海道網走市北7条西3丁目 オホーツク合同庁舎内 0152-41-0625 0152-44-7261	北見地区消防組合消防本部 網走地区消防組合消防本部 紋別地区消防組合消防本部 斜里地区消防組合消防本部 美幌・津別広域事務組合消防本部 遠軽地区広域組合消防本部	北見赤十字病院
十勝圏メディカルコントロール協議会	上田 勇治 とちか広域消防局 消防局長	北海道十勝総合振興局地域政策部地域政策課 北海道帯広市東3条南3丁目 十勝合同庁舎内 0155-26-9023 0155-22-0185	とちか広域消防局	帯広厚生病院
釧路・根室圏メディカルコントロール協議会	臺丸谷 修一(だいまるや) 釧路市消防本部 消防長	北海道釧路総合振興局地域政策部地域政策課 北海道釧路市浦見2丁目2-54 0154-43-9144 0154-42-2116	釧路市消防本部 釧路北部消防事務組合消防本部 釧路東部消防組合消防本部 根室市消防本部 根室北部消防事務組合消防本部	市立釧路総合病院

北海道 道北 道東地区

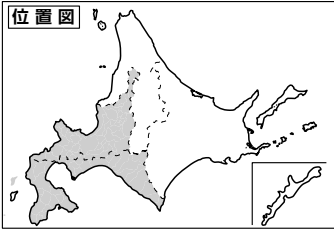


凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



北海道 道西 道南 道央地区



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	旭川赤十字病院
②	市立函館病院
③	市立釧路総合病院
④	北見赤十字病院
⑤	市立札幌病院
⑥	帯広厚生病院
⑦	札幌医科大学附属病院
⑧	手稲溪仁会病院
⑨	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
⑩	旭川医科大学病院
⑪	砂川市立病院
⑫	名寄市立総合病院

青森県 【青森県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
青森県メディカルコントロール協議会	山村 仁 弘前大学医学部付属病院 高度救命救急センター長	青森県健康福祉部医療業務課 青森市長島一丁目1番1号 017-734-9287 017-734-8089		
青森・下北地域メディカルコントロール協議会	花田 裕之 青森県立中央病院 救命救急センター長	青森県危機管理局消防保安課 青森市長島一丁目1番1号 017-734-9087 017-722-4867	青森地域広域事務組合消防本部 下北地域広域行政事務組合消防本部	青森県立中央病院【他】
八戸・上十三地域メディカルコントロール協議会	野田頭 達也 八戸市立市民病院 救命救急センター所長	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 八戸市大字田向字松ヶ崎7番地8 0178-44-4857 0178-44-1196	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 十和田地域広域事務組合消防本部 三沢市消防本部 北部上北広域事務組合消防本部 中部上北広域事業組合消防本部	八戸市立市民病院【他】
津軽・西北五地域メディカルコントロール協議会	山村 仁 弘前大学医学部付属病院 高度救命救急センター長	弘前地区消防事務組合消防本部 弘前市大字本町2番地1 0172-32-5103 0172-33-9117	弘前地区消防事務組合消防本部 五所川原地区消防事務組合消防本部 つがる市消防本部 鱒ヶ沢地区消防事務組合消防本部	国立大学法人弘前大学医学部附属病院【他】

救命救急センター設置状況 一覧表

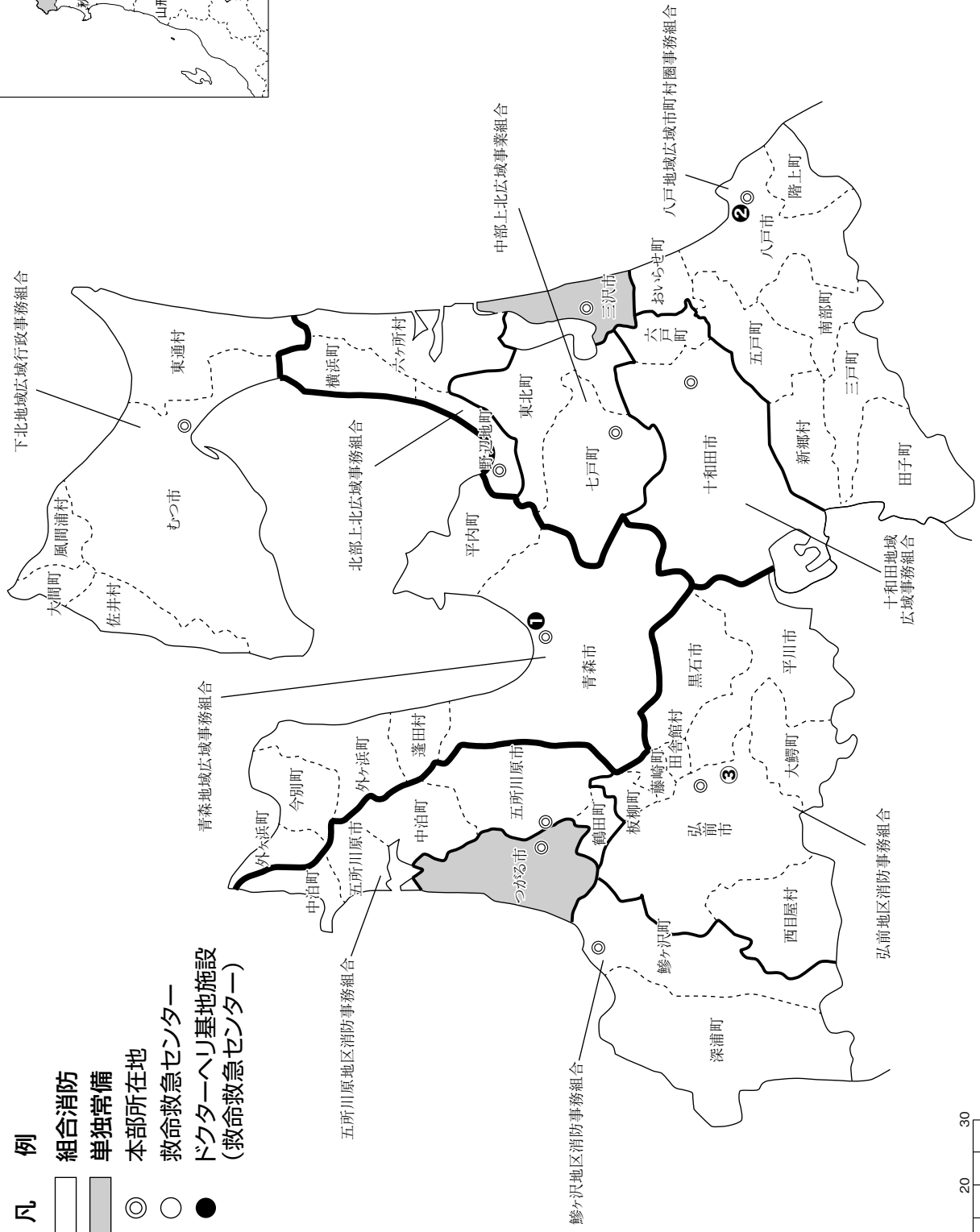
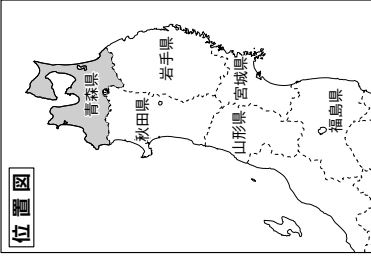
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	青森県立中央病院
②	八戸市立市民病院
③	弘前大学医学部附属病院

地域MC協議会 3

青森県

- 凡 例
- ◻ 組合消防
 - ◼ 単独常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



岩手県 【岩手県救急業務高度化推進協議会】

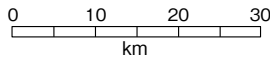
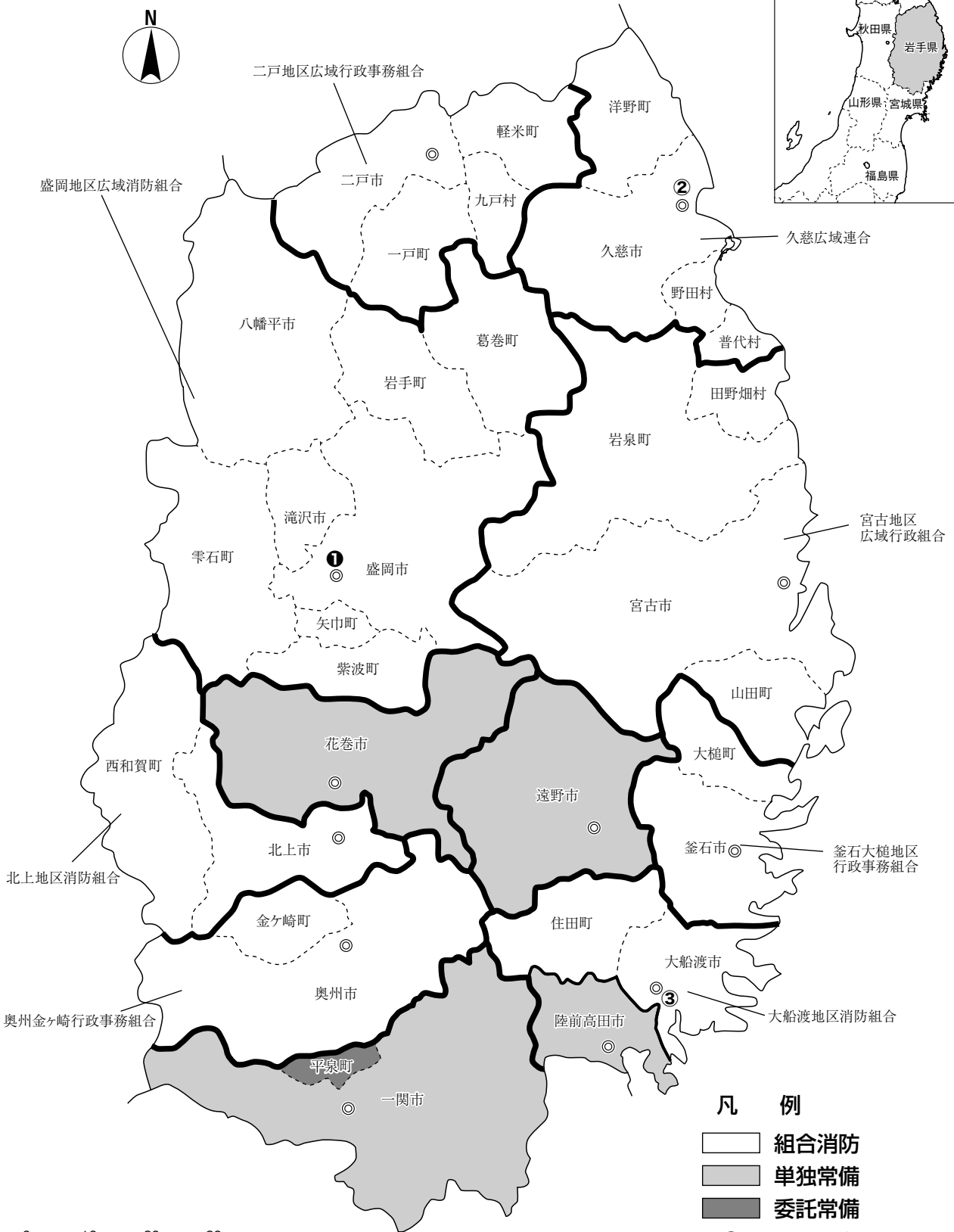
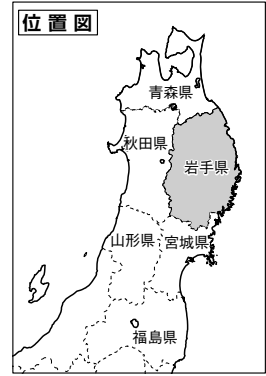
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
岩手県救急業務高度化推進協議会	井上 義博 岩手医科大学医学部 岩手県高度救命救急センター長	岩手県総務部総合防災室 岩手県盛岡市内丸10番1号 019-629-5151 019-629-5174		
盛岡地域メディカルコントロール協議会	井上 義博 岩手医科大学医学部 岩手県高度救命救急センター長	盛岡地区広域消防組合消防本部警防課 盛岡市盛岡駅西通一丁目27番55号 019-626-7402 019-651-9916	盛岡地区広域消防組合消防本部	岩手県高度救命救急センター 岩手県立中央病院 盛岡赤十字病院
宮古地域メディカルコントロール協議会	村上 晶彦 岩手県立宮古病院 院長	宮古地区広域行政組合消防本部消防課 宮古市五月町2番1号 0193-71-1159 0193-64-5006	宮古地区広域行政組合消防本部	岩手県立宮古病院 恩賜財団岩手県済生会岩泉病院
一関地域メディカルコントロール協議会	須田 志優 一関市医師会 会長	一関市消防本部 一関市山目字中野140番地3 0191-25-5912 0191-25-5922	一関市消防本部	岩手県立磐井病院 岩手県立千厩病院 岩手県立大東病院 一関市国民健康保険 藤沢病院 独立行政法人国立病院機構 岩手病院 特定医療法人博愛会 一関病院
釜石地域メディカルコントロール協議会	小泉 嘉明 釜石医師会 会長	釜石大槌地区行政事務組合消防本部消防課 釜石市鈴子町16番19号 TEL 0193-22-1642 FAX 0193-55-6333	釜石大槌地区行政事務組合消防本部	岩手県立釜石病院 医療法人薬山会せいづ記念病院
胆江地域メディカルコントロール協議会	川村 秀司 岩手県立江刺病院 院長	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部消防救急課 奥州市水沢区大鐘町二丁目16番地 0197-24-7211 0197-23-6239	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部	岩手県立胆沢病院 岩手県立江刺病院 奥州市総合水沢病院
久慈地域メディカルコントロール協議会	吉田 徹 岩手県立久慈病院 院長	久慈広域連合消防本部 久慈市長内町第29地割21番地1 0194-53-0119 0194-53-3115	久慈広域連合消防本部	岩手県立久慈病院救命救急センター 洋野町国民健康保険種市病院
花巻地域メディカルコントロール協議会	三浦 良雄 花巻市医師会 会長	花巻市消防本部警防課 花巻市材木町12番6号 0198-22-6124 0198-22-5549	花巻市消防本部	公益財団法人総合花巻病院 岩手医科大学附属花巻温泉病院 岩手県立東和病院 社団医療法人啓愛会宝陽病院
北上地域メディカルコントロール協議会	根本 薫 北上医師会 会長	北上地区消防組合消防本部 北上市柳原町二丁目3番6号 0197-65-5176 0197-65-5170	北上地区消防組合消防本部	岩手県立中部病院 社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院 町立西和賀さわうち病院
気仙地域メディカルコントロール協議会	瀧向 透 岩手県立大船渡病院 院長 救命救急センター長	大船渡地区消防組合消防本部消防課 大船渡市盛町字木町1-1 0192-27-2119 0192-27-7414	大船渡地区消防組合消防本部 陸前高田市消防本部	岩手県立大船渡病院【他】
遠野地域メディカルコントロール協議会	郷右近 祐司 岩手県立遠野病院 副院長	遠野市消防本部 遠野市青笹町糠前10-46 0198-62-2119 0198-62-2271	遠野市消防本部	岩手県立遠野病院
二戸地域メディカルコントロール協議会	佐藤 昌之 岩手県立二戸病院 院長	二戸地区広域行政事務組合消防本部 二戸市金田一字上田面300番地2 0195-26-8111 0195-26-8113	二戸地区広域行政事務組合消防本部	岩手県立二戸病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	岩手医科大学附属病院
②	岩手県立久慈病院
③	岩手県立大船渡病院

岩手県



- 凡 例**
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)

宮城県 【宮城県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
宮城県メディカルコントロール協議会	久志本 成樹 <small>東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座</small> 救急医学分野 教授	宮城県総務部消防課 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 022-211-2373 022-211-2398		
仙南地域メディカルコントロール協議会	本多 正久 (一社)角田市医師会 理事	宮城県大河原地方振興事務所 宮城県柴田郡大河原町字南129-1 0224-53-3133 0224-53-3076	仙南地域広域行政事務組合消防本部	みやぎ県南中核病院 公立刈田総合病院 仙南病院
仙台・黒川地域メディカルコントロール協議会	村田 祐二 仙台市立病院 副院長兼救命救急センター長	宮城県総務部消防課 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 022-211-2373 022-211-2398	仙台市消防局 黒川地域行政事務組合消防本部	東北大学病院 仙台市立病院 国立病院機構仙台医療センター 仙台オープン病院
岩沼地域メディカルコントロール協議会	赤間 洋一 岩沼市医師会 救急医療対策委員会 委員長(医療機関と兼務) 委員長	宮城県仙台地方振興事務所 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 022-275-9115 022-233-6624	名取市消防本部 岩沼市消防本部 亙理地区行政事務組合消防本部	総合南東北病院 仙台厚生病院 JCHO仙台南病院 東北医科薬科大学病院 国立病院機構宮城病院
塩釜地域メディカルコントロール協議会	赤石 隆 (公社)宮城県塩釜医師会 副会長	宮城県仙台地方振興事務所 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 022-275-9115 022-233-6624	塩釜地区消防事務組合消防本部	坂総合病院 塩釜市立病院 仙塩総合病院 松島病院 宮城利府掖済会病院 赤石病院
大崎地域メディカルコントロール協議会	宮下 英士 (一社)大崎市医師会 理事	宮城県北部地方振興事務所 宮城県大崎市古川旭4-1-1 0229-91-0716 0229-91-0749	大崎地域広域行政事務組合消防本部	大崎市民病院 大崎市民病院鳴子温泉分院 大崎市民病院鹿島台分院 大崎市民病院岩出山分院
栗原地域メディカルコントロール協議会	中鉢 誠司 栗原市立栗原中央病院 院長	宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 宮城県栗原市築館藤木5-1 0228-22-2121 0228-22-6284	栗原市消防本部	栗原市立栗原中央病院 栗原市立若柳病院 栗原市立栗駒病院 宮城県立循環器・呼吸器病センター 岩手県立磐井病院
登米地域メディカルコントロール協議会	松本 宏 登米市立登米市民病院 院長	宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 登米市迫町佐沼字西佐沼150-5 0220-22-6128 0220-22-8096	登米市消防本部	登米市立登米市民病院 登米市立米谷病院 登米市立豊里病院 宮城県立循環器・呼吸器病センター
石巻地域メディカルコントロール協議会	高橋 邦広 (一社)石巻市医師会 理事	宮城県東部地方振興事務所 宮城県石巻市東中里1-4-32 0225-95-1410 0225-22-8386	石巻地区広域行政事務組合消防本部	石巻赤十字病院 女川町地域医療センター
気仙沼地域メディカルコントロール協議会	成田 徳雄 気仙沼市立病院 脳神経外科科長	宮城県気仙沼地方振興事務所 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 0226-24-2591 0226-23-8175	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部	気仙沼市立病院 南三陸病院

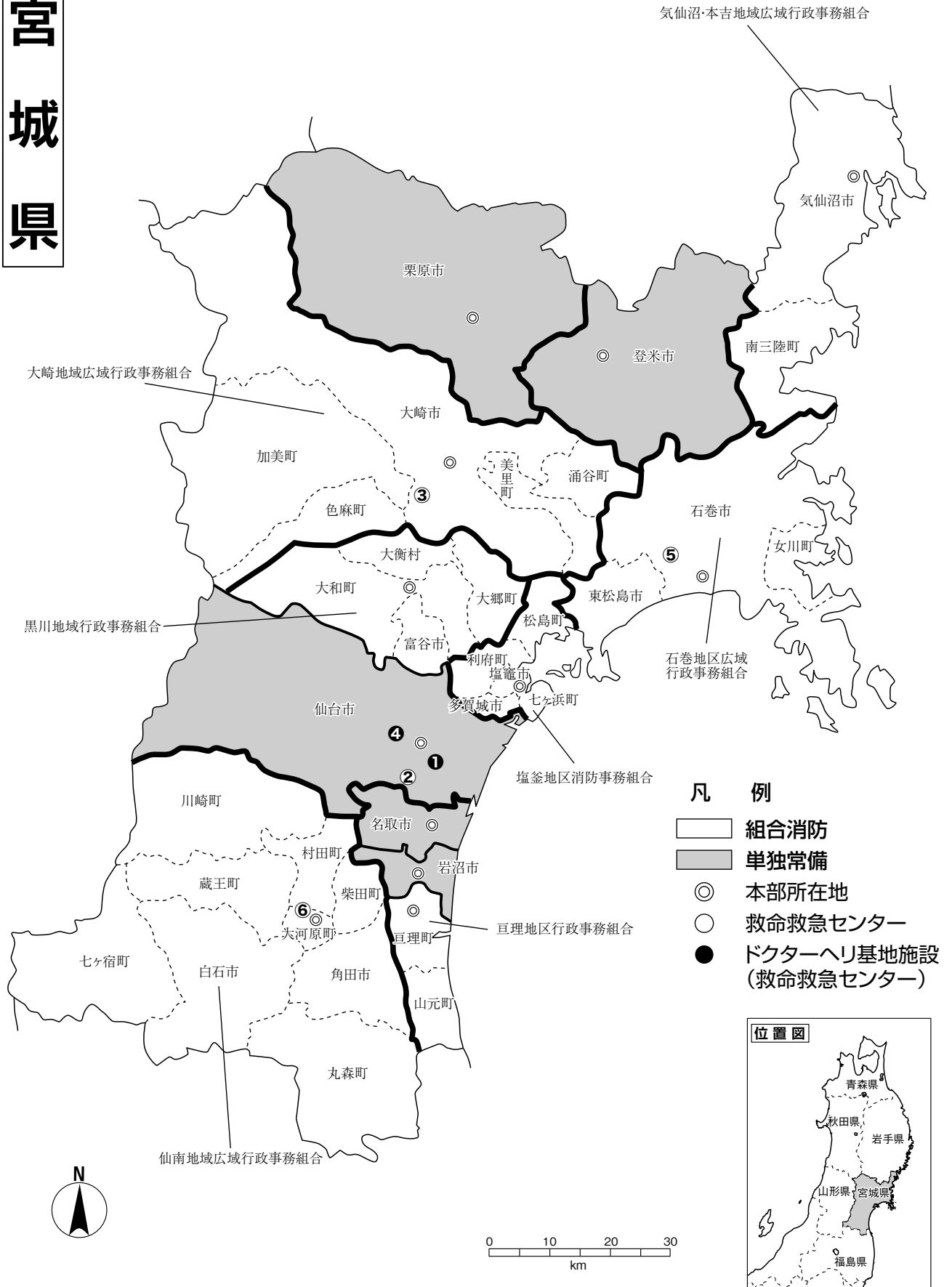
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
②	仙台市立病院
③	大崎市民病院
④※	東北大学病院
⑤	石巻赤十字病院
⑥	みやぎ県南中核病院

※2施設でドクターヘリ1機

宮
城
県



秋田県 【秋田県メディカルコントロール協議会】

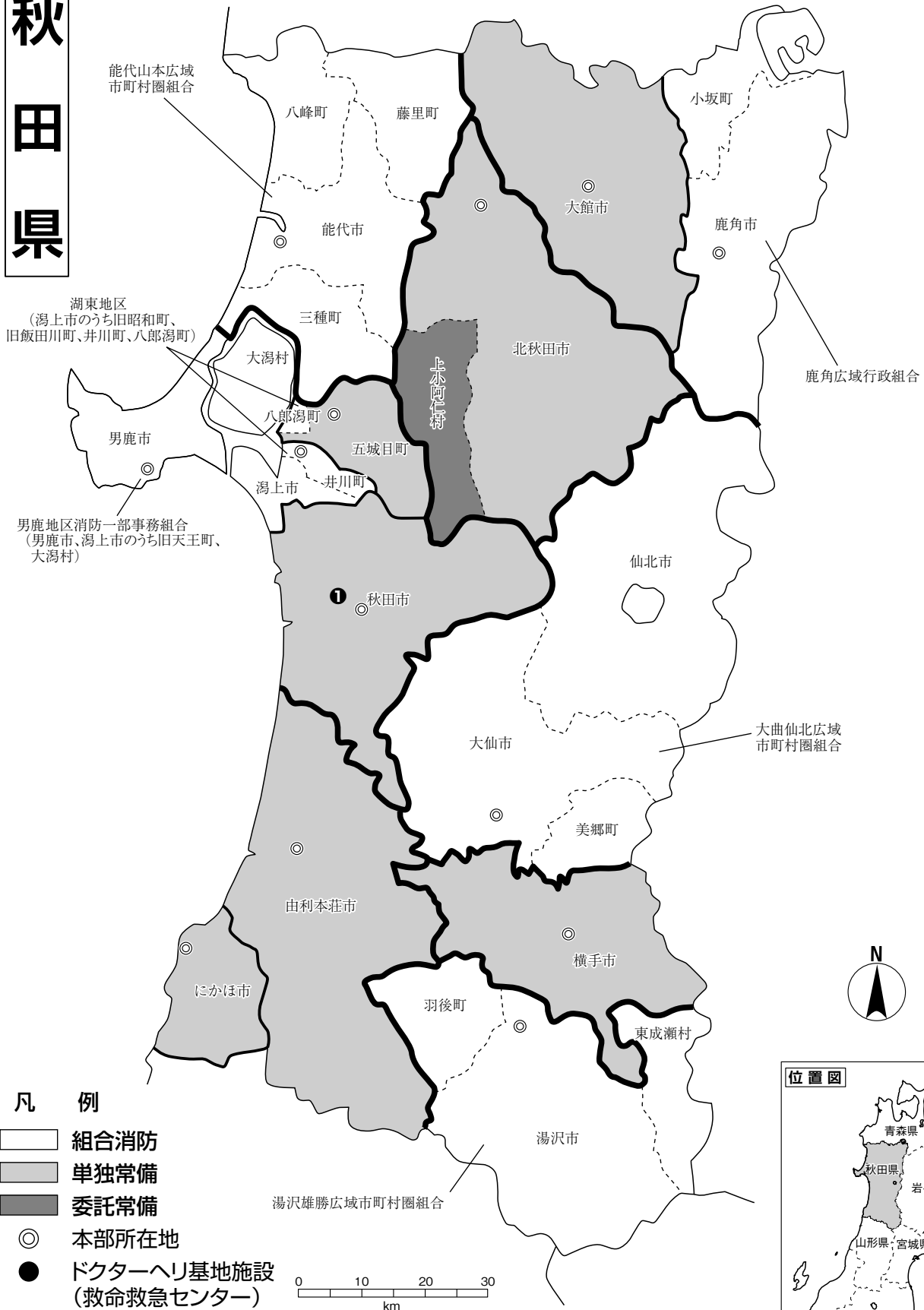
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
秋田県メディカルコントロール協議会	中永 士師明 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系 救急・集中治療医学講座 教授	秋田県総務部総合防災課 秋田市山王3-1-1 0186-860-4565 0186-824-1190		
大館鹿角地域 メディカルコントロール協議会	笹生 昌之 かづの厚生病院 副院長	鹿角広域行政組合消防本部 鹿角市花輪字向畑100番地2 0186-23-5601 0186-23-5605	大館市消防本部 鹿角広域行政組合消防本部	大館市立総合病院 かづの厚生病院 秋田労災病院 大館市立扇田病院
北秋田地域 メディカルコントロール協議会	蒔苗 隆 北秋田市民病院 副院長	北秋田市消防本部警防課 北秋田市鷹巣字北中家下85 0186-62-1119 0186-63-1119	北秋田市消防本部	北秋田市民病院
能代山本地域 メディカルコントロール協議会	佐藤 毅 能代厚生医療センター 副院長 (H30.8.29地域MC会長就任)	能代山本広域市町村圏組合消防本部救急課 能代市緑町2-22 0185-52-3311 0185-53-3958	能代山本広域市町村圏組合消防本部	能代厚生医療センター 能代山本医師会病院 秋田病院
秋田周辺地域 メディカルコントロール協議会	藤田 康雄 秋田赤十字病院 救命救急センター長	秋田市消防本部救急課 秋田市山王1-1-1 018-823-4019 018-823-9006	秋田市消防本部 五城目町消防本部 男鹿地区消防一部事務組合消防本部 湖東地区消防本部	秋田赤十字病院 秋田大学医学部附属病院 県立脳血管研究センター 市立秋田総合病院 秋田厚生医療センター 中通総合病院 男鹿みなと市民病院 藤原記念病院
本荘由利地域 メディカルコントロール協議会	平野 裕 由利組合総合病院 診療部長	由利本荘市消防本部救急課 由利本荘市美倉町27-2 0184-22-4282 0184-23-2748	由利本荘市消防本部 にかほ市消防本部	由利組合総合病院 本荘第一病院 佐藤病院
大仙仙北地域 メディカルコントロール協議会	大高 公成 大曲厚生医療センター 副院長	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部救急救助課 大仙市大曲栄町13-47 0187-63-0318 0187-62-3493	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	大曲厚生医療センター 市立角館総合病院 大曲中通病院
横手地域 メディカルコントロール協議会	齊藤 研 平鹿総合病院 院長	横手市消防本部警防課 横手市条里1-1-1 0182-32-1247 0182-33-1300	横手市消防本部	平鹿総合病院 市立横手病院 市立大森病院
湯沢雄勝地域 メディカルコントロール協議会	天満 和男 雄勝中央病院 院長	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部救急救助課 湯沢市材木町2-1-3 0183-73-3186 0183-73-0734	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	雄勝中央病院 町立羽後病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	秋田赤十字病院

秋田県



山形県 【山形県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
山形県救急業務高度化推進協議会	川前 金幸 山形大学医学部附属病院 麻酔科学講座主任教授	山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安心局危機管理課 山形市松波2丁目8-1 023-630-2227 023-633-4711		
村山地域メディカルコントロール協議会	森野 一真 山形県立中央病院 救命救急センター長	村山保健所保健企画課医薬室 山形市十日町1丁目6-6 023-627-1182 023-627-1126	山形市消防本部 上市市消防本部 天童市消防本部 西村山広域行政事務組合消防本部 村山市消防本部 東根市消防本部 尾花沢市消防本部	山形県立中央病院 山形大学医学部附属病院 山形市立病院済生館 山形済生病院 医療法人社団みゆき会病院 天童市民病院 医療法人社団丹心会吉岡病院 医療法人天童温泉篠田病院 寒河江市立病院 山形県立河北病院 朝日町立病院 西川町立病院 北村山公立病院
最上地域保健医療対策協議会メディカルコントロール専門部会	八戸 茂美 山形県立新庄病院 院長	最上保健所保健企画課 新庄市金沢字大道上2034 0233-29-1256 0233-22-2025	最上広域市町村圏事務組合消防本部	山形県立新庄病院 町立真室川病院 最上町立最上病院
置賜地区救急医療対策協議会メディカルコントロール部会	小林 正義 米沢市医師会 会長	置賜保健所保健企画課 米沢市金池3丁目1-26 0238-22-3872 0238-22-3003	置賜広域行政事務組合消防本部 西置賜行政組合消防本部	米沢市立病院 財団法人三友堂病院 医療法人舟山病院 公立高島病院 公立置賜総合病院 小国町立病院 白鷹町立病院
鶴岡地区メディカルコントロール協議会	小野 俊孝 鶴岡地区医師会 副会長	庄内保健所保健企画課 三川町大字横山字袖東19-1 0235-66-5478 0235-66-4935	鶴岡市消防本部	鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院
酒田地区メディカルコントロール協議会	酒井 朋久 酒田地区医師会 理事	庄内保健所保健企画課 三川町大字横山字袖東19-1 0235-66-5478 0235-66-4935	酒田地区広域行政組合消防本部	日本海総合病院 医療法人社団庄内余目病院 医療法人健好会本間病院 酒田市立八幡病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

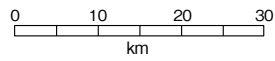
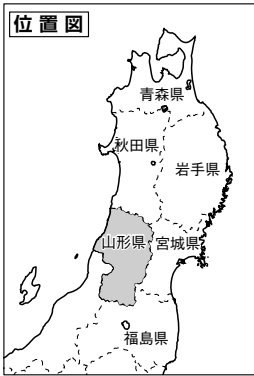
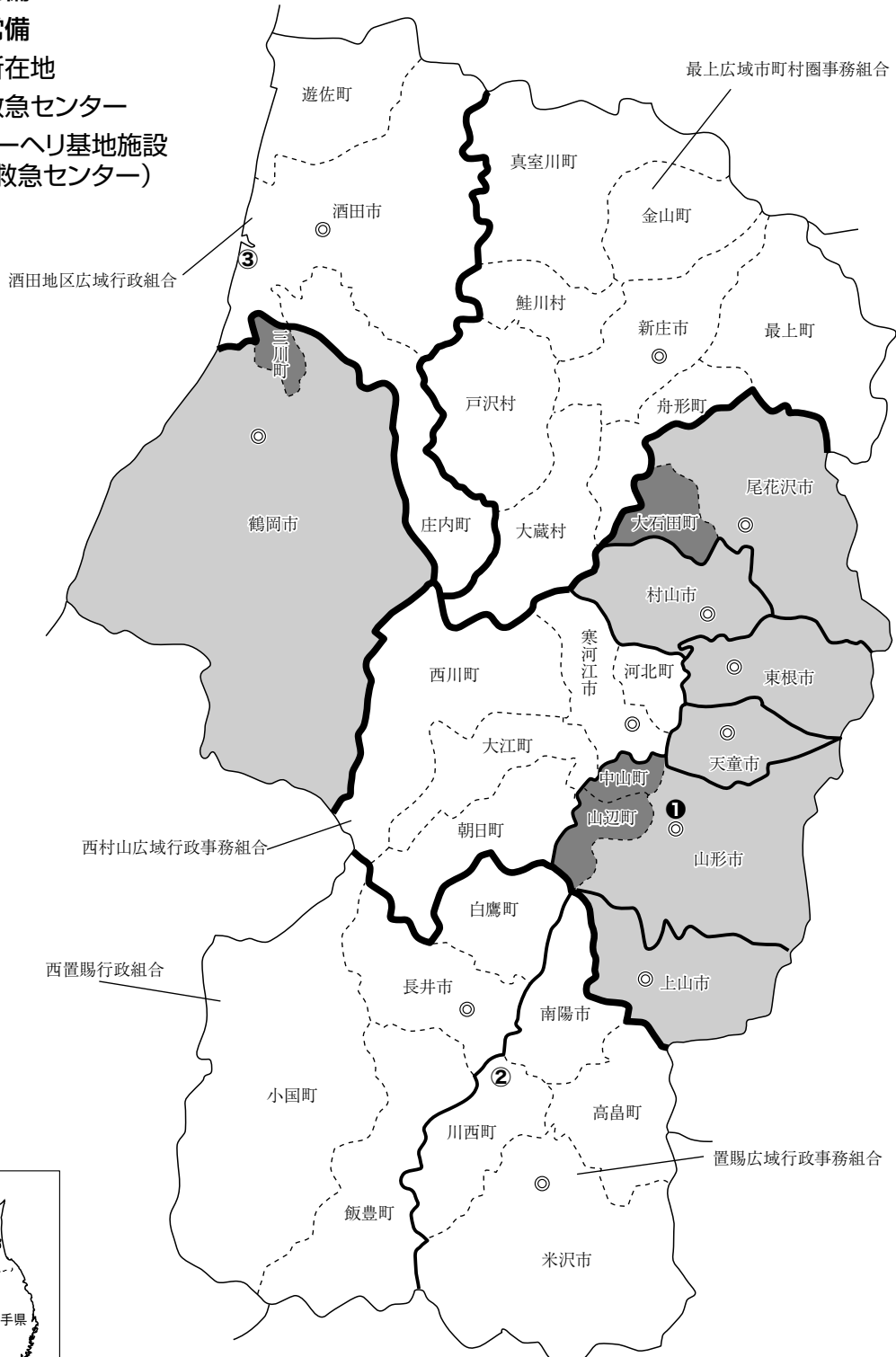
救命救急センター	施設名
①	山形県立中央病院
②	公立置賜総合病院
③	日本海総合病院

地域MC協議会 5

山形県

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



福島県 【福島県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
福島県メディカルコントロール協議会	伊関 憲 公立大学法人 福島県立医科大学 教授	福島県危機管理部消防保安課 福島県保健福祉部地域医療課 福島県福島市杉妻町2番16号 024-521-7189 024-521-7221 024-521-9829 024-521-2191		
県北・相馬地域メディカルコントロール協議会	加藤 清司 福島県県北保健福祉事務所 所長	県北保健福祉事務所医療薬事課 福島県福島市御山町8番30号 024-534-4103 024-534-4162	福島市消防本部 伊達地方消防組合消防本部 安達地方広域行政組合消防本部 相馬地方広域消防本部	公立大学法人福島県立医科大学附属病院
県中・県南地域メディカルコントロール協議会	笹原 賢司 福島県県中保健福祉事務所 所長	県中保健福祉事務所医療薬事課 福島県須賀川市旭町153番1 0248-75-7817 0248-75-7825	郡山地方広域消防組合消防本部 須賀川地方広域消防本部 白河地方広域市町村圏消防本部	一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院
会津地域メディカルコントロール協議会	小谷 尚克 福島県会津保健福祉事務所 所長	会津保健福祉事務所医療薬事課 福島県会津若松市追手町7番40号 0242-29-5512 0242-29-5513	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 南会津地方広域市町村圏組合消防本部	一般財団法人温知会会津中央病院
双葉・いわき地域メディカルコントロール協議会	新家 利一 いわき市保健所 所長	相双保健福祉事務所医療薬事課 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地 0244-26-1330 0244-26-1332	いわき市消防本部 双葉地方広域市町村圏組合消防本部	いわき市立総合磐城共立病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	いわき市立総合磐城共立病院
②	財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院
③	会津中央病院
④	福島県立医科大学附属病院

福島県

凡 例

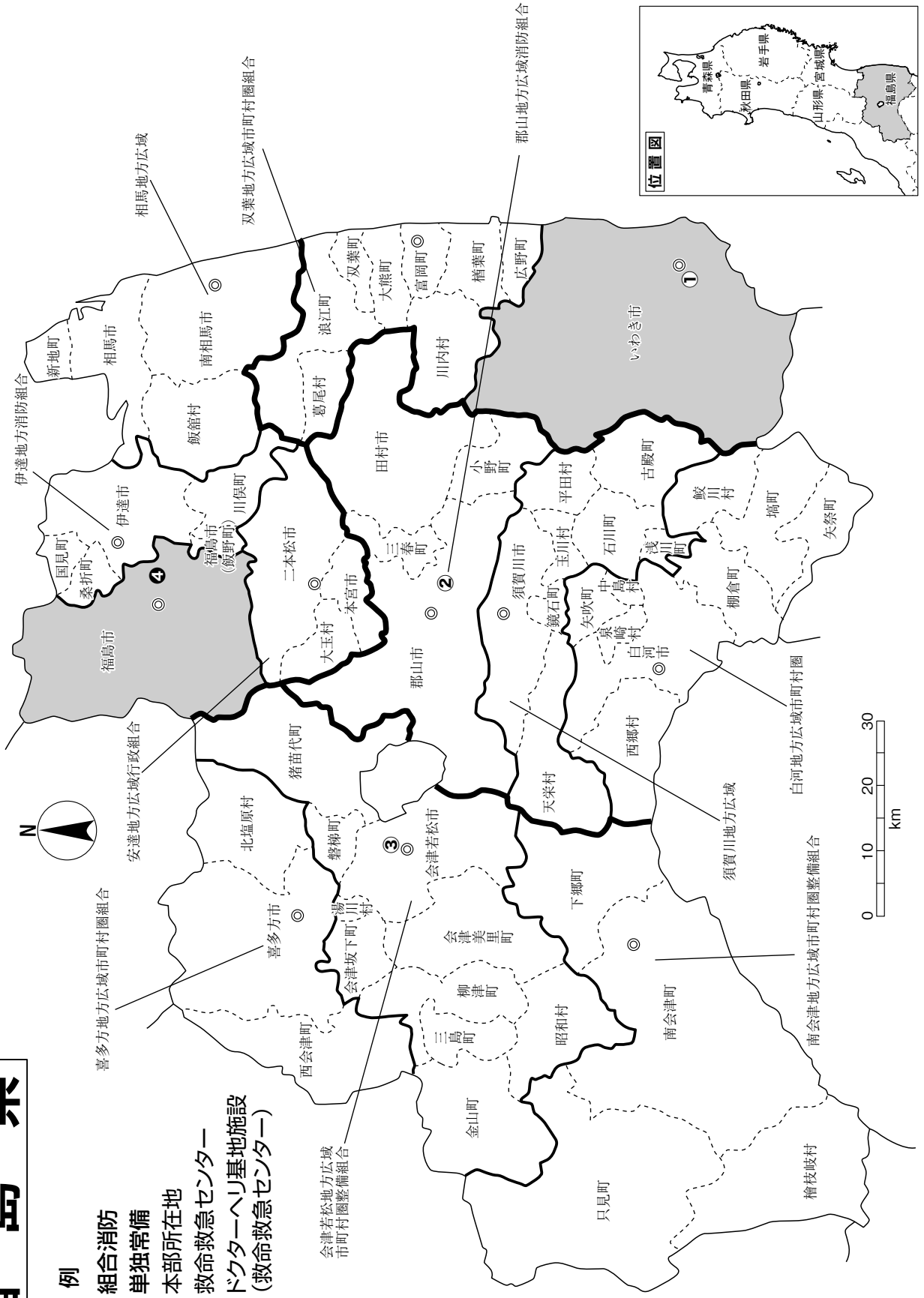
— 組合消防

— 単独常備

◎ 本部所在地

○ 救命救急センター

● ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)



茨城県 【茨城県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
茨城県救急業務高度化推進協議会	諸岡 信裕 茨城県医師会 会長	茨城県防災・危機管理部消防安全課 茨城県水戸市笠原町978-6 029-301-2896 029-301-2887		
水戸地区救急医療協議会	村田 実 水戸済生会総合病院 病院長	水戸市消防本部 水戸市城南2-6-7 029-221-0126 029-224-1139	水戸市消防本部 笠間市消防本部 常陸大宮市消防本部 那珂市消防本部 茨城町消防本部 大洗町消防本部 大子町消防本部 常陸太田市消防本部 ひたちなか・東海広域事務組合消防本部	水戸済生会総合病院 総合病院水戸協同病院 水戸医療センター 茨城県立中央病院 水戸赤十字病院 榊日立製作所 ひたちなか総合病院
茨城県北部地区メディカルコントロール協議会	奥村 稔 榊日立製作所 日立総合病院 病院長	日立市消防本部警防課 日立市神峰町2-4-1 0294-24-0119 0294-22-0102	日立市消防本部 北茨城市消防本部 高萩市消防本部 常陸太田市消防本部	榊日立製作所 日立総合病院 北茨城市民病院 県北医療センター 高萩協同病院 ひたち医療センター 大山病院
鹿行地区メディカルコントロール協議会	亀田 尚徳 なめがた地域医療センター 病院長	鹿行広域事務組合消防本部 茨城県銚田市安房1418-15 0291-34-8119 0291-33-4119	鹿島地方事務組合消防本部 鹿行広域事務組合消防本部	鹿島防災病院 神栖済生会病院 白十字総合病院 小山記念病院 土浦共同病院なめがた地域医療センター 銚田病院 高須病院
土浦地区メディカルコントロール協議会	酒井 義法 総合病院土浦協同病院 病院長	土浦市消防本部警防救急課 土浦市田中町2083-1 029-821-0119 029-825-3166	土浦市消防本部 石岡市消防本部 小美玉市消防本部 かすみがうら市消防本部	総合病院土浦協同病院 石岡第一病院 山王台病院 石岡市医師会病院 石岡循環器科脳神経外科病院 小美玉市医療センター 霞ヶ浦医療センター 県南病院 神立病院
稲敷地区メディカルコントロール協議会	小林 正貴 東京医科大学茨城医療センター 病院長	稲敷広域消防本部救急課 茨城県龍ヶ崎市3571番地の1 0297-64-3846 0297-64-1241	稲敷広域消防本部	東京医科大学茨城医療センター 牛久愛和総合病院 龍ヶ崎済生会病院 つくばセントラル病院 美浦中央病院
つくば・常総地区メディカルコントロール協議会	河野 元嗣 筑波メディカルセンター病院 副院長	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部警防課 常陸市水海道山田町808 0297-23-0119 0297-22-3574	取手市消防本部 つくば市消防本部 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	JAとりで総合医療センター 取手北相馬保健医療センター医師会病院 筑波大学附属病院 筑波メディカルセンター病院 総合守谷第一病院 きぬ医師会病院
筑西広域管内救急高度化推進委員会	入江 ふじ子 筑西保健所 保健所所長	筑西広域市町村圏事務組合消防本部警防課 茨城県筑西市直井1076番地 0296-24-4104 0296-24-5444	筑西広域市町村圏事務組合消防本部	筑西市民病院 協和中央病院 県西総合病院 結城病院 城西病院 自治医科大学附属病院 大圃病院 山王病院 宮田医院
BANDOメディカルコントロール協議会	田中 幸太郎 茨城西南医療センター病院 救命救急センター長	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 茨城県古河市中田1683番地9 0280-47-0125 0280-47-0075	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 埼玉東部消防組合消防局 野田市消防本部 館林地区消防組合消防本部	茨城西南医療センター病院 古河赤十字病院 友愛記念病院 平間病院 木根瀬外科胃腸科病院 古河総合病院 ホスピタル坂東 埼玉県済生会栗橋病院 小張病院 新久喜総合病院 東埼玉総合病院

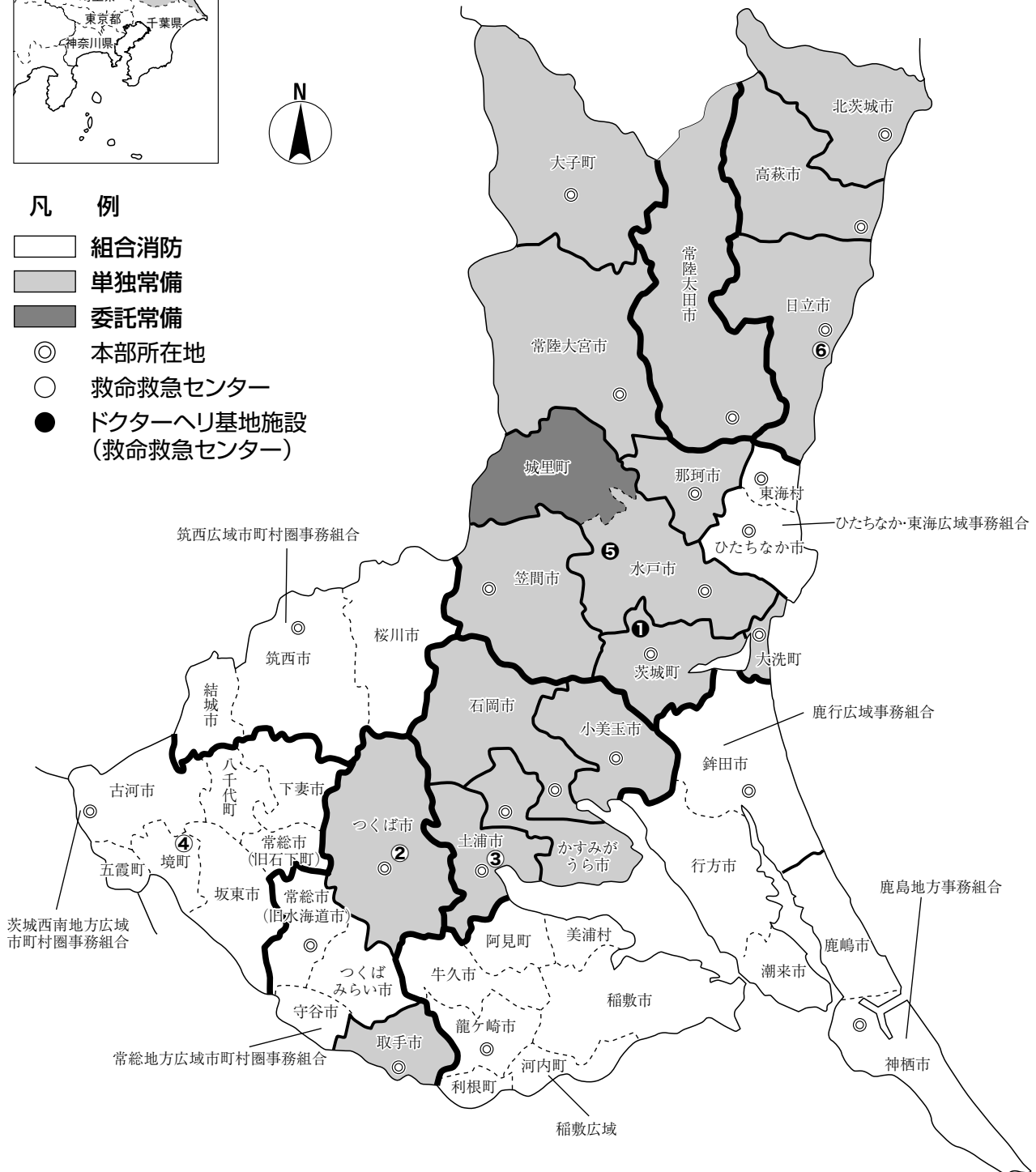
※常陸太田市消防本部は、水戸地区救急医療協議会と茨城県北部地区メディカルコントロール協議会を重複している。

茨城県



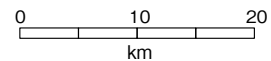
凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



救命救急センター設置状況 一覧表 (平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
②	筑波メディカルセンター病院
③	総合病院土浦協同病院
④	茨城西南医療センター病院
⑤※	水戸済生会総合病院
⑥	株式会社日立製作所日立総合病院



※2施設でドクターヘリ1機

栃木県

【栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会	長島 徹 栃木県医師会 栃木県医師会常任理事	県民生活部消防防災課 保健福祉部医療政策課 宇都宮市埴田1-1-20 028-623-2132 028-623-3157 028-623-2146 028-623-3056		
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会 宇都宮・塩谷地域分科会	加瀬 建一 済生会宇都宮病院 救命救急センター所長	宇都宮市消防局 宇都宮市大曾2丁目2番21号 028-625-3007 028-625-5509	宇都宮市消防局 塩谷広域行政組合消防本部	済生会宇都宮病院
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会 足利・佐野地域分科会	吉田 直人 足利赤十字病院 救命救急センター長	佐野市消防本部 佐野市富岡町1391番地 0283-23-9910 0283-22-4441	足利市消防本部 佐野市消防本部	足利赤十字病院
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会 那須・南那須地域分科会	長谷川 伸之 那須赤十字病院 救命救急センター長	南那須広域行政事務組合消防本部 那須烏山市神長880番地1 0287-83-8801 0287-83-2006	那須地区消防本部 南那須地区広域行政事務組合消防本部	那須赤十字病院
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会 下都賀・上都賀地域分科会	小野 一之 獨協医科大学病院 救命救急センター長	栃木市消防本部 栃木市平柳町1-34-5 0282-23-0070 0282-23-6562	栃木市消防本部 鹿沼市消防本部 日光市消防本部 石橋地区消防組合消防本部	獨協医科大学病院
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会 小山・芳賀地域分科会	間藤 卓 自治医科大学附属病院 救命救急センター長	芳賀地区広域行政事務組合消防本部 真岡市荒町107-1 0285-82-1088 0285-83-3764	小山市消防本部 石橋地区消防組合消防本部 芳賀地区広域行政事務組合消防本部	自治医科大学附属病院

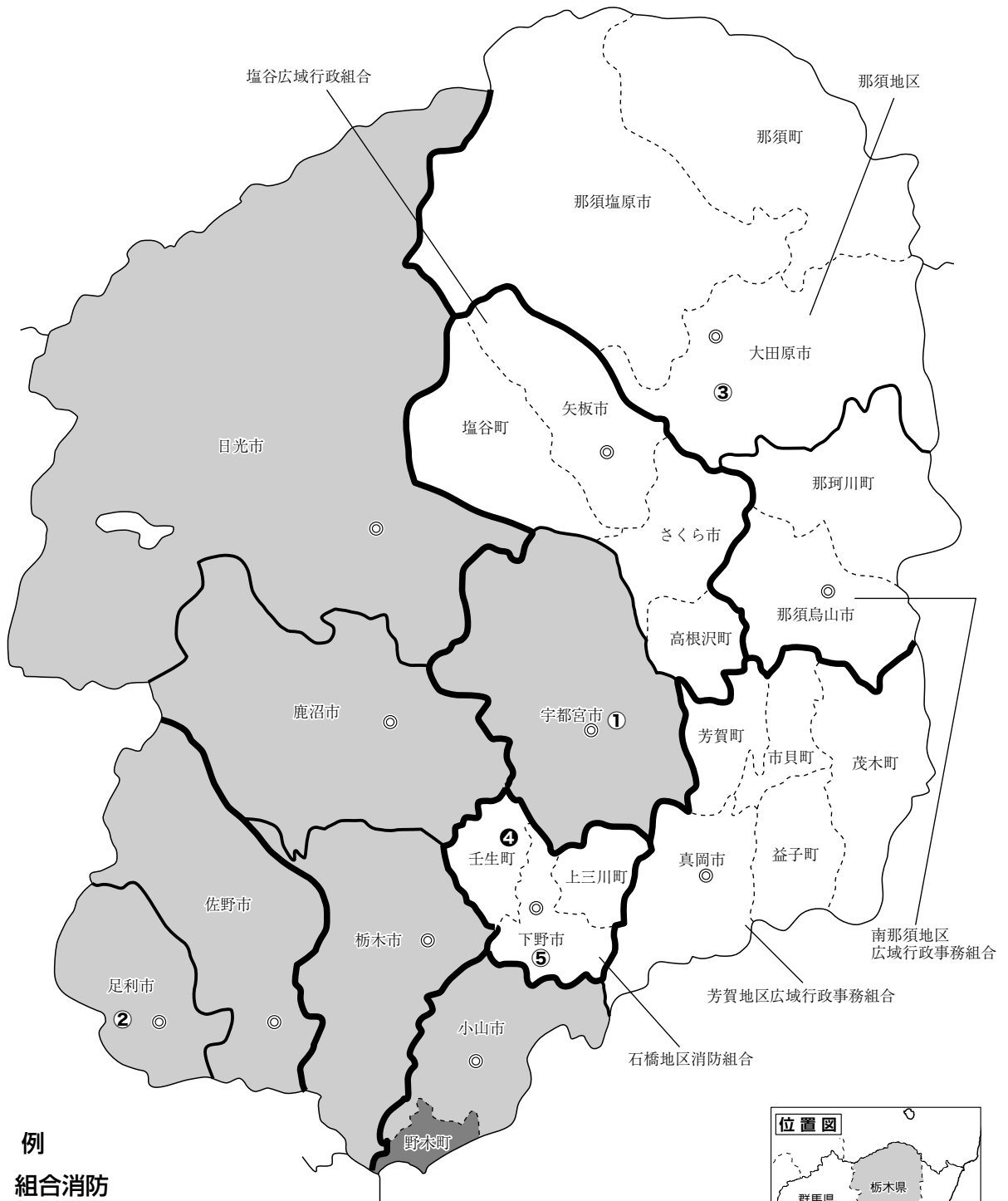
※石橋地区消防組合消防本部は、栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会下都賀・上都賀地域分科会と栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会小山・芳賀地域分科会を重複している。

救命救急センター設置状況 一覧表

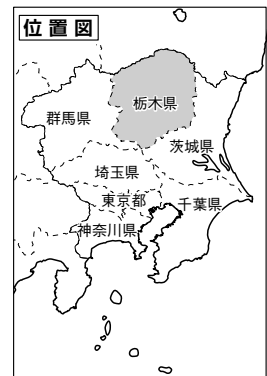
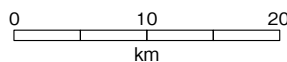
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	済生会宇都宮病院
②	足利赤十字病院
③	那須赤十字病院
④	獨協医科大学病院
⑤	自治医科大学附属病院

栃木県



- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



群馬県 【群馬県救急医療体制検討協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
群馬県救急医療体制検討協議会	西松 輝高 群馬県医師会 副会長	群馬県医務課 群馬県前橋市大手町1-1-1 027-226-2534 027-223-0531		
前橋市メディカルコントロール協議会	岸川 一郎 前橋市医師会 副会長	前橋市保健所 前橋市朝日町3丁目36-17 027-220-5781 027-223-8835	前橋市消防局	前橋赤十字病院 群馬大学医学部付属病院
高崎・安中地域メディカルコントロール協議会	有賀 長規 高崎市医師会 医師会長	安中保健福祉事務所 安中市高別当336-8 027-381-0345 027-382-6366	高崎市等広域消防局	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
渋川地域メディカルコントロール協議会	川島 理 渋川地区医師会 医師会長	渋川保健福祉事務所 渋川市金井394 0279-22-4166 0279-24-3542	渋川広域消防本部	北関東循環器院 独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 北毛病院
藤岡地域メディカルコントロール協議会	山崎 恒彦 藤岡多野医師会 医師会長	藤岡保健福祉事務所 藤岡市下戸塚2-5 0274-22-1420 0274-22-3149	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部	公立藤岡総合病院
富岡甘楽地域メディカルコントロール協議会	大竹 雄二 富岡市甘楽郡医師会 医師会長	富岡保健福祉事務所 富岡市田島343-1 0274-62-1541 0274-64-2397	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部	公立富岡総合病院 下仁田厚生病院
吾妻地域メディカルコントロール協議会	櫻井 慶一 吾妻郡医師会 医師会長	吾妻保健福祉事務所 吾妻郡中之条町大字西中之条183-1 0279-75-3303 0279-75-6091	吾妻広域市町村圏振興整備組合消防本部	原町赤十字病院
沼田地域メディカルコントロール協議会	藤塚 勲 沼田利根医師会 医師会長	利根沼田保健福祉事務所 沼田市薄根町4412 0278-23-2185 0278-22-4479	利根沼田広域消防本部	利根中央病院
伊勢崎地域メディカルコントロール協議会	小林 幹男 伊勢崎市民病院 病院長	伊勢崎保健福祉事務所 伊勢崎市下植木町499 0270-25-5570 0270-24-8842	伊勢崎市消防本部	伊勢崎市民病院
桐生地域メディカルコントロール協議会	藤江 篤 桐生市医師会 医師会長	桐生保健福祉事務所 桐生市相生町2-351 0277-53-4131 0277-52-1572	桐生市消防本部	桐生厚生総合病院
太田地域メディカルコントロール協議会	李 雅弘 太田市医師会 医師会長	太田保健福祉事務所 群馬県太田市西本町41-34 0276-31-8241 0276-31-8349	太田市消防本部	SUBARU健康保険組合太田記念病院
館林地域メディカルコントロール協議会	新井 昌史 館林厚生病院 病院長	館林保健福祉事務所 館林市大街道1丁目2-25 0276-72-3230 0276-72-4628	館林地区消防組合消防本部	館林厚生病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
②	前橋赤十字病院
③	SUBARU 健康保険組合太田記念病院
④	群馬大学病院医学部附属病院

埼玉県 【埼玉県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
埼玉県メディカルコントロール協議会	湯澤 俊 埼玉県医師会 副会長	埼玉県危機管理防災部消防防災課 さいたま市浦和区高砂3-15-1 048-830-8151 048-830-8159		
中央地域メディカルコントロール協議会	登坂 英明 浦和医師会 医師会長	さいたま市消防局警防部救急課 さいたま市浦和区常盤6-1-28 048-833-7167 048-833-7201	さいたま市消防局 上尾市消防本部 伊奈町消防本部 埼玉県中央広域消防本部	さいたま赤十字病院 自治医科大学付属さいたま医療センター 県立小児医療センター【他】
東部地域メディカルコントロール協議会	登坂 薫 越谷市医師会 医師会長	越谷市消防本部救急課 越谷市大沢2-10-15 048-974-0107 048-974-0137	越谷市消防本部 春日部市消防本部 三郷市消防本部 蓮田市消防本部 吉川松伏消防組合消防本部 埼玉東部消防組合消防局 草加八潮消防局	獨協医科大学埼玉医療センター【他】
西部第一地域メディカルコントロール協議会	京谷 圭子 所沢市医師会 医師会長	埼玉西部消防局警防部救急課 所沢市けやき台1-13-11 04-2929-9123 04-2929-9128	埼玉西部消防局 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部	防衛医科大学校病院 埼玉医科大学国際医療センター【他】
西部第二地域メディカルコントロール協議会	藤田 龍一 川越市医師会 医師会長	川越地区消防局救急課 川越市神明町48-4 049-222-0160 049-224-2211	川越地区消防局 入間東部地区消防組合消防本部 坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 比企広域消防本部 西入間広域消防組合消防本部	埼玉医科大学総合医療センター 埼玉医科大学国際医療センター【他】
南部地域メディカルコントロール協議会	鹿嶋 広久 川口市医師会 医師会長	川口市消防局救急課 川口市芝下2-1-1 048-261-8972 048-262-4850	川口市消防局 蕨市消防本部 戸田市消防本部	川口市立医療センター【他】
北部地域メディカルコントロール協議会	福島 悦雄 深谷寄居医師会 医師会長	深谷市消防本部警防課 深谷市上敷免858 048-571-0914 048-571-0959	深谷市消防本部 行田市消防本部 羽生市消防本部 秩父消防本部 児玉郡市広域消防本部 熊谷市消防本部	深谷赤十字病院【他】

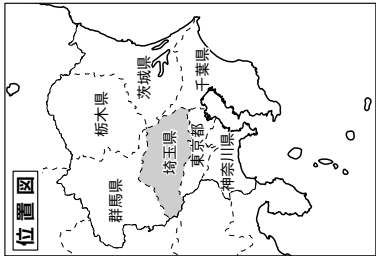
全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	さいたま赤十字病院
②	埼玉医科大学総合医療センター
③	深谷赤十字病院
④	防衛医科大学校病院
⑤	川口市立医療センター
⑥	獨協医科大学埼玉医療センター
⑦	埼玉医科大学国際医療センター
⑧	自治医科大学附属さいたま医療センター

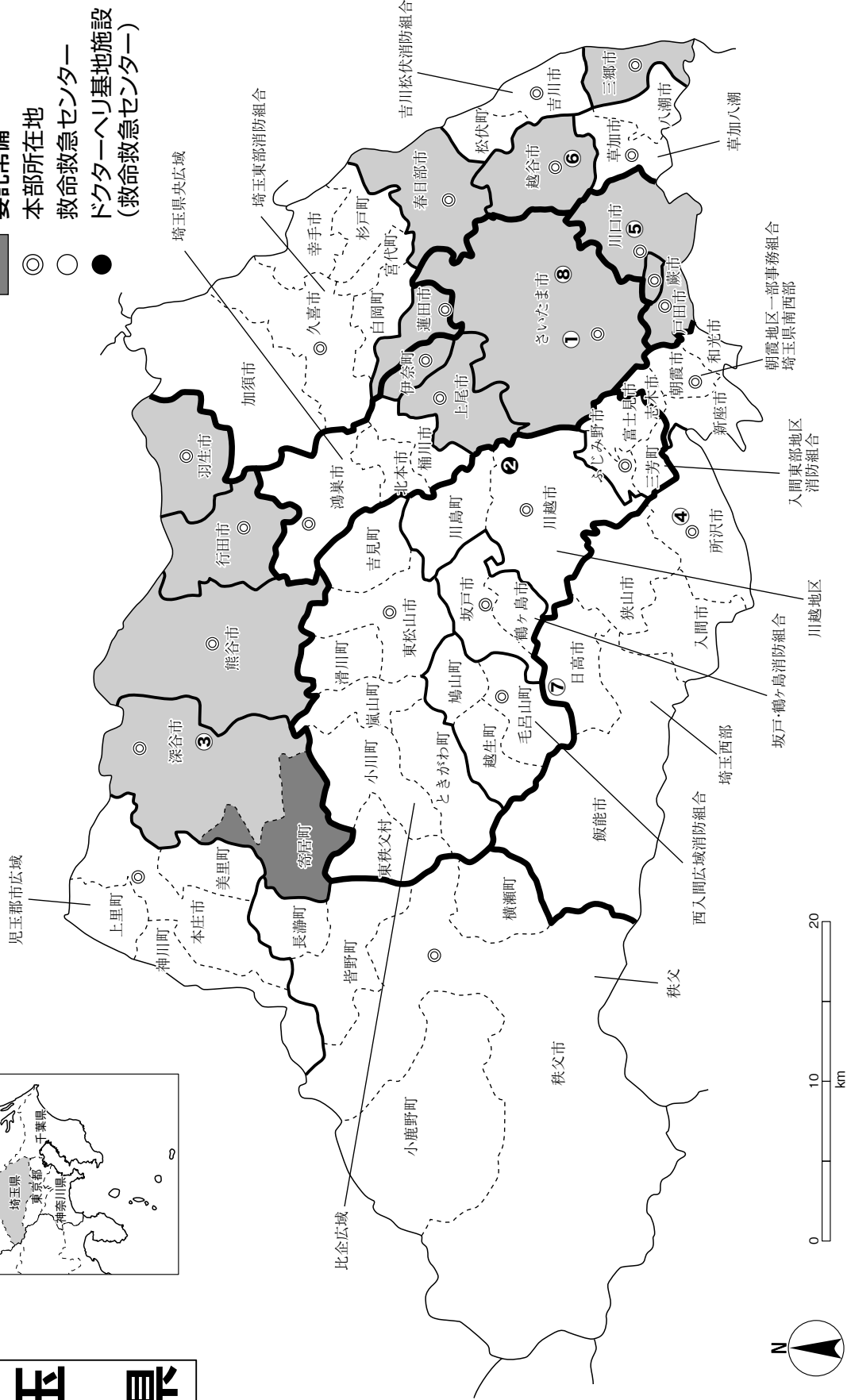
地域MC協議会 6

埼玉県



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



千葉県 【千葉県救急業務高度化推進協議会】

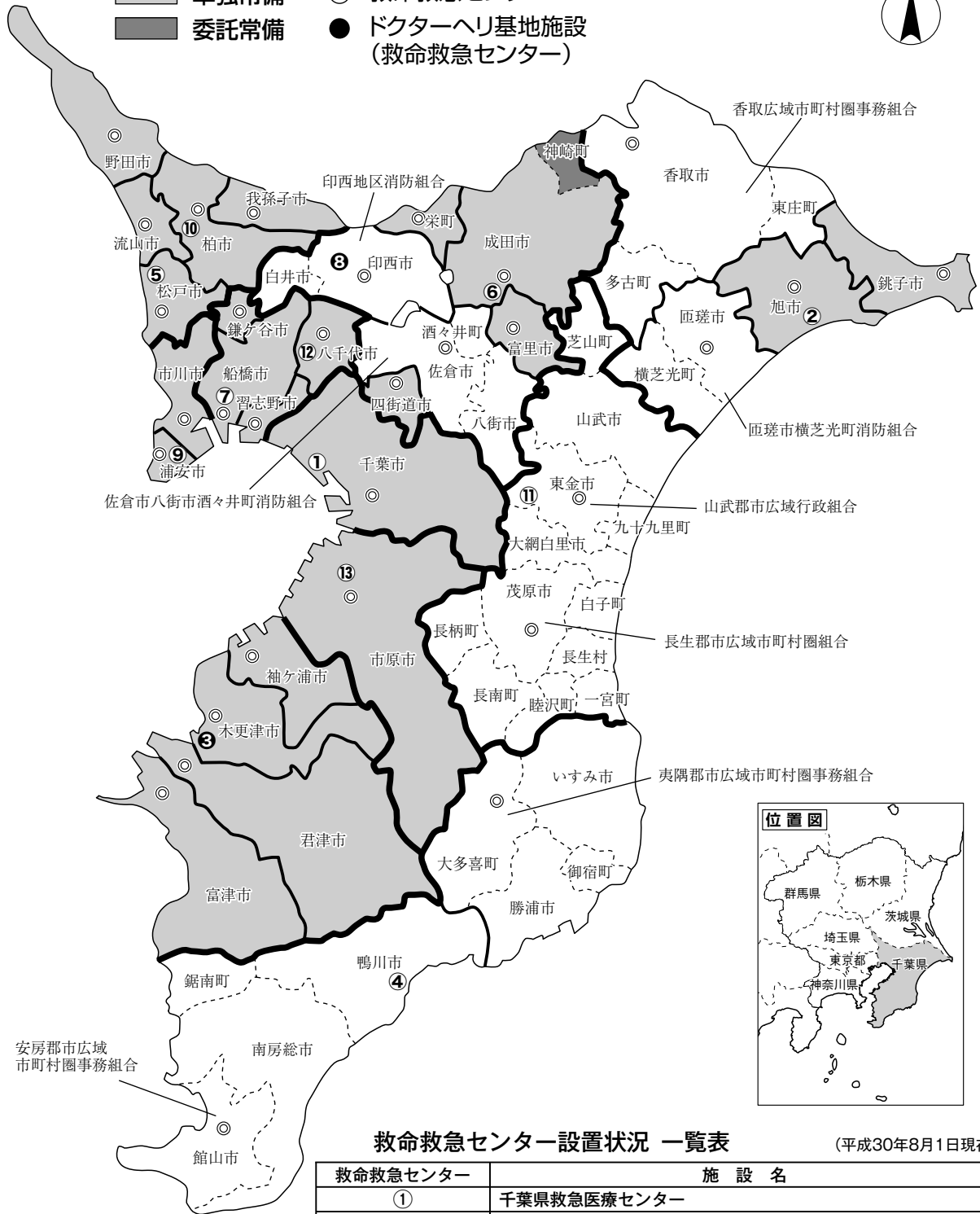
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
千葉県救急業務高度化推進協議会	平澤 博之 千葉大学 千葉大学名誉教授	千葉県防災危機管理部消防課 千葉県健康福祉部医療整備課 千葉県千葉市中央区市場町1-1 043-223-3663 043-224-5481		
千葉県救急業務検討委員会	織田 成人 千葉大学 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学教授	千葉県消防局警防部救急課 千葉県千葉市中央区長洲1-2-1 043-202-1657 043-202-1659	千葉市消防局	千葉大学医学部附属病院 千葉県救急医療センター
市原地域救急業務メディカルコントロール協議会	森脇 龍太郎 帝京大学ちば総合医療センター 救急集中治療センター教授	市原市消防局警防救急課 千葉県市原市国分寺台中央1-1-1 0436-22-8117 0436-21-6874	市原市消防局	帝京大学ちば総合医療センター
印旛地域救急業務メディカルコントロール協議会	松本 尚 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター長	栄町消防本部 消防防災課 千葉県印旛郡栄町生板鍋子新田乙20番地の71 0476-95-8980 0476-95-7630	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 印西地区消防組合消防本部 成田市消防本部 四街道市消防本部 富里市消防本部 栄町消防本部	日本医科大学千葉北総病院 成田赤十字病院
君津地域救急業務メディカルコントロール協議会	北村 伸哉 国保直営総合病院君津中央病院 救命救急センター長	君津市消防本部 消防総務課 千葉県君津市空師3-1-25 0439-54-8960	木更津市消防本部 君津市消防本部 富津市消防本部	国保直営総合病院君津中央病院
千葉県東部地域救急業務メディカルコントロール協議会	高橋 功 地方独立行政法人総合病院 国保旭中央病院 救命救急センター長	銚子市消防本部 消防総務課警防班 千葉県銚子市新生町1-9-12 0479-22-3296 0479-20-5085	旭市消防本部 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 銚子市消防本部 香取広域市町村圏事務組合消防本部	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 千葉県立佐原病院 国保小見川総合病院 国保東庄病院 国保多古中央病院 国保匝瑳市民病院 東陽病院
東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会	境田 康二 船橋市立医療センター 救命救急センター長	船橋市消防局救急課 千葉県船橋市湊町2-6-10 047-435-1191 047-435-8637	船橋市消防局 習志野市消防本部 八千代市消防本部 鎌ヶ谷市消防本部	船橋市立医療センター 習志野第一病院 千葉県済生会習志野病院 谷津保健病院 津田沼中央総合病院 東京女子医科大学附属八千代医療センター
東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会	卯津羅 雅彦 東京慈恵会医科大学付属柏病院 救命救急センター長	柏市消防局救急課 千葉県柏市松葉町7-16-7 04-7133-0118 04-7133-0167	松戸市消防局 柏市消防局 流山市消防本部 我孫子市消防本部 野田市消防本部	松戸市立総合医療センター 新東京病院 千葉西総合病院 新松戸中央総合病院 東京慈恵会医科大学附属柏病院 名戸ヶ谷病院 おたかの森病院 柏市立柏病院 柏厚生総合病院 小張総合病院 キッコーマン総合病院 東葛病院 千葉愛友会記念病院 流山中央病院 平和台病院 我孫子東邦病院 名戸ヶ谷あびこ病院
南房総メディカルコントロール協議会	不動寺 純明 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 救命救急センター長	夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 警防課警防係 千葉県夷隅郡大多喜町船子73-2 0470-80-0133 0470-82-5000	安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	亀田総合病院 安房地域医療センター 塩田病院
山武長生地域メディカルコントロール協議会	渡邊 栄三 東千葉メディカルセンター 救命救急センター長	長生郡市広域市町村圏事務組合消防本部 警防課救急救助係 千葉県茂原市茂原598 0475-20-0119 0475-24-1725	山武郡市広域行政組合消防本部 長生郡市広域市町村圏事務組合消防本部	東千葉メディカルセンター 公立長生病院
東葛飾湾岸地域メディカルコントロール協議会	岡本 健 順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科 教授	市川市消防局 救急課 千葉県市川市八幡1丁目8-1 047-333-2167 047-333-8181	市川市消防局 浦安市消防本部	順天堂大学医学部附属浦安病院 東京歯科大学市川総合病院 東京ベイ浦安市川医療センター

千葉県

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備

- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)





救命救急センター	施設名
①	千葉県救急医療センター
②	総合病院国保旭中央病院
③	国保直営総合病院君津中央病院
④	亀田総合病院
⑤	松戸市立総合医療センター
⑥	成田赤十字病院
⑦	船橋市立医療センター
⑧	日本医科大学千葉北総病院
⑨	順天堂大学医学部附属浦安病院
⑩	東京慈恵会医科大学附属柏病院
⑪	東千葉メディカルセンター
⑫	東京女子医科大学附属八千代医療センター
⑬	帝京大学ちば総合医療センター

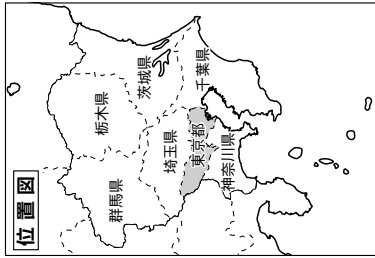
東京都 【東京都メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
東京都メディカルコントロール協議会	有賀 徹 労働者健康安全機構 理事長	東京都総務局総合防災部防災管理課 東京都新宿区西新宿2-8-1 03-5388-2457 03-5388-1270 東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課 東京都新宿区西新宿2-8-1 03-5388-4427 03-5388-1441 東京消防庁救急部救急管理課 東京都千代田区大手町1-3-5 03-3212-2111 03-3218-0119	東京消防庁 稲城市消防本部 大島町消防本部 三宅村消防本部 八丈町消防本部	慶應義塾大学病院 順天堂大学医学部附属順天堂医院 日本大学病院 帝京大学医学部附属病院 東京医科大学病院 東京女子医科大学病院 東邦大学医療センター大森病院 日本医科大学付属病院 東京警察病院 東京都立広尾病院 東京都立墨東病院 東京大学医学部附属病院 日本大学医学部附属板橋病院 国立病院機構東京医療センター 昭和大学病院 東京医科歯科大学医学部附属病院 東京慈恵会医科大学附属病院 東京女子医科大学東医療センター 聖路加国際病院 東京都医師会 東邦大学医療センター大橋病院 東京医科大学八王子医療センター 杏林大学医学部付属病院 公立昭和病院 武蔵野赤十字病院 公立阿伎留医療センター 国立病院機構災害医療センター 日本医科大学多摩永山病院 東京都立多摩総合医療センター 青梅市立総合病院 東京慈恵会医科大学附属第三病院 日本赤十字社医療センター 大島医療センター 三宅村国民健康保険直営中央診療所 八丈町立八丈病院

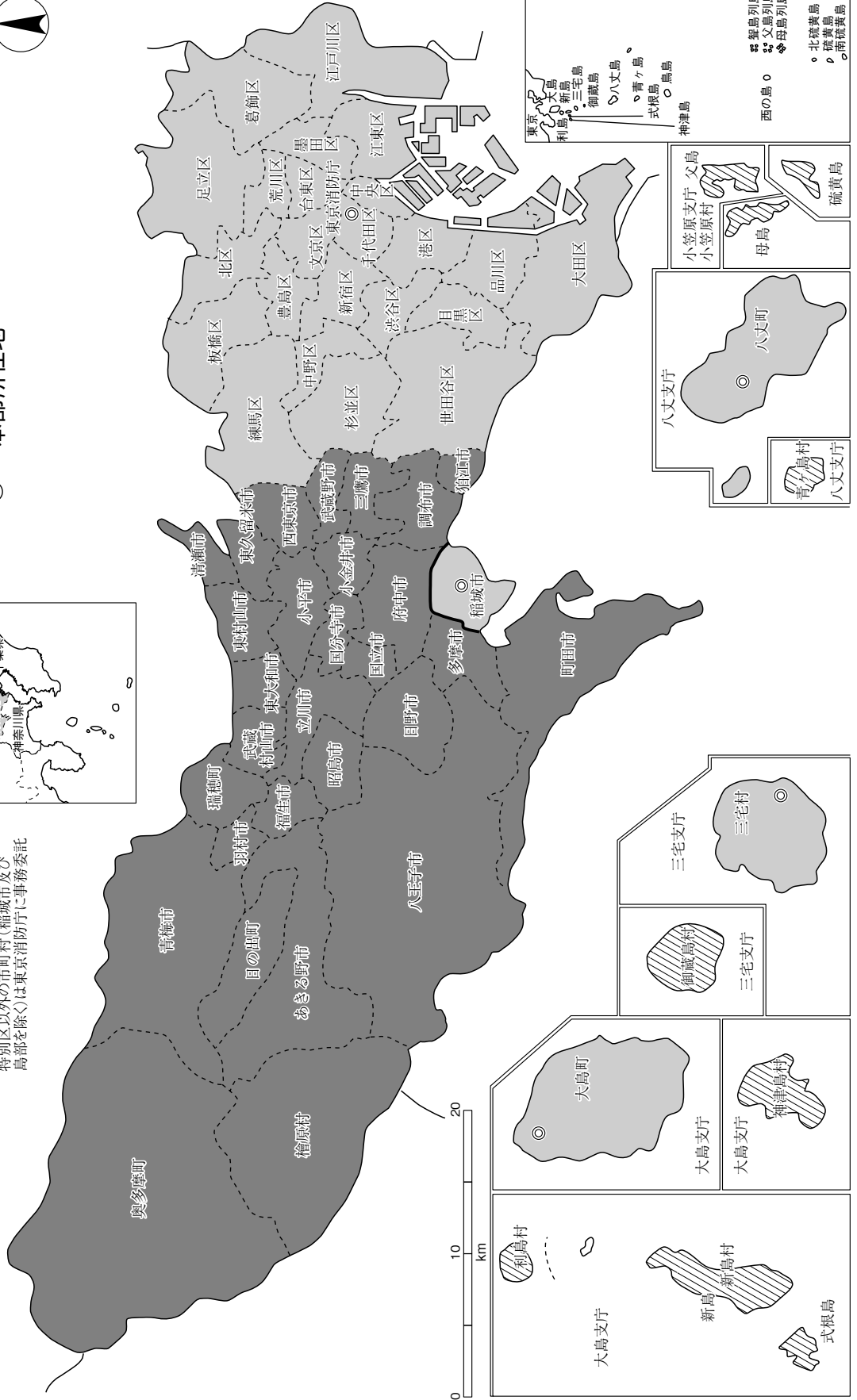
東京都

※救命救急センター位置図は次頁

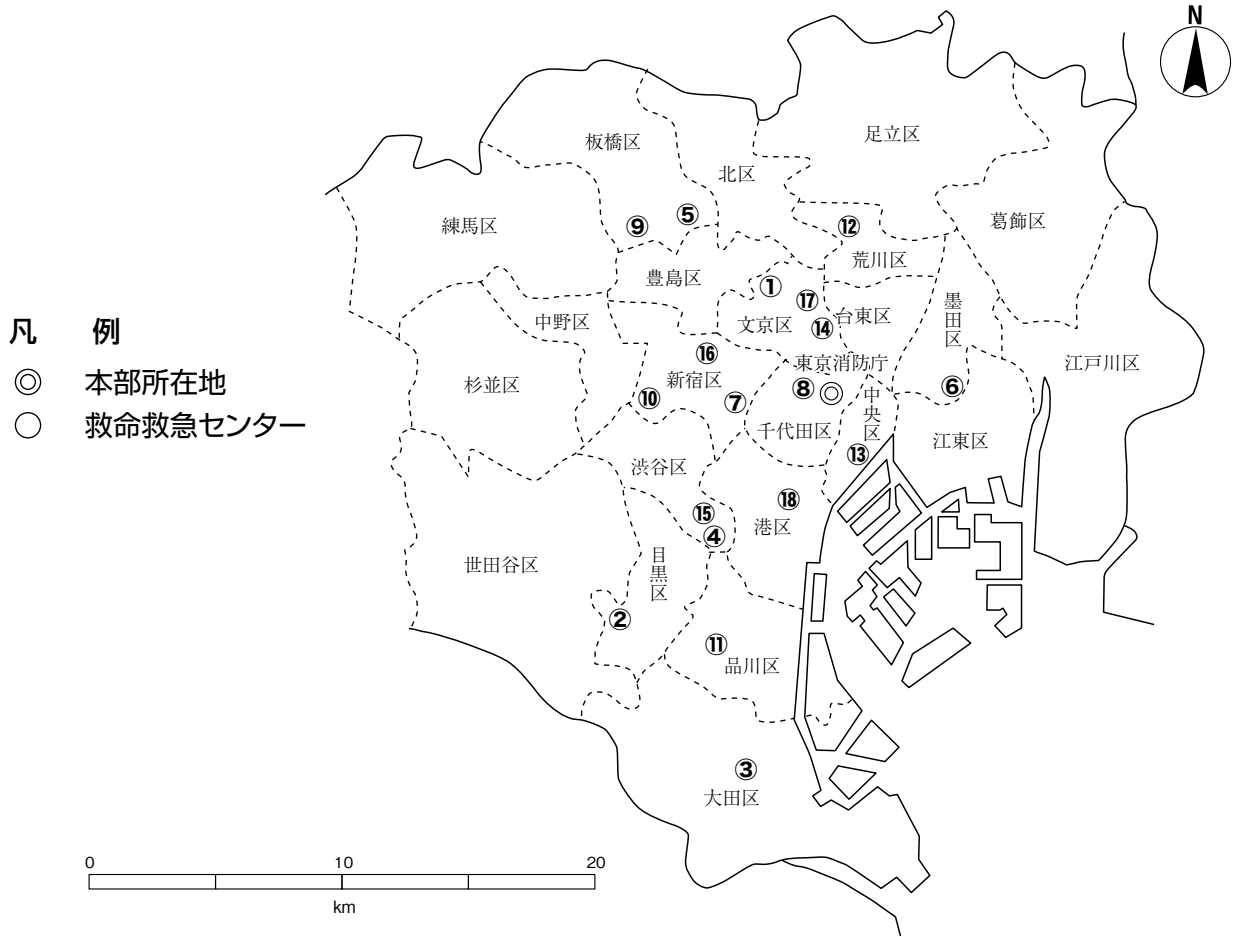
- 凡 例
-  単独常備
 -  委託常備
 -  非常備
 -  本部所在地



特別区以外の市町村(稲城市及び島部を除く)は東京消防庁に事務委託



東京都(23区) 救命救急センター位置図

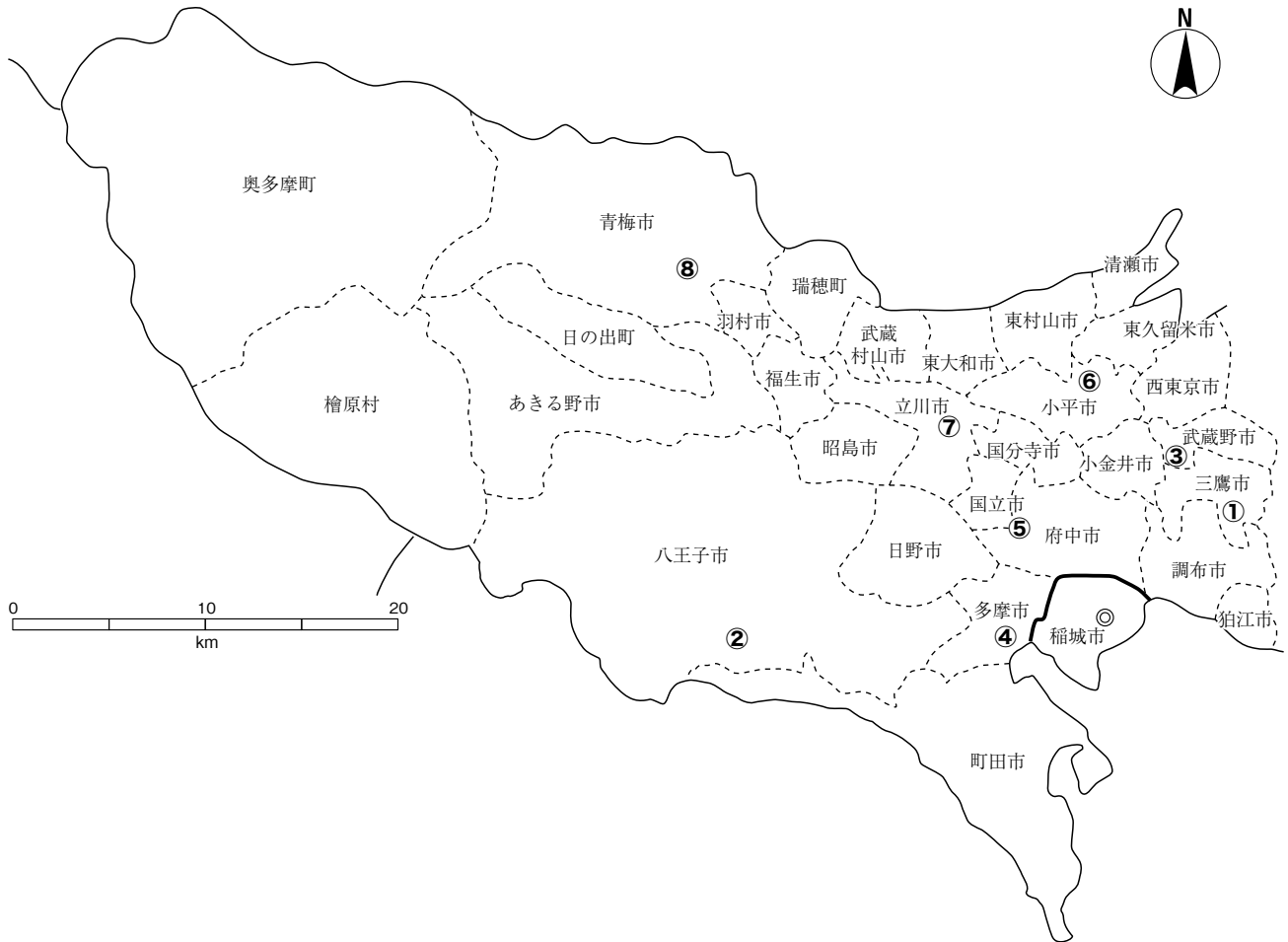


- 凡 例
- ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター

救命救急センター設置状況 一覧表 (平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	日本医科大学付属病院
②	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
③	東邦大学医療センター大森病院
④	都立広尾病院
⑤	帝京大学医学部附属病院
⑥	都立墨東病院
⑦	東京女子医科大学病院
⑧	日本大学病院
⑨	日本大学医学部附属板橋病院
⑩	東京医科大学病院
⑪	昭和大学病院
⑫	東京女子医科大学東医療センター
⑬	聖路加国際病院
⑭	東京医科歯科大学医学部附属病院
⑮	日本赤十字社医療センター
⑯	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
⑰	東京大学医学部附属病院
⑱	東京都済生会中央病院

東京都(多摩地区) 救命救急センター位置図



凡 例

- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	杏林大学医学部付属病院
②	東京医科大学八王子医療センター
③	武蔵野赤十字病院
④	日本医科大学多摩永山病院
⑤	都立多摩総合医療センター
⑥	公立昭和病院
⑦	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
⑧	青梅市立総合病院

神奈川県

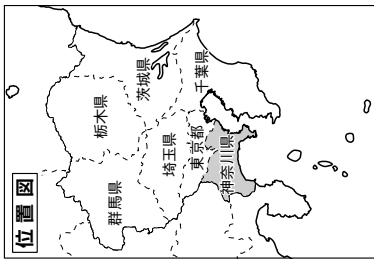
【神奈川県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
神奈川県メディカルコントロール協議会	猪口 貞樹 東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター所長	神奈川県安全防災局安全防災部消防課 神奈川県横浜市中区日本大通1 045-210-3436 045-210-8829		
横浜市メディカルコントロール協議会	竹内 一郎 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター部長	横浜市消防局警防部救急課 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9 045-334-6769 045-334-6785	横浜市消防局	横浜医療センター 済生会横浜市東部病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 昭和大学藤が丘病院 横浜市立市民病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 横浜市立みなと赤十字病院 横浜労災病院 国際親善総合病院 済生会横浜市南部病院 昭和大学北部病院 横浜栄共済病院 横浜南共済病院
川崎市メディカルコントロール協議会	松田 潔 日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター長	川崎市消防局警防部救急課 川崎市川崎区南町20-7 044-223-2626 044-223-2619	川崎市消防局	聖マリアンナ医科大学病院 日本医科大学武蔵小杉病院 川崎市立川崎病院
三浦半島地区メディカルコントロール協議会	遠藤 千洋 (一社)横須賀市医師会 会長	横須賀市消防局消防・救急課 横須賀市小川町11 046-821-6474 046-823-7106	横須賀市消防局 鎌倉市消防本部 逗子市消防本部 葉山町消防本部	横須賀共済病院 横須賀市立うわまち病院 湘南鎌倉総合病院 三浦市立病院 大船中央病院 横須賀市立市民病院
湘南地区メディカルコントロール協議会	飯塚 健児 (公社)藤沢市医師会 副会長	藤沢市消防局警防室救急救命課 藤沢市朝日町1-1 0466-50-3579 0466-28-6417	藤沢市消防局 平塚市消防本部 小田原市消防本部 茅ヶ崎市消防本部 秦野市消防本部 厚木市消防本部 伊勢原市消防本部 海老名市消防本部 寒川町消防本部 大磯町消防本部 二宮町消防本部 箱根町消防本部 湯河原町消防本部 愛川町消防本部	東海大学医学部付属病院 藤沢市民病院 小田原市立病院
県北・県央地区メディカルコントロール協議会	浅利 靖 北里大学病院 救命救急・災害医療センター長	相模原市消防局救急課 相模原市中央区中央2-2-15 042-751-9142 042-786-2472	相模原市消防局 大和市消防本部 座間市消防本部 綾瀬市消防本部	北里大学病院

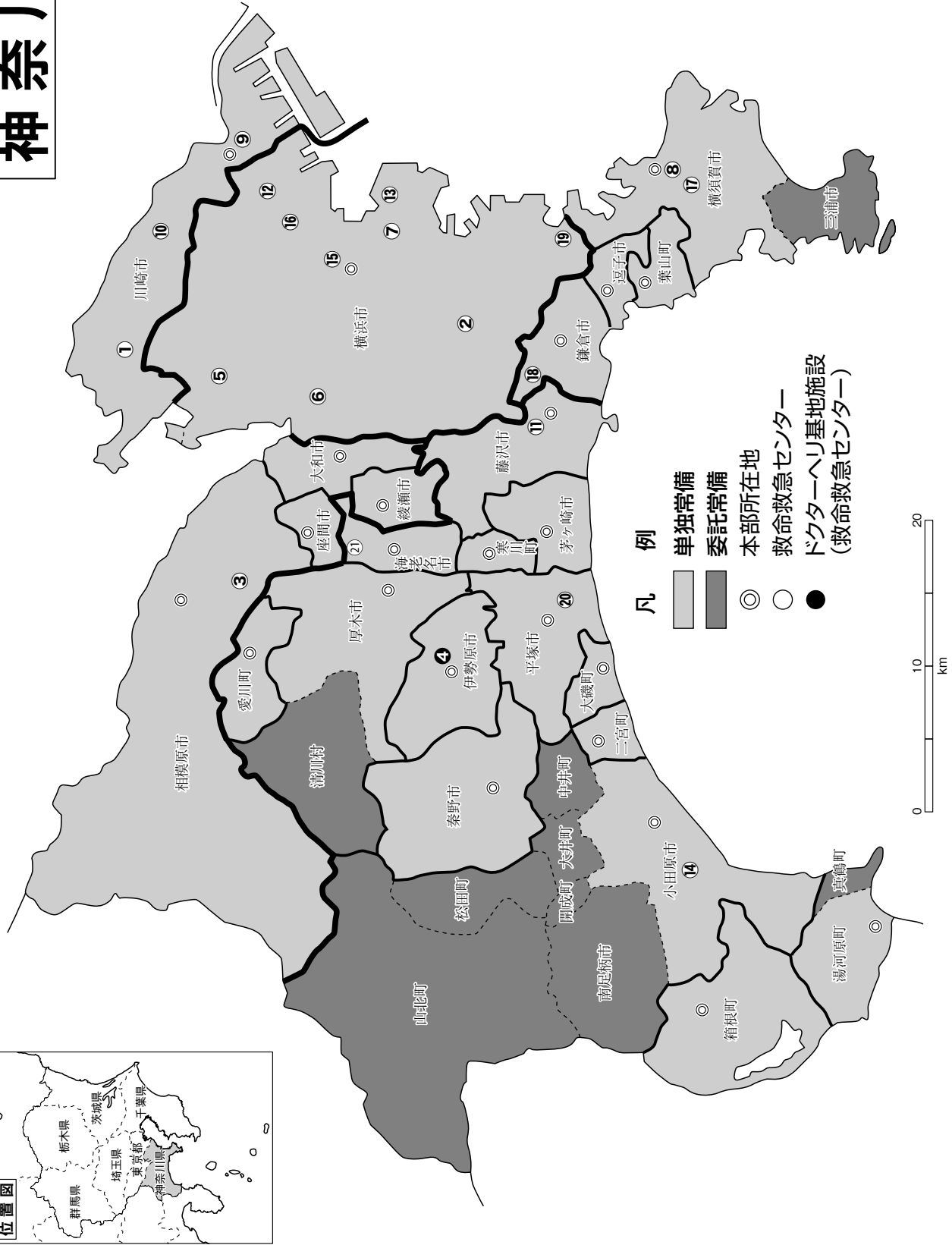
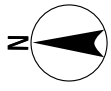
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	聖マリアンナ医科大学病院
②	横浜医療センター
③	北里大学病院
④	東海大学医学部付属病院
⑤	昭和大学藤が丘病院
⑥	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
⑦	横浜市立大学附属市民総合医療センター
⑧	横須賀共済病院
⑨	川崎市立川崎病院
⑩	日本医科大学武蔵小杉病院
⑪	藤沢市民病院
⑫	済生会横浜市東部病院
⑬	横浜市立みなと赤十字病院
⑭	小田原市立病院
⑮	横浜市立市民病院
⑯	横浜労災病院
⑰	横須賀市立うわまち病院
⑱	湘南鎌倉総合病院
⑲	横浜南共済病院
⑳	平塚市民病院
㉑	海老名総合病院



神奈川県



新潟県 【新潟県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
新潟県メディカルコントロール協議会	遠藤 裕 新潟大学医学部 教授	新潟県福祉保健部医務課 新潟県防災局消防課 新潟市中央区新光町4番地1 025-280-5183 025-282-1664 025-280-5641 025-282-1667		
新潟地域メディカルコントロール協議会	片柳 憲雄 新潟市民病院 院長	新潟県福祉保健部医務課 新潟県防災局消防課 新潟市中央区新光町4番地1 025-280-5183 025-282-1664 025-280-5641 025-282-1667	新潟市消防局 佐渡市消防本部 燕・弥彦総合事務組合消防本部 五泉市消防本部 加茂地域消防本部 阿賀町消防本部	新潟大学医歯学総合病院 新潟市民病院
下越地域メディカルコントロール協議会	阿部 俊幸 新潟県新発田地域振興局 健康福祉環境部長	新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部(新発田保健所) 新発田地域広域事務組合消防本部 新発田市豊町3-3-2 新発田市新栄町1-8-31 0254-26-9651 0254-22-9073 0254-26-6800 0254-26-6690	新発田地域広域事務組合消防本部 村上市消防本部 阿賀野市消防本部	新潟県立新発田病院
中越地域メディカルコントロール協議会	園田 裕久 新潟県長岡保健所長	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部(長岡保健所) 長岡市沖田3-2711-1 0258-33-4932 0258-33-4933	長岡市消防本部 柏崎市消防本部 三条市消防本部 小千谷市消防本部 見附市消防本部	長岡赤十字病院
魚沼地域メディカルコントロール協議会	山口 征吾 新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院 地域救命救急センター長	新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部(南魚沼保健所) 南魚沼市六日町620-2 025-772-8142 025-772-2190	南魚沼市消防本部 十日町地域消防本部 魚沼市消防本部	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院
上越地域メディカルコントロール協議会	長谷川 正樹 新潟県立中央病院 院長	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部 (上越保健所) 新潟県糸魚川地域振興局 健康福祉部(糸魚川保健所) 上越市春日山町3-8-34 糸魚川市南押上1-15-1 025-524-6134 025-553-1933 025-524-6998 025-552-8800	上越地域消防事務組合消防本部 糸魚川市消防本部	新潟県立中央病院







救命救急センター設置状況 一覧表

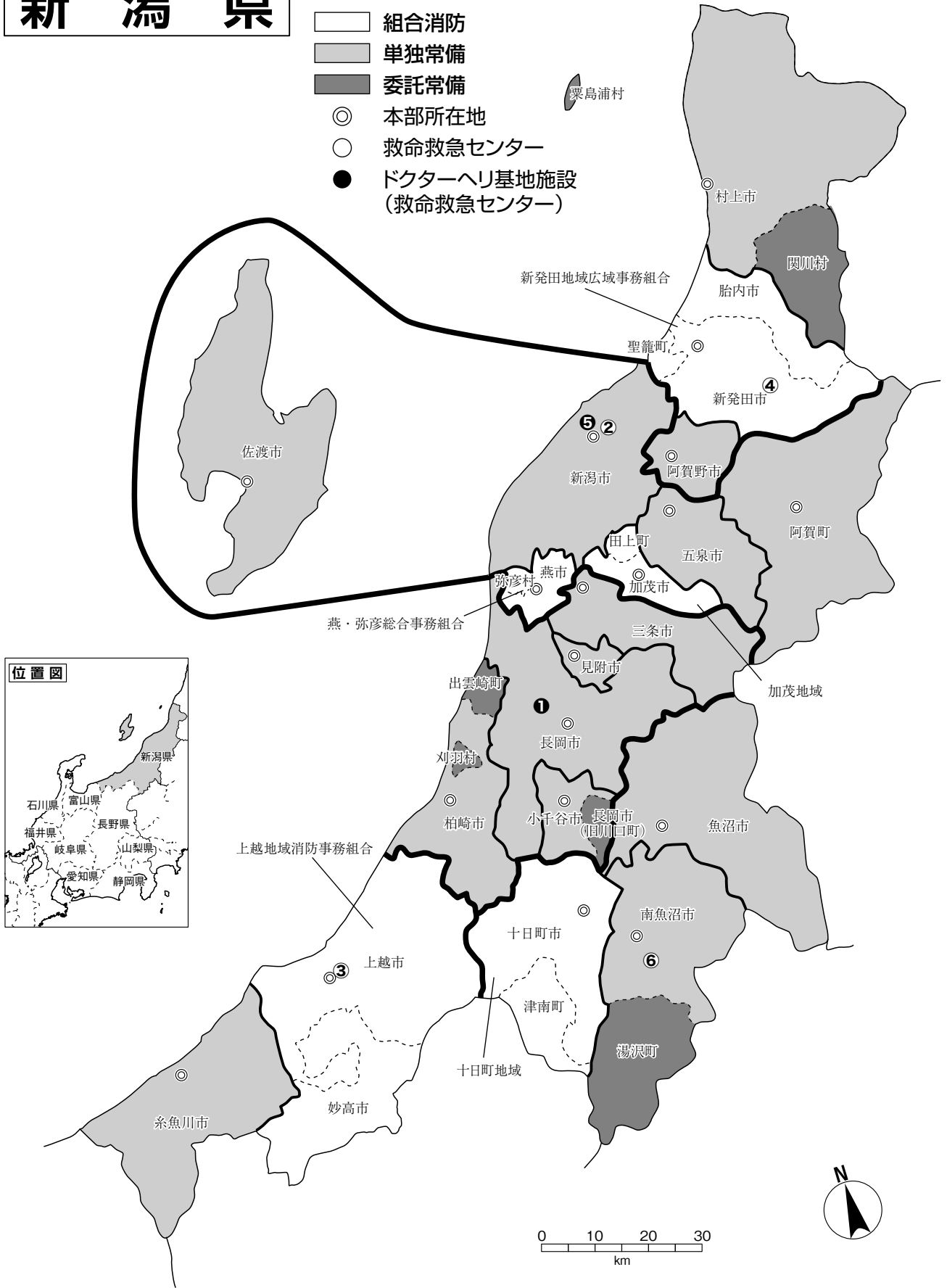
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	長岡赤十字病院
②	新潟市民病院
③	新潟県立中央病院
④	新潟県立新発田病院
⑤	新潟大学医歯学総合病院
⑥	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院

新潟県

凡 例

-  組合消防
-  単独常備
-  委託常備
-  本部所在地
-  救命救急センター
-  ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



富山県 【富山県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
富山県救急業務高度化推進協議会	野田 八嗣 富山県済生会高岡病院 院長	富山県総合政策局消防課 富山県富山市新総曲輪1-7 076-441-4074 076-432-0657		
富山医療圏メディカルコントロール協議会	清水 一夫 富山赤十字病院 副院長・救急部長	富山市消防局警防課 富山市今泉191-1 076-493-4872 076-493-5665	富山市消防局 富山県東部消防組合消防本部 立山町消防本部 射水市消防本部	富山県立中央病院 富山市立富山市民病院 富山赤十字病院 富山県済生会富山病院 富山大学附属病院 厚生連滑川病院 かみいち総合病院
高岡医療圏メディカルコントロール協議会	吉田 昌弘 厚生連高岡病院 救命救急センター長	高岡市消防本部警防課 高岡市広小路5-10 0766-22-3133 0766-22-1994	高岡市消防本部 射水市消防本部 氷見市消防本部	厚生連高岡病院 高岡市民病院 富山県済生会高岡病院 JCHO高岡ふしき病院 射水市民病院 金沢医科大学氷見市民病院
新川地区メディカルコントロール協議会	竹田 慎一 黒部市民病院 院長	富山県東部消防組合消防本部消防課 魚津市本江3197-1 0765-24-7979 0765-23-9178	富山県東部消防組合消防本部 新川地域消防本部	富山労災病院 黒部市民病院 あさひ総合病院
砺波地域メディカルコントロール協議会	家接 健一 市立砺波総合病院 外科部長兼救急部長	砺波地域消防組合消防本部警防課 砺波市大辻501 0763-32-4957 0763-32-2230	砺波地域消防組合消防本部	市立砺波総合病院 南砺市民病院 公立学校共済組合北陸中央病院

※富山県東部消防組合消防本部は、富山医療圏メディカルコントロール協議会と新川地区メディカルコントロール協議会を重複している。
 ※射水市消防本部は、富山医療圏メディカルコントロール協議会と高岡医療圏メディカルコントロール協議会を重複している。

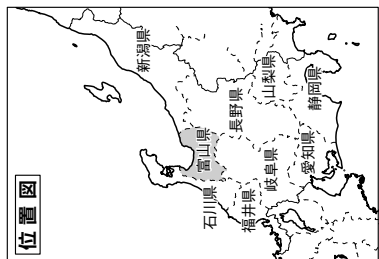
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

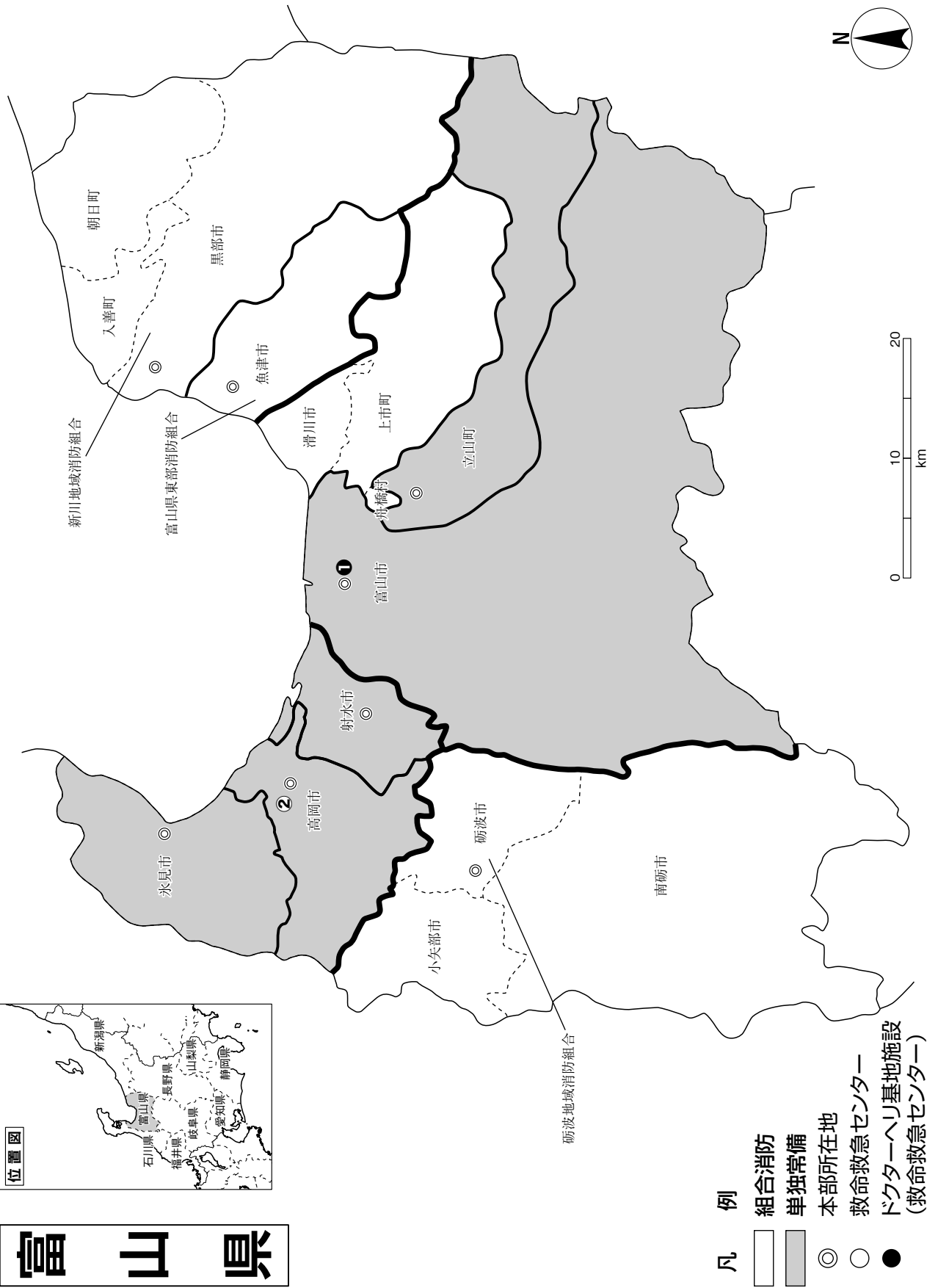
救命救急センター	施設名
①	富山県立中央病院
②	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院

地域MC協議会 4

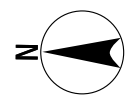
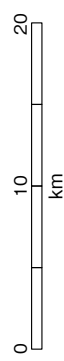
富 山 県



位置図



- 凡 例
- ☐ 組合消防
 - 単独常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



石川県 【石川県メディカルコントロール協議会】

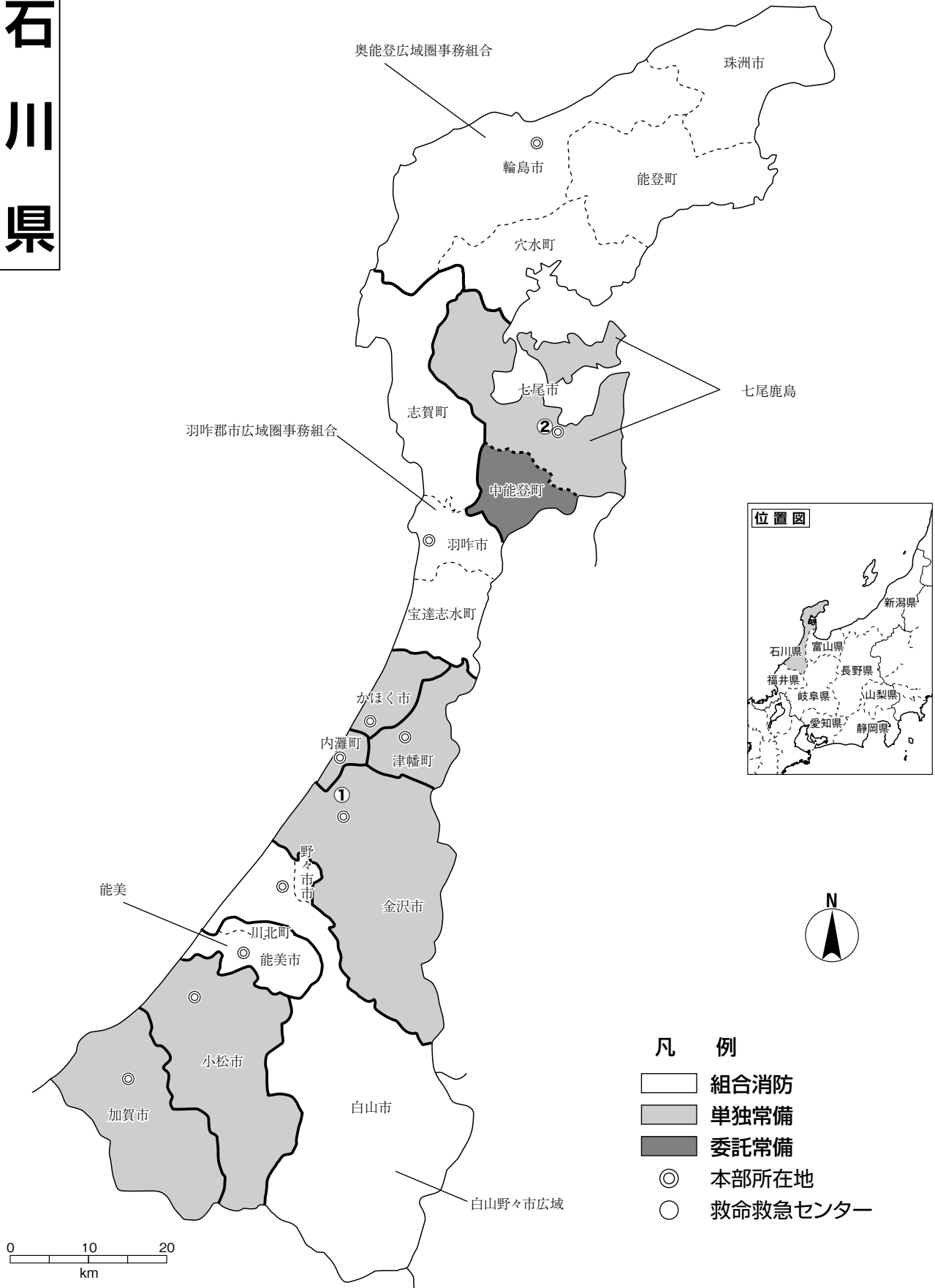
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
石川県メディカルコントロール協議会	稲葉 英夫 金沢大学医薬保健研究域医学系 血液情報発信学(救急医学)教授	石川県危機管理監室消防保安課 ／石川県健康福祉部地域医療推進室 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1481 / 076-225-1449 FAX 076-225-1486 / 076-225-1434	金沢市消防局 小松市消防本部 加賀市消防本部 かほく市消防本部 津幡町消防本部 内灘町消防本部 能美市消防本部 七尾鹿島広域圏事務組合消防本部 羽咋郡市広域圏事務組合消防本部 白山野々市広域消防本部 奥能登広域圏事務組合消防本部	金沢大学附属病院 金沢医科大学病院 石川県立中央病院 公立能登総合病院 加賀市医療センター 小松市民病院 公立松任石川中央病院 金沢医療センター 金沢市立病院 恵寿総合病院 市立輪島病院 珠州市総合病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	石川県立中央病院 (平成30年9月 ドクターヘリ導入予定)
②	公立能登総合病院

石川県



- 凡 例**
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター

福井県 【福井県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
福井県メディカルコントロール協議会	林 寛之 福井大学医学部付属病院 総合診療部 教授	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642		
福井・坂井地域メディカルコントロール協議会	石田 浩 福井県立病院 救急救命センター長	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	嶺北消防組合消防本部 福井市消防局 永平寺町消防本部	福井県立病院 福井大学医学部付属病院
奥越地域メディカルコントロール協議会	田口 誠一 福井勝山総合病院 外科部長	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	大野市消防本部 勝山市消防本部	福井勝山総合病院
丹南地域メディカルコントロール協議会	島田 耕文 公立丹南病院 医師	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	南越消防組合消防本部 鯖江・丹生消防組合消防本部	公立丹南病院
嶺南地域メディカルコントロール部会	廣瀬 敏士 杉田玄白記念公立小浜病院 救命救急センター長兼統括診療部長	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	敦賀美方消防組合消防本部 若狭消防組合消防本部	市立敦賀病院 杉田玄白記念公立小浜病院

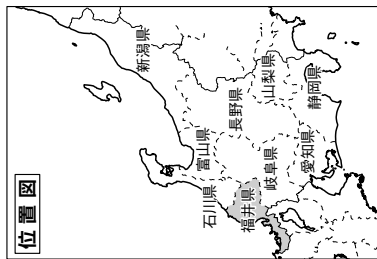
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	福井県立病院
②	杉田玄白記念公立小浜病院

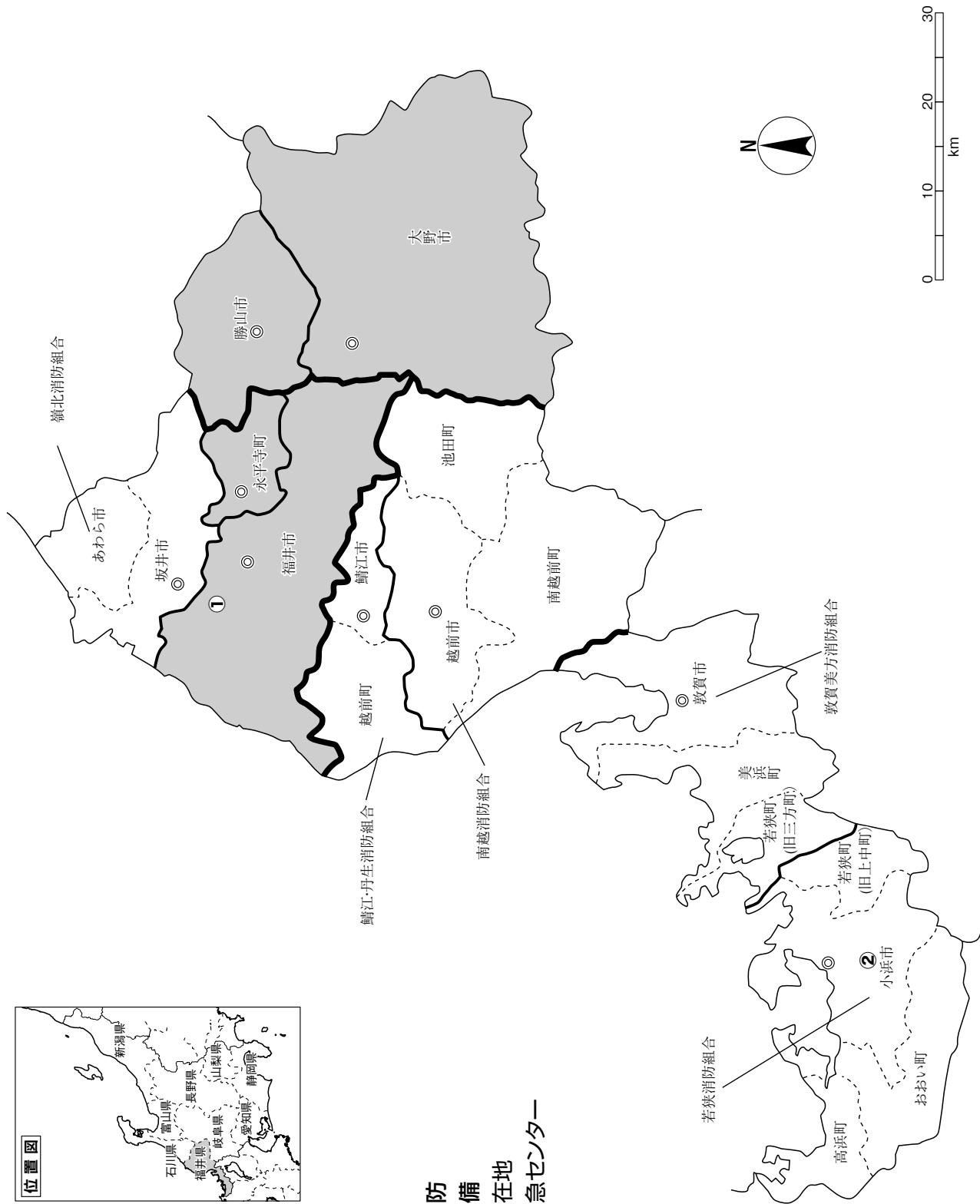
地域MC協議会 4

福井県



位置図

- 凡例
- ◻ 組合消防
 - ◼ 単独常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター



山梨県 【山梨県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
山梨県メディカルコントロール協議会	中澤 良英 社団法人山梨県医師会 理事	山梨県防災局消防保安課 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 055-223-1430 055-223-1429	甲府地区広域行政事務組合消防本部 都留市消防本部 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 大月市消防本部 峡北広域行政事務組合消防本部 笛吹市消防本部 峡南広域行政組合消防本部 東山梨行政事務組合東山梨消防本部 上野原市消防本部 南アルプス市消防本部	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院救命救急センター 山梨大学医学部附属病院救急部

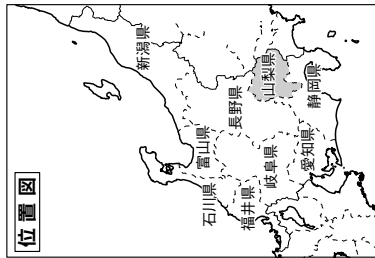
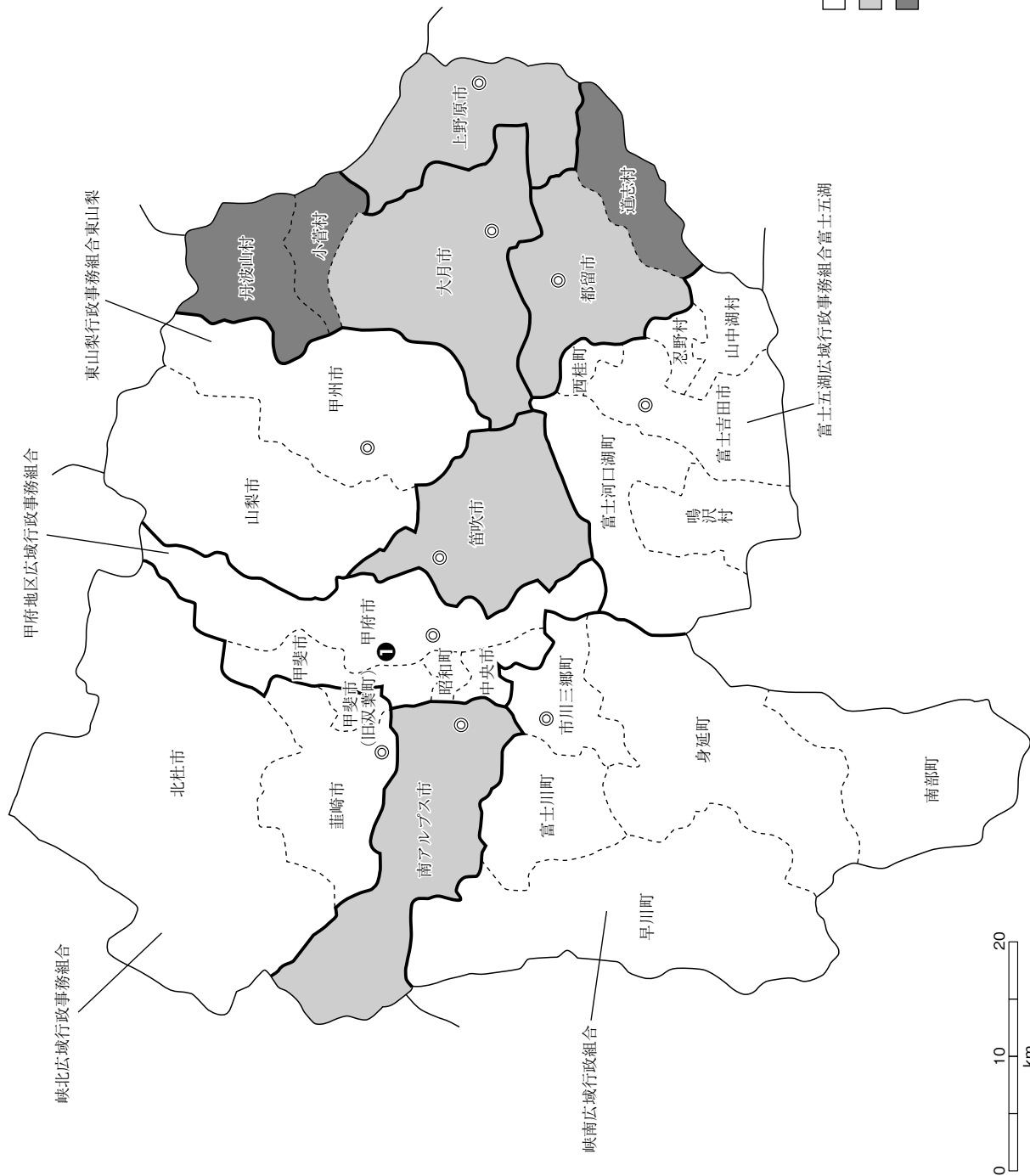
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院救命救急センター

地域MC協議会 1

山梨県



- 凡例
- ◎ 本部所在地
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)
 - 白 単独常備
 - 浅灰 委託常備
 - 深灰 本部所在地
- 例
- 白 組合消防
 - 浅灰 単独常備
 - 深灰 委託常備

長野県【長野県メディカルコントロール協議会】

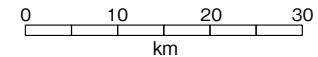
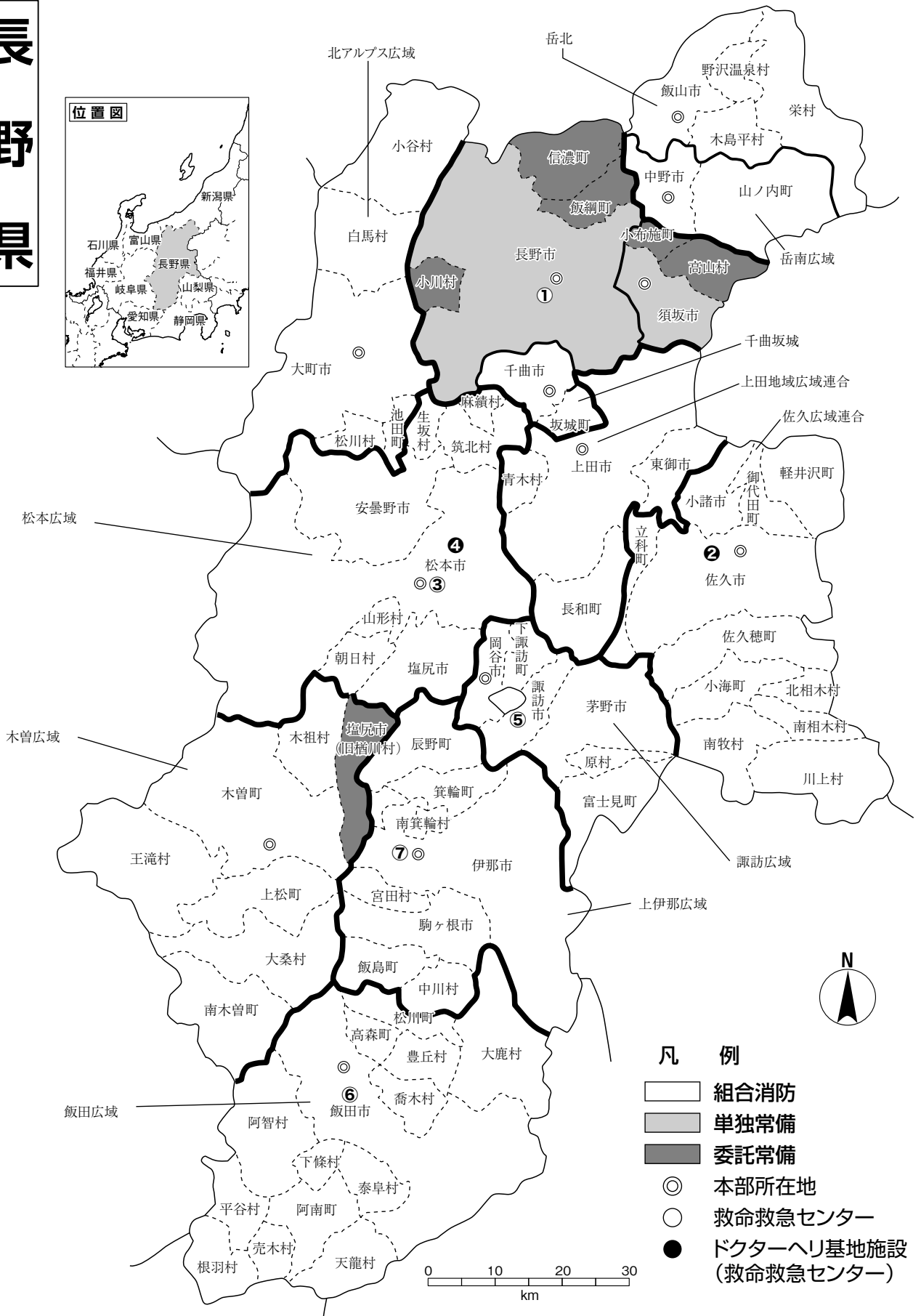
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
長野県メディカルコントロール協議会	今村 浩 信州大学医学部 救急集中治療医学講座教授	長野県健康福祉部医療推進課 長野市大字南長野字幅下692-2 026-235-7131 026-223-7106		
佐久地域メディカルコントロール分科会	小松 正彦 佐久医師会 医師会長	佐久広域連合消防本部警防課 佐久市中込2947 0267-64-0119 0267-62-7745	佐久広域連合消防本部	JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 佐久市立国保浅間総合病院 JA長野厚生連小諸厚生総合病院 軽井沢病院
上田地域広域連合メディカルコントロール分科会	森 寛夫 上田市医師会 顧問	上田地域広域連合消防本部警防課 上田市大手二丁目7番16号 0268-26-0119 0268-23-6901	上田地域広域連合消防本部	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター 独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター 丸子中央病院 東御市民病院 依田窪病院
諏訪地域メディカルコントロール協議会	鈴木 正 諏訪郡医師会 会長	諏訪広域消防本部総務課 岡谷市加茂町一丁目2番6号 0266-21-1190 0266-21-2119	諏訪広域消防本部	諏訪赤十字病院 岡谷市民病院 諏訪湖畔病院 諏訪共立病院 諏訪中央病院 富士見高原病院
上伊那地域メディカルコントロール協議会	北原 敏久 上伊那医師会 上伊那医師会長	上伊那広域消防本部 伊那市荒井4606番地1 0265-72-0119 0265-72-0712	上伊那広域消防本部	伊那中央病院 辰野総合病院 昭和伊南総合病院
飯伊地区メディカルコントロール分科会	神頭 定彦 飯田市立病院 飯田市立病院救命救急センター長 飯伊地区包括医療協議会緊急救急医療対策委員長	飯伊地区包括医療協議会 飯田市中央通り5-96 0265-23-3636 0265-23-7112	飯田広域消防本部	飯田市立病院 県立阿南病院 飯田病院 健和会病院 輝山会記念病院 下伊那厚生病院 下伊那赤十字病院 瀬口脳神経外科病院
木曾地域メディカルコントロール協議会	飯嶋 章博 長野県立木曾病院 副院長・救急部長	木曾広域消防本部 木曾郡木曾町福島3737番地 0264-24-3119 0264-24-2929	木曾広域消防本部	長野県立木曾病院
松本広域圏救急・災害医療協議会メディカルコントロール委員会	今村 浩 信州大学医学部 救急集中治療医学講座教授	松本広域消防局 松本市渚1丁目7番12号 0263-25-1699 0263-25-3987	松本広域消防局	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター 社会医療法人財団慈泉会相澤病院
大北地域メディカルコントロール分科会	青木 俊樹 大町総合病院 副院長	北アルプス広域消防本部警防課 大町市大町4724-1 0261-22-0735 0261-21-3310	北アルプス広域消防本部	安曇総合病院 大町総合病院
長野地域メディカルコントロール協議会	宮澤 政彦 長野市医師会長(宮沢医院) 宮沢医院院長	長野市消防局警防課 長野市鶴賀1730-2 026-227-8002 026-226-8461	長野市消防局 須坂市消防本部 千曲坂城消防本部	長野赤十字病院 長野市民病院 長野中央病院 篠ノ井総合病院 長野松代総合病院 飯綱病院 新町病院 信越病院 県立信州医療センター 千曲中央病院
中高・飯水地区救急医療体制確立及びメディカルコントロール協議会	鈴木 章彦 中高医師会 中高医師会長	岳南広域消防本部警防係 長野県中野市大字江部1324-2 0269-23-0119 0269-22-5991	岳南広域消防本部 岳北消防本部	JA長野厚生連北信総合病院 飯山赤十字病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	長野赤十字病院
②	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター
③	慈泉会相澤病院
④	信州大学医学部附属病院
⑤	諏訪赤十字病院
⑥	飯田市立病院
⑦	伊那中央病院

長野県



岐阜県【岐阜県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
岐阜県メディカルコントロール協議会	富田 栄一 一般社団法人岐阜県病院協会 会長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549		
岐阜地域メディカルコントロール協議会	滝谷 博志 岐阜県総合医療センター 院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	岐阜市消防本部 羽島市消防本部 各務原市消防本部 羽島郡広域連合消防本部	岐阜大学医学部附属病院 岐阜県総合医療センター 岐阜市民病院 岐阜赤十字病院 朝日大学病院 羽島市民病院 東海中央病院 岐阜厚生病院 松波総合病院 長良医療センター 岐阜清流病院
西濃地域メディカルコントロール協議会	横山 幸房 大垣市民病院 胸部外科部長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	大垣消防組合消防本部 海津市消防本部 養老町消防本部 不破消防組合消防本部 揖斐郡消防組合消防本部	大垣市民病院 大垣徳洲会病院 海津市医師会病院 西美濃厚生病院 博愛会病院 揖斐厚生病院
中濃地域メディカルコントロール協議会	山田 実貴人 木沢記念病院 救急部門長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	可茂消防事務組合消防本部 中濃消防組合消防本部 郡上市消防本部	可児とうのう病院 木沢記念病院 中濃厚生病院 美濃病院 郡上市民病院 鷺見病院 白川病院 太田メディカルクリニック 東可児病院 国保白鳥病院 関中央病院
東濃地域メディカルコントロール協議会	伊藤 淳樹 岐阜県立多治見病院 副院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	多治見市消防本部 瑞浪市消防本部 土岐市消防本部 中津川市消防本部 恵那市消防本部	岐阜県立多治見病院 東濃厚生病院 土岐市立総合病院 中津川市民病院 市立恵那病院 多治見市民病院
飛騨地域メディカルコントロール協議会	山本 昌幸 久美愛厚生病院 副院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市藪田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	高山市消防本部 飛騨市消防本部 下呂市消防本部	高山赤十字病院 久美愛厚生病院 国保白川診療所 飛騨市民病院 下呂温泉病院 高山市立金山病院 高山市国民健康保険高根診療所

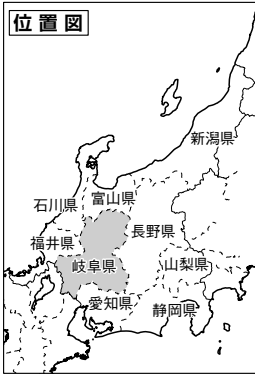
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

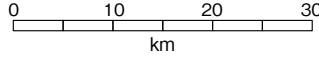
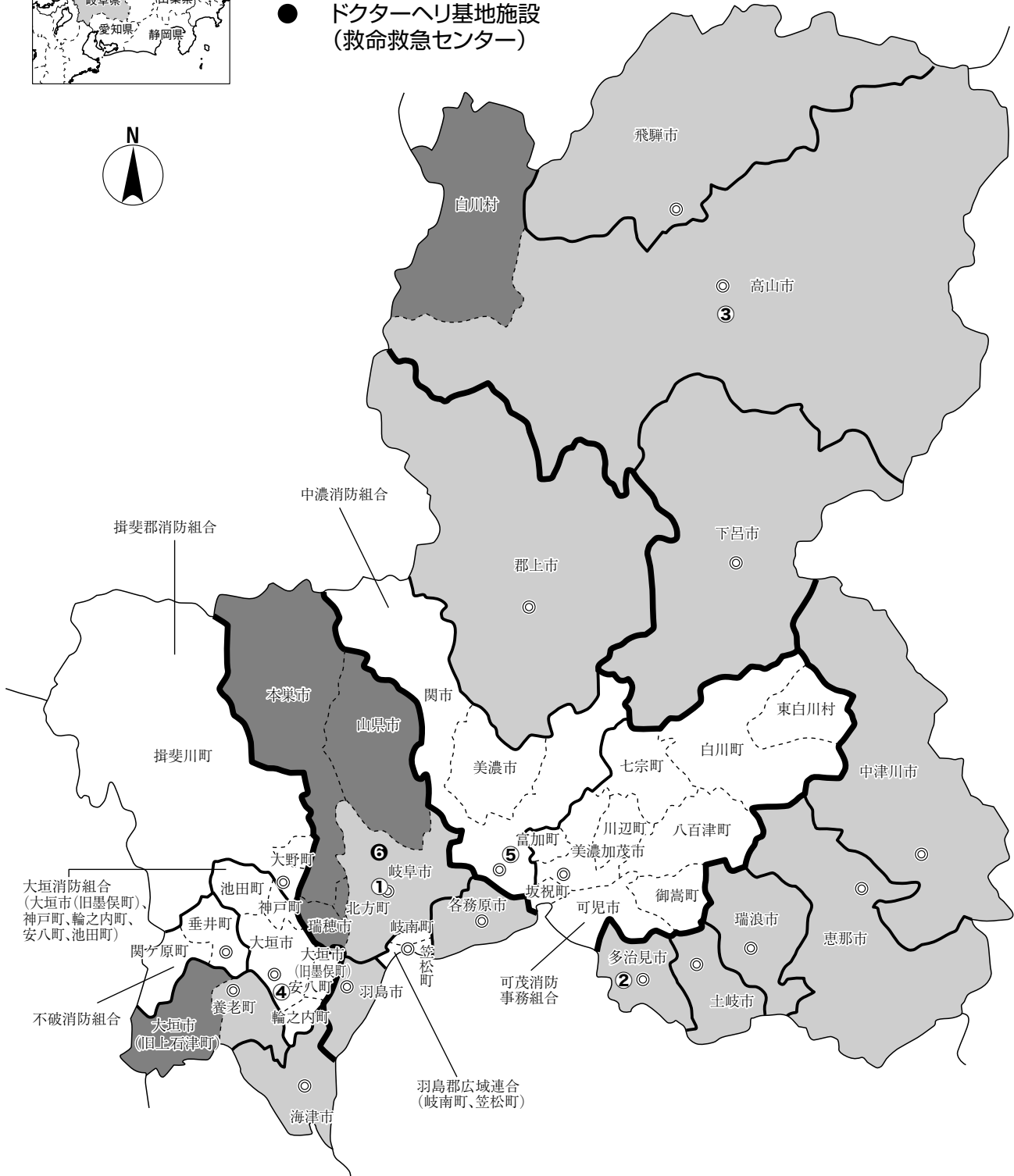
救命救急センター	施設名
①	岐阜県総合医療センター
②	地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
③	日本赤十字社 高山赤十字病院
④	大垣市民病院
⑤	JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院
⑥	岐阜大学医学部附属病院

地域MC協議会 5

岐阜県



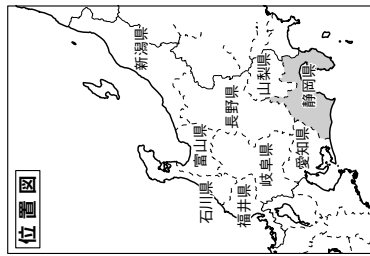
- 凡 例
- ◻ 組合消防
 - ◻ 単独常備
 - ◼ 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



静岡県 【静岡県メディカルコントロール協議会】

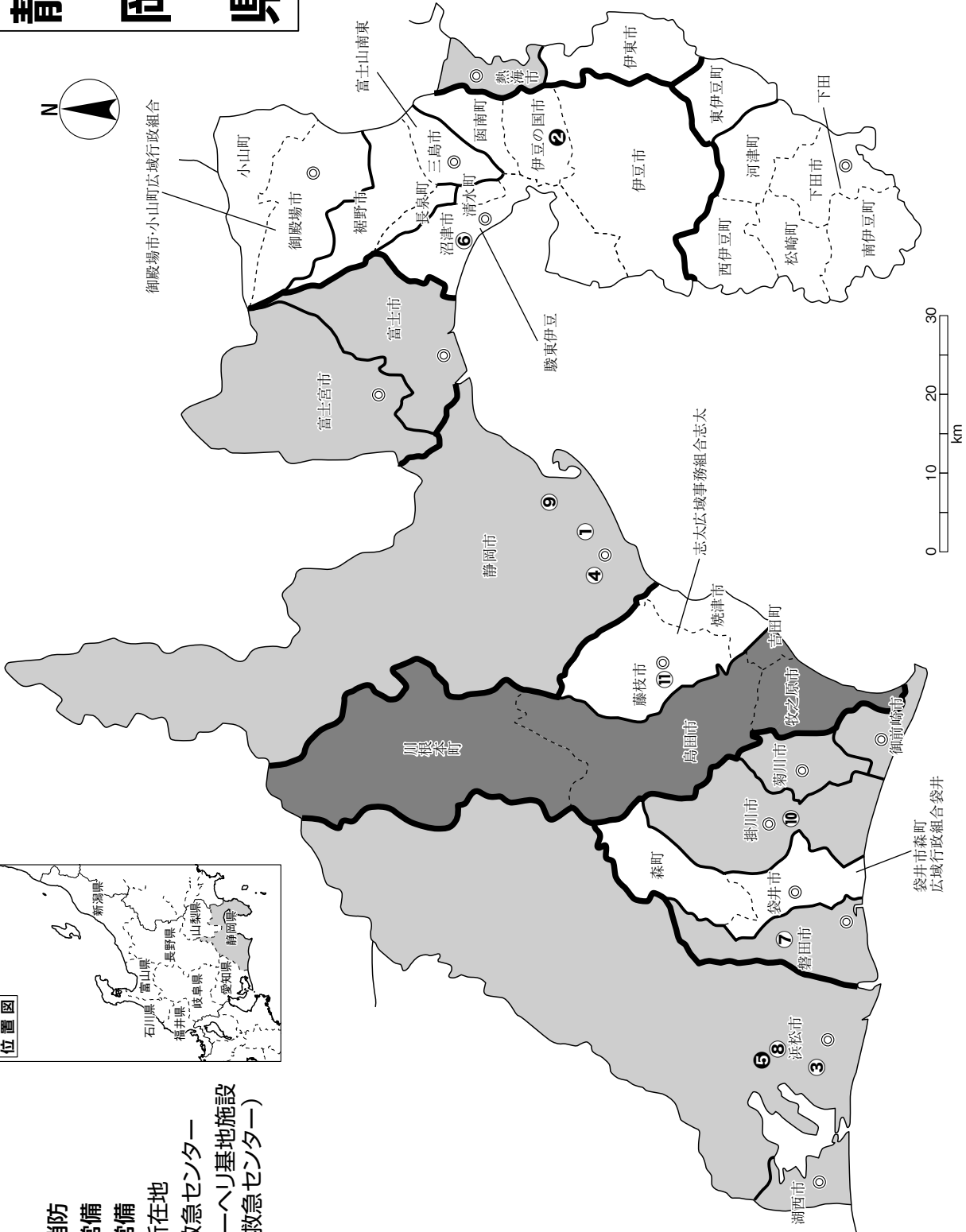
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
静岡県メディカルコントロール協議会	加陽 直美 静岡県医師会 理事	静岡県健康福祉部地域医療課 静岡県危機管理部消防保安課 静岡市葵区追手町9番6号 054-221-2348 054-221-2073 054-221-3291 054-221-3327		
賀茂地域メディカルコントロール協議会	池田 正見 賀茂医師会 会長	静岡県賀茂保健所地域医療課 下田市中531の1 0558-24-2052 0558-24-2169	下田消防本部 駿東伊豆消防本部	下田メディカルセンター 医療法人社団健育会西伊豆健育会病院 公益社団法人地域医療振興協会伊豆今井浜病院 医療法人社団康心会伊豆東部総合病院 順天堂大学医学部附属静岡病院【他】
熱海・伊東地域メディカルコントロール協議会	鈴木 卓 南あたま第一病院 院長	静岡県熱海保健所総務課 熱海市水口町13-15 0557-82-9106 0557-82-9131	熱海市消防本部 駿東伊豆消防本部	国際医療福祉大学熱海病院 医療法人社団陽光会南あたま第一病院 医療法人社団伊豆七海会熱海所記念病院 伊東市民病院 順天堂大学医学部附属静岡病院【他】
駿東田方地域メディカルコントロール協議会	西方 俊 沼津医師会 会長	駿東伊豆消防本部警防救急課 沼津市寿町2-10 055-920-9102 055-923-9911	駿東伊豆消防本部 富士山南東消防本部 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	沼津市立病院 順天堂大学医学部附属静岡病院 一般財団法人芙蓉協会聖隷沼津病院 独立行政法人地域医療機能推進機構三島総合病院 医療法人社団志仁会三島中央病院 独立行政法人国立病院機構静岡医療センター 医療法人社団青虎会フジ虎ノ門整形外科病院 公益財団法人伊豆保健医療センター 裾野赤十字病院 医療法人社団親和会西島病院 医療法人社団宏和会岡村記念病院 伊豆赤十字病院 公益社団法人有隣厚生会富士病院 医療法人社団駿栄会御殿場石川病院 公益社団法人有隣厚生会東部病院 公益社団法人有隣厚生会富士小山病院【他】
富士地域メディカルコントロール協議会	磯部 俊一 富士市医師会 会長	富士市消防本部警防課救急管理室 富士市永田町1丁目100 0545-55-2856 0545-53-4633	富士宮市消防本部 富士市消防本部	富士宮市立病院 一般財団法人富士脳障害研究所附属病院 富士市立中央病院 共立蒲原総合病院 医療法人社団秀峰会川村病院 一般財団法人恵愛会聖隷富士病院【他】
静岡地域メディカルコントロール協議会	袴田 光治 静岡市静岡医師会 会長	静岡市消防局警防部救急課 静岡市駿河区南八幡町10-30 054-280-0199 054-280-0189	静岡市消防局	静岡済生会総合病院 静岡赤十字病院 静岡県立総合病院 JA静岡厚生連静岡厚生病院 静岡市立静岡病院 静岡県立こども病院 静岡市立清水病院 JA静岡厚生連清水厚生病院 独立行政法人地域医療機能推進機構檜ヶ丘病院【他】
志太榛原地域メディカルコントロール協議会	堀尾 恵三 焼津市医師会 会長	静岡県中部保健所地域医療課 藤枝市瀬戸新屋362-1 054-644-9273 054-644-4471	静岡市消防局 志太広域事務組合志太消防本部	市立島田市民病院 焼津市立総合病院 藤枝市立総合病院 榛原総合病院【他】
中東遠地域メディカルコントロール協議会	北原 大文 磐田市医師会 会長	静岡県西部保健所地域医療課 磐田市見付3599-4 0538-37-2793 0538-37-2224	磐田市消防本部 掛川市消防本部 菊川市消防本部 御前崎市消防本部 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	磐田市立総合病院 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 菊川市立総合病院 市立御前崎総合病院 公立森町病院【他】
西部地域メディカルコントロール協議会	滝浪 實 浜松市医師会 会長	浜松市消防局警防課救急管理グループ 浜松市中区下池川町19-1 053-475-7531 053-475-7539	浜松市消防局 湖西市消防本部	浜松医療センター 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院 浜松医科大学医学部附属病院 独立行政法人労働者健康福祉機構浜松労災病院 浜松赤十字病院 JA静岡厚生連遠州病院 独立行政法人国立病院機構天竜病院 浜松市国民健康保険佐久間病院【他】

静岡県



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	静岡済生会総合病院
②	順天堂大学医学部附属静岡病院
③	浜松医療センター
④	静岡赤十字病院
⑤	聖隷三方原病院
⑥	沼津市立病院
⑦	磐田市立総合病院
⑧	聖隷浜松病院
⑨	地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院
⑩	中東遠総合医療センター
⑪	藤枝市立総合病院

愛知県 【愛知県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
愛知県救急業務高度化推進協議会	北川 喜己 名古屋掖済会病院 副院長兼救命救急センター長	愛知県防災局消防保安課 愛知県健康福祉部保健医療局医務課 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 052-954-6141 052-954-6994		
名古屋市メディカルコントロール協議会	稲田 真治 名古屋第二赤十字病院 救急科部長	名古屋消防局 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 052-972-3583 052-972-3582	名古屋消防局	名古屋第一赤十字病院 (独)国立病院機構名古屋医療センター 名古屋第二赤十字病院 名古屋市立大学病院 名古屋掖済会病院 (独)地域医療機能推進機構 中京病院 名古屋市立東部医療センター 名古屋大学医学部附属病院
海部地区メディカルコントロール協議会	谷内 仁 厚生連 海南病院 救命救急センター長 兼救急科代表部長	海部南部消防組合消防本部 海部郡飛島村大宝5丁目182 0567-52-3111 0567-52-3114	津島市消防本部 愛西市消防本部 蟹江町消防本部 海部東部消防組合消防本部 海部南部消防組合消防本部	厚生連 海南病院 名古屋第一赤十字病院 名古屋掖済会病院
知多地区メディカルコントロール協議会	太平 周作 半田市立半田病院 救命救急センター長	知多中部広域事務組合消防本部 半田市東洋町1丁目6番地 0569-21-1492 0569-22-7420	常滑市消防本部 東海市消防本部 大府市消防本部 知多市消防本部 知多中部広域事務組合消防本部 知多南部消防組合消防本部	半田市立半田病院 あいち小児保健医療総合センター (独)地方医療機能推進機構 中京病院 藤田保健衛生大学病院 刈谷豊田総合病院
尾張東部地区メディカルコントロール協議会	武山 直志 愛知医科大学病院 高度救命救急センター部長	尾三消防本部 愛知郡東郷町大字諸輪18番地 0561-38-7215 0561-38-6962	瀬戸市消防本部 尾張旭市消防本部 尾三消防本部	公立陶生病院 藤田保健衛生大学病院 愛知医科大学病院
尾張北部地区メディカルコントロール協議会	井上 卓也 小牧市民病院 救命救急センター部長 兼救急科部長	小牧市消防本部 小牧市安田町119番地 0568-76-0276 0568-76-0224	一宮市消防本部 春日井市消防本部 犬山市消防本部 江南市消防本部 小牧市消防本部 稲沢市消防本部 岩倉市消防本部 丹羽広域事務組合消防本部 西春日井広域事務組合消防本部	一宮市立市民病院 総合大雄会病院 春日井市民病院 小牧市民病院 厚生連 江南厚生病院
西三河地区メディカルコントロール協議会	田淵 昭彦 厚生連 安城厚生病院 救急科代表部長	豊田市消防本部 豊田市長興時5丁目17番地の1 0565-35-9701 0565-35-9709	岡崎市消防本部 豊田市消防本部 西尾市消防本部 幸田町消防本部 衣浦東部広域連合消防局	厚生連 豊田厚生病院 トヨタ記念病院 岡崎市民病院 刈谷豊田総合病院 厚生連 安城更生病院
東三河地区メディカルコントロール協議会	鈴木 伸行 豊橋市民病院 副院長兼救命救急センター長	豊橋市消防本部 豊橋市東松山町23番地 0532-51-3101 0532-56-1411	豊橋市消防本部 豊川市消防本部 蒲郡市消防本部 新城市消防本部 田原市消防本部	豊橋市民病院

※尾三消防本部は、尾張東部地区メディカルコントロール協議会と西三河地区メディカルコントロール協議会を重複している。

救命救急センター設置状況 一覧表 (平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	名古屋掖済会病院
②	藤田保健衛生大学病院
③	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
④	愛知医科大学病院
⑤	岡崎市民病院
⑥	豊橋市民病院
⑦	名古屋第二赤十字病院
⑧	小牧市民病院
⑨	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
⑩	中京病院
⑪	名古屋第一赤十字病院
⑫	半田市立半田病院
⑬	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
⑭	総合大雄会病院
⑮	一宮市立市民病院
⑯	名古屋市立大学病院
⑰	刈谷豊田総合病院
⑱	トヨタ記念病院
⑲	愛知厚生連海南病院
⑳	公立陶生病院
㉑	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院
㉒	春日井市民病院
㉓	名古屋市立東部医療センター

三重県 【三重県救急搬送・医療連携協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
三重県救急搬送・医療連携協議会	【会長】 伊藤正明 三重大学医学部附属病院 三重大学医学部附属病院院長	三重県健康福祉部医療対策局地域医療推進課 三重県津市広明町13 TEL 059-224-3370 FAX 059-224-2340 三重県防災対策部消防・保安課 三重県津市広明町13 TEL 059-224-2108 FAX 059-224-3350		
桑名地域メディカルコントロール協議会	東 俊策 桑名医師会 桑名医師会会長	桑名保健所 桑名市中央町5-17 TEL 0594-24-3621 FAX 0594-24-3692	桑名市消防本部	桑名東医療センター 桑名西医療センター いなべ総合病院
四日市地域メディカルコントロール協議会	宮国 博佳 四日市医師会 四日市医師会理事	四日市市保健所 四日市市諏訪町2-2 TEL 059-352-0590 FAX 059-351-3304	四日市市消防本部 菟野町消防本部	県立総合医療センター 市立四日市病院 四日市社会保険病院 菟野厚生病院
鈴鹿・亀山地域メディカルコントロール協議会	村田 哲也 鈴鹿中央総合病院 鈴鹿中央総合病院副院長	鈴鹿市消防本部 鈴鹿市飯野寺家町217-1 TEL 059-382-9155 FAX 059-383-1447	鈴鹿市消防本部 亀山市消防本部	鈴鹿中央総合病院 鈴鹿回生病院 亀山市立医療センター
津・久居地域メディカルコントロール協議会	今井 寛 三重大学医学部附属病院 救命救急センター長・教授	津保健所 津市桜橋3-446-34 TEL 059-223-5290 FAX 059-223-5119	津市消防本部	三重大学医学部附属病院 三重中央医療センター 榑原温泉病院 永井病院
松阪地区メディカルコントロール協議会	野呂 純一 松阪地区医師会 松阪地区医師会会長	松阪地区広域消防組合消防本部 松阪市川井町1001-1 TEL 0598-25-1413 FAX 0598-21-3080	松阪地区広域消防組合消防本部 紀勢地区広域消防組合消防本部	松阪中央総合病院 済生会松阪総合病院 松阪市民病院 大台厚生病院 南島メディカルセンター
三地域メディカルコントロール協議会	畠中 節夫 伊勢地区医師会 伊勢地区医師会会長	伊勢保健所 伊勢市勢田町628-2 TEL 0596-27-5134 FAX 0596-27-5253	伊勢市消防本部 鳥羽市消防本部 志摩広域消防組合消防本部	伊勢赤十字病院 市立伊勢総合病院 三重県立志摩病院
伊賀地域メディカルコントロール部会(協議会)	上島 亮 伊賀市立上野総合市民病院 救急部長	伊賀保健所 伊賀市四十九町2802 TEL 0595-24-8070 FAX 0595-24-8085	伊賀市消防本部 名張市消防本部	伊賀市立上野総合市民病院 社会医療法人畿内会 岡波総合病院 名張市立病院
東紀州地域尾鷲地区メディカルコントロール協議会	長谷川 陽 紀北医師会 紀北医師会副会長	尾鷲保健所 尾鷲市坂場西町1-1 TEL 0597-23-3446 FAX 0597-23-3449 三重紀北消防組合消防本部 尾鷲市中川128-43 TEL 0597-22-8679 FAX 0597-22-6392	三重紀北消防組合消防本部	尾鷲総合病院
紀南地域メディカルコントロール協議会	平畑 一人 紀南医師会 紀南医師会副会長	熊野保健所 熊野市井戸町383 TEL 0597-85-2158 FAX 0597-85-3914 熊野市消防本部 熊野市有馬町1365-1 TEL 0597-89-0995 FAX 0597-89-4424	熊野市消防本部	紀南病院

救命救急センター設置状況 一覧表

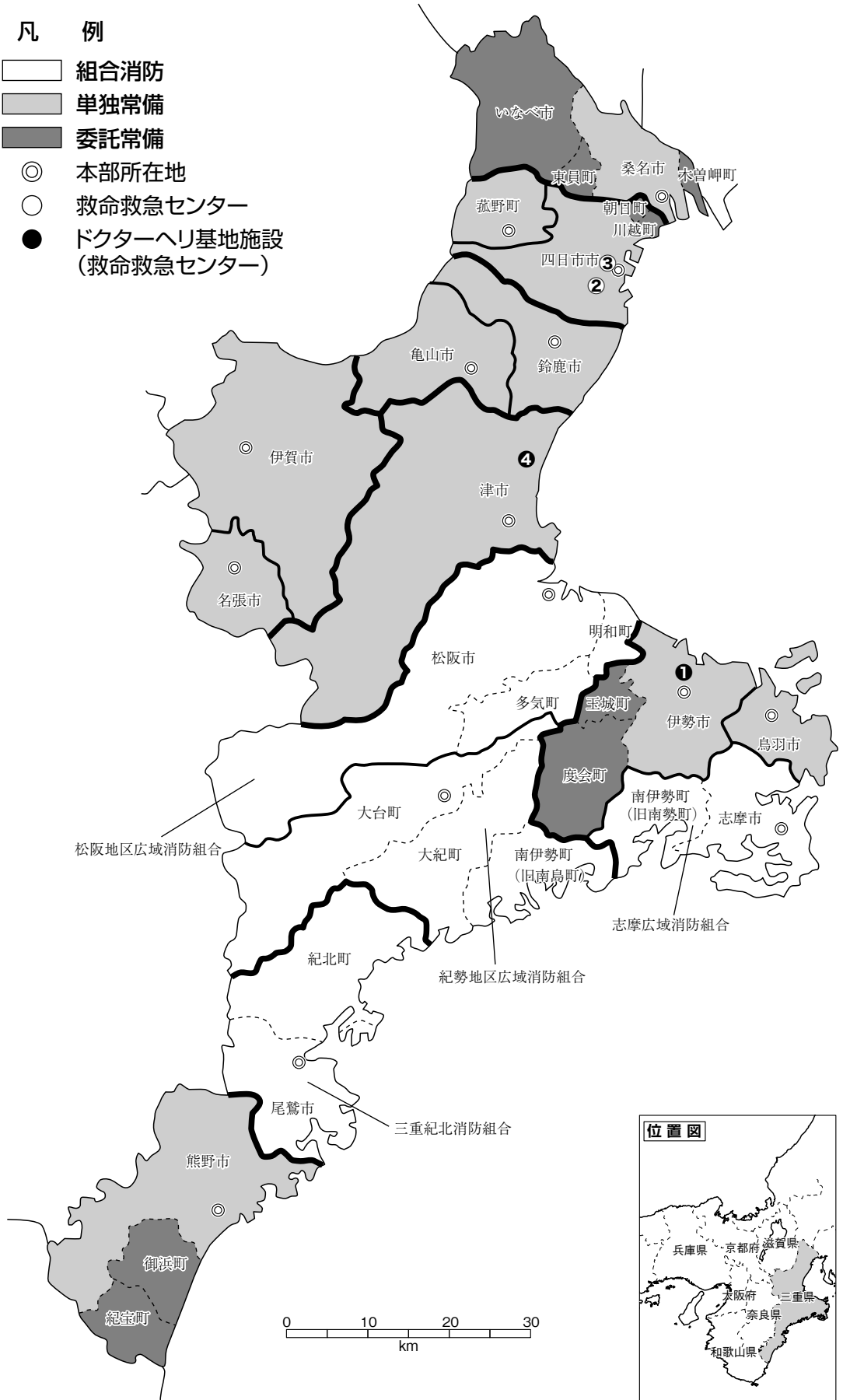
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	伊勢赤十字病院
②	三重県立総合医療センター
③	市立四日市病院
④※	三重大学医学部附属病院

※2施設でドクターヘリ1機

三重県

- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



滋賀県 【滋賀県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
滋賀県メディカルコントロール協議会	石川 浩三 大津赤十字病院 院長	滋賀県総合政策部防災危機管理局 滋賀県健康医療福祉部医療政策課 大津市京町四丁目1番1号 077-528-3431 077-528-3625 077-528-6037 077-528-4859		
大津市メディカルコントロール協議会	松原 峰生 大津赤十字病院 救急部長	大津市消防局警防課救急高度化推進室 大津市御陵町3番1号 077-525-9903 077-525-9904	大津市消防局	大津赤十字病院 大津市民病院 滋賀医科大学医学部附属病院
湖南救急医療連絡協議会	三木 恒治 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 院長	湖南広域消防局救命救急課 栗東市小柿三丁目1番1号 077-552-9922 077-552-0988	湖南広域消防局	済生会滋賀県病院 草津総合病院 野洲病院 済生会守山市民病院 滋賀医科大学医学部附属病院 滋賀県立総合病院 近江草津徳洲会病院
甲賀地域メディカルコントロール協議会	野村 康之 (一社)甲賀湖南医師会 会長	甲賀広域行政組合消防本部警防課 甲賀市水口町水口6218番地 0748-63-7934 0748-62-3666	甲賀広域行政組合消防本部	公立甲賀病院 甲賀市立信楽中央病院 生田病院 甲南病院
東近江救急高度化推進協議会	島田 徹 (一社)東近江医師会 会長	東近江行政組合消防本部警防課 東近江市東今崎町5番33号 0748-22-7604 0748-22-7613	東近江行政組合消防本部	近江八幡市立総合医療センター 国立病院機構東近江総合医療センター 東近江敬愛病院 東近江市立能登川病院 日野記念病院 湖東記念病院
湖東地域救急高度化推進協議会	上林 俊明 (一社)彦根医師会 会長	彦根市消防本部警防課 彦根市西今町415番地 0749-22-0337 0749-22-9427	彦根市消防本部	彦根市立病院 彦根中央病院 友仁山崎病院 豊郷病院
湖北地域救急医療高度化推進協議会	手操 忠善 (一社)湖北医師会 会長	湖北地域消防本部警防課 長浜市平方町1135番地 0749-62-6194 0749-65-4450	湖北地域消防本部	長浜赤十字病院 市立長浜病院 市立湖北病院
湖西地域メディカルコントロール協議会	前田 昌彦 (一社)高島市医師会 会長	高島市消防本部警防課 高島市今津町日置前5150番地 0740-22-5402 0740-22-5199	高島市消防本部	高島市民病院

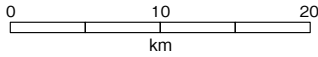
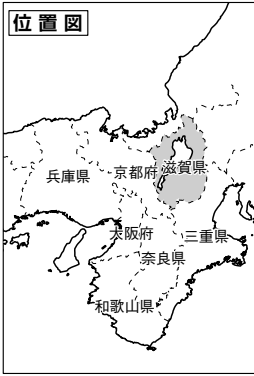
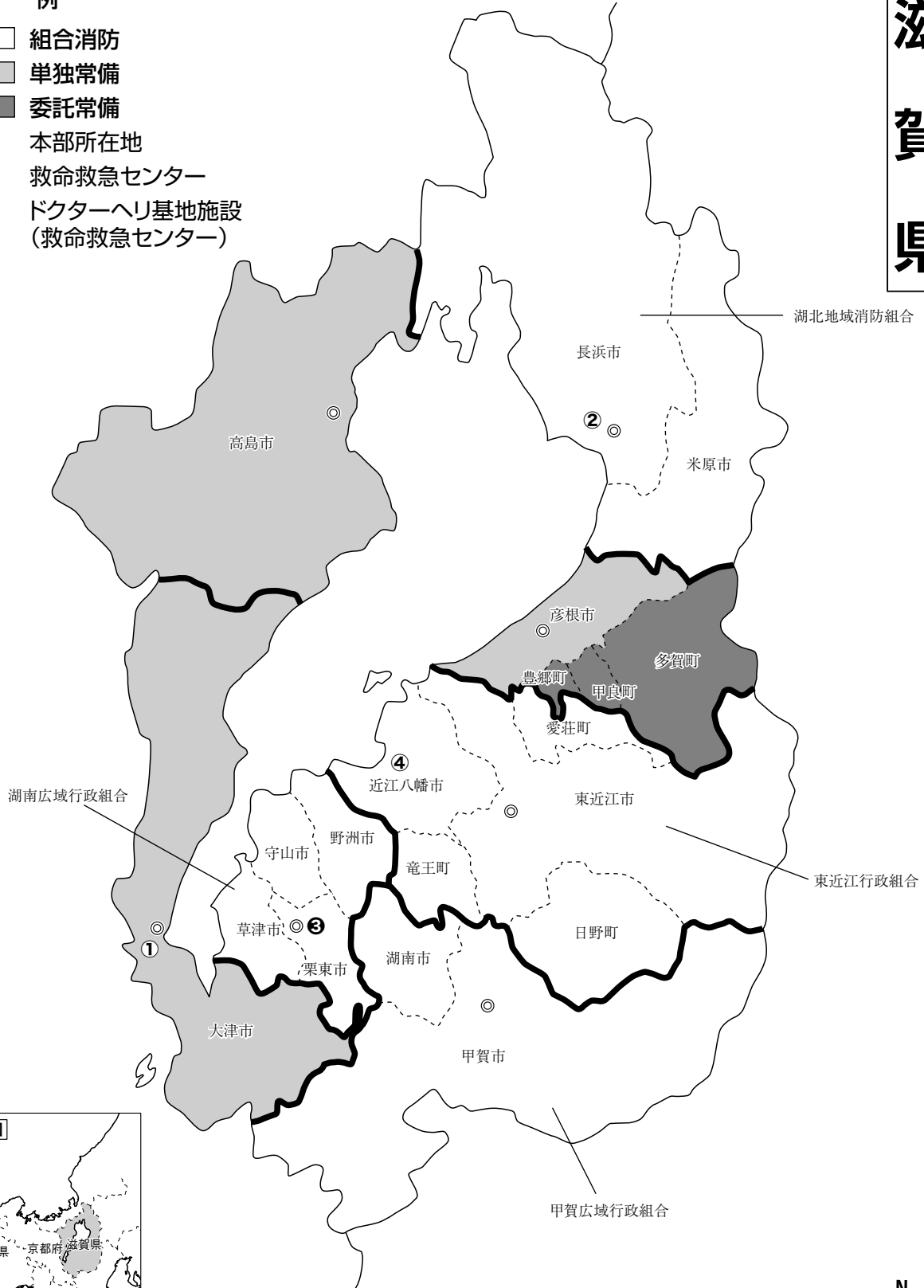
救命救急センター設置状況 一覧表 (平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	大津赤十字病院
②	長浜赤十字病院
③	済生会滋賀県病院
④	近江八幡市立総合医療センター

地域MC協議会 7

滋賀県

- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



京都府 【京都府高度救急業務推進協議会】

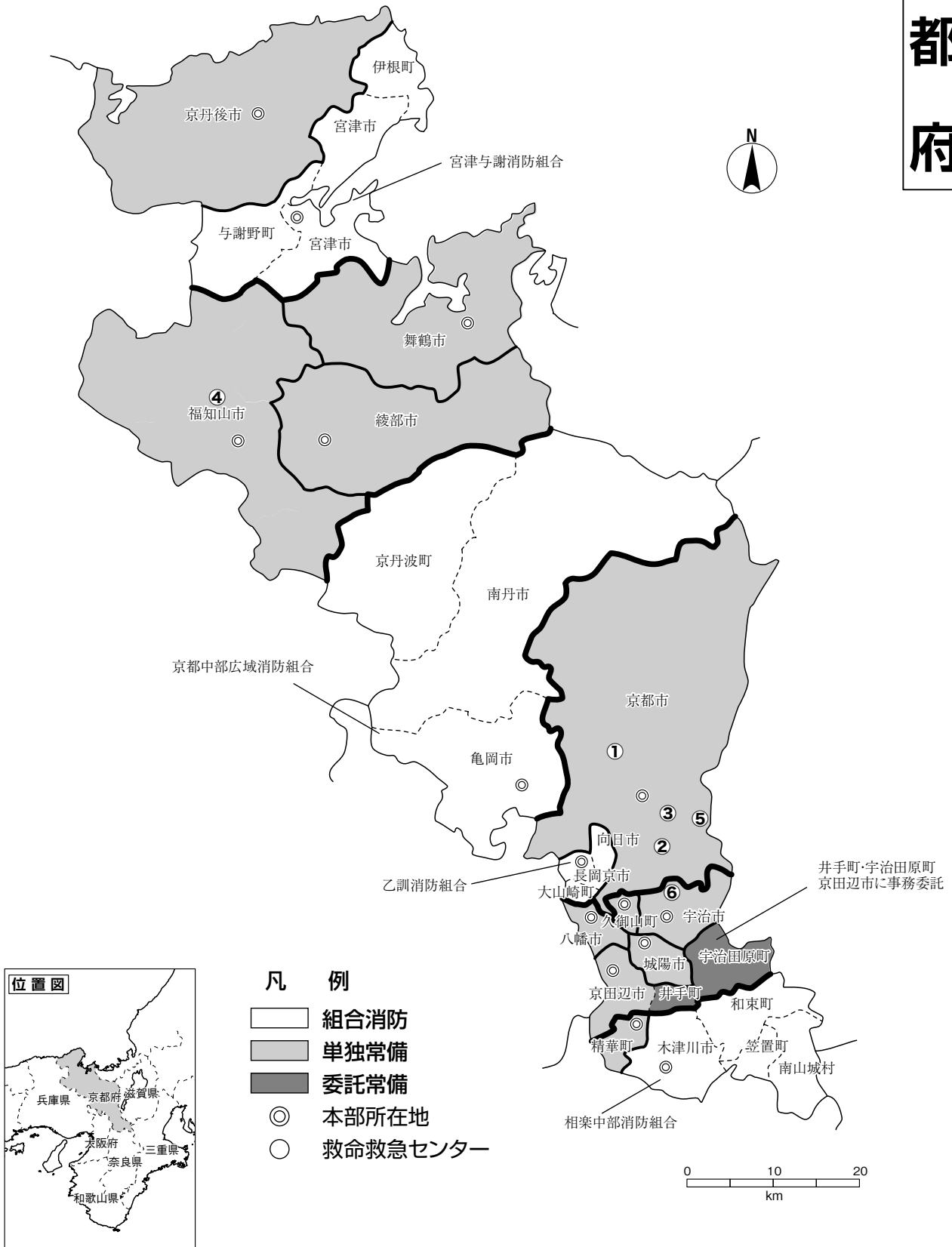
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
京都府高度救急業務推進協議会	北川 靖 京都府医師会(北川内科医院) 副会長(院長)	京都府府民生活部災害対策課 京都市上京区下立売新町西入藪ノ内町 075-414-4472 075-414-4477		
丹後メディカルコントロール協議会	中川 正法 与謝医師会 (京都府立医科大学附属北部医療センター) 副会長(病院長)	宮津与謝消防組合消防本部警防課 宮津市字須津413番地の26 0772-46-6126 0772-46-6120	京丹後市消防本部 宮津与謝消防組合消防本部	京都府立医科大学附属北部医療センター 丹後中央病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院
中丹メディカルコントロール協議会	井土 昇 福知山医師会 (いづち医院) 会長(院長)	福知山市消防本部消防署警防課 福知山市東羽合町46番地の1 0773-23-4119 0773-22-5458	福知山市消防本部 舞鶴市消防本部 綾部市消防本部	舞鶴共済病院 舞鶴医療センター 舞鶴赤十字病院 京都ルネス病院 福知山市立福知山市民病院 綾部市立病院
南丹メディカルコントロール協議会	計良 夏哉 京都中部総合医療センター 副院長兼循環器内科部長 兼救急部長	京都中部広域消防組合消防本部消防課 亀岡市荒塚町1丁目9番1号 0771-22-9581 0772-23-4535	京都中部広域消防組合消防本部	京都中部総合医療センター 亀岡市立病院 亀岡シミズ病院
京都市・乙訓メディカルコントロール協議会	高階 謙一郎 京都第一赤十字病院 医療社会事業部長	京都市消防局警防部救急課 京都市中京区押小路通河原町西入榎町450番地の2 075-212-6706 075-252-6356	京都市消防局 乙訓消防組合消防本部	京都第一赤十字病院 京都第二赤十字病院 京都医療センター 洛和会音羽病院 京都大学医学部附属病院 京都府立医科大学附属病院 京都市立病院 武田病院 シミズ病院 京都九条病院 京都下鴨病院 済生会京都府病院 新河端病院 北川内科医院 ふくやまクリニック 濱島医院 愛生会山科病院
山城北メディカルコントロール協議会	伊勢村 卓司 宇治久世医師会 (伊勢村医院) 会長(院長)	宇治市消防本部警防救急課 宇治市宇治下居13番地の2 0774-39-9403 0774-39-9406	宇治市消防本部 城陽市消防本部 八幡市消防本部 京田辺市消防本部 久御山町消防本部	宇治徳洲会病院 京都岡本記念病院 京都市立病院 田辺中央病院 八幡中央病院
山城南メディカルコントロール協議会	藤村 聡 相楽医師会(藤村医院) 会長(病院長)	相楽中部消防組合消防本部警防課 木津川市木津白口10番地2 0774-75-1382 0774-73-8119	相楽中部消防組合消防本部 精華町消防本部	京都山城総合医療センター 学研都市病院 精華町国民健康保険病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	京都第二赤十字病院
②	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
③	京都第一赤十字病院
④	市立福知山市民病院
⑤	医療法人社団洛和会音羽病院
⑥	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院

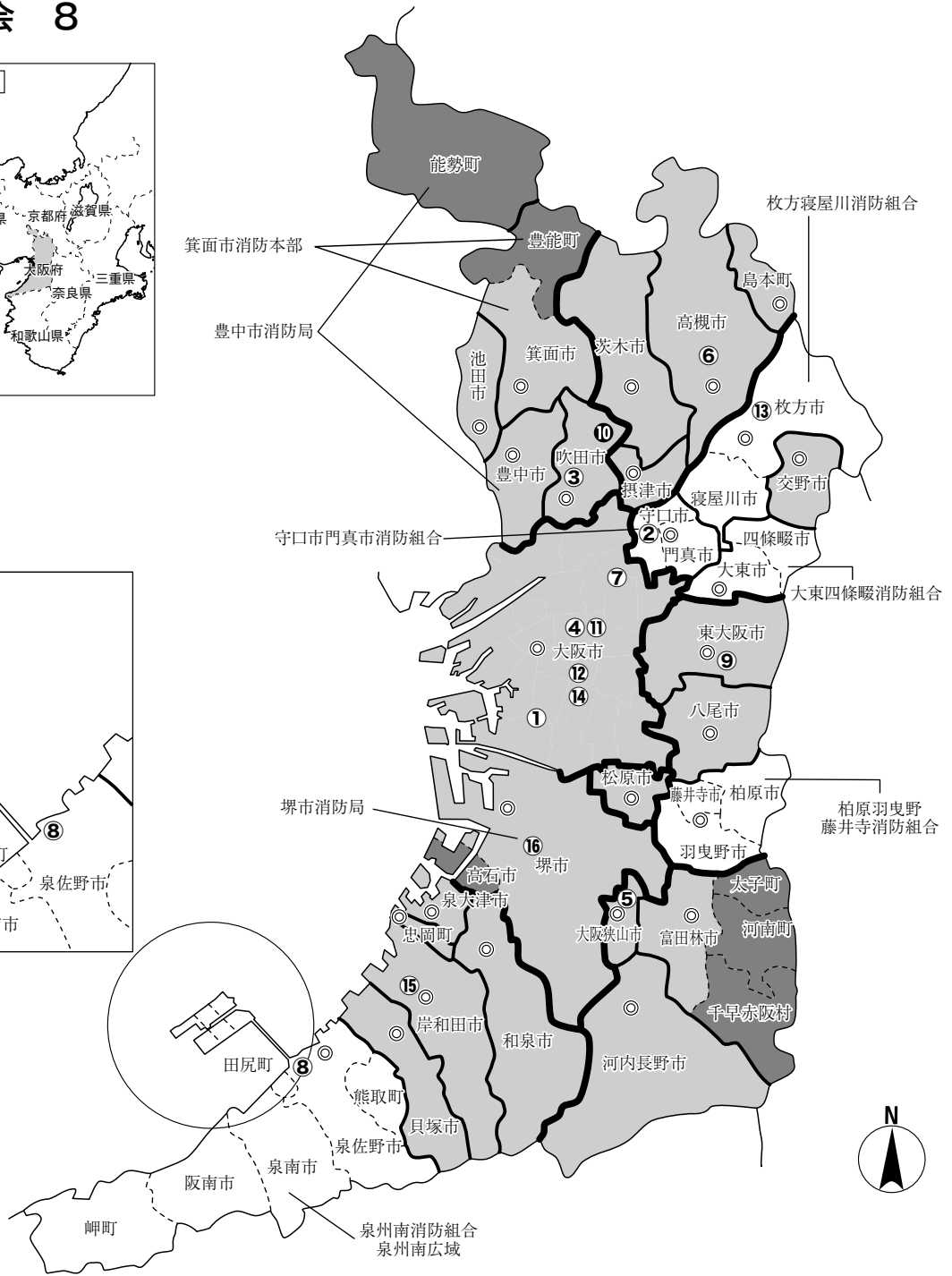
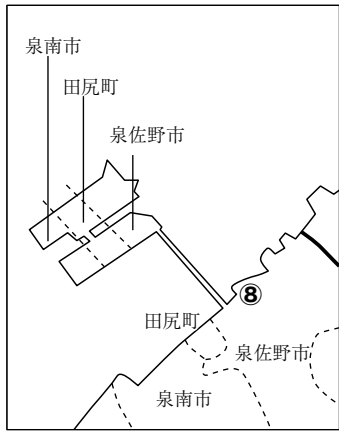
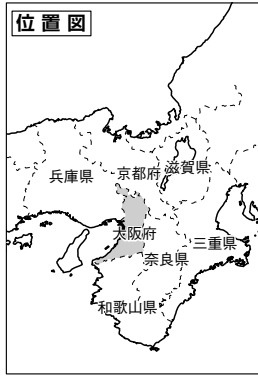
京 都 府



大阪府 【大阪府救急業務高度化推進連絡協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
大阪府救急業務高度化推進連絡協議会	大阪府医師会 副会長 加納 康至	大阪府危機管理室消防保安課 大阪市中央区大手前3丁目1-43 06-6944-6458 06-6944-6654		
大阪府地域メディカルコントロール協議会	吉岡 敏治 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 名誉院長	大阪府危機管理室消防保安課 大阪市中央区大手前3丁目1-43 06-6944-6458 06-6944-6654	大阪市消防局	大阪市立総合医療センター 大阪市立大学医学部附属病院 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 大阪大学医学部附属病院 大阪赤十字病院 大阪警察病院【他】
大阪府豊能地域メディカルコントロール協議会	嶋津 岳士 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター長	大阪府危機管理室(池田土木事務所地域支援・企画課) 池田市城南町1丁目1-1豊能府民センタービル内 072-752-4111 072-753-5509	豊中市消防本部 池田市消防本部 吹田市消防本部 箕面市消防本部	大阪大学医学部附属病院 大阪府済生会千里病院 国立循環器病研究センター 市立豊中病院【他】
大阪府三島地域メディカルコントロール協議会	小畑 仁司 大阪府三島救命救急センター 所長	大阪府危機管理室(茨木土木事務所地域支援・企画課) 茨木市中穂積1丁目3-43三島府民センタービル内 072-627-1121 072-622-3311	茨木市消防本部 高槻市消防本部 摂津市消防本部 島本町消防本部	大阪府三島救命救急センター 大阪医科大学附属病院【他】
大阪府北河内地域メディカルコントロール協議会	鎌方 安行 関西医科大学救急医学講座 主任教授	大阪府危機管理室(枚方土木事務所地域支援・企画課) 枚方市大垣内町2丁目15-1北河内府民センタービル内 072-844-1331 072-843-4623	守口市門真市消防組合消防本部 枚方寝屋川消防組合消防本部 交野市消防本部 大東四條畷消防組合大東四條畷消防本部	関西医科大学附属病院 関西医科大学総合医療センター【他】
大阪府中河内地域メディカルコントロール協議会	塩野 茂 大阪府立中河内救命救急センター 所長	大阪府危機管理室(八尾土木事務所地域支援・企画課) 八尾市荘内町2丁目1-36中河内府民センタービル内 072-994-1515 072-924-2466	東大阪市消防局 八尾市消防本部 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部	大阪府立中河内救命救急センター 地方独立行政法人 市立東大阪医療センター
大阪府南河内地域救急メディカルコントロール協議会	北澤 康秀 近畿大学医学部附属病院 救命救急センター長	大阪府危機管理室(富田土木事務所地域支援・企画課) 富田林市寿町2丁目6-1南河内府民センタービル内 0721-25-1175 0721-25-6109	富田林市消防本部 河内長野市消防本部 松原市消防本部 大阪狭山市消防本部	近畿大学医学部附属病院 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター 城山病院【他】
大阪府堺地域メディカルコントロール協議会	横田 順一郎 地方独立行政法人堺市立病院機構 副理事長	大阪府危機管理室(泉北土木事務所地域支援・企画課) 堺市西区鳳東町4丁目390-1泉北府民センタービル内 072-273-0123 072-271-8494	堺市消防局	地方独立行政法人 堺市立病院機構 ベルランド総合病院【他】
大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会	松岡 哲也 地方独立行政法人りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 副病院長兼救急診療部長	大阪府危機管理室(岸和田土木事務所地域支援・企画課) 岸和田市野田町3丁目13-2泉南府民センタービル内 072-439-1350 072-436-3749	岸和田市消防本部 泉大津市消防本部 貝塚市消防本部 泉州南消防組合泉州南広域消防本部 和泉市消防本部 忠岡町消防本部	地方独立行政法人りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 市立岸和田市民病院 岸和田徳洲会病院【他】

大阪府



救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	大阪急性期・総合医療センター
②	関西医科大学総合医療センター
③	大阪府済生会千里病院
④	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
⑤	近畿大学医学部附属病院
⑥	大阪府三島救命救急センター
⑦	大阪市立総合医療センター
⑧	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
⑨	大阪府立中河内救命救急センター
⑩	大阪大学医学部附属病院
⑪	大阪赤十字病院
⑫	大阪警察病院
⑬	関西医科大学附属病院
⑭	大阪市立大学医学部附属病院
⑮	岸和田徳洲会病院
⑯	堺市立総合医療センター

- 凡 例
- ◻ 組合消防
 - ◻ 単独常備
 - ◻ 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)

兵庫県 【兵庫県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
兵庫県メディカルコントロール協議会	佐藤 慎一 日本医師会理事	兵庫県企画県民部災害対策局消防課 神戸市中央区下山手通5-10-1 078-362-9819 078-362-9915		
神戸市保健医療審議会医療専門分科会メディカルコントロール検討委員会	中山 伸一 兵庫県災害医療センター センター長	神戸市消防局警防部救急課 神戸市中央区加納町6-5-1 078-333-0119 078-333-3314	神戸市消防局	神戸市立医療センター中央市民病院 兵庫県災害医療センター 神戸大学医学部附属病院
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会	平田 淳一 兵庫医科大学 救急・災害医学講座主任教授 救命救急センター長	西宮市消防局救急課 西宮市池田町13-3 0798-26-0119 0798-36-2460	西宮市消防局 尼崎市消防局 芦屋市消防本部 伊丹市消防局 宝塚市消防本部 川西市消防本部 三田市消防本部 猪名川町消防本部 篠山市消防本部 丹波市消防本部	兵庫医科大学病院 兵庫県立西宮病院 兵庫県立柏原病院 兵庫県立尼崎総合医療センター
東播磨・北播磨・淡路地域メディカルコントロール協議会	当麻 美樹 兵庫県立加古川医療センター 副院長兼救命救急センター長	明石市消防局警防課 明石市藤江1丁目924-8 078-921-0119 078-918-5983	明石市消防局 加古川市消防本部 高砂市消防本部 三木市消防本部 小野市消防本部 淡路広域消防事務組合消防本部 北はりま消防本部	兵庫県立加古川医療センター 兵庫県立淡路医療センター
中播磨・西播磨地域メディカルコントロール協議会	(副会長・会長代理) 山岡 史郎 姫路市消防局長	姫路市消防局消防課 姫路市三左衛門堀西の町3 079-223-0003 079-222-8222	姫路市消防局 赤穂市消防本部 西はりま消防本部	兵庫県立姫路循環器病センター 社会医療法人製鉄記念広畑病院
但馬地域メディカルコントロール協議会	小林 誠人 公立豊岡病院 但馬救命救急センター長	豊岡市消防本部警防課 豊岡市昭和町4-33 0796-24-1119 0796-24-1176	豊岡市消防本部 美方広域消防本部 南但消防本部	公立豊岡病院(但馬救命救急センター)

救命救急センター設置状況 一覧表

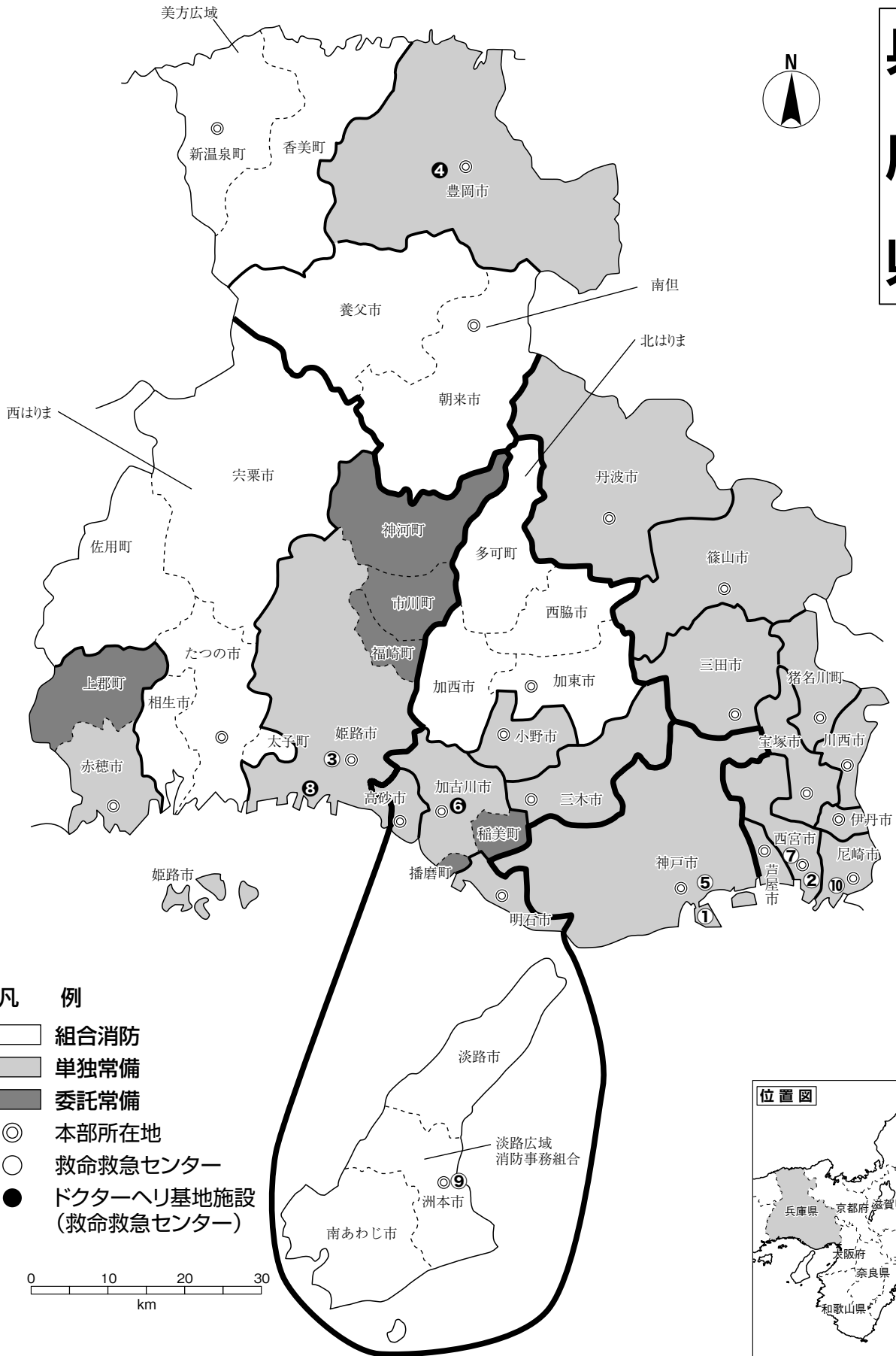
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	神戸市立医療センター中央市民病院
②	兵庫医科大学病院
③	兵庫県立姫路循環器病センター
④	公立豊岡病院
⑤	兵庫県災害医療センター
⑥※	兵庫県立加古川医療センター
⑦	兵庫県立西宮病院
⑧※	製鉄記念広畑病院
⑨	兵庫県立淡路医療センター
⑩	兵庫県立尼崎総合医療センター

※2施設でドクターヘリ1機

地域MC協議会 5

兵庫県



奈良県 【奈良県メディカルコントロール協議会】

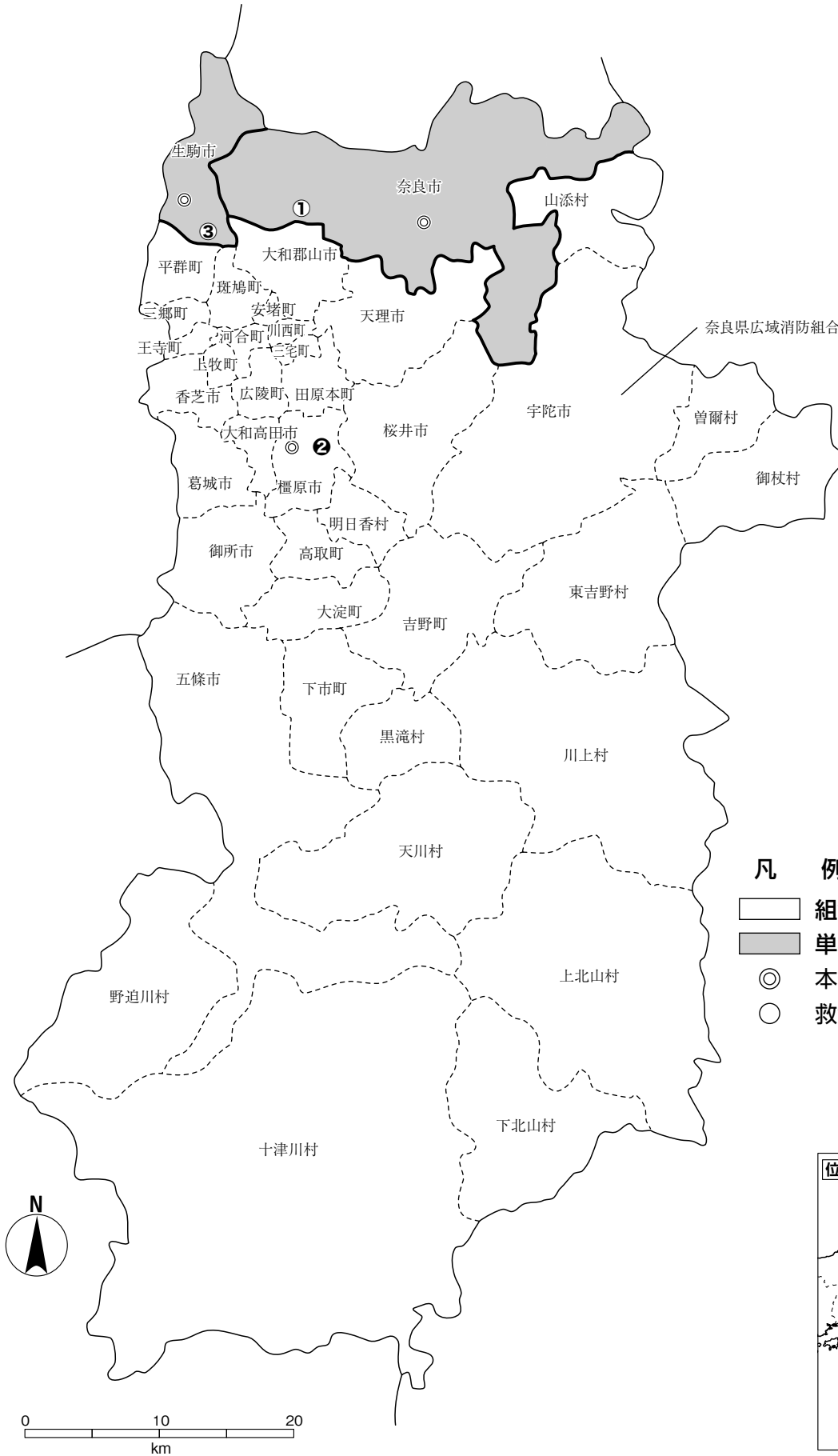
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
奈良県メディカルコントロール協議会	奥地 一夫 香芝生喜病院 顧問	奈良県総務部知事公室消防救急課 奈良市登大路町30 0742-27-8423 0742-27-0090	奈良市消防局 生駒市消防本部 奈良県広域消防組合消防本部	奈良県総合医療センター 近畿大学医学部奈良病院 奈良県立医科大学附属病院

救命救急センター設置状況 一覧表

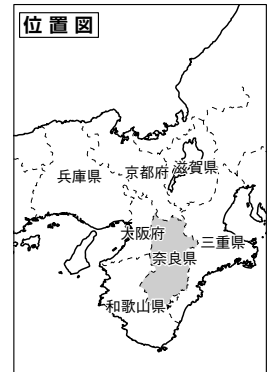
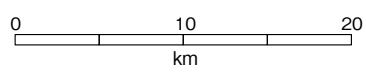
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	奈良県総合医療センター
②	奈良県立医科大学附属病院
③	近畿大学医学部奈良病院

奈良県



- 凡 例
- 組合消防
 - 单独常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター



和歌山県 【和歌山県救急救命協議会】

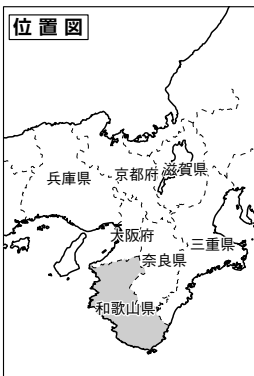
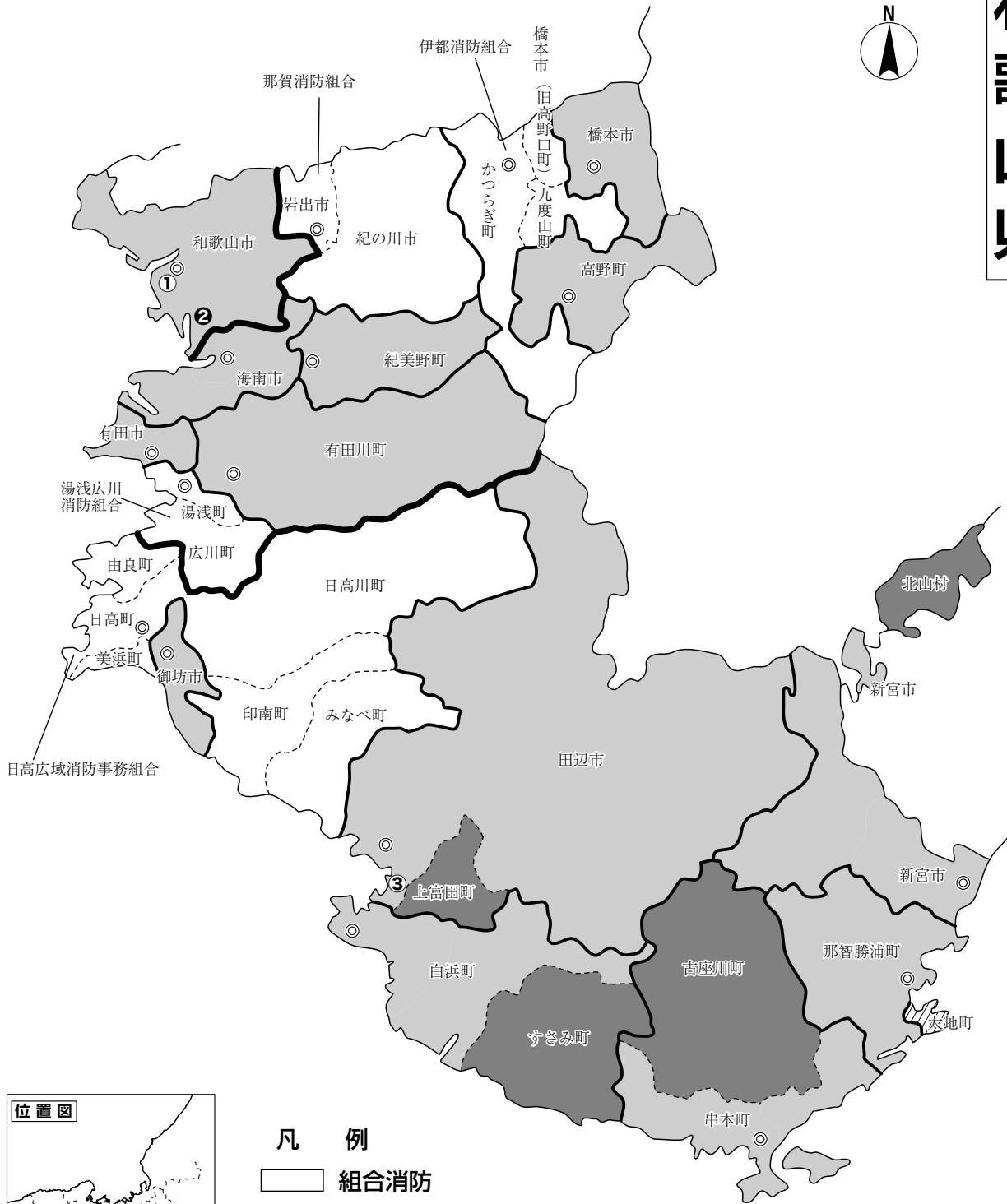
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
和歌山県救急救命協議会	加藤 正哉 和歌山県立医科大学 救急集中医学講座教授	和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課 和歌山市小松原通1-1 073-423-2274 073-423-7652		
和歌山市地域 メディカルコントロール協議会	岩崎 安博 日本赤十字社和歌山医療センター 外傷救急(第四救急科)部長 高度救命救急センター副センター長	和歌山市消防局警防課 和歌山市八番丁12番地 073-428-0119 073-428-0119	和歌山市消防局	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
紀北地域 メディカルコントロール協議会	加藤 正哉 和歌山県立医科大学 救急集中医学講座教授	海南市消防本部警防課 海南市日方1294番地13 073-482-0119 073-482-0088	海南市消防本部 橋本市消防本部 有田市消防本部 紀美野町消防本部 高野町消防本部 有田川町消防本部 那賀消防組合消防本部 伊都消防組合消防本部 湯浅広川消防組合消防本部	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
紀南地域 メディカルコントロール協議会	川崎 貞男 独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター 救急救命科医長	田辺市消防本部警防課 田辺市新屋敷町1番地 0739-22-0119 0739-22-3402	御坊市消防本部 田辺市消防本部 新宮市消防本部 日高広域消防事務組合消防本部 白浜町消防本部 那智勝浦町消防本部 串本町消防本部	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター

救命救急センター設置状況 一覧表

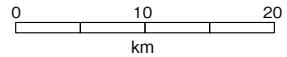
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	日本赤十字社和歌山医療センター
②	和歌山県立医科大学附属病院
③	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

和歌山県



- 凡 例**
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



鳥取県 【鳥取県救急搬送高度化推進協議会】

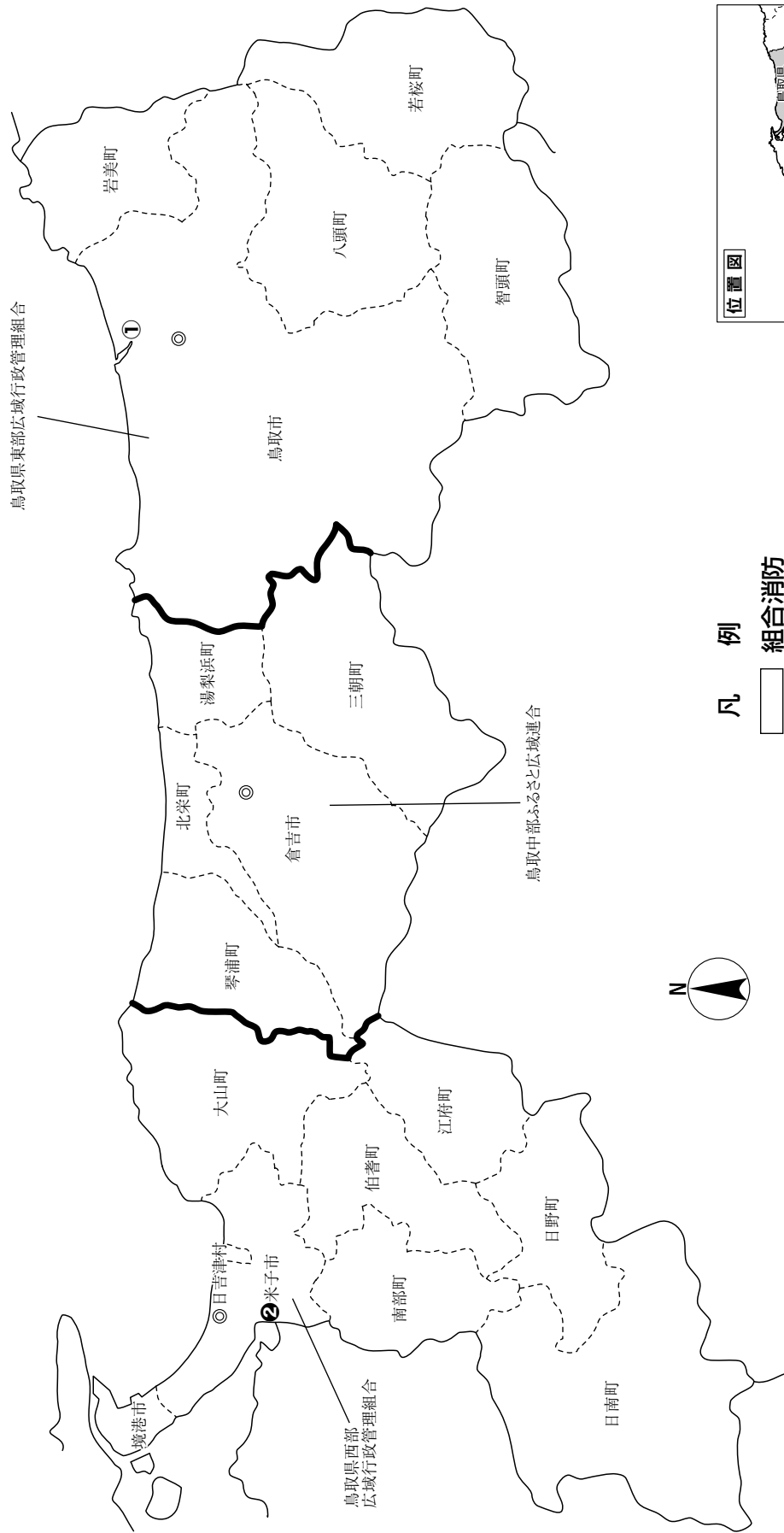
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
鳥取県救急搬送高度化推進協議会	岡田 稔 鳥取県立中央病院 救命救急センター長	鳥取県危機管理局消防防災課 鳥取市東町一丁目271 0857-26-7065 0857-26-8139		
鳥取県東部地区メディカルコントロール協議会	吉田 泰之 鳥取県立中央病院 副院長	鳥取県東部広域行政管理組合消防局 鳥取市吉成640-1 0857-23-2303 0857-54-1221	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	鳥取県立中央病院 鳥取市立病院 鳥取赤十字病院 鳥取生協病院
鳥取県中部地区メディカルコントロール協議会	山本 敏雄 野島病院 院長	鳥取中部ふるさと広域連合消防局 倉吉市福守町415-2 0858-29-5122 0858-29-7750	鳥取中部ふるさと広域連合消防局	鳥取県立厚生病院 野島病院
鳥取県西部地区メディカルコントロール協議会	本間 正人 鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター長	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 米子市両三柳5452 0859-35-1958 0859-35-1961	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	鳥取大学医学部附属病院 山陰労災病院 博愛病院

救命救急センター設置状況 一覧表

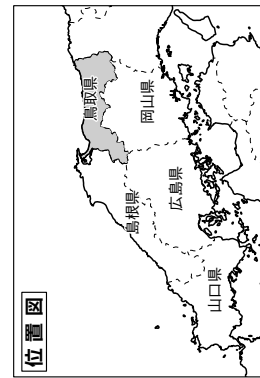
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	鳥取県立中央病院
②	鳥取大学医学部附属病院

鳥取県



- 凡 例
- 組合消防
 - 本部所在地
 - 救命救急センター



島根県 【島根県救急業務高度化推進協議会】

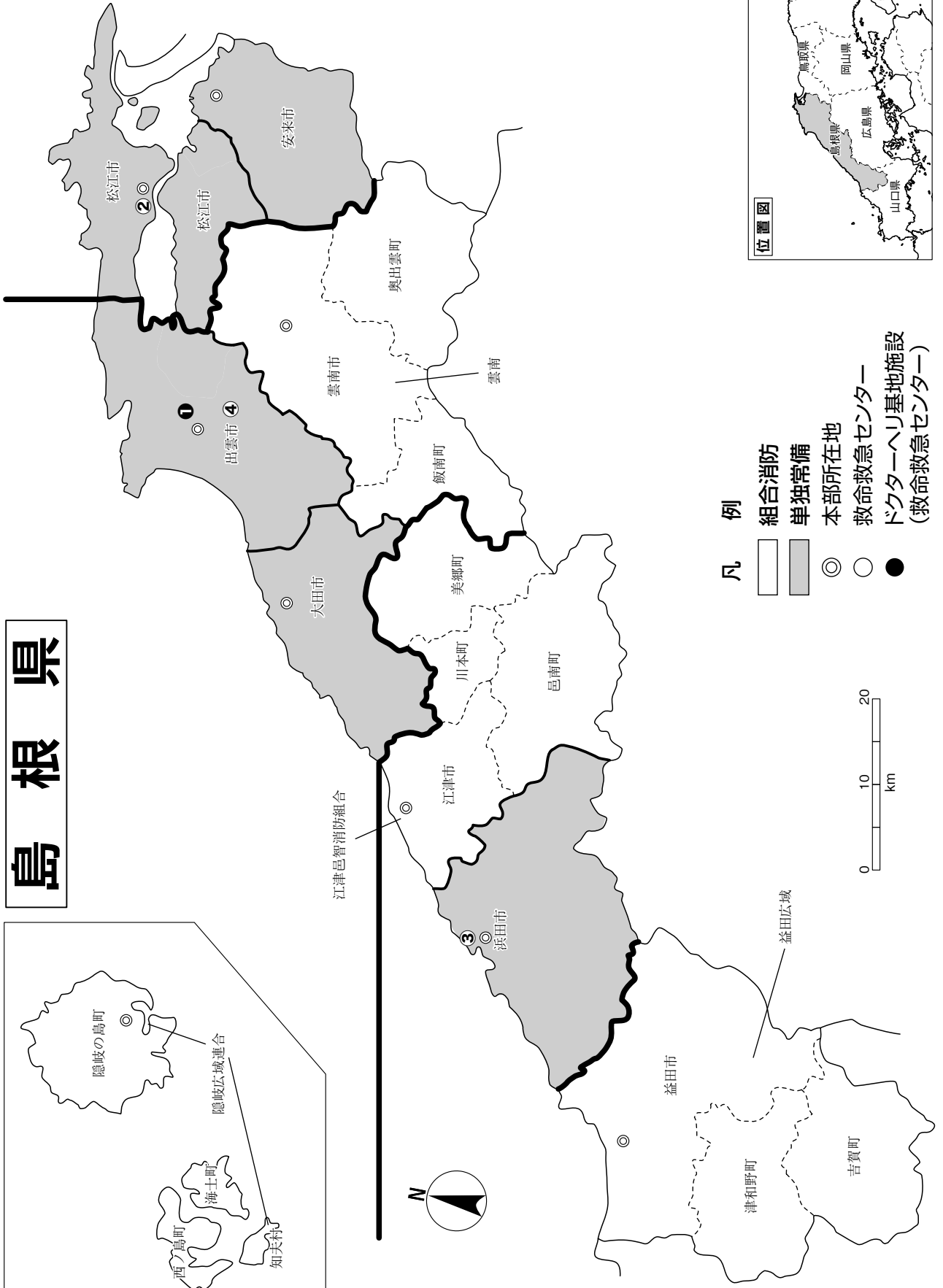
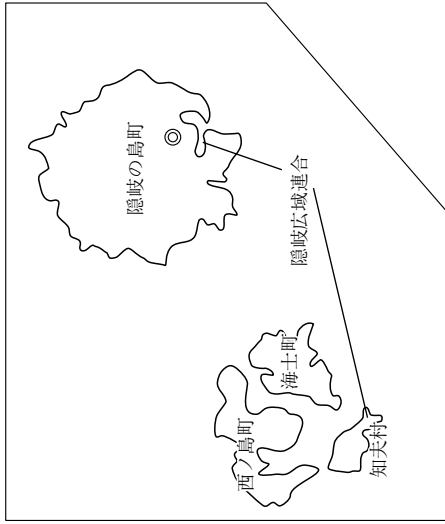
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
島根県救急業務高度化推進協議会	山口 和志 島根県 防災部長	防災部消防総務課 島根県松江市殿町1番地 0852-22-6260 0852-22-5930		
松江・安来地区メディカルコントロール協議会	菅井 公治 松江市消防本部 消防長	松江市消防本部警防課 島根県松江市学園南一丁目17番3号 0852-32-9132 0852-22-9876	松江市消防本部 安来市消防本部	松江赤十字病院 松江市立病院 松江生協病院 安来市立病院
出雲地区救急業務連絡協議会	松原 康博 島根県立中央病院 医療局次長	出雲市消防本部警防課 島根県出雲市渡橋町253-1 0853-21-6999 0853-21-8241	出雲市消防本部 大田市消防本部 雲南消防本部 隠岐広域連合消防本部	島根大学医学部附属病院 島根県立中央病院 出雲市立総合医療センター 出雲徳州会病院 大田市立病院 奥出雲町立奥出雲病院 雲南市立病院 平成記念病院 飯南町立飯南病院 隠岐広域連合立隠岐病院 隠岐広域連合立隠岐島前病院
浜田・江津地区救急業務連絡協議会	佐々木 和文 浜田市消防本部 消防長	浜田市消防本部警防課 島根県浜田市原井町908-11 0855-25-5167 0855-23-1228	浜田市消防本部 江津邑智消防組合消防本部	国立病院機構浜田医療センター 済生会江津総合病院 公立邑智病院 西川病院
益田地区救急業務連絡協議会	村上 雅春 益田広域消防本部 消防長	益田広域消防本部警防課 島根県益田市あけぼの東町8番地6 0856-31-0240 0856-24-2217	益田広域消防本部	益田赤十字病院 益田地域医療センター医師会病院 六日市病院 津和野共存病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	島根県立中央病院
②	松江赤十字病院
③	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
④	島根大学医学部附属病院

島根県



岡山県 【岡山県救急搬送体制連絡協議会】

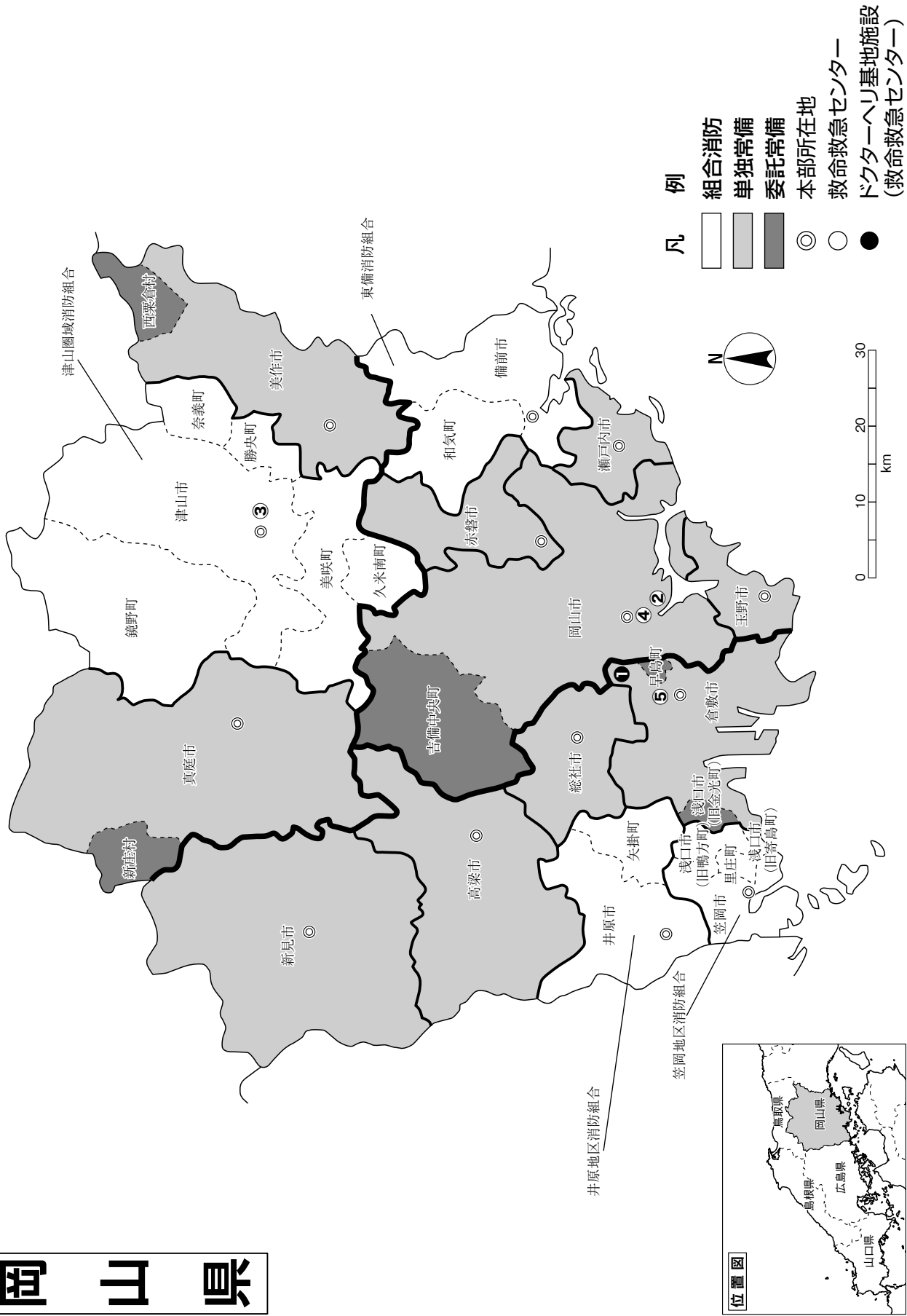
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
岡山県救急搬送体制連絡協議会	松山 正春 岡山県医師会 会長	岡山県消防保安課 岡山市北区内山下2-4-6 086-226-7295 086-225-4659		
岡山県南東部 メディカルコントロール協議会	實金 健 岡山赤十字病院 救命救急センター長	岡山市消防局 岡山市北区大供1-1-1 086-234-9977 086-234-1059	岡山市消防局 玉野市消防本部 東備消防組合消防本部 赤磐市消防本部 瀬戸内市消防本部	岡山赤十字病院 岡山大学病院
備中地区メ ディカルコントロール協議会	荻野 隆光 川崎医科大学附属病院 救急科高度救命救急センター部長	倉敷市消防局 倉敷市白楽町162-5 086-426-1192 086-421-1244	倉敷市消防局 笠岡地区消防組合消防本部 井原地区消防組合消防本部 総社市消防本部 高梁市消防本部 新見市消防本部	川崎医科大学附属病院 倉敷中央病院
美作地域メ ディカルコントロール協議会	薄元 亮二 津山市医師会 医師会長	津山圏域消防組合消防本部 津山市林田95 0868-31-1265 0868-25-2818	津山圏域消防組合消防本部 真庭市消防本部 美作市消防本部	津山中央病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	川崎医科大学附属病院
②	岡山赤十字病院
③	津山中央病院
④	岡山大学病院
⑤	倉敷中央病院

岡山県



広島県 【広島県メディカルコントロール協議会】

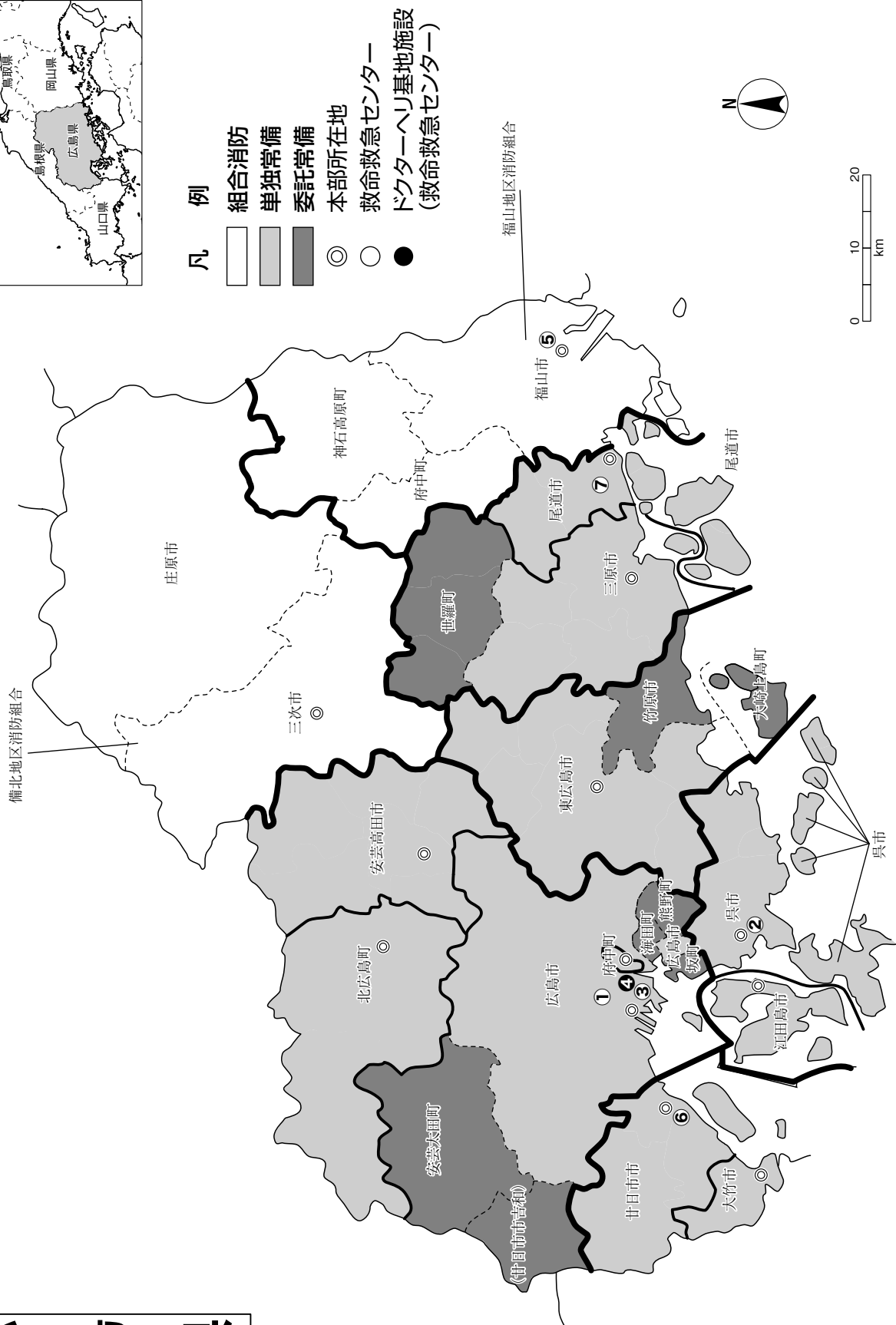
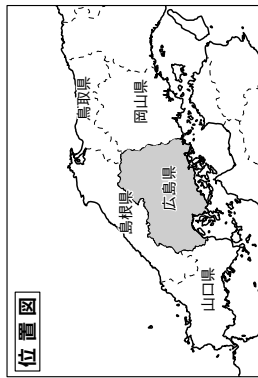
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
広島県メディカルコントロール協議会	山野上 敬夫 県立広島病院 救命救急センター長(兼)救急科主任部長	広島県危機管理監消防保安課 広島県健康福祉局医療介護計画課 広島市中区基町10-52 082-513-2778 082-227-2122		
広島西圏域メディカルコントロール協議会	山根 基 佐伯地区医師会 会長	廿日市市消防本部警防課 廿日市市串戸1-9-33 0829-30-9233 0829-32-4119	廿日市市消防本部 大竹市消防本部	厚生連廣島総合病院
広島圏域メディカルコントロール協議会	内藤 博司 広島市立広島市民病院 救急科主任部長(兼)麻酔科部長	広島市消防局警防部救急課 広島市中区大手町5-20-12 082-546-3461 082-249-1160	広島市消防局 安芸高田市消防本部 府中町消防本部 北広島町消防本部	広島市立広島市民病院 県立広島病院 広島大学病院 広島赤十字・原爆病院 広島市立安佐市民病院 厚生連吉田総合病院 安芸太田病院 マツダ病院 JR広島病院
呉圏域メディカルコントロール協議会	玉木 正治 呉市医師会 会長	呉市消防局警防課 呉市中央3-1-34 0823-26-0313 0823-26-0308	呉市消防局 江田島市消防本部	国立病院機構呉医療センター 呉共済病院 中国労災病院
広島中央圏域メディカルコントロール協議会	高梨 敦 医療法人社団 樹草会 本永病院 院長	東広島市消防局警防課 東広島市西条町助美1173番地1 082-422-5648 082-422-7248	東広島市消防局	国立病院機構東広島医療センター 県立安芸津病院
尾三圏域メディカルコントロール協議会	瀬尾 泰樹 世羅郡医師会 会長	三原市消防本部警防課 三原市宮浦一丁目22-2 0848-64-5924 0848-62-5119	三原市消防本部 尾道市消防局	尾道市立市民病院 厚生連尾道総合病院 興生総合病院 総合病院三原赤十字病院
福山・府中圏域メディカルコントロール協議会	高橋 一則 深安地区医師会 救急担当理事	福山地区消防組合消防局警防部救急救助課 福山市沖野上町5-13-8 084-928-1196 084-928-1220	福山地区消防組合消防局	福山市民病院 日本鋼管福山病院 国立病院機構福山医療センター 中国中央病院 大田記念病院 福山循環器病院 寺岡記念病院 府中市民病院 府中市市民病院
備北圏域メディカルコントロール協議会	鳴戸 謙嗣 三次地区医師会 会長	備北地区消防組合消防本部警防課 三次市十日市中3-1-21 0824-63-1191 0824-63-3129	備北地区消防組合消防本部	市立三次中央病院 総合病院庄原赤十字病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	広島市立広島市民病院
②	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
③	県立広島病院
④	広島大学病院
⑤	福山市民病院
⑥	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院
⑦	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院

広島県



- 凡 例**
- ◻ 組合消防
 - ◻ 単独常備
 - ◻ 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)

山口県 【山口県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
山口県救急業務高度化推進協議会	鶴田 良介 山口大学医学部附属病院 副院長	山口県総務部消防保安課 山口市滝町1-1 083-933-2399 083-933-2408		
東部地域メディカルコントロール協議会	青 雅一 国立病院機構岩国医療センター 副院長	岩国地区消防組合消防本部警防課 岩国市愛宕町1-4-1 0827-31-0199 0827-32-2119	岩国地区消防組合消防本部 柳井地区広域消防本部	国立病院機構岩国医療センター
周南地域メディカルコントロール協議会	山下 進 地域医療機能推進機構徳山中央病院 救命救急センター長	周南市消防本部警防課 周南市新宿通5-1-3 0834-22-8762 0834-31-8533	周南市消防本部 下松市消防本部 光地区消防組合消防本部	地域医療機能推進機構徳山中央病院
山口・防府地域メディカルコントロール協議会	井上 健 山口県立総合医療センター 救命救急センター長	防府市消防本部警防課 防府市佐波2-11-25 0835-23-9918 0835-23-2002	防府市消防本部 山口市消防本部	山口県立総合医療センター
宇部・山陽小野田・美祢・萩地域メディカルコントロール協議会	小田 泰崇 山口大学医学部附属病院 准教授	宇部・山陽小野田消防局警防課 宇部市港町2-3-30 0836-21-6113 0836-31-0119	宇部・山陽小野田消防局 美祢市消防本部 萩市消防本部	山口大学医学部附属病院
下関・長門地域メディカルコントロール協議会	佐藤 穰 国立病院機構関門医療センター 副院長	下関市消防局警防課 下関市岬之町17-1 083-233-9112 083-224-0119	下関市消防局 長門市消防本部	国立病院機構関門医療センター

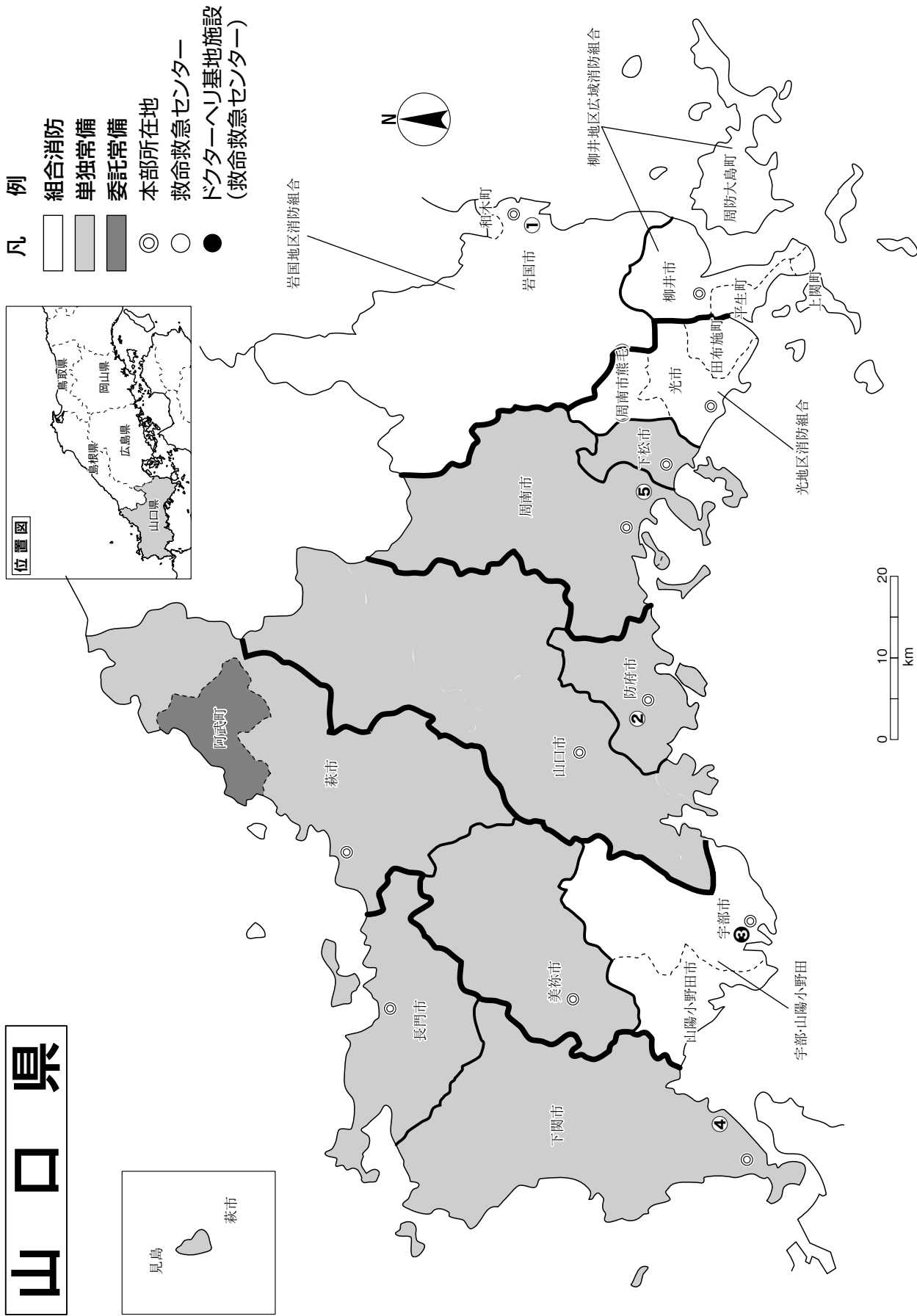
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター
②	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
③	山口大学医学部附属病院
④	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター
⑤	徳山中央病院

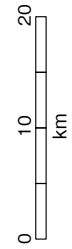
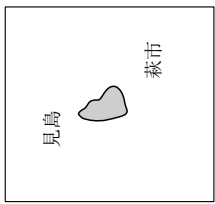
地域MC協議会 5

山口県



位置図

- 凡 例
- 総合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



徳島県 【徳島県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
徳島県メディカルコントロール協議会	神山 有史 亀井病院 院長	徳島県危機管理部消防保安課 徳島市万代町1丁目1番地 088-621-2284 088-621-2849	徳島市消防局 鳴門市消防本部 小松島市消防本部 阿南市消防本部 美馬市消防本部 那賀町消防本部 名西消防組合消防本部 海部消防組合消防本部 板野東部消防組合消防本部 板野西部消防組合消防本部 徳島中央広域連合消防本部 美馬西部消防組合消防本部 みよし広域連合消防本部	徳島赤十字病院 徳島県立中央病院 徳島大学病院

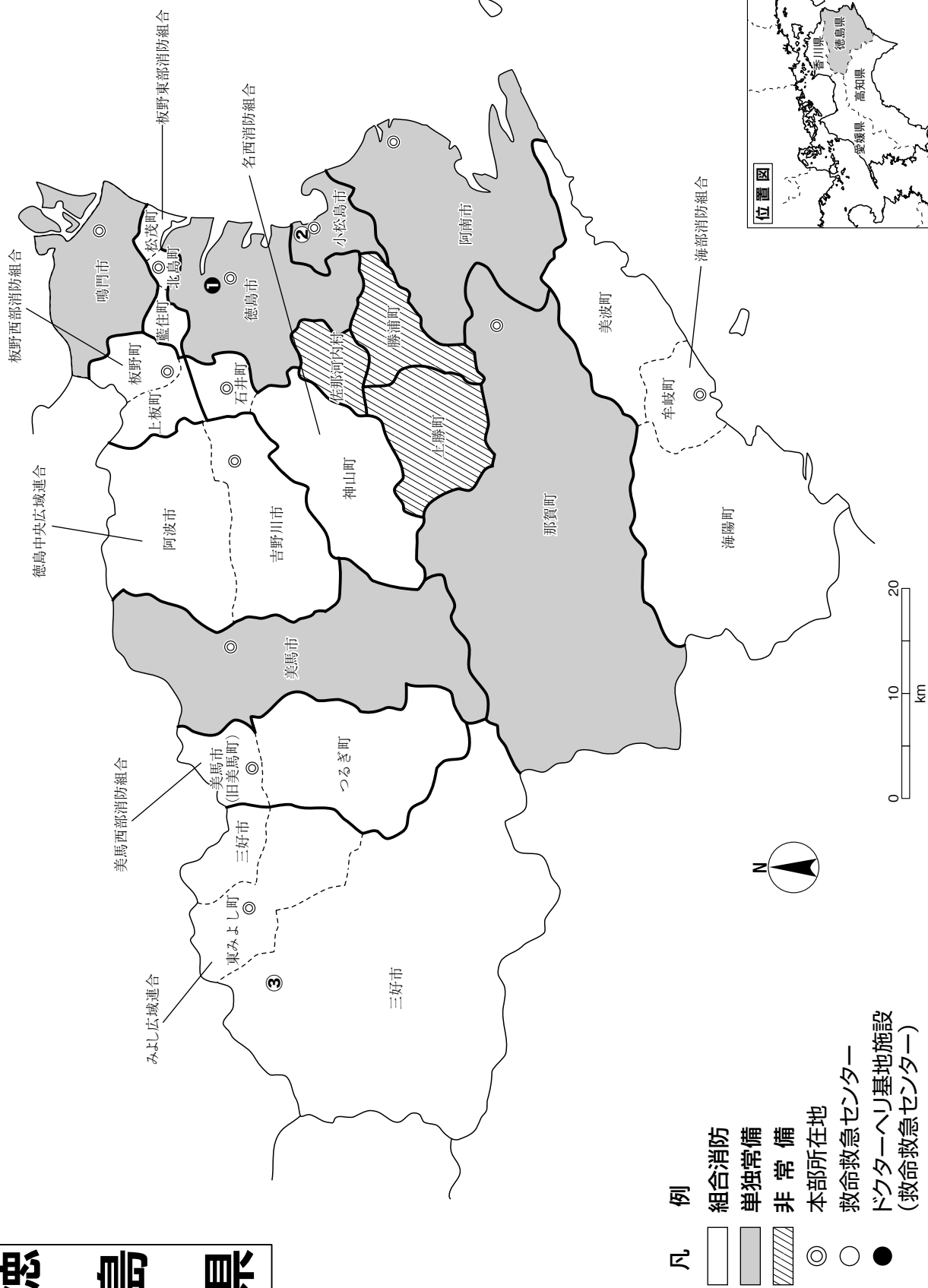
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	徳島県立中央病院
②	徳島赤十字病院
③	徳島県立三好病院

地域MC協議会 1

徳島県



香川県 【香川県メディカルコントロール協議会】

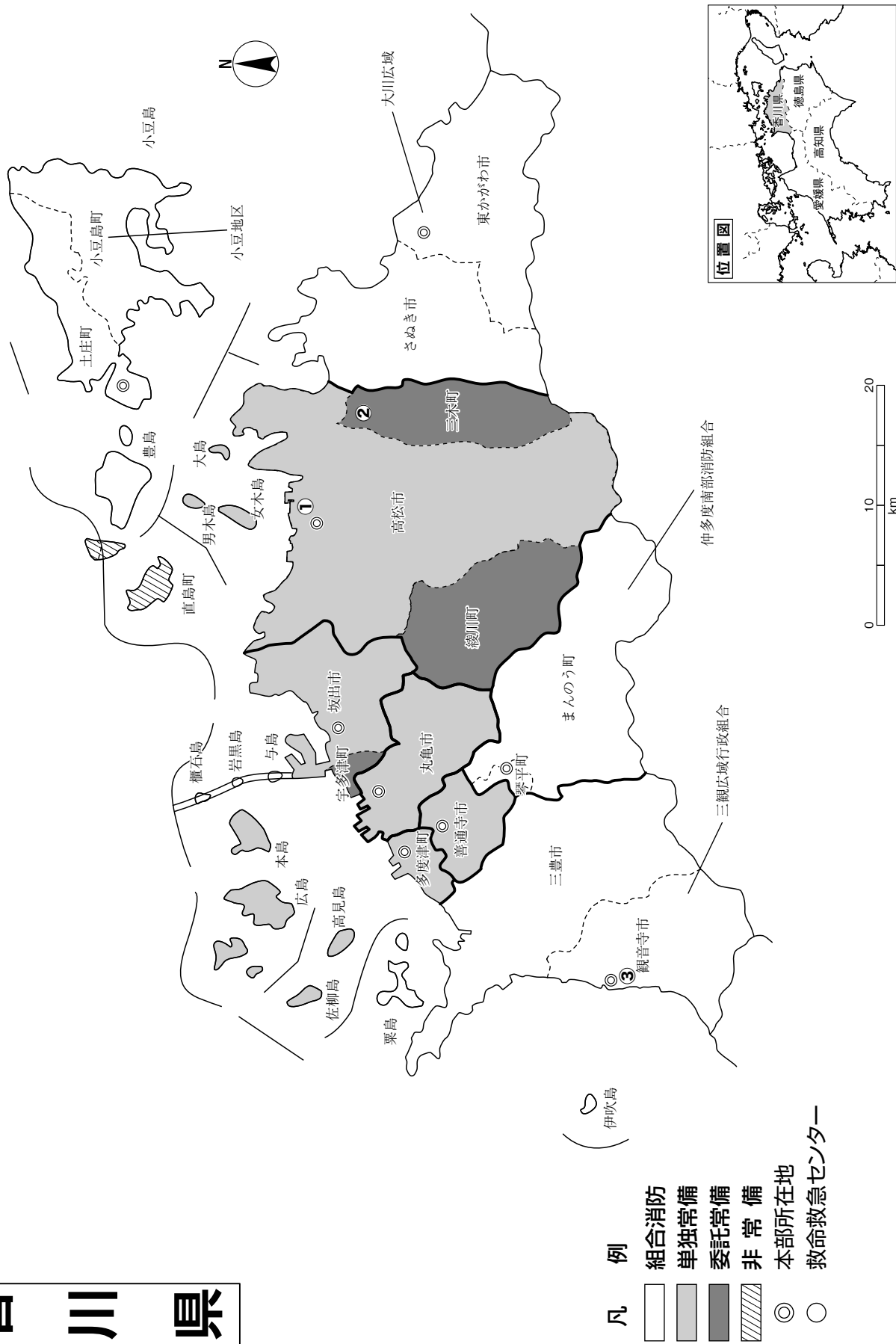
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
香川県メディカルコントロール協議会	廣瀬 友彦 香川県医師会常任理事	危機管理総局危機管理課 健康福祉部医務国保課 香川県高松市番町四丁目1番10号 087-832-3850 087-832-3256 087-831-8811 087-831-0121	高松市消防局 丸亀市消防本部 坂出市消防本部 善通寺市消防本部 多度津町消防本部 三観広域行政組合消防本部 大川広域消防本部 小豆地区消防本部 仲多度南部消防組合消防本部	香川大学医学部附属病院 香川県立中央病院 高松市民病院 高松赤十字病院 香川県済生会病院 地域医療機能推進機構りつりん病院 屋島総合病院 KKR高松病院 高松平和病院 滝宮総合病院 香川労災病院 坂出市立病院 総合病院回生病院 四国こどもとおとなの医療センター 三豊総合病院 三豊市立永康病院 香川県立白鳥病院 さぬき市民病院 小豆島中央病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	香川県立中央病院
②	香川大学医学部附属病院
③	三豊総合病院

香川県



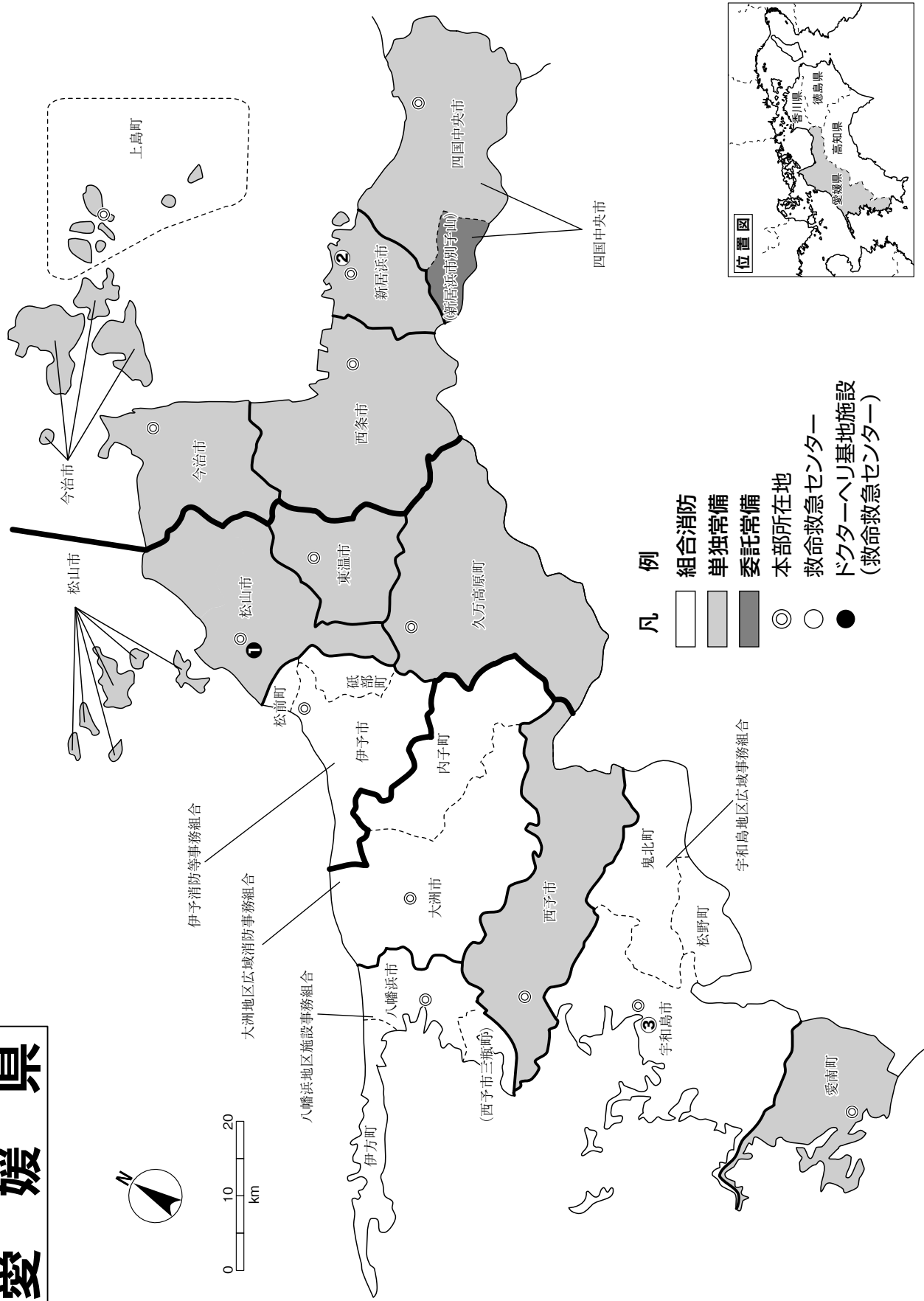
愛媛県 【愛媛県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
愛媛県メディカルコントロール協議会	相引 眞幸 愛媛大学大学院医学系研究科 教授	愛媛県消防防災安全課 愛媛県松山市一番町4丁目4番地2 089-912-2316 089-941-0119		
東予地域メディカルコントロール協議会	武田 哲二 東予救命救急センター センター長	今治市消防本部 警防課 愛媛県今治市南宝来町2丁目1-1 0898-32-2779 0898-32-0119	今治市消防本部 上島町消防本部 西条市消防本部 新居浜市消防本部 四国中央市消防本部	四国中央病院 長谷川病院 HITO病院 愛媛労災病院 愛媛県立新居浜病院 十全総合病院 住友別子病院 済生会西条病院 村上記念病院 西条中央病院 市立周桑病院 済生会今治病院 白石病院 木原病院 今治第一病院 愛媛県立今治病院
中予地域メディカルコントロール協議会	濱見 原 愛媛県立中央病院高度救命救急センター センター長	松山市消防局警防課 松山市本町6丁目6-1 089-926-9227 089-926-9188	松山市消防局 東温市消防本部 久万高原町消防本部 伊予消防等事務組合消防本部	愛媛大学医学部付属病院 国立病院機構愛媛医療センター 松山城東病院 渡辺病院 愛媛県立中央病院 済生会松山病院 松山笠置記念心臓血管病院 松山市民病院 野本記念病院 平成脳神経外科病院 浦屋病院 松山赤十字病院 奥島病院 愛媛生協病院 南松山病院 梶浦病院
南予地域メディカルコントロール協議会	根津 賢司 南予救命救急センター センター長	宇和島地区広域事務組合消防本部警防課 宇和島市丸之内5丁目1番18号 0895-20-0119 0895-24-7662	大洲地区広域消防事務組合消防本部 八幡浜地区施設事務組合消防本部 西予市消防本部 宇和島地区広域事務組合消防本部 愛南町消防本部	市立大洲病院 加戸病院 神南診療所 大洲中央病院 市立八幡浜総合病院 西予市立西予市民病院 西予市立野村病院 市立宇和島病院 愛媛県立南宇和病院 JCHO宇和島病院 宇和島徳洲会病院 市立津島病院 市立吉田病院 大洲記念病院 喜多医師会病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	愛媛県立中央病院
②	愛媛県立新居浜病院
③	市立宇和島病院

愛媛県



高知県 【高知県救急医療協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
高知県救急医療協議会	岡林 弘毅 高知県医師会 会長	高知県医療政策課 高知県消防政策課 高知市丸ノ内1丁目2-20 088-823-9667 088-823-9318 088-823-9137 088-823-9253	高知市消防局 室戸市消防本部 安芸市消防本部 香南市消防本部 香美市消防本部 南国市消防本部 土佐市消防本部 土佐清水市消防本部 高幡消防組合消防本部 中芸広域連合消防本部 高吾北広域町村事務組合消防本部 仁淀消防組合消防本部 嶺北広域行政事務組合消防本部 幡多西部消防組合消防本部 幡多中央消防組合消防本部	高知医療センター 高知赤十字病院 近森病院

救命救急センター設置状況 一覧表 (平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	高知赤十字病院
②	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
③	近森病院

福岡県 【福岡県救急業務メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
福岡県救急業務メディカルコントロール協議会	上野 道雄 福岡県医師会 副会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117		
北九州地域救急業務メディカルコントロール協議会	伊藤 重彦 北九州市立八幡病院 副院長兼救命救急センター長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	北九州市消防局 行橋市消防本部 中間市消防本部 苅田町消防本部 京築広域圏消防本部 遠賀郡消防本部	北九州市立八幡病院救命救急センター 北九州総合病院救命救急センター【他】
福岡地域救急業務メディカルコントロール協議会	寺坂 禮治 福岡市医師会 副会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	福岡市消防局 糸島市消防本部 筑紫野太宰府消防組合消防本部 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部 宗像地区消防本部	済生会福岡総合病院救命救急センター 福岡大学病院救命救急センター 九州大学病院救命救急センター 福岡東医療センター救命救急センター【他】 九州医療センター広域救命救急センター【他】
筑豊地域救急業務メディカルコントロール協議会	山近 仁 直方・鞍手医師会 会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	直方市消防本部 飯塚地区消防本部 田川地区消防本部 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	飯塚病院救命救急センター【他】
筑後地域救急業務メディカルコントロール協議会	坂本 昭夫 久留米大学病院 名誉教授	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	大牟田市消防本部 久留米広域消防本部 柳川市消防本部 筑後市消防本部 大川市消防本部 みやま市消防本部 八女消防本部 甘木・朝倉消防本部	久留米大学病院高度救命救急センター 聖マリア病院救命救急センター【他】

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	北九州市立八幡病院
②	済生会福岡総合病院
③	久留米大学病院
④	飯塚病院
⑤	福岡大学病院
⑥	北九州総合病院
⑦	九州大学病院
⑧	聖マリア病院
⑨	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
⑩	独立行政法人国立病院機構九州医療センター

佐賀県 【佐賀県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
佐賀県メディカルコントロール協議会	枝国 源一郎 佐賀県医師会 常任理事	佐賀県政策部危機管理・報道局消防防災課 佐賀市城内一丁目1-59 0952-25-7026 0952-25-7262		
佐賀県中部地区メディカルコントロール協議会	上村 春甫 佐賀市医師会 (前)会長	佐賀広域消防局消防課 佐賀市兵庫北三丁目5-1 0952-33-6761 0952-31-2119	佐賀広域消防局	佐賀大学医学部附属病院 佐賀県医療センター好生館
佐賀県東部地区メディカルコントロール協議会	原田 良策 鳥栖三養基医師会 会長	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部警防課 鳥栖市本町三丁目1488-1 0942-83-7995 0942-84-2397	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部	今村病院 やよいがおか鹿毛病院 東佐賀病院
佐賀県北部地区メディカルコントロール協議会	渡辺 尚 唐津東松浦医師会 会長	唐津市消防本部警防課 唐津市二タ子三丁目2-46 0955-72-4148 0955-74-0119	唐津市消防本部	唐津赤十字病院 済生会唐津病院
佐賀県西部地区メディカルコントロール協議会	小嶋 秀夫 伊万里・有田地区医師会 会長	伊万里・有田消防本部救急課 伊万里市立花町1355-3 0955-23-1199 0955-22-7598	伊万里・有田消防本部	伊万里・有田共立病院 山元記念病院 西田病院
佐賀県南部地区メディカルコントロール協議会	古賀 義行 武雄杵島地区医師会 会長	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部警防課 武雄市武雄町大字昭和846 0954-23-0115 0954-23-0139	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部	嬉野医療センター 織田病院 白石共立病院 新武雄病院

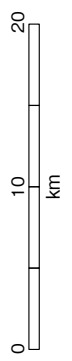
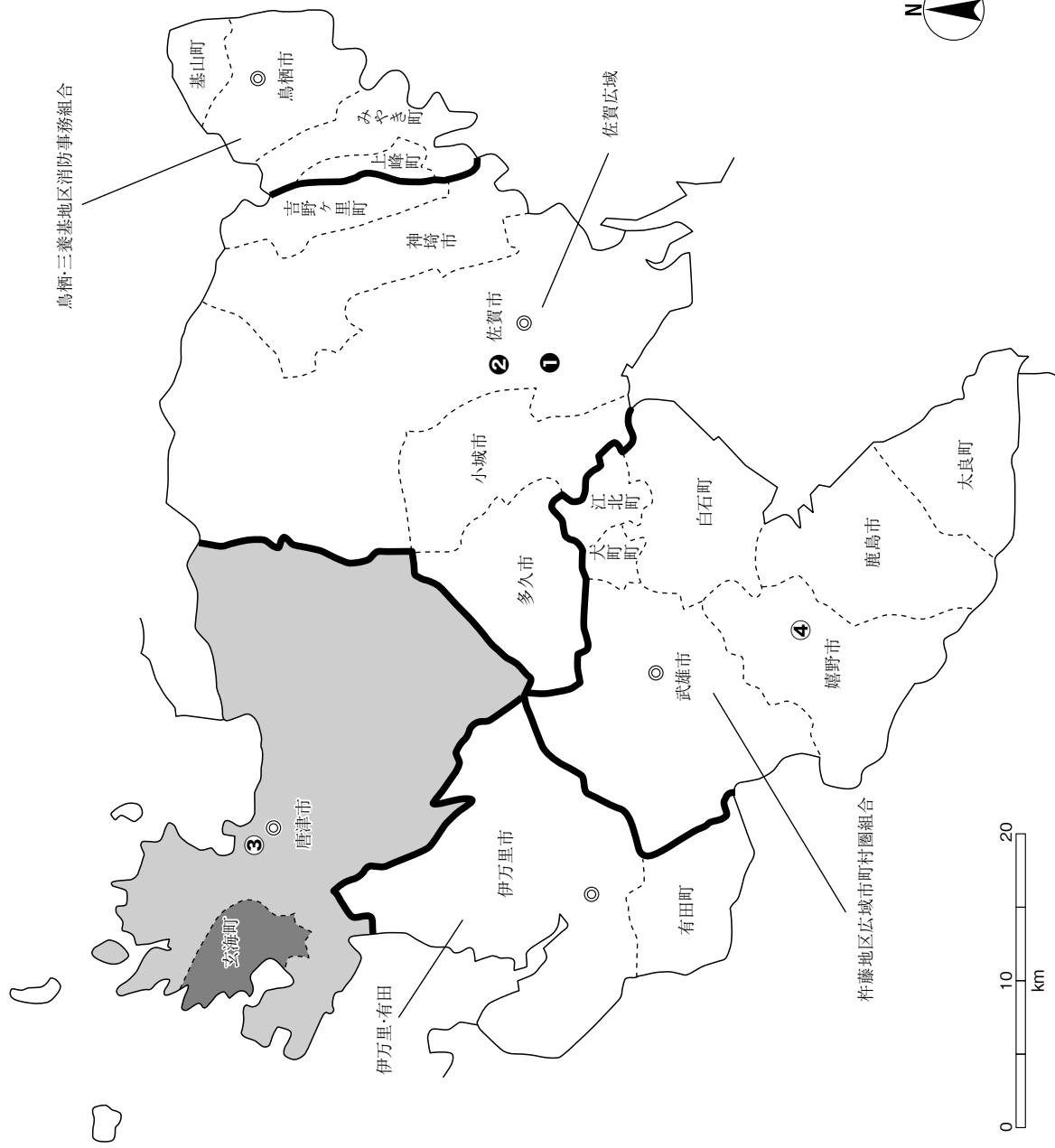
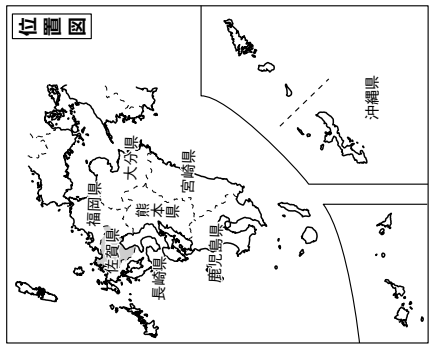
救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	佐賀県医療センター好生館
②※	佐賀大学医学部附属病院
③	唐津赤十字病院
④	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター

※2施設でドクターヘリ1機

佐賀県



- 凡例
- ◻ 組合消防
 - ◻ 単独常備
 - ◻ 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)

長崎県 【長崎県メディカルコントロール協議会】

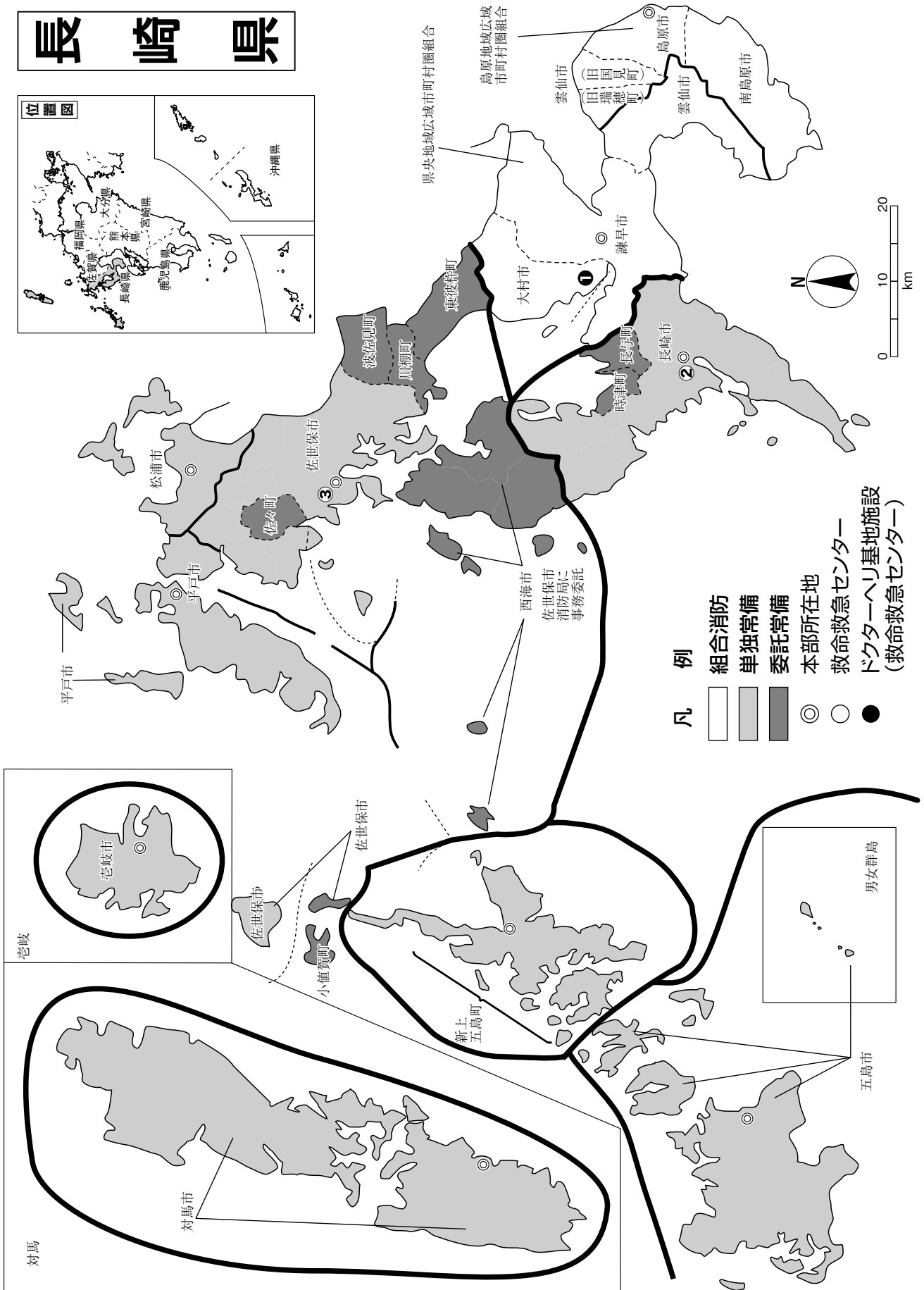
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
長崎県メディカルコントロール協議会	森崎 正幸 長崎県医師会 医師会長	長崎県消防保安室消防班 長崎市江戸町2-13 095-895-2146 095-821-9202		
長崎地域メディカルコントロール協議会	宮村 庸剛 長崎市医師会 救急医療担当理事	長崎市消防局警防課 長崎市興善町3-1 095-822-0448 095-829-1067	長崎市消防局	長崎大学病院 救命救急センター
県北地域メディカルコントロール協議会	清水 輝久 佐世保市医師会 救急医療担当理事	佐世保市消防局警防課 佐世保市平瀬町9-2 0956-23-2598 0956-23-8011	佐世保市消防局 平戸市消防本部 松浦市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター 佐世保市総合医療センター
県央・県南地域メディカルコントロール協議会	中道 親昭 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 救命救急センター長	県央消防本部警防救急課 諫早市鷺崎町221番地1 0957-23-0119 0957-22-8119	県央地域広域市町村圏組合消防本部 島原地域広域市町村圏組合消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
下五島地域メディカルコントロール協議会	浦 繁郎 五島医師会 医師会長	五島市消防本部消防課 五島市吉久木町628番地5 0959-72-3131 0959-72-1512	五島市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
上五島地域メディカルコントロール協議会	八坂 貴宏 長崎県上五島病院 病院長	新上五島町消防本部警防課 南松浦郡新上五島町七日郷902-1 0959-42-3240 0959-42-0448	新上五島町消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
壱岐地域メディカルコントロール協議会	品川 敦彦 医療法人協生会品川病院 院長	壱岐市消防本部警防課 壱岐市芦辺町中野郷西触411番地2 0920-45-3037 0920-45-0992	壱岐市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
対馬地域メディカルコントロール協議会	川上 眞寿弘 対馬市医師会 救急・防災理事	対馬市消防本部警防課 対馬市厳原町棧原52-2 0920-52-0119 0920-52-1194	対馬市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
②	長崎大学病院
③	佐世保市総合医療センター

地域MC協議会 7



熊本県 【熊本県メディカルコントロール協議会】

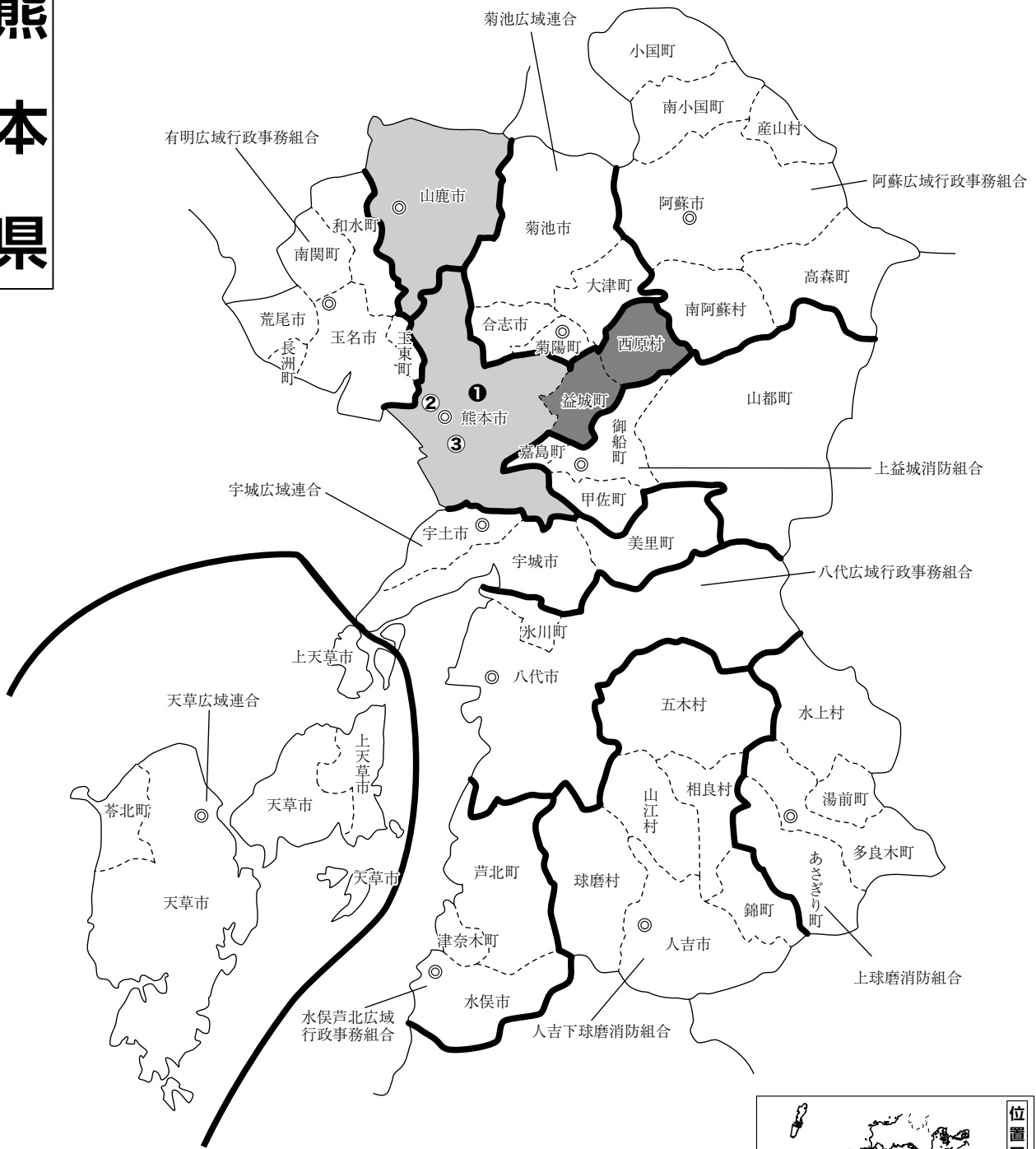
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
熊本県メディカルコントロール協議会	笠岡 俊志 熊本大学医学部付属病院 教授	総務部市町村・税務局消防保安課 熊本市中央区水前寺6-18-1 096-333-2116 096-383-1503		
熊本市メディカルコントロール協議会	桑原 謙 熊本赤十字病院 第2救急科部長	熊本市消防局 熊本市中央区大江3-1-3 096-363-0119 096-366-6679	熊本市消防局 (事務受託: 益城町、西原村)	熊本赤十字病院 国立病院機構熊本医療センター 済生会熊本病院 熊本市民病院 熊本大学医学部附属病院 熊本地域医療センター
山鹿鹿本地域メディカルコントロール協議会	幸村 克典 鹿本医師会 会長	山鹿市消防本部 山鹿市南島1270-1 0968-43-1289 0968-43-8872	山鹿市消防本部	山鹿市民医療センター 保利病院 熊本市立植木病院
人吉下球磨地域メディカルコントロール協議会	木村 正美 人吉医療センター 院長	人吉下球磨消防組合消防本部 人吉市下林町1 0966-22-5241 0966-22-5240	人吉下球磨消防組合消防本部	人吉医療センター
上益城地域メディカルコントロール協議会	山地 陽一 山地外科胃腸科医院 院長	上益城郡医師会 上益城郡御船町御船986 096-282-0461 096-282-3217	上益城消防組合消防本部	熊本赤十字病院 済生会熊本病院
上球磨メディカルコントロール協議会	松本 典生 上球磨消防本部 消防長	上球磨消防組合消防本部 球磨郡多良木町大字多良木3146-1 0966-42-3181 0966-42-2547	上球磨消防組合消防本部	公立多良木病院
八代地域メディカルコントロール協議会	金子 泰史 熊本労災病院 副院長	八代広域行政事務組合消防本部 八代市大村町970 0965-32-6181 0965-32-9251	八代広域行政事務組合消防本部	熊本労災病院 熊本総合病院
阿蘇地域メディカルコントロール協議会	上村 晋一 阿蘇立野病院 院長	阿蘇広域行政事務組合消防本部 阿蘇市黒川1423-1 0967-34-0048 0967-34-0213	阿蘇広域行政事務組合消防本部	阿蘇医療センター 小国公立病院 阿蘇立野病院 阿蘇温泉病院 大阿蘇病院
有明地域メディカルコントロール協議会	吉田 耕之 有明広域行政事務組合消防本部 消防長	有明広域行政事務組合消防本部 玉名市築地468 0968-73-5271 0968-74-0030	有明広域行政事務組合消防本部	荒尾市民病院 公立玉名中央病院 和水町立病院
水俣芦北地域メディカルコントロール協議会	坂本 不出夫 水俣市立総合医療センター 水俣市病院事業管理者	水俣芦北広域行政事務組合消防本部 水俣市ひばりヶ丘3番12号 0966-63-1191 0966-63-7090	水俣芦北広域行政事務組合消防本部	水俣市立総合医療センター
宇城地域メディカルコントロール協議会	岩本 和也 宇城広域連合消防本部 消防長	宇城広域連合消防本部 宇土市新松原町159-1 0964-22-0554 0964-22-0270	宇城広域連合消防本部	済生会熊本病院
菊池地域メディカルコントロール協議会	米村 憲輔 熊本再春荘病院 院長	菊池広域連合消防本部 菊池郡菊陽町原水7-1 096-232-9331 096-232-9333	菊池広域連合消防本部	熊本再春荘病院
天草地域メディカルコントロール協議会	酒井 一守 天草郡市医師会 会長	天草広域連合消防本部 天草市本渡町広瀬1687-2 0969-22-0119 0969-22-3221	天草広域連合消防本部	天草地域医療センター 天草中央総合病院 上天草総合病院 河浦病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

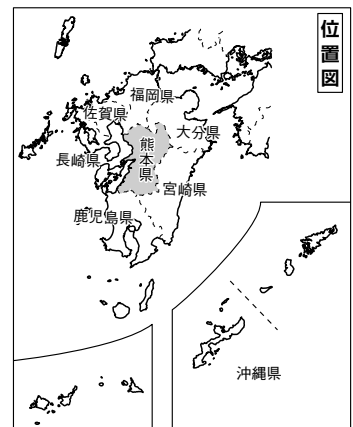
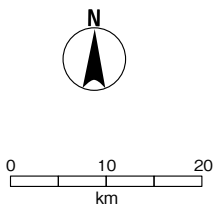
救命救急センター	施設名
①	熊本赤十字病院
②	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
③	済生会熊本病院

熊本県



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



大分県 【大分県救急搬送協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
大分県救急搬送協議会 大分県メディカルコントロール協議会	河野 幸治 大分県医師会 副会長 山本 明彦 大分救急医学会 副会長	大分県生活環境部消防保安室 大分県大分市大手町3丁目1-1 097-506-3158 097-533-0930	大分市消防局 別府市消防本部 中津市消防本部 佐伯市消防本部 臼杵市消防本部 津久見市消防本部 竹田市消防本部 豊後高田市消防本部 宇佐市消防本部 豊後大野市消防本部 由布市消防本部 国東市消防本部 日田玖珠広域消防組合消防本部 杵築速見消防組合消防本部	アルメイダ病院 大分大学医学部附属病院 大分県立病院 新別府病院







救命救急センター設置状況 一覧表

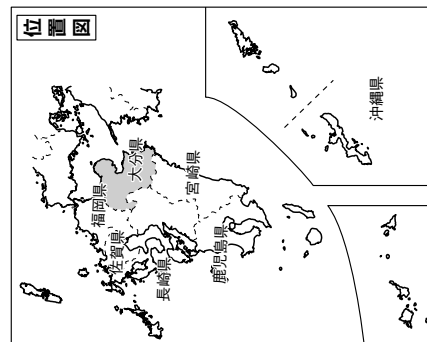
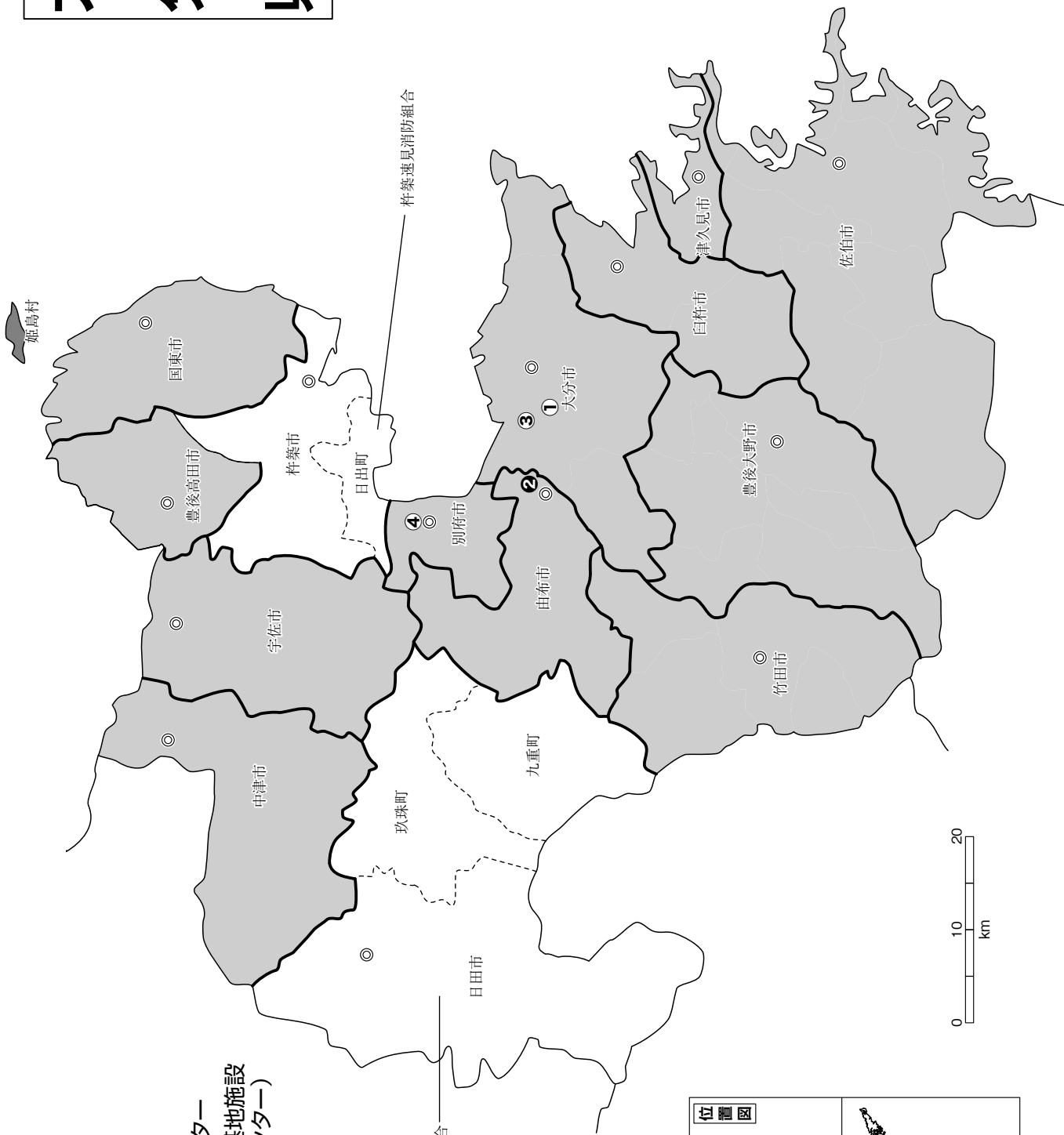
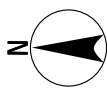
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	大分市医師会立アルメイダ病院
②	大分大学医学部附属病院
③	大分県立病院
④	国家公務員共済組合連合会新別府病院

地域MC協議会 1

凡例

-  組合消防
-  単独常備
-  委託常備
-  本部所在地
-  救命救急センター
-  ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)



大分県

宮崎県 【宮崎県メディカルコントロール協議会】

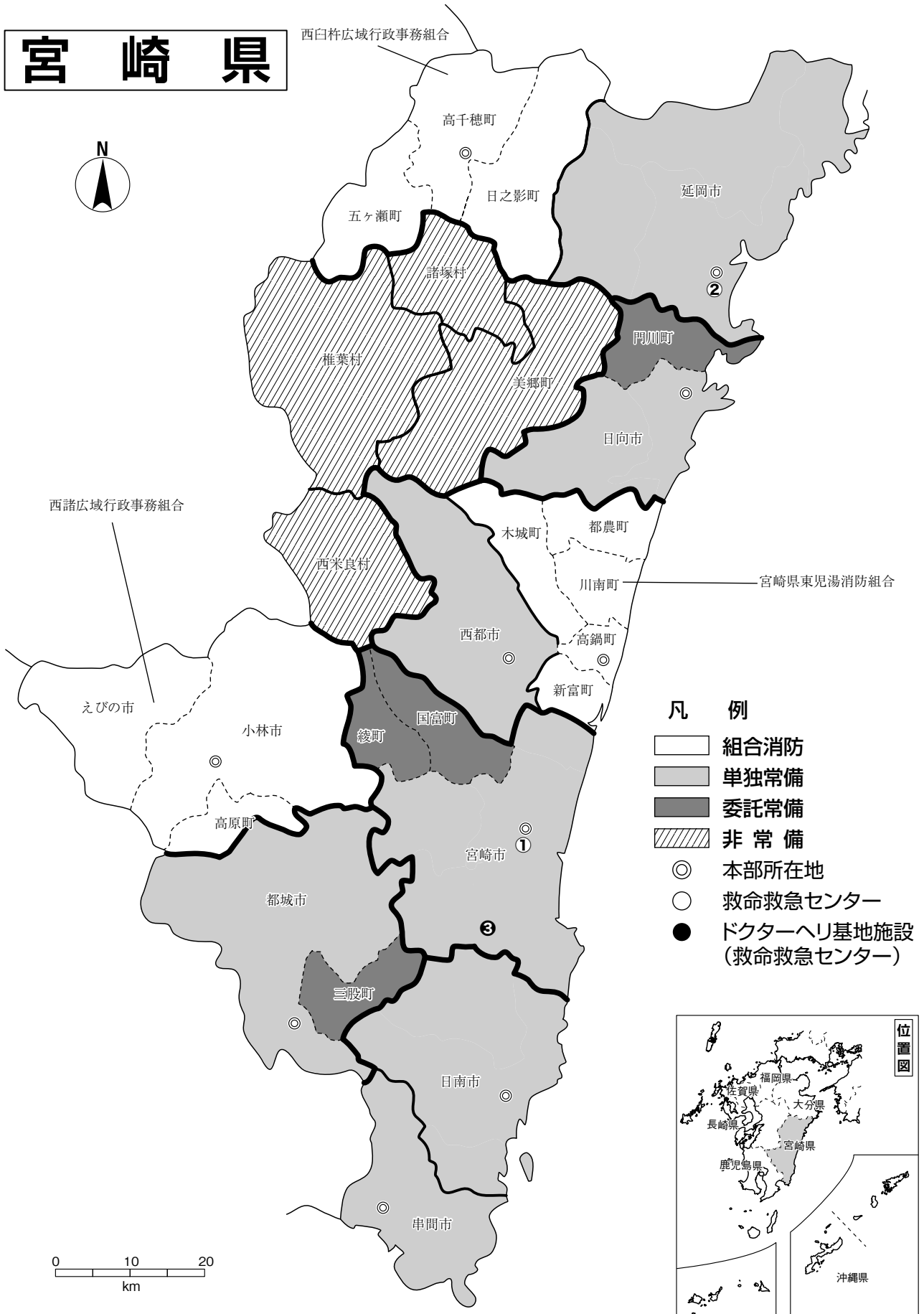
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
宮崎県メディカルコントロール協議会	富田 雄二 宮崎県医師会 副会長(救急医療担当)	宮崎県危機管理局消防保安課 宮崎市橋通東2丁目10番1号 宮崎県庁総務部危機管理局内 0985-26-7627 0985-26-7304		
宮崎地区メディカルコントロール協議会	川名 隆司 宮崎市郡医師会 会長	宮崎市消防局警防課 宮崎市和知川原1丁目64番地2 宮崎市消防局内 0985-32-4903 0985-27-8675	宮崎市消防局	県立宮崎病院 宮崎大学医学部附属病院
都城地区メディカルコントロール協議会	田口 利文 都城市北諸縣市郡医師会 会長	都城市消防局警防救急課 都城市葛蒲原町19号7番地 都城市消防局内 0986-22-8883 0986-24-7345	都城市消防局	都城市郡医師会病院
延岡地区メディカルコントロール協議会	吉田 建世 延岡市医師会 会長	延岡市消防本部警防課 延岡市野地町5丁目2761番地 延岡市消防本部内 0982-22-7105 0982-31-0303	延岡市消防本部 西臼杵広域行政事務組合消防本部	県立延岡病院
日向地区メディカルコントロール協議会	渡邊 康久 日向市東臼杵郡医師会 会長	日向市消防本部警防課 日向市亀崎2丁目23番地 日向市消防本部内 0982-53-5948 0982-52-3119	日向市消防本部	県立延岡病院
南那珂地区メディカルコントロール協議会	中村 彰伸 南那珂地区医師会 会長	日南市消防本部警防課 日南市大字殿所2026番地9 日南市消防本部内 0987-23-7584 0987-23-7653	日南市消防本部 串間市消防本部	県立日南病院 串間市民病院
西都・児湯地区メディカルコントロール協議会	立野 進 都農町国民健康保険病院 院長	宮崎県東児湯消防組合消防本部 児湯郡高鍋町大字上江4526番地 宮崎県東児湯消防組合消防本部内 0983-22-1360 0983-22-1370	西都市消防本部 宮崎県東児湯消防組合消防本部	県立宮崎病院
西諸地区メディカルコントロール協議会	内村 大介 西諸医師会 会長	西諸広域行政事務組合消防本部 小林市真方493番地 西諸広域行政事務組合消防本部内 0984-23-0234 0984-23-6560	西諸広域行政事務組合消防本部	市立小林病院 市立えびの病院

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	県立宮崎病院
②	県立延岡病院
③	宮崎大学医学部附属病院

宮 崎 県



鹿児島県 【鹿児島県救急業務高度化協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
鹿児島県救急業務高度化協議会	上津原 甲一 鹿児島県医師会 常任理事	鹿児島県危機管理局消防保安課 鹿児島市鴨池新町10番1号 099-286-2259 099-286-5521		
薩摩地域救急業務高度化協議会	米盛 公治 米盛病院 病院長	鹿児島市消防局警防課 鹿児島市山下町15-1 099-222-0960 099-225-8119	鹿児島市消防局 日置市消防本部 指宿南九州消防組合消防本部 枕崎市消防本部 南さつま市消防本部	鹿児島市立病院救急救命センター 外科馬場病院 国立病院機構指宿医療センター 県立薩南病院【他】
北薩地域救急業務高度化協議会	石部 良平 川内市医師会立市民病院 院長	薩摩川内市消防局警防課 薩摩川内市中郷町5031番地1 0996-22-0119 0996-20-3430	薩摩川内市消防局 出水市消防本部 いちき串木野市消防本部 さつま町消防本部 阿久根地区消防組合消防本部	川内市医師会立市民病院 出水市総合医療センター いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 薩摩郡医師会病院 出水郡医師会広域医療センター【他】
始良伊佐地域救急業務高度化協議会	吉見 謙一 始良地区医師会 会長 佐藤 昭人 (H30.10.1~) 始良地区医師会 会長	霧島市消防局警防課 霧島市国分中央三丁目41-5 0995-64-0432 0995-64-0845	霧島市消防局 始良市消防本部 伊佐湧水消防組合消防本部	霧島市立医師会医療センター 青雲会病院 県立北薩病院【他】
大隅地域救急業務高度化協議会	小倉 雅 おぐら病院 理事長	大隅肝属地区消防組合警防課 鹿屋市新川町800 0994-52-1193 0994-40-0201	大隅肝属地区消防組合消防本部 垂水市消防本部 大隅曾於地区消防組合消防本部	大隅鹿屋病院 垂水市立医療センター垂水中央病院 曾於医師会立病院【他】
熊毛地域救急業務高度化協議会	田上 容祥 熊毛地区医師会 会長 田上 寛容 (H30.9.1~) 熊毛地区医師会 会長	熊毛地区消防組合警防課 西之表市鴨女町248 0997-23-0119 0997-23-4198	熊毛地区消防組合消防本部	種子島医療センター【他】
大島地域救急業務高度化協議会	野崎 義弘 奄美市任用国民健康保険診療所 所長	大島地区消防組合警防課 奄美市名瀬小浜町27-5 0997-52-0100 0997-52-5107	大島地区消防組合消防本部 沖永良部与論地区広域事務組合消防本部 徳之島地区消防組合消防本部	県立大島病院 沖永良部徳洲会病院 徳之島徳洲会病院【他】







救命救急センター設置状況 一覧表

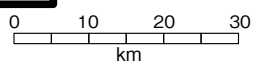
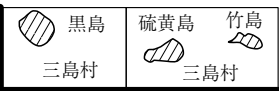
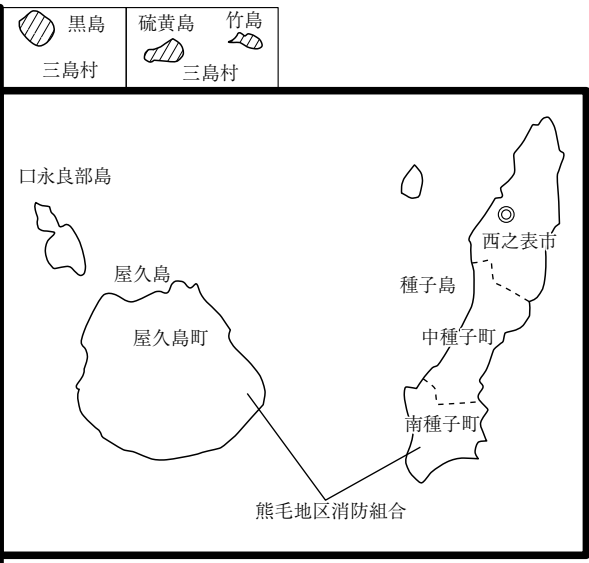
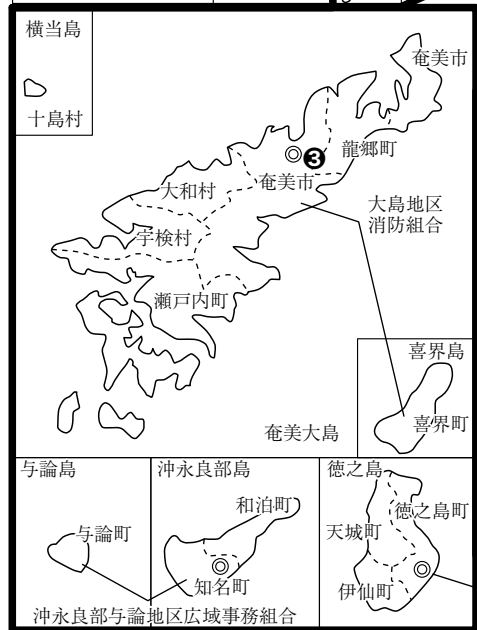
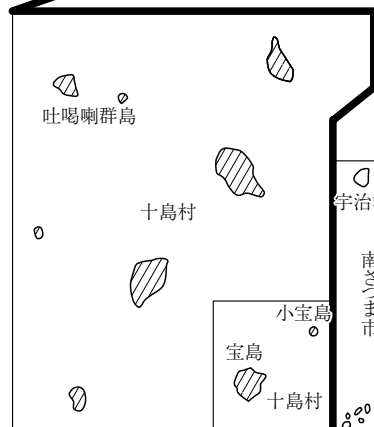
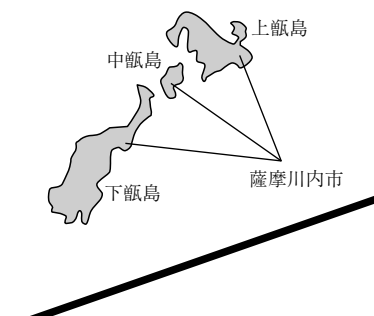
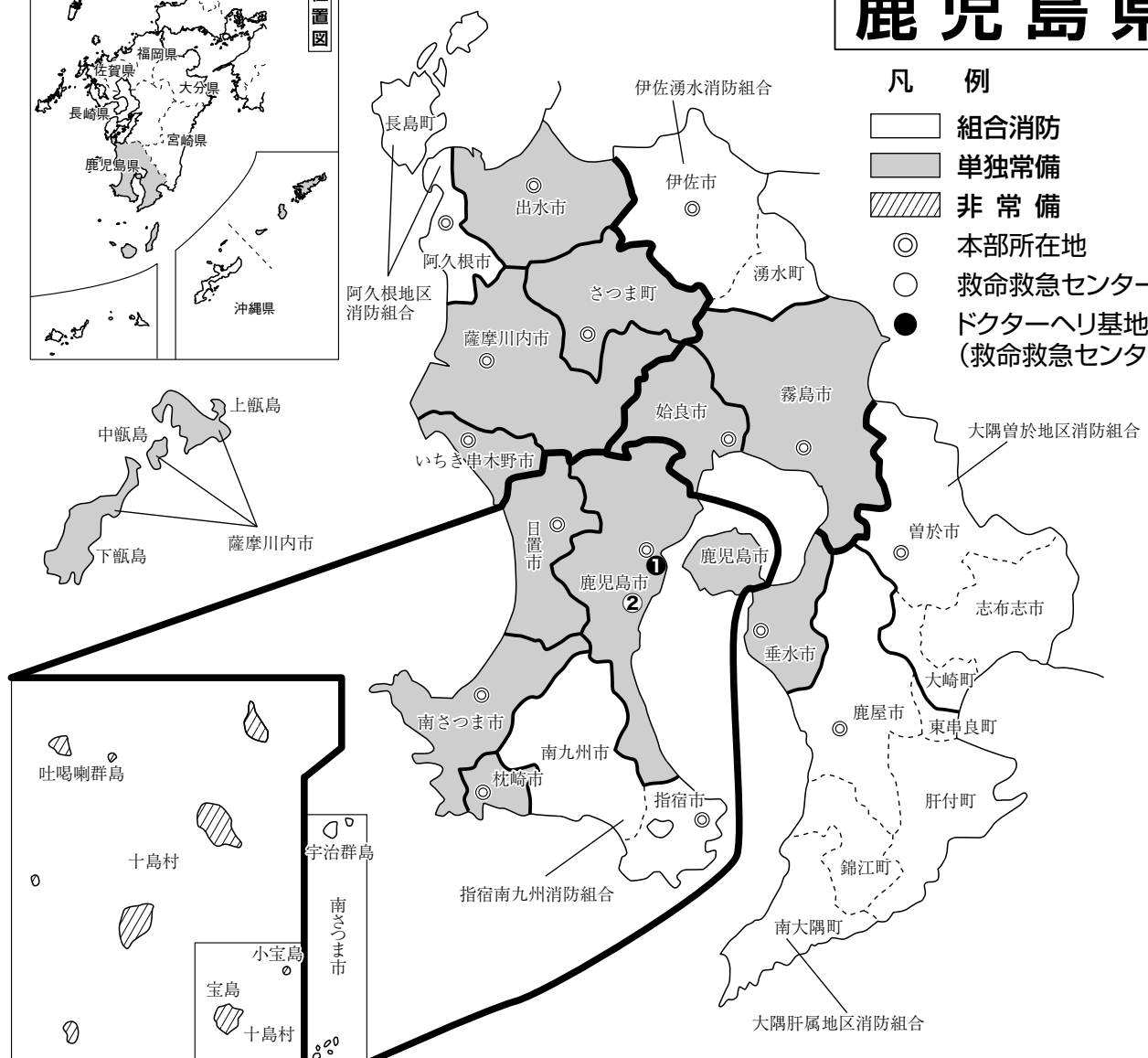
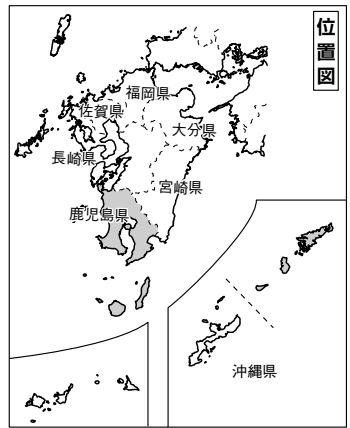
(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	鹿児島市立病院
②	鹿児島大学病院
③	県立大島病院

鹿児島県

凡 例

-  組合消防
-  単独常備
-  非常備
-  本部所在地
-  救命救急センター
-  ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



沖縄県 【沖縄県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
沖縄県メディカルコントロール協議会	久木田 一朗 琉球大学医学部附属病院 救急部長	沖縄県知事公室防災危機管理課 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 098-866-2143 098-866-3204		
北部地区メディカルコントロール協議会	島袋 盛之 沖縄県立北部病院 救急救命科副部長	国頭地区行政事務組合消防本部 沖縄県国頭地区国頭村字辺戸名1727 0980-41-5100 0980-41-2915	名護市消防本部 本部町今婦仁村消防組合消防本部 国頭地区行政事務組合消防本部 金武地区消防衛生組合消防本部	沖縄県立北部病院 北部地区医師会病院
中部地区メディカルコントロール協議会	久場 良也 かりゆし会ハートライフ病院 副院長	うるま市消防本部 うるま市字大田44番地1 098-975-2006	うるま市消防本部 沖縄市消防本部 中城北中城消防組合消防本部 比謝川行政事務組合ニライ消防本部 金武地区消防衛生組合消防本部 宜野湾市消防本部	沖縄県立中部病院
南部地区メディカルコントロール協議会	寺田 泰蔵 那覇市立病院 救急救命科部長	那覇市消防局 沖縄県那覇市銘苅2丁目3番8号 098-867-1199 098-869-1190	浦添市消防本部 豊見城市消防本部 糸満市消防本部 島尻消防組合 久米島町消防本部 那覇市消防局 東部消防組合消防本部	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 琉球大学医学部付属病院 浦添総合病院
宮古地区メディカルコントロール協議会	山本 一太 県立宮古病院 救急救命科医師	宮古島市消防本部 沖縄県宮古島市平良字下里1792-6 0980-72-4358 0980-73-1682	宮古島市消防本部	沖縄県立宮古病院
八重山地区メディカルコントロール協議会	上原 秀政 上原内科 院長	石垣市消防本部 沖縄県石垣市字真栄里668番地 0980-82-0119 0980-83-6698	石垣市消防本部	沖縄県立八重山病院

※金武地区消防衛生組合消防本部は、北部地区メディカルコントロール協議会と中部地区メディカルコントロール協議会を重複している。

救命救急センター設置状況 一覧表

(平成30年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	沖縄県立中部病院
②	浦添総合病院
③	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

沖繩県

